トヨタ純正

SDナビゲーション

型番 NSZT-Y68T

取扱書

本機の操作
ナビゲーション
オーディオ&ビジュアル
音声操作システム ボイスサポート
情報
周辺監視
ドライブレコーダー
ETCシステム ETC2.0サービス TSPS
ITS Connect
ハンズフリー
T-Connect
SmartDeviceLink
ご参考に

お買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、
記載された内容にしたがって正しくお使いください。
本書は紛失しないように車の中に保管してください。
製品同梱の地図SDカードは本機のみでご使用ください。

トヨタ自動車株式会社

このたびはナビゲーションシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ナビゲーションシステムをお使いいただく前に、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書について

・本書は、ナビゲーションシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱書とあわせてお読みください。

・お買い上げの販売店で取りつけられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。

・本書に記載されているサービスや仕様は、予告なく変更あるいは終了する場合があります。

・お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。

・ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。

・本書の画面と実際の画面は、地図データの作成時期等によって異なることがあります。

お車を手放すには

・お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず個人情報の初期化を実施してください。（→P. 59）

・T-Connectをご利用のお客様につきましては、ご契約内容を確認のうえ、必ず解約手続きを行ってください。（→P.504）

	はじめに	· 知っておいていただきたいこと ..... 2 · 目次から検索する 6	2
1	本機の操作	· スイッチなどの基本的な使い方 ..... 12 · 自宅を登録する ..... 45 · Bluetooth® 携帯電話を本機に登録する 52	11
2	ナビゲーション	· 最寄のコンビニなどを探す ..... 84 · 目的地を設定する ..... 107 · 渋滞情報を確認する（VICS） 182	66
3	オーディオ& ビジュアル	· DVD を楽しむ ..... 225 · SD カードの音楽や動画を楽しむ ..... 243 · iPod の音楽を楽しむ 294	208
4	音声操作システム ／ボイスサポート	· 音声操作システムの使い方 ..... 330 · ボイスサポートの使い方 350	329
5	情報	· 燃費画面を表示する ..... 356 · JAF などの電話番号を表示する 358	355
6	周辺監視	· バックガイドモニターの使い方 ..... 366 · ブラインドコーナーモニター / コーナービューモニターの使い方 ... 409	365
7	ドライブ レコーダー	· 録画ファイルを再生する 419	417
8	ETC システム /ETC2.0 サービス /TSPS	· ETC の基本的な使い方 ..... 424 · ETC2.0 サービスについて ..... 435 · TSPS（Traffic Signal Prediction Systems）について 437	423
9	ITS Connect	· ITS Connect について ..... 440 · ITS Connect 案内マークの見方 ..... 442 · 通知・案内・注意喚起について 443	439
10	ハンズフリー	· Bluetooth® 携帯電話の接続 ..... 451 · 電話をかける／受ける ..... 456 · 携帯電話の電話帳データを転送する 473	445
11	T-Connect	· 利用開始手続きのしかた ..... 499 · 緊急通報サービス（ヘルプネット） ..... 513 · 最新の地図に更新する（マップオンデマンド） 537	490
12	SmartDeviceLink™	· SmartDeviceLink ™について ..... 588 · SmartDeviceLink ™の使い方 589	587
	ご参考に	· 参考情報 ..... 596 · さくいん 626	595

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

1 章の「本機の操作」には、各機能共通の操作内容、およびはじめに設定しておくと便利なことがまとめられています。本機を初めてお使いになる際は、この章からお読みになることをおすすめします。
また、本書の操作説明は QUICK SETUP（→ P.32）の標準・かんたんモード画面切替で標準モードを選択した場合の画面で記載しています。

ナビゲーションについて

ナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

他のお車に付け替える場合

本機を別のお車に付け替える場合、必ず販売店で設定等を確認してください。

データの補償に関する免責事項について

本機は各種データを SD カードに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合等により、SD カードに保存されたデータ等が変化・消失することがあります。
お客様が SD カードに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

製品同梱の地図 SD カードについて

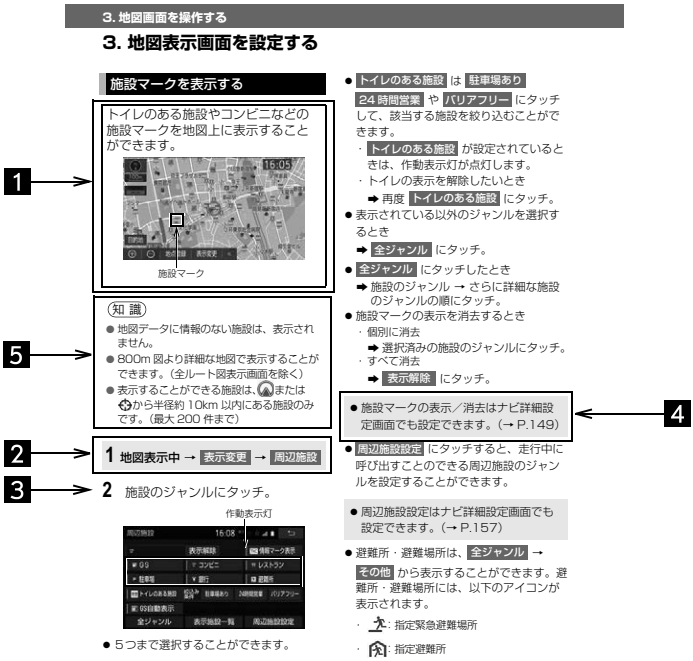
製品同梱の地図 SD カードは本機のみでご使用ください。
他ナビゲーションの地図 SD カードを本機に挿入すると、正常に動作しなかったり、一部機能が制限される場合があります。

バッテリー＜補機バッテリー＞の取り外しについて

本機は車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にするごとに、各種データを本機に保存しています。(一部のデータは保存されません。) 各種データの保存が終わる前にバッテリー＜補機バッテリー＞ターミナルを外すと、データが正常に保存できないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本書の文章構成について

本書の見かた



番号	項目	内容
1	**概要説明**	操作や機能の概要を説明しています。
2	**画面表示操作**	主要操作をする画面までの操作を記載しています。
3	**主要操作**	操作の手順を説明しています。
4	**関連操作**	主要操作の補足的な操作、応用操作を記載しています。
5	**知識**	知っておくと便利な情報を記載しています。

本書での表示について

表示	内容
	本体のスイッチ名称を表しています。 （ MAP ・ MENU ・ AUDIO など）
	画面のスイッチ名称を表しています。 （ 情報 ・ 設定・編集 など）
	画面のタブ名称を表しています。 （ ナビ ・ オーディオ など）

知 識

- １つ前の画面に戻すときは、 ↩ にタッチします。選択した画面で操作が完了していない場合は、操作がキャンセルされます。

警告、注意について

⚠ 警告

● ここに記載されていることをお守りいただかないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。お客様自身と周囲の人々への危険を避けたり減少させたりするため必ずお読みください。

⚠ 注意

● ここに記載されていることをお守りいただかないと、傷害につながるおそれがあります。お客様自身と周囲の人々への危険を避けたり減少させたりするため必ずお読みください。

注意

● ここに記載されていることをお守りいただかないと、お車や装備品の故障や破損につながるおそれや、正しい性能を確保できない場合があります。

イラスト内の表示について

セーフティーシンボル
“してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味を表しています。

その他の表示について

→ P.000	参照するページを表しています。
☆	販売店装着オプションです。

1 本機の操作

1. 本機について 12
各部の名称とおもな働き 12
電源を入れる・切る 16
地図SDカードの出し入れ 17
スライドタッチ操作について 21
HOME画面について 23
メニュー画面について 25
標準・かんたんモード画面について 26
ショートカット+コントロール画面について 28
2. 車両ディスプレイへの表示 31
マルチインフォメーションディスプレイについて 31
3. QUICK SETUP（初期設定サポート） 32
QUICK SETUPで設定する 32
4. セキュリティ 37
セキュリティを設定する 37
5. 文字入力のしかた 39
文字を入力する 39
文字入力の設定を変更する 41
6. リスト画面について 43
複数の候補から項目を選ぶ 43
7. はじめに設定しておくこと 45
初期設定をする 45
メンテナンス時期を案内する 47
Bluetooth®機器を初期登録する 52
8. 画面の調整・設定 54
画面の調整・設定を変更する 54
9. 本機の設定 57
本機の設定を変更する 57
スタートアップ画像の設定をする 63
10. 知っておいていただきたいこと 65
故障とお考えになる前に 65

2 ナビゲーション

1. ナビをお使いになる前に 68
はじめに 68
2. 地図の見かた 69
ナビゲーション画面の見かた 69
地図画面を操作する 71
ルート案内をする 72
目的地案内中の現在地画面の見かた 74
3. 地図画面を操作する 75
地図を表示する 75
画面を分割表示する 83
地図表示画面を設定する 84
高速道路・都市高速道路の表示 89
地図を呼び出す 92
検索した地図を操作する 105
4. 目的地まで案内する 107
目的地を設定してルートを探索する 107
目的地案内の開始 116
目的地への案内について 117
ルート案内中に操作する 123
ルートを再探索する 124
ルートを変更する 126
5. 地点を登録する 133
メモリ地点を登録する 133
メモリ地点を取り込み・取り出しする 142
6. ナビを使いこなす 145
自車位置マークがずれているとき 145
ナビの詳細を設定する 146
安全・快適走行の設定をする 158
エコ機能について 165
GPSについて 172
知っておいていただきたいこと 173

7. 地図データ情報 179
地図について 179
8. VICS・交通情報を使う 182
VICS・交通情報の表示について 182
VICS・交通情報を活用する 185
VICS放送局を選択する 193
VICSについて 194
9. スマートフォンナビ連携 201
スマートフォン
ナビ連携について 201
Bluetooth接続について 202

3 オーディオ & ビジュアル

1. はじめに 210
知っておいていただきたいこと 210
基本操作をする 211
2. ラジオを聞く 223
ラジオを聞く 223
3. ディスク（DVD・CD・MP3/
WMA/AAC）を再生する 225
はじめに 225
ディスクの出し入れ 226
音楽を再生する 228
映像を再生する 231
知っておいていただきたいこと 240
4. Audio SDカードを再生する ... 243
お使いになる前に 243
Audio SD カードの出し入れ 244
Audio SDカードに録音する 247
音楽ファイルを再生する 251
動画ファイルを再生する 254
本機で録音したデータを
編集する 259
Audio SDカードを初期化する 266
5. デジタルテレビを見る 267
地上デジタルテレビの
操作について 267
テレビの操作 269
TVメニュー画面について 274
視聴設定画面について 280
知っておいていただきたいこと 282
6. HDMIを使う 283
HDMIを操作する 283
7. USBメモリーを再生する 285
はじめに 285
音楽ファイルを再生する 287
動画ファイルを再生する 290
8. iPodを再生する 294
はじめに 294
音楽ファイルを再生する 295
iPodの設定をする 297
9. Bluetoothオーディオを
再生する 298
はじめに 298
Bluetoothオーディオを
再生する 301
Bluetoothオーディオを
設定する 304
10. ステアリングスイッチを
使う 310
ステアリングスイッチで
操作する 310
11. 後席ディスプレイ 312
リモコンで操作する 312
後席側の設定について 319
12. SD Photoを再生する 322
SD Photoを再生する 322
13. 知っておいて
いただきたいこと 324
故障とお考えになる前に 324

4 音声操作システム／ボイスサポート

1. 音声操作システム 330
はじめに 330
各部の名称 331
基本操作を覚える 333
音声操作の使用例 336
音声認識コマンド一覧 346
知っておいていただきたいこと 349
2. ボイスサポート 350
はじめに 350
ボイスサポートを使用する 351
ボイスサポートの設定 352
知っておいていただきたいこと 353

5 情報

1. 情報について 356
情報画面について 356
交通ナビ関連情報について 358
ソフトウェア更新について 359

6 周辺監視

1. バックガイドモニター 366
バックガイドモニターについて 366
ガイド画面の出しかた 368
ガイド方法の選びかた 369
並列駐車のしかた（進路表示モード） 371
並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 374
縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード） 376
縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 384
バックガイドモニター機能の設定 386
バックガイドモニターについての注意点 387
知っておいていただきたいこと 392
2. マルチビューバックガイドモニター 393
マルチビューバックガイドモニターについて 393
カメラの視点切替方法 395
マルチビューバックガイドモニターについての注意点 397
3. 雨滴除去機能 400
雨滴除去機能について 400
4. バックモニター 403
バックモニターについて 403
ガイド画面の出しかた 404
バックモニターについての注意点 405
5. ブラインドコーナーモニター / コーナービューモニター 409
ブラインドコーナーモニター / コーナービューモニターについて 409
画面の出しかた 410
ブラインドコーナーモニター／コーナービューモニターについての注意点 412
6. パノラミックビューシステム 416
パノラミックビューシステムについて 416

7 ドライブレコーダー

1. ドライブレコーダー 418
ドライブレコーダーについて 418
録画ファイルを再生する 419
ドライブレコーダーの設定について 422

8 ETC システム /ETC2.0 サービス /TSPS

1. ETCシステム 424
ETCシステムについて 424
ETC 画面の操作 428
エラーコードについて 431
知っておいていただきたいこと 434
2. ETC2.0サービス 435
ETC2.0ユニット（光アンテナ付）について 435
3. TSPS 437
TSPS（Traffic Signal Prediction Systems）を使用する 437

9 ITS Connect

1. ITS Connect 440
ITS Connectについて 440
ITS Connect 案内マークの見方 ... 442
割り込み表示による通知・案内・注意喚起 443

10 ハンズフリー

1. はじめに 446
ハンズフリーについて 446
Bluetooth機器使用上の注意事項について 450
2. ハンズフリーで通話する 451
ハンズフリーの準備をする 451
ステアリングスイッチで操作する .. 454
電話をかける／受ける 456
3. ハンズフリーの便利な使い方 ... 459
色々な方法で電話をかける 459
着信中画面の操作 464
通話中の操作 466
簡易画面について 470
4. ハンズフリーの設定を変更する 471
設定・編集画面を表示する 471
音量の設定をする 472
電話帳を編集する 473
ハンズフリーの詳細設定を変更する 480
Bluetooth設定をする 481
5. こんなときは 485
故障とお考えになる前に 485

11 T-Connect

1. はじめに 492
ご利用の前に知っておいていただきたいこと 492
T-Connectについて 496
2. 各種手続きをする 499
利用開始手続きをする 499
3. T-Connectトップ画面 506
T-Connectトップ画面について 506
4. 地点情報を登録する（Gメモリ） 507
Gメモリ 507
5. 情報画面の使い方 508
T-Connect Viewer 508
TC情報マーク 511
6. T-Connectをスマートフォンやパソコンで利用する 512
T-Connectをスマートフォンやパソコンで利用する 512

7. サービスの使い方 513
ヘルプネット（ワンタッチタイプ）..... 513
ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）..... 527
マイカー Security（T-Connect DCMパッケージ）.. 530
リモートメンテナンスサービス 536
マップオンデマンド（地図差分更新）..... 537
ハイブリッドナビについて 546
Tルート探索（プローブ情報付）..... 548
オペレーターサービス 550
渋滞予測 552
WEB検索 555
エージェント 556
T-Connect Apps 562
CDタイトル情報取得 566
お天気お知らせ 567
8. 各種登録・設定 569
オンライン詳細設定 569
プライバシー設定 571
通信設定 575
Wi-Fi® 設定 577
契約内容・契約者情報の確認・変更 582
9. 知っておいていただきたいこと 583
こんなメッセージが表示されたときは 583
故障とお考えになる前に 585

12 SmartDeviceLink ™

1. はじめに 588
SmartDeviceLink™について 588
2. SmartDeviceLink™を使う 589
SmartDeviceLink™ Apps 画面について 589
3. 各種設定 592
SmartDeviceLink Apps 設定画面について 592
4. 知っておいていただきたいこと 593
故障とお考えになる前に 593

ご参考に

1. 参考情報 596
アフターサービスについて 596
バッテリー<補機バッテリー>の交換について 597
お手入れについて 599
ディスクの取り扱い 600
オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて 602
VICS 情報有料放送サービス契約約款 615
Gracenote® メディアデータベースについて ... 617
商標、著作権などについて 618
仕様について 621
2. さくいん 626
50音さくいん 626
アルファベットさくいん 634

1

本機の操作

1 本機について

1. 各部の名称とおもな働き.....12
2. 電源を入れる・切る 16
3. 地図SDカードの出し入れ 17
4. スライドタッチ操作について.....21
5. HOME画面について 23
6. メニュー画面について 25
7. 標準・かんたんモード画面について 26
8. ショートカット＋コントロール画面について 28

2 車両ディスプレイへの表示

1. マルチインフォメーションディスプレイについて.....31

3 QUICK SETUP（初期設定サポート）

1. QUICK SETUPで設定する.....32

4 セキュリティ

1. セキュリティを設定する.....37

5 文字入力のしかた

1. 文字を入力する 39
2. 文字入力の設定を変更する.....41

6 リスト画面について

1. 複数の候補から項目を選ぶ.....43

7 はじめに設定しておくこと

1. 初期設定をする 45
2. メンテナンス時期を案内する.....47
3. Bluetooth®機器を初期登録する.....52

8 画面の調整・設定

1. 画面の調整・設定を変更する.....54

9 本機の設定

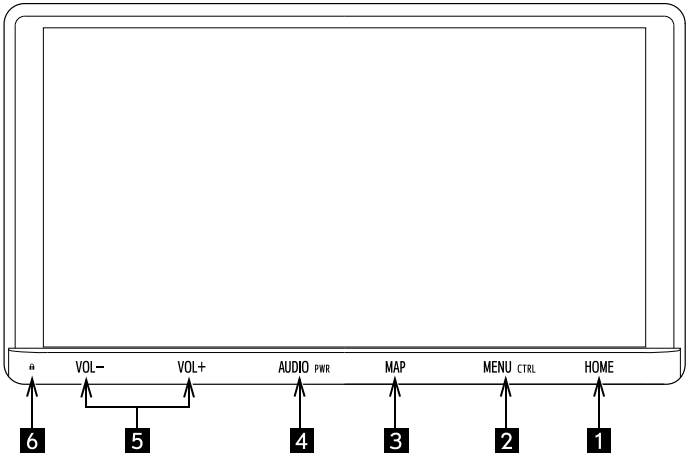
1. 本機の設定を変更する.....57
2. スタートアップ画像の設定をする 63

10 知っておいていただきたいこと

1. 故障とお考えになる前に.....65

1. 各部の名称とおもな働き

▶ディスプレイ部を閉じている状態

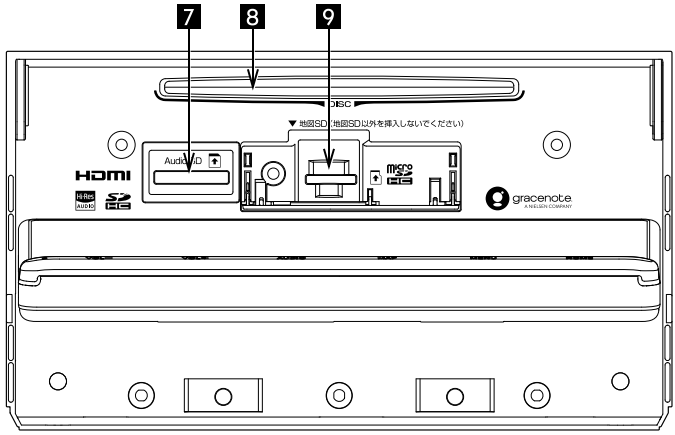


番号	名称	機能
1	HOME スイッチ	HOME 画面を表示する。(→ P.23)
2	MENU スイッチ	メニュー画面を表示する。(→ P.25) “ピッ” と音がするまで（1 秒以上）押すと、ショートカット+コントロール画面を表示する。(→ P.28) 10 秒以上押し続けると、本機を再起動する。
3	MAP スイッチ	現在地を表示する。(→ P.71)
4	AUDIO スイッチ	オーディオ操作画面を表示する。(→ P.211) オーディオソース選択画面を表示する。(→ P.213) 約 1 秒押し続けるごとに、オーディオの ON/OFF が切り替わります。 5 秒以上押し続けた後、スイッチから指を離すと、挿入中のディスクを排出する。
5	音量調整スイッチ	音量を調整する。 VOL− : 小さくする VOL+ : 大きくする • 押すごとに、1 ステップずつ音量が変わります。 • 1 秒以上押し続けると、連続して調整できます。
6	作動インジケータ	セキュリティ設定時かつインジケータ ON 設定時に点滅する。

知識

● 本体の音量調整スイッチで連続して音量を大きくする場合は、誤って音量が上がりすぎないように、VOL 50 で止まります。VOL 50 を超えると、押し続けても連続して調整できなくなりますので、1 ステップずつ調整してください。

▶ディスプレイ部・カバーを開けている状態



ディスプレイ部・カバーの開閉、SD カードの出し入れは、「地図 SD カードの出し入れ」（→ P.17）「Audio SD カードの出し入れ」（→ P.244）をご覧ください。

番号	名称	機能
7	Audio SD カード挿入口	市販の SD カードを挿入して下記のことができます。 • 音楽 CD からの録音、録音した音楽やパソコンで記録した音楽の再生、家庭用レコーダーやパソコンで記録した動画ファイルの再生（→ P.243） • デジタルカメラなどで記録した写真の表示（→ P.322） • スタートアップ画像の設定（→ P.63） • メモリ地点の取り込み・取り出し（→ P.142） • ソフトウェア更新（→ P.359） 本機で使用できる SD カードについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.603）をご覧ください。 ※本書ではこの SD カードを「Audio SD カード」という表現で説明しています。
8	ディスク挿入口	音楽ディスク、映像ディスクを挿入して再生することができます。（→ P.225） また、ソフトウェア更新（→ P.359）、マップオンデマンド (地図差分更新) （→ P.539）で使用します。
9	地図 SD カード挿入口	プログラムや地図データを収録した地図 SD カードが挿入されています。

知識

- -20 ℃以下の低温時もしくは、+65 ℃以上の高温時には、本機の動作ができなくなったり、SD カードへの書き込みができなくなる場合があります。
- 斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 太陽の光などの外光が当たると画面が見にくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。
- 本機のタッチパネルおよび操作スイッチ（画面外）は静電容量方式のため、手袋などを着用して操作したり、フィルム（保護シート）などを貼ると、反応しなくなるなど、正常に操作できなくなることがあります。（販売店装着オプションの「保護シート」を使用したときも含みます。）
  また、タッチパネルおよび操作スイッチ（画面外）が濡れた状態（または指が濡れた状態）では、正常に動作しない場合があります。その場合、濡れた部分をふき取り、MENU を 10 秒以上押し続けて再起動するか、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にし、再度エンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にしてください。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電気機器を使用すると、その影響で画面の乱れ、タッチ操作不能、雑音などの異常が発生する場合があります。その場合、電気機器を遠ざけるか、ご使用を控えてください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間（1 秒程度以内）にしてください。
- 走行するときは、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートや、道幅が狭く通行できないルートが表示されることがあります。
- 本機および販売店装着オプションの取り付け／取り外しには、専門技術が必要です。安全のため、必ずトヨタ販売店に依頼してください。
- 本機および販売店装着オプションを分解したり、改造しないでください。火災、感電の原因となります。
- 故障のおそれがあるときや、異常を感じたとき（煙が出る、異音・異臭がするなど）は、ただちに使用を中止してトヨタ販売店にご相談ください。そのまま使用し続けると、発火の原因になります。

⚠ 注意

- ディスプレイ部の裏側は高温になることがあります。ディスクや SD カードを出し入れするときに、開いたディスプレイ部の裏側に触れるとやけどをするおそれがありますので、注意してください。

注意

- バッテリー＜補機バッテリー＞上がりを防ぐため、エンジン＜ハイブリッドシステム＞停止中に長時間使用しないでください。
- タッチパネルおよび操作スイッチ（画面外）の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、硬い布やティッシュペーパーなどでこすると表面に傷がつくことがあります。また、アルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性のある薬品が付着すると表面が損傷するおそれがあります。
- タッチパネルおよび操作スイッチ（画面外）の内側に結露が発生した場合、正常に動作しないことがありますので無理に使用せず、結露がなくなるまで操作をしないようにしてください。
- スイッチは指で軽くタッチしてください。ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。

2. 電源を入れる・切る

電源を入れる

1 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード<ON モード>にする。

● スタートアップ画面を表示し、その後自動でナビゲーション画面、HOME 画面またはオーディオ画面に切り替わります。

知 識

● QUICK SETUP 画面が表示された場合、設定しておくと便利なナビゲーション機能をまとめて設定することができます。(→ P.32)

● リモートスタート搭載車で、リモートスタートが始動すると、本機の電源も入りますが、オーディオは OFF になります。

電源を切る

1 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にする。

知 識

● 電源が入っている状態で MENU を 10 秒以上押し続けると、本機が再起動します。自車位置マークが動かないなど本機が動作不良を起こした場合に行ってください。

3. 地図 SD カードの出し入れ

地図 SD カードを入れる

1 メニュー画面（→ P.25）→ ⏏TILT・EJECT

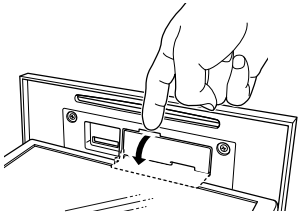
- 次の手順でも操作できます。
  - ・HOME 画面（→ P.23）→ ⏏TILT・EJECT ※
  - ・オーディオソース選択画面（→ P.213）→ ⏏
  - ・各オーディオ操作画面（→ P.211）→ ⏏

※ HOME 画面設定時（→ P.23）

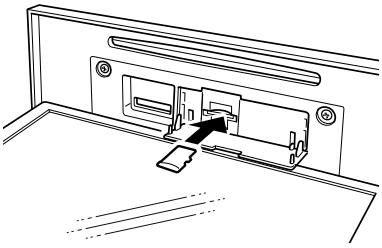
2 ⏏ 地図 SD にタッチ。

- ディスプレイが開きます。

3 カバーを開ける。



4 挿入口に地図 SD カードを挿入する。



5 カバーを閉める。

6 CLOSE にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。

⚠ 注意

- 地図 SD カードを本機の内部に落とした場合は、車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にして、内部の金属部分に注意して探してください。指をけがするおそれがあります。
- 地図 SD カードの差し込み途中に、CLOSE にタッチしないでください。
- ディスプレイ部の開閉時は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、ディスプレイの故障の原因となります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。

注意

- 地図SDカードはラベル面を上にして、“カチッ” と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
- 挿入口に地図SDカード以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（“P” 位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・Ⓡ位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを “N” または “ニュートラル” 位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。

バッテリー<補機バッテリー>との接続が断たれたとき

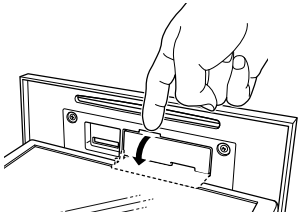
車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にすると、「AUDIO スイッチを 5 秒以上長押しして　ディスプレイを開き地図 SD カードを入れてください」のメッセージが表示されます。その場合、次の手順で地図 SD カードを挿入します。

1 AUDIO を 5 秒経過するまで押し続ける。

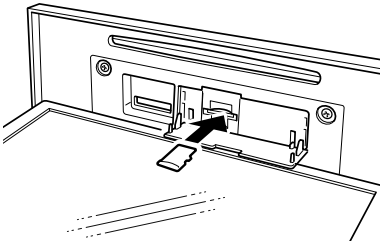
2 AUDIO から指を離す。

- “ピッ” と音がして、ディスプレイが開きます。

3 カバーを開ける。



4 地図 SD カードを挿入する。



- プログラムの読み込みを開始します。完了するとスタートアップ画面→ TILT・EJECT 画面の順に表示されます。
- 地図 SD カード挿入後は、カバーを閉めます。

5 CLOSE にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。

知 識

- 地図 SD カードを挿入していない状態で、使用した場合、ナビゲーション機能すべての機能が動作しません。地図 SD カードを挿入した状態でご使用ください。

地図 SD カードを取り出す

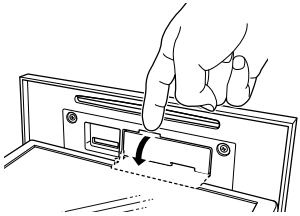
1 メニュー画面（→ P.25）→ ▲TILT・EJECT

- 次の手順でも操作できます。
  - ・HOME 画面（→ P.23）→ ▲TILT・EJECT ※
  - ・オーディオソース選択画面（→ P.213）→ ▲
  - ・各オーディオ操作画面（→ P.211）→ ▲

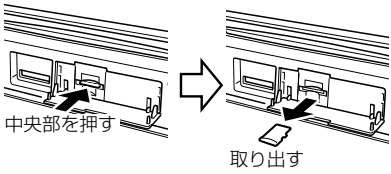
※ HOME 画面設定時（→ P.23）

2 ▲ 地図 SD にタッチ。

3 カバーを開ける。



4 地図SDカードを軽く押して取り出す。



5 カバーを閉める。

6 CLOSE にタッチ。

● ディスプレイが閉じます。

⚠ 警告

● 地図 SD カードを取り出している場合、カードを乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと窒息、またはけがのおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠ 注意

● 地図 SD カードを本機の内部に落とした場合は、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にして、内部の金属部分に注意して探してください。指をけがするおそれがあります。
● 地図 SD カードの取り出し途中に、CLOSE にタッチしないでください。
● ディスプレイ部の開閉時は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、ディスプレイの故障の原因となります。
● ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。

注意

● ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
● ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷するおそれがあります。
● 地図 SD カードを取り出す際、下記に注意してください。
  ・ A/T 車は SD カードを取り出す際、“P” 位置で干渉する場合は、“N” 位置に切り替えてから操作してください。（コラム A/T の場合は “P” または “N” 位置で操作してください。）
  ・ M/T 車は SD カードを取り出す際、1・3・5・Ⓡ位置で干渉する場合は、“N” 位置に切り替えてから操作してください。

注意

- 本機から地図SDカードを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。地図 SD カードを破損するおそれがあります。
- 地図 SD カードを取り出すときは、TILT・EJECT 画面で ▲ 地図 SD にタッチしてから取り出してください。パソコンでの読み込みができなくなるおそれがあります。
- ▲ Audio SD にタッチして、地図 SD カードを取り出したりすると、地図 SD カードや地図 SD カード内のデータが破損するおそれがあります。
- ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因となります。
- 地図SDカードが押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、地図 SD カードを傷つけるおそれがあります。
- 長時間使用すると地図SDカードが高温になる場合があります。地図 SD カードを取り出すときは、ご注意ください。
- 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、地図 SD カードを挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。

ディスプレイ警告音

ディスプレイ部を開いたまま車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にすると、“ピッピッピッピッピッ”という警告音でお知らせします。車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にして CLOSE にタッチすると、ディスプレイを閉じることができます。

4. スライドタッチ操作について

スライドタッチ操作について

本機は通常のタッチ操作に加え、タッチする指の動きに合わせて、地図画面やリスト画面などを動かすことができます。

スライドタッチ操作には次の方法があります。

- スライド操作
- フリック操作
- ピンチ操作
- ドラッグ操作

知識

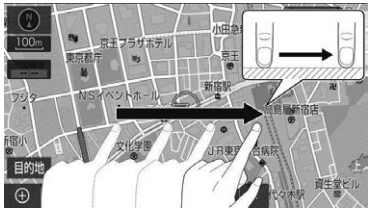
- 走行中、地図画面の操作を一部することができますが安全のため極力操作をしないでください。

スライド操作について

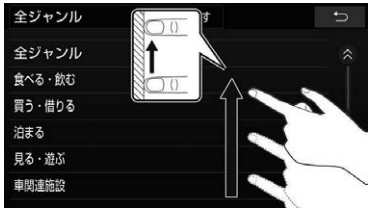
一部の地図画面やリスト画面、ショートカット登録・編集画面で操作できます。

画面にタッチしたまま指をずらすと、指の動きに合わせて、画面が移動します。

▶地図画面



▶リスト画面



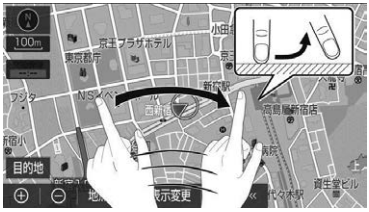
フリック操作について

地図画面やリスト画面、ショートカット登録・編集画面、デジタルテレビなどの映像画面（全画面表示）、カメラの映像画面で操作できます。

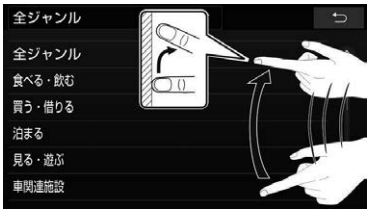
地図画面やリスト画面、ショートカット登録・編集画面の場合、画面にタッチした状態で、指を払うと、払った方向に画面が動きます。動く量は、払う速度により変わります。

動かした画面は、自動で止まります。動いている画面にタッチしても止めることができます。

▶地図画面



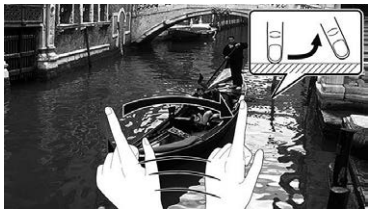
▶リスト画面



▶ショートカット登録・編集画面

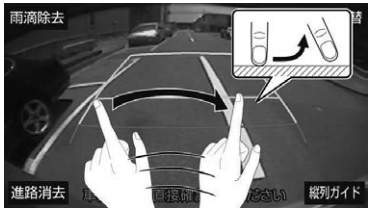
▶映像画面

デジタルテレビなどの映像画面（全画面表示）の場合、画面をタッチした状態で、左右に指を払うと、デジタルテレビのチャンネルや DVD のチャプター、SD・USB ファイルが切り替わります。



▶カメラ映像画面

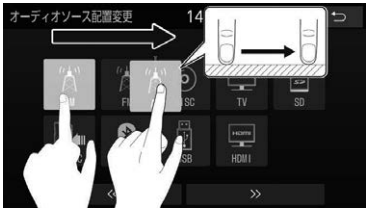
販売店装着オプションの雨滴除去機能付きマルチビューバックガイドモニターを装着している場合、カメラ映像画面表示中に画面をタッチした状態で指を払うと、エアーを噴射することができます。（→ P.401）



ドラッグ操作について

オーディオソース選択画面などで、スイッチの配置変更をするときに操作できます。

スイッチをタッチしたまま指をずらすと、指の動きに合わせてスイッチが移動します。



ピンチ操作について

地図画面で操作できます。

タッチした 2 本の指を広げて地図を拡大するピンチアウト操作と、狭めて地図を縮小するピンチイン操作があります。（画面全体が拡大縮小します。）

▶ピンチアウト

▶ピンチイン

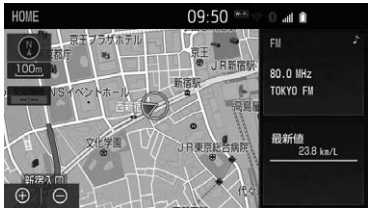
5. HOME 画面について

HOME 画面では、地図画面とオーディオやエコ情報画面など、複数の機能を分割表示させることができます。

また、目的地案内中は、曲がる方向を矢印で案内します。

HOME 画面の操作

1 HOME を押すと、HOME 画面が表示される。



- 各エリアにタッチすると、全画面で表示したり、エリア内に表示されるスイッチで各機能の操作ができます。
- HOME 画面に表示される機能やレイアウトは、変更することができます。(→ P.23)

HOME 画面の設定

HOME 画面に表示される機能やレイアウトを変更することができます。

機能を変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定 → HOME画面カスタマイズ

2 表示したい機能にタッチ。

- 次の機能を設定できます。

機能		ページ
オーディオ	CD のタイトル名やラジオの放送局名などを表示	211
エコ情報 ※1	エコ情報を表示	167
電話	携帯電話未登録時：電話機登録スイッチを表示	52
	Bluetooth 未接続時：電話機選択スイッチを表示	452
	Bluetooth 接続時：電話帳スイッチを表示	462
周辺施設	周辺施設設定で選択した周辺施設呼び出しジャンルを表示	84

機能		ページ
自宅に帰る	自宅に帰るスイッチを表示	108
	自宅登録スイッチを表示（自宅未登録時）	108
オーディオ操作	選択中のオーディオソースの操作スイッチを表示	211
	TILT・EJECT スイッチを表示	211
EQ 設定	EQ スイッチを表示	219
POSITION 設定	POSITION 設定スイッチを表示	217
後席設定 ※2	後席設定スイッチを表示	319
ドライブレコーダー ※3	録画映像の確認および手動録画アイコンを表示	418
ショートカット	ショートカットスイッチを表示	28

※1 対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
※2 販売店装着オプションの後席ディスプレイ装着時のみ
※3 販売店装着オプションのカメラ別体型ドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）またはカメラ一体型ドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）装着時のみ

3 表示させるエリアにタッチ。

レイアウトを変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定 → HOME画面カスタマイズ

2 レイアウト変更 にタッチ

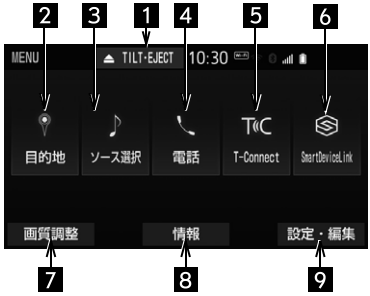
3 変更したいレイアウトにタッチ。

6. メニュー画面について

メニュー画面の操作

目的地設定、情報画面の表示などはメニュー画面を表示させてから操作します。

1 MENU を押すと、メニュー画面が表示される。



番号	機能	ページ
1	ディスク・SD カードを出し入れする。	17、226、244
	ディスプレイの角度調整をする。	54
2	名称や住所などから目的地を設定する。	107
3	オーディオソース選択画面を表示する。	213
4	ハンズフリー画面を表示する。	456
5	地図更新やエージェントなどの T-Connect 画面を表示する。	506
6	SmartDeviceLink ™ Apps 画面を表示する。	589
7	画質調整画面を表示する。	54
8	情報画面を表示する。	356
9	各種設定・編集を行う。	57

7. 標準・かんたんモード画面について

操作画面には標準モードとかんたんモードの 2 種類があります。

QUICK SETUP（→ P.32）または共通設定（→ P.57）の標準・かんたんモード画面切替でかんたんモードを選択すると、機能説明付きの操作画面で操作することができます。初めて本機を使用する方におすすめです。操作方法は標準モード画面と同じです。

知 識

- QUICK SETUP は、ナビ詳細設定からも操作することができます。（→ P.157）

標準・かんたんモードで表示される画面について

メニュー画面

1 MENU を押す。

▶かんたんモード画面

▶標準モード画面

目的地検索画面

1 MENU または現在地画面 → 目的地 → 目的地画面（→ P.107）

▶かんたんモード画面

▶標準モード画面

オーディオソース選択画面

1 オーディオソース選択画面を表示する。(→ P.213)

▶かんたんモード画面

▶標準モード画面

情報画面

1 MENU ▶ 情報

▶かんたんモード画面

▶標準モード画面

知 識

- エコ運転評価履歴、燃費、燃費設定の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

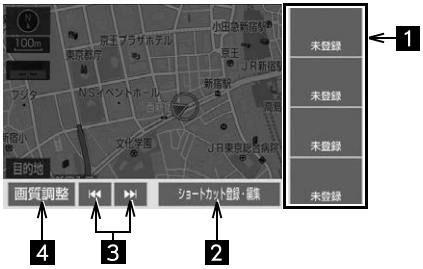
8. ショートカット+コントロール画面について

オーディオ操作画面（→ P.211）とは別に選曲などのオーディオの操作をすることができます。また、よく使う機能をショートカットスイッチに登録しておくと、簡単に操作することができます。

ショートカット+コントロール画面を表示する

1 MENU を “ピッ” と音がするまで（1 秒以上）押す。

● ショートカット+コントロール画面から次の操作を行うことができます。



1 ショートカットスイッチ

登録した機能（→ P.28）を操作する。

2 ショートカット登録・編集スイッチ

ショートカットスイッチを登録または編集する。（→ P.28）

3 選曲・選局スイッチ

曲、映像ファイル、チャプターの切り替え、早戻し／早送りやラジオ・デジタルテレビの放送局の切り替えなど。

4 画質調整スイッチ

画質を調整する。（→ P.55 ～ P.56）

● ショートカット + コントロール画面を消したいとき
➡ ショートカットスイッチとコントロールスイッチ以外の画面にタッチまたは本体のいずれかのスイッチ（→ P.12）を押す。

ショートカットスイッチを登録する

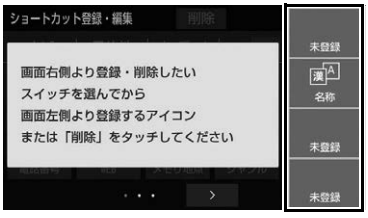
お好みの機能を 4 つまでショートカットスイッチに登録することができます。よく使う機能を登録しておくと便利です。

1 MENU （1 秒以上）▶ ショートカット登録・編集

● 次の手順でも操作できます。
- MENU（1 秒以上）▶ ショートカットスイッチ（1 秒以上）またはショートカットスイッチの 未登録 → はい
- HOME 画面（→ P.23）→ショートカットスイッチ（1 秒以上）またはショートカットスイッチの 未登録 ※
- MENU（1 秒未満）▶ 設定・編集 → 共通設定 → ショートカット登録・編集

※ HOME 画面設定時（→ P.23）

2 登録したいショートカットスイッチにタッチ。



3 登録したい機能のスイッチにタッチ。

- 「ナビ」・「目的地」・「オーディオ」・「SmartDeviceLink」・「設定」・「情報」・「T-Connect」・「Apps」のいずれかにタッチしてジャンルを切り替えることができます。
- タブを切り替えたいとき
  ➡ タブの ＞ または ＜ にタッチ。
- ページを切り替えたいとき
  ➡ ページの ＞ または ＜ にタッチ。
- ショートカットスイッチの配置を入れ替えたいとき
  ➡ 入れ替えたいスイッチにタッチし、入れ替え先のスイッチにタッチ。
- 次の項目をショートカットスイッチに登録することができます。

ジャンル	項目	ページ
ナビ	周辺施設	84
	全ルート※1	123
	地図 1 画面	83
	地図 2 画面	83
	VICS 表示変更（VICS・交通情報）	184

ジャンル	項目	ページ
目的地	読み	97
	名称	97
	住所	100
	施設	100
	電話番号	101
	WEB	555
	メモリ地点	109
	ジャンル	102
	TC で設定	—
	マップコード	103
	自宅に帰る	108
	トイレ	104
	目的地履歴	103
	特別メモリ 1／2／3／4／5※1	109
	ルート計画	92
	目的地消去※1	128
オーディオ	AM	213
	FM	213
	DISC	213
	SD	213
	SDREC	213
	TV	213
	Bluetooth Audio	213
	USB(USB/iPod)	213
	HDMI	213
	交通情報	213
	AUDIO OFF	211
	音設定	214
	後席設定	211

ジャンル	項目	ページ
SmartDeviceLink	SmartDeviceLink	588
設定	音量設定	46
	案内中止／案内再開 ※1	116
	ルート変更 ※1	126
	画面消	56
	Bluetooth 機器登録・接続	52
	Wi-Fi 設定	577
	ワンタッチダイヤル	461
	電話履歴	460
情報	ESPO※2	170
	エコ運転評価履歴 ※2	167
	燃費 ※2	165
	VICS	182
	高速渋滞予測	552
	ETC/ETC2.0	428
T-Connect	オペレーターサービス	551
	HELPNET	513
Apps	Apps	562

※1 ショートカットに設定できますが、機能の設定によっては使用できない場合があります。

※2 対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

知 識

- 走行中はショートカットスイッチの登録操作はできません。
- すでに登録されているショートカットスイッチを選択した場合、上書きされます。
- 表示される項目は、車種や接続機器によって異なります。

ショートカットスイッチを削除する

1 MENU （1 秒以上）▶ ショートカット登録・編集

- 次の手順でも操作できます。
  - MENU（1 秒以上）▶ ショートカットスイッチ（1 秒以上）またはショートカットスイッチの 未登録 → はい
  - HOME 画面（→ P.23）→ショートカットスイッチ（1 秒以上）またはショートカットスイッチの 未登録 ※
  - MENU（1 秒未満）▶ 設定・編集 → 共通設定 → ショートカット登録・編集

※ HOME 画面設定時（→ P.23）

2 削除したいショートカットスイッチにタッチ。

3 削除 にタッチ。

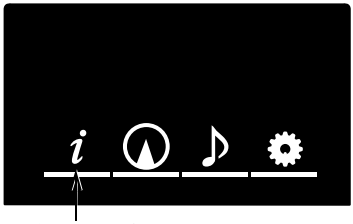
知 識

- 走行中はショートカットスイッチの登録削除操作はできません。

1. マルチインフォメーションディスプレイについて

表示について

ナビゲーションやオーディオなどの一部の機能は、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにも表示されます。
詳しい操作については、お車の取扱書をご覧ください。
また、対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



- 表示される位置や内容は、車種によって異なります。
- メニューアイコン
  アイコンを選択して各項目を表示させます。
  項目によっては状況に応じて自動で表示されます。

  以下は、アイコンの表示例です。

  ナビゲーションシステム連携表示

  ナビゲーションシステムと連携して、方位計などを表示します。
  また、ナビゲーションシステムで目的地案内中に交差点案内が行われると、
  マルチインフォメーションディスプレイも交差点案内が表示されます。

  オーディオシステム連携表示

  選択されているオーディオソースの情報が表示されます。

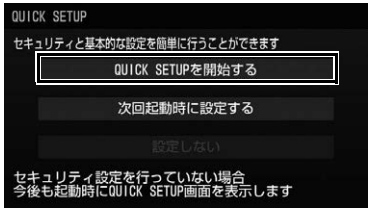
1. QUICK SETUP で設定する

QUICK SETUP の使い方

初めて本機を起動したときやバッテリー<補機バッテリー>をはずしたときは、QUICK SETUP 画面が表示されます。最初に設定しておくと便利な、自宅や案内音量、車両情報などを設定することができます。設定状況は、画面で確認することができます。

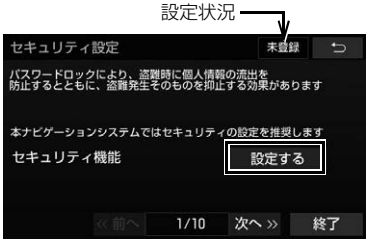
セキュリティの設定および QUICK SETUP 内で 終了 → はい の順にタッチしないと、本機を起動するたびに QUICK SETUP 画面が表示されます。

1 QUICK SETUP を開始する にタッチ。



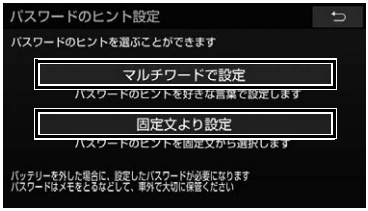
- QUICK SETUP を終了し、次回起動時に QUICK SETUP 画面を再度表示するとき
  ➡ 次回起動時に設定する にタッチ。
- QUICK SETUP を終了し、次回起動時に QUICK SETUP 画面を再度表示しないとき
  ➡ 設定しない にタッチ。

2-1 セキュリティを設定する。
設定する にタッチ。



- 画面右上に設定状況が表示されます。

2-2 マルチワードで設定 または 固定文より設定 にタッチ。



- マルチワードで設定 : パスワードのヒントを任意に入力する
- 固定文より設定 :パスワードのヒントを5つの中から選ぶ

2-3 パスワードのヒントを登録する。

- 手順 **2-2** で マルチワードで設定 にタッチしたとき
  ➡ ヒントを入力する。（→ P.39）
- 手順 **2-2** で 固定文より設定 にタッチしたとき
  ➡ ヒントにタッチする。

2-4 パスワードを入力する。（→ P.39）

2-5 完了 にタッチ。

3 次へ » にタッチ。

4-1 自宅を登録する。
現在地周辺から登録 または **住所から登録** にタッチ。

- 画面右上に設定状況が表示されます。
- **現在地周辺から登録** にタッチした場合、現在地周辺の地図を表示します。
- **住所から登録** にタッチした場合、都道府県名→市区町村名→町名→丁目（字）の順にタッチ。
  - ・郡名は表示されません。
  - ・「大字」や「字」の文字は省略して表示されます。（「大字○○」や「字○○」は「○○」と表示されます。）
  - ・**○○主要部** にタッチすると、広域図が表示されます。
  - ・**番地指定** にタッチし、番地を入力した後 **検索** にタッチすると、該当する住所付近の地図が表示されます。

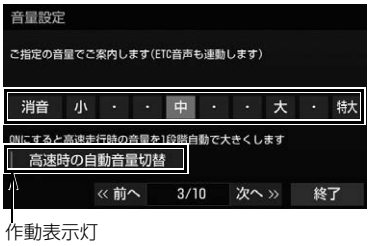
4-2 **セット** にタッチ。

5 **次へ»** にタッチ。

6 案内音量を設定する。
設定したい音量を選択する。

- 音声を OFF にするとき
  ➡ **消音** にタッチ。

- **高速時の自動音量切替** を ON に設定すると、車速が約 80km/h 以上になったときにナビの音声案内の音量が自動的に 1 段階上がるようにすることができます。車速が約 70km/h 以下になると、元の音量に復帰します。

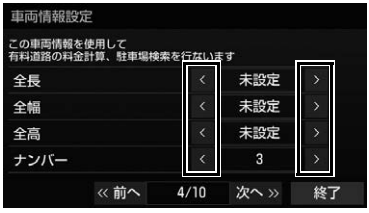


- **大** を超える音量に設定した場合、メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、音量を確認できます。

7 **次へ»** にタッチ。

8 車両情報を設定する。
> または **<** にタッチして設定する。

- 目的地が設定されていると設定できません。
- 設定した車両情報は、駐車場情報や料金情報へ反映されます。
- **>** ：寸法を大きくする、またはナンバープレートの分類番号を選択する。
- **<** ：寸法を小さくする、またはナンバープレートの分類番号を選択する。



9 **次へ»** にタッチ。

10 テーマを設定する。
ピュアホワイト または
ダークネイビー にタッチ。

11 次へ » にタッチ。

12 標準・かんたんモード画面を設定する。（→ P.26）
標準 または かんたん にタッチ。

13 次へ » にタッチ。

14 地図表示カスタマイズを設定する。
「地図色」、「ルート色」、「自車マーク」、「文字サイズ」 にタッチして、設定する。

- 「地図色」：地図の表示色を フレッシュ、ナチュラル、スタイリッシュ、クッキリ、カラフル の中から選ぶ。
- 「ルート色」：ルートの表示色を青色、緑色、赤色、水色、青 / 白の中から選ぶ。
- 「自車マーク」：自車位置マークの または にタッチ。
- 「文字サイズ」：地図上に表示される地名などの文字サイズを 大、中、小 の中から選ぶ。

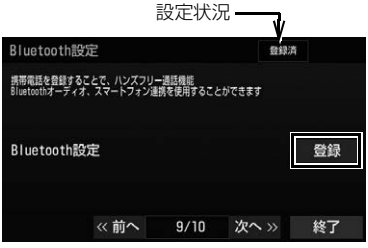
15 次へ » にタッチ。

16 エコ機能の燃費を設定する。（→ P.166）

- エコ機能の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

17 次へ » にタッチ。

18 Bluetooth の設定をする。
登録 にタッチし、機器登録画面に表示される案内にしたがって、携帯電話本体を操作する。



- 画面右上に設定状況が表示されます。
- 他の Bluetooth 機器が接続されている場合は、メッセージが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。
- 携帯電話側の登録操作は、必ずこの機器登録画面を表示させて行ってください。

● 中止するとき

➡ 中止 にタッチ。

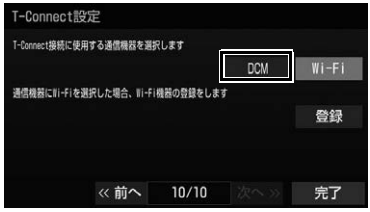
● 接続が完了するとメッセージが表示され、携帯電話の登録が完了します。

19 次へ » にタッチ。

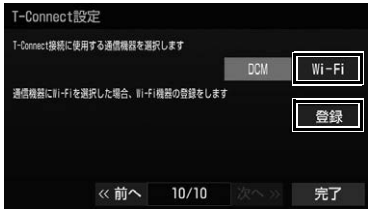
20 T-Connect の設定をする。

● T-Connect 接続に使用する通信機器を選択します。

● DCM に設定する場合、DCM にタッチ。



● Wi-Fi® に設定する場合は、Wi-Fi → 登録 の順にタッチして登録する。



・ 次の方法から Wi-Fi® 機器の接続または設定をします。

作動表示灯

項目	ページ
Wi-Fi® を ON ／ OFF する	578
利用できるネットワークから Wi-Fi® 接続する	578
簡単設定から Wi-Fi® 接続する	578
Wi-Fi® テザリング対応スマートフォンで Wi-Fi® 接続を行う場合	579
Wi-Fi® 詳細設定を変更する	580

21 完了 にタッチ。

22 はい にタッチ。

（知 識）

- QUICK SETUP 画面の 設定しない は、セキュリティが設定されていないと表示されません。
- 表示される内容や項目は、車種や接続機器によって異なります。
- ≪ 前へ にタッチすると、前の画面に戻ることができます。
- 設定の途中で本体のスイッチにタッチして他の画面に切り替えた場合、そこまでの設定が反映されます。次回起動時に、QUICK SETUP 画面が再度表示されます。
- 設定の途中で 終了 → はい の順にタッチした場合、そこまでの設定が反映されます。次回起動時には、QUICK SETUP 画面は表示されません。
- QUICK SETUP は、ナビ詳細設定からも操作することができます。（→ P.157）
- DCM を接続している場合、Wi-Fi® を選択することも可能です。

1. セキュリティを設定する

セキュリティの設定

セキュリティ機能を作動させると、車両のバッテリー<補機バッテリー>ターミナルをはずした場合、本機がロックされ操作することができません。セキュリティの作動中は、作動インジケータを点滅させて、盗難を抑止することができます。

また、同梱されているシリアル No. ラベルを保管しておくと、盗難などにあった場合、本機に表示されるシリアルナンバーと照合することができます。

お車を手放すときは、パスワードの登録を解除（セキュリティを停止）してください。（→ P.38）

セキュリティを作動させる

パスワードのヒントとパスワードを登録すると、セキュリティを作動させることができます。

知 識

- パスワードのヒントとパスワードは、全角と半角、大文字と小文字を区別します。また、パスワードとヒントは同じ文言に設定することはできません。
- 登録したパスワードは忘れないよう控えておいてください。ロックを解除するときに必要です。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定

2 セキュリティ設定 にタッチ。

3 セキュリティ機能の 設定 にタッチ。

- パスワードを登録している場合、設定 → はい の順にタッチするとパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力すると、新しいパスワードを登録することができます。

4 マルチワードで設定 または 固定文より設定 にタッチ。

- マルチワードで設定 …パスワードのヒントを任意に入力する
- 固定文より設定 …パスワードのヒントを 5 つの中から選ぶ

5 パスワードのヒントを登録する。

- 手順**4**で マルチワードで設定 にタッチした場合
  ➡ ヒントを入力する。（→ P.39）
- 手順**4**で 固定文より設定 にタッチした場合
  ➡ ヒントにタッチする。

6 パスワードを入力する。（→ P.39）

7 完了 にタッチ。

セキュリティのロックを解除する

車両のバッテリー<補機バッテリー>ターミナルをはずして本機がロックされ操作できなくなった場合、登録したパスワードを入力すると、操作できるようになります。

1 パスワードを入力する。(→ P.39)

- 車両の識別情報を利用している車種で、車両との照合が一致した場合
  ➡ 手順 **2** へ（パスワードを入力する必要はありません。）

2 了解 にタッチ。

知 識

- パスワードを忘れた場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 車両の識別情報を利用している車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

作動インジケータを点滅させる

車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にした場合、作動インジケータを点滅させることができます。

知 識

- 作動インジケータを点滅させる前に、セキュリティを設定します。(→ P.37)

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定 → セキュリティ設定

2 インジケータの ON にタッチ。

- OFF にタッチすると、作動インジケータは点滅しません。

セキュリティを停止する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定 → セキュリティ設定

2 セキュリティ機能の 解除 にタッチ。

3 はい にタッチ。

4 パスワードを入力する。(→ P.39)

1. 文字を入力する

本機では、文字入力が必要になると、文字入力画面が表示されます。

- 各スイッチの働きは、次のようになっています。
  - ・特に説明のないスイッチは、各入力時とも共通です。
  - ・ナビで文字入力するときは、専用の文字入力画面を使用します。
    - ➡「読みまたは名称で地図を検索する」（→ P.97）
    - ➡「メモリ地点名称を入力する」（→ P.139）
- ここではT-Connectの文字入力画面で説明しています。

▶画面例（かな・漢字入力）

スイッチ	機能
定型	定型文入力画面を表示し、定型文を入力する。
履歴	履歴入力画面を表示し、前回までに入力した文字列の履歴から入力する。
文字入力	各種文字を入力する。
カーソル移動	カーソルを移動する。 • 続けてタッチすると、連続してカーソルが移動します。 • 未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動します。 確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。
修正	文字を消去する。 • カーソルが文字の右にあるときは、カーソルの左の文字を消去します。 続けてタッチすると、カーソルの位置から 1 文字ずつ順に消去します。
改行	改行する。
スペース	カーソルの左に空白を入力する。
完了	文字入力を終了する。 文字入力画面が表示される前の画面に戻り、文字が入力される。
無変換	かな入力時、ひらがなのままで確定する。
変換	かな入力時、漢字に変換する。 • そのままの状態でよいとき ➡ 全確定 にタッチ。 • 変換範囲のみ変換するとき ➡ 希望の候補にタッチ。 • 変換範囲（文節）が間違っているとき ➡ < ・ > にタッチして変換範囲を修正する。 • 特定の文字を漢字に変換したいとき ➡ 単漢字 にタッチして < ・ > で変換範囲を修正し、希望の候補にタッチ。
入力モード切り替え	文字の入力モードを切り替える。 かな : ひらがな、漢字を入力 カナ : カタカナを入力 英数字 : アルファベット、数字を入力 数記号 : 数字、記号を入力
全角／半角	半角入力と全角入力を切り替える。

スイッチ	機能
大文字／小文字	大文字入力と小文字入力を切り替える。
∧ 1/2 ∨（ページ切り替え）	ページを切り替える。

知 識

- 表示される状況により、文字入力画面の意匠が異なったり、入力方法が限定されたりします。

予測変換候補を表示する

オンライン詳細設定の予測変換候補の表示で「する」を選択していると、予測変換をすることができます。文字を入力すると、未確定文字の後に続く文字を予測して、読みの先頭部分が一致する予測変換候補を画面左下に表示します。

1 かな入力状態で、文字を 1 文字以上入力する。

2 予測変換候補にタッチ。

- 表示された候補でよいとき
  ➡ 予測変換候補にタッチ。
- 希望の候補でないとき
  ➡ ∨ にタッチして希望の候補を表示させ、候補にタッチ。

知 識

- 予測変換候補は最大 5 候補まで表示されます。

2. 文字入力の設定を変更する

設定・編集のオンライン詳細設定画面（→ P.569）から、次の設定をすることができます。

項目	ページ
単語の編集	41
定型文の修正	42
入力履歴の削除	42
予測変換候補の表示設定	42

- 単語登録は名称検索（→ P.97）、電話帳登録（→ P.476）、T-Connect の文字入力などで使用できます。
- 定型文は T-Connect 機能のメールで使用できます。

単語を編集する

読みと単語を指定して、本機の辞書に変換候補対象となる単語を追加することができます。また、追加した単語を修正・削除することができます。

単語を追加する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン → オンライン詳細設定 → 単語編集

2 追加 にタッチ。

3 読み および 単語 にタッチして、それぞれ入力する。（→ P.39）

4 完了 にタッチ。

- 単語の最大登録数を超えたときは、登録済みの不要な単語を削除してください。（→ P.41）

単語を修正する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン → オンライン詳細設定 → 単語編集 → 修正

2 修正したい読みにタッチ。

3 読み または 単語 にタッチして修正する。（→ P.39）

4 完了 にタッチ。

- 引き続き単語の修正をするとき
  ➡ 手順 **2** ～ **4** の操作を繰り返す。

単語を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン → オンライン詳細設定 → 単語編集 → 削除

2 削除したい読みにタッチ。

- すべての単語を選択するとき
  ➡ 全選択 にタッチ。

3 削除 にタッチ。

4 はい にタッチ。

定型文を修正する

定型文は、お好みにより内容を変更することができます。
ただし、新規に追加することはできません。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン → オンライン詳細設定 → 定型文修正

2 修正したい定型文にタッチ。

3 定型文を修正する。（→ P.39）

- 引き続き定型文の修正をするとき
  ➡ 手順 **2**～ **3** の操作を繰り返す。

入力履歴を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン → オンライン詳細設定 → 入力履歴削除

2 削除したい履歴にタッチ。

- すべての履歴を削除するとき
  ➡ 全削除 にタッチ。

3 はい にタッチ。

予測変換候補の表示設定を変更する

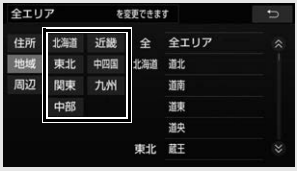
文字入力画面を使用するとき、予測変換候補の表示／非表示を選択できます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン → オンライン詳細設定

2 予測変換候補表示 にタッチし、「する」/「しない」を設定する。

1. 複数の候補から項目を選ぶ

地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補がないときは、リストを切り替え、希望の候補を選択します。

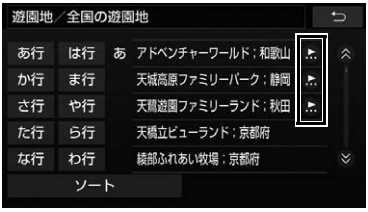
スイッチ	機能
	行ごとにリストが切り替わります。 ＜例＞ あ行 にタッチするとあ行のリストに切り替わります。
	続けて あ、い、う、え、お にタッチすると、音ごとにリストが切り替わります。
	マークの種類ごとにリストが切り替わります。
	タッチするごとに１ページずつリストが切り替わります。
	タッチし続けている間、最初または最後のページになるまでリストが切り替わります。
	種類ごとにリストが切り替わります。
	地域ごとにリストが切り替わります。
	施設項目ごとにリストが切り替わります。

スイッチ	機能
	全選択 にタッチすると、リストのすべての項目を選択します。
	全選択解除 にタッチすると、リストのすべての項目を解除します。
	全解除 にタッチすると、リストのすべての項目を解除します。
	選択解除 にタッチすると、選択してある項目を解除します。

文字の表示範囲を変更する

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、すべて表示されないことがあります。
次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。

1 にタッチ。



- 先頭に戻すとき

  ➡ にタッチ。

1. 初期設定をする

自宅を登録する

自宅を登録すると、目的地設定で 自宅に帰る にタッチするだけで、自宅までのルート探索ができます。

例として、自宅「東京都文京区後楽1丁目4－18」の地図を住所から呼び出し、登録します。

1 MENU ▶ 設定・編集

2 メモリ地点登録・編集 にタッチ。

3 メモリ地点登録・編集の 自宅 にタッチ。

4 登録 にタッチ。

5 地図の呼び出す方法を選ぶ。
ここでは、住所 にタッチ。

6 都道府県名から順に、住所を選択する。まず、東京23区 にタッチ。

7 文京区 にタッチ。

8 後楽 にタッチ。

9 1丁目 にタッチ。

10 番地指定 にタッチ。

11 番地を入力する。

12 検索 にタッチ。

13 ∧(8方向）または地図にタッチして、自宅の位置に ⊕ を合わせる。

14 セット にタッチ。

15 完了 にタッチ。

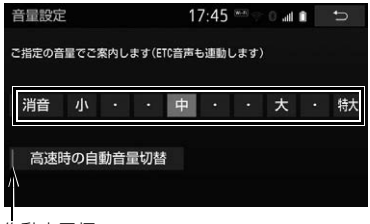
(知 識)

- 住所以外の方法でも、地図を呼び出すことができます。(→ P.92)

音声案内の音量を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 音量設定

2 設定したい音量にタッチ。



作動表示灯

- 音声を OFF にするとき
  ➡ 消音 にタッチ。
- 大 を超える音量に設定した場合、メッセージが表示されます。はい にタッチすると、音量を確認できます。
- 高速走行時、自動的にナビ案内音声の音量を大きくするとき
  ➡ 高速時の自動音量切替 にタッチ。

知 識

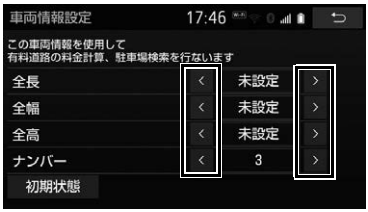
- 高速走行時、車速が約 80km/h 以上になると、設定した音声案内の音量が自動的に上がります。（車速が約 70km/h 以下になると、元の音量に復帰します。）

車両情報の設定をする

お車の仕様（サイズなど）を登録しておくと、登録した情報をもとに料金案内の表示や提携駐車場の検索をします。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → 車両情報設定

2 ＞ または ＜ にタッチし、車両情報を設定する。



- 寸法を設定し、⮌ にタッチ。

＞ ：寸法を大きくする、またはナンバープレートの分類番号を選択する。

＜ ：寸法を小さくする、またはナンバープレートの分類番号を選択する。

- 初期状態 → はい の順にタッチすると、初期設定の状態（寸法が設定されていない状態）に戻ります。

知 識

- 目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。
- 車両寸法については、車検証をご覧ください。

2. メンテナンス時期を案内する

メンテナンス機能とは、GPS（→P.172）の時計機能と車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換・各種点検などのイベント時期の案内を行う機能です。

知 識

- メンテナンスの内容や時期については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 車の使用状況により、設定した時期と実際に案内が行われる時期は誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離は誤差が生じることがあります。

メンテナンスの案内表示について

設定した日をすぎる、または設定した距離を走行すると、本機を起動する際に、同時に 4 つまで案内されます。

- 5つ以上の項目があるときは、★が表示されます。
  - ・任意文字入力項目のときは、入力した名称（→P.48）を表示します。
- 次回表示しない にタッチすると、次にナビゲーション画面が表示されるときは、案内されません。

メンテナンス項目を設定する

メンテナンスを知らせる時期／距離を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 項目設定

2 設定する項目にタッチ。

- パーソナル項目（パーソナル項目）にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。（→P.48）

3 お知らせ日 または お知らせ距離 にタッチ。

4 日付・距離を入力し、完了 にタッチ。

- 間違えたとき
  ➡ ← にタッチ。
- お知らせ日入力画面で、一桁の日付を入力するときは、月 ・ 日 にタッチして入力することができます。
  - ・2 ～ 9 月と 4 ～ 9 日は 月 ・ 日 にタッチして入力する必要はありません。
    〈例〉2019 年 1 月 2 日と入力するとき
    1 ・ 9 ・ 1 ・ 月 ・ 2 ・ 日 または 1 ・ 9 ・ 0 ・ 1 ・ 0 ・ 2 の順にタッチします。

(知 識)

- メンテナンス時期の設定をしても、メンテナンスの自動通知を設定しないと、メンテナンス案内は行われません。(→ P.48)
- 未設定の項目は エンジンオイル交換 (白色)、すでに設定されている項目は エンジンオイル交換 (緑色)、メンテナンス案内中の項目は エンジンオイル交換 (茶色) で表示されます。

自動通知(メンテナンス案内)の設定をする

自動通知を設定すると、時期を設定した項目の案内が行われます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 項目設定

2 自動通知 にタッチ。

作動表示灯

- 解除するとき
  ➡ 自動通知 にタッチ。

パーソナル項目を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 項目設定 → パーソナル項目

2 設定するマークにタッチ。

- 任意文字入力 にタッチしたときは、名称を入力します。(→ P.39)

3 お知らせ日 または お知らせ距離 にタッチ。

- 「メンテナンスを知らせる時期/距離を設定する」(→ P.47) 手順 **4** へ。

メンテナンス設定を消去する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 項目設定

2 設定を消去する項目にタッチ。

- すべての設定を消去したいとき
  ➡ 設定全消去 にタッチし、はい にタッチ。

3 設定消去 にタッチ。

4 はい にタッチ。

メンテナンス設定を個別に更新する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 項目設定

2 設定を更新する項目にタッチ。

3 自動更新 にタッチ。

4 はい にタッチ。

- 距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。
- パーソナル項目の 免許証更新 にタッチしたときは、3年後 または 5年後 にタッチします。

- すべて更新するとき
  ➡「メンテナンス設定をすべて更新する」（→ P.49）

知 識

- 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日と現在の日、または案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。（項目により、計算方法は異なります。）

■メンテナンス設定をすべて更新する

1 自動全更新 にタッチ。

2 はい にタッチ。

販売店の設定をする

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 項目設定

2 販売店設定 にタッチ。

3 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する。（→ P.95、P.105）

4 セット にタッチ。

- ⊕の位置に販売店が設定されます。
- 「施設で地図を検索する」（→ P.100）でトヨタ・ダイハツ販売店を呼び出し、そのまま位置を調整せずに セット にタッチすると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

販売店の情報を修正・入力する

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊メンテナンス⌋ → 項目設定 → 販売店設定

2 修正／入力をする。

- 修正・入力方法については以下のページをご覧ください。

項目	ページ
販売店	139
スタッフ	139
位置	140
電話番号	140

- 販売店に行く にタッチすると、販売店の地図が表示されます。
- 販売店を消去したいとき
  ➡ 販売店の消去 にタッチし、はい にタッチ。

車両警告灯表示について

車両の異常時に警告灯名や警告内容をナビ画面に表示することができます。

車両警告灯の自動通知の設定をすることができます。（→ P.51）

知 識

- 車両警告灯表示の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 車両警告灯表示は、メーター内のすべての警告灯を表示するものではありません。

車両警告灯を表示する

自動で表示する

車両警告灯の自動通知設定をしているときは、メーター内の警告灯が点灯したとき、自動で警告灯をナビ画面に表示することができます。

1 表示されている警告灯にタッチ。

- 警告灯名や警告内容が表示されます。
  ・表示を解除するとき
  ➡ 表示消 にタッチ。
- 購入販売店情報 にタッチすると、設定した販売店（→ P.50）の施設情報を表示することができます。
- 販売店検索 にタッチすると、周辺施設検索画面が表示され、現在地周辺の販売店を検索することができます。（→ P.85）

手動で表示する

車両警告灯の自動通知設定をしていないときは、次の手順で表示することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「メンテナンス」 → 車両警告表示

2 表示されている警告灯にタッチ。

- 警告灯名や警告内容が表示されます。

自動通知の設定

メーター内の警告灯が点灯したときに自動でその警告灯がナビ画面に表示されるように設定することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「メンテナンス」 → 車両警告表示

2 自動通知 にタッチ。

作動表示灯

- 自動通知の設定を解除するとき
  - ➡ メッセージの内容を確認し、了解 にタッチ。

3. Bluetooth® 機器を初期登録する

ハンズフリー機能や Bluetooth オーディオ機能、スマートフォンナビ連携機能、SmartDeviceLink ™ などを使用するためには、携帯電話／ポータブル機を本機に初期登録する必要があります。初期登録完了後は、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にするたびに自動で Bluetooth 接続します。

※ 本書では一部を除き、携帯電話・スマートフォンを「携帯電話」という表現で説明しています。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth

2 機器登録・接続 にタッチ。

3 追加 にタッチ。

- 他の Bluetooth 機器が接続されている場合は、メッセージが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。

4 機器登録画面が表示されたら、携帯電話／ポータブル機から Bluetooth 登録する。

- 携帯電話側／ポータブル機側の登録操作は、必ずこの機器登録画面を表示させて行ってください。
- 携帯電話／ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にしてください。
- 中止するとき
  ➡ 中止 にタッチ。

5 携帯電話本体／ポータブル機本体で、本機に表示されている機器名称を選択し、PIN コードを入力する。

- 携帯電話本体／ポータブル機側の Bluetooth 登録画面に、本機に表示されている機器名称が表示されるので、その表示スイッチを選択してください。
  接続される機器により、自動接続される場合と、PIN コード（パスキー）入力が必要な場合があります。PIN コード（パスキー）入力と聞かれた場合は、本機にある PIN コード（例：0000）を入力してください。
- 携帯電話／ポータブル機の機種により、PIN コード入力後に携帯電話／ポータブル機の操作が必要になる場合があります。
- SSP (Secure Simple Pairing)に対応している携帯電話は、PIN コードを入力する必要はありません。ただし、機種によっては携帯電話に確認メッセージが表示される場合があります。表示にしたがって操作してください。

● ポータブル機で PIN コード入力できないとき
➡ 本機の PIN コードをポータブル機の PIN コードに変更し（→ P.308）操作をやりなおしてください。

6 初期登録が完了すると、メッセージが表示されます。

●「Bluetooth機器からの接続を待ちましたが、完了していません 車載機からの接続に切り替えます」のメッセージが表示されたとき
➡ 了解 または 中止 にタッチ。
・ 了解 にタッチすると、Bluetooth 接続を開始します。接続が完了すると、メッセージが表示され、ハンズフリーや Bluetooth オーディオが使用できます。
・ 中止 にタッチしたときは、Bluetooth 接続をしません。スマートフォンやポータブル機などでハンズフリーや Bluetooth オーディオを使用するには、Bluetooth 接続が必要になります。（→ P.202、P.304、P.451）

● 失敗画面が表示されたとき
➡ 画面の案内にしたがい、操作してください。

● HOME 画面に「電話」を設定（→ P.23）すると、HOME 画面の 電話機登録 からも操作できます。

知 識

● 接続する機器によっては、機器名称の表示など本機と一致しない場合があります。
● 携帯電話を Bluetooth オーディオとしても使用したい場合は、同時に登録できます。
● Bluetooth 機器は、5 台まで本機に登録できます。
● Bluetooth 機器側の操作は、Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。
● 複数の Bluetooth 機器を使用する場合は、Bluetooth 機器の数だけ登録を繰り返します。

知 識

● PIN コードとは、Bluetooth 機器を本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。（→ P.308、P.484）
● 一番新しく登録した Bluetooth 機器が本機で使用する Bluetooth 機器として選択されます。
● 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
● HFP に対応していない携帯電話は、本機に携帯電話として登録ができません。また、そのような携帯電話では、OPP、PBAP、SPP のみのサービスは利用できません。HFP などのプロファイルの意味については、「Bluetooth 対応プロファイルについて」（→ P.614）をご覧ください。
● 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
● 携帯電話やポータブル機を接続しているときに、他の機器を登録する場合、オーディオ再生しているポータブル機、または携帯電話の接続を切断します。
● 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、本機側の登録が完了しない場合があります。
その場合、携帯電話側から Bluetooth の接続を行ってください。
● エンジン＜ハイブリッドシステム＞始動時、登録済みの携帯電話が車内にない場合は携帯電話忘れ警告メッセージが表示されます。メッセージにタッチすると、メッセージは解除され音声を停止できます。

1. 画面の調整・設定を変更する

ディスプレイの角度調整

1 メニュー画面（→ P.25）→ ▲TILT・EJECT

● 次の手順でも操作できます。
- HOME 画面（→ P.23）→ ▲TILT・EJECT ※
- ショートカット＋コントロール画面（→ P.28）→ ▲TILT・EJECT
- オーディオソース選択画面（→ P.213）→ ▲
- 各オーディオ操作画面（→ P.211）→ ▲

※ HOME 画面設定時（→ P.23）

2 TILT ▼ または TILT ▲ にタッチ。

● TILT ▼ ：ディスプレイを傾ける

● TILT ▲ ：傾きを戻す
- タッチするごとに 1 段階（5°）ずつ傾きます。最大 6 段階（30°）まで傾けることができます。

知 識

● 車種により傾く段階は異なります。

● ディスプレイ部を傾けた状態で車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にすると、自動で傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ ON モード＞にした場合、元の傾いた状態に戻ります。

画質調整画面を表示する

1 メニュー画面（→ P.25）→ 画質調整 またはショートカット＋コントロール画面（→ P.28）→ 画質調整

▶ナビゲーション画面

作動表示灯

▶DVD などの映像画面

DVD などの映像表示中は、視聴設定 → 画質調整 の順にタッチしても表示させることができます。

▶カメラ画面

▶ドライブレコーダーの映像画面
ドライブレコーダーの映像表示中は、映像操作画面で 画質調整 にタッチしても表示させることができます。

知 識

- 次の画面は、メニュー画面から設定できません。
  - DVD などの映像画面
  - カメラ画面
  - ドライブレコーダーの映像画面

画質を調整する

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整できます。

1 **メニュー画面（→P.25）→ 画質調整 またはショートカット＋コントロール画面（→P.28）→ 画質調整**

2 ＞ または ＜ にタッチし、調整したい項目を切り替える。

3 画質を調整する。

- 画質調整では、次の項目を調整することができます。

項目	スイッチ	機能
コントラスト	強	強くする
	弱	弱くする
明るさ	明	明るくする
	暗	暗くする
色合い	緑	緑色を強くする
	赤	赤色を強くする
色の濃さ	濃	色を濃くする
	淡	色を淡くする

- 色合い、色の濃さは、DVD やドライブレコーダーなどの映像を表示している時に表示できます。
  ナビゲーション画面やオーディオ操作画面などは、コントラスト、色の明るさのみ調整できます。

知 識

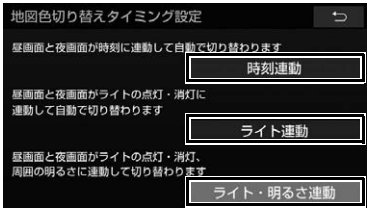
- 昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

昼画表示・夜画表示の切り替え

昼画表示と夜画表示を切り替えるタイミングを選択することができます。

1 **MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → 地図表示設定 → 地図色切り替えタイミング設定**

2 時刻連動 ・ ライト連動 ・ ライト・明るさ連動 のいずれかにタッチ。



- 時刻連動：時刻に合わせて表示を切り替えます。
- ライト連動：ライトの点灯・消灯に合わせて表示を切り替えます。
- ライト・明るさ連動：ライトの点灯・消灯や周囲の明るさに合わせて表示を切り替えます。

知 識

- ライト・明るさ連動 の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

夜画表示のときに昼画表示にする

1 メニュー画面（→ P.25）→ 画質調整 またはショートカット＋コントロール画面（→ P.28）→ 画質調整

2 夜画表示のとき、昼画 にタッチ。

- 選択するごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

知 識

- 昼画表示のときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 地図色切り替えタイミング設定（→ P.55）の設定により、昼画 の表示は次のようになります。
  - ・「時刻連動」設定時：時刻が夜と判断されているときに表示。
  - ・「ライト連動」設定時：ライト点灯時に表示。
  - ・「ライト・明るさ連動」設定時：ライト点灯と周囲の明るさで夜と判断されているときに表示。

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

1 メニュー画面（→ P.25）→ 画質調整 またはショートカット＋コントロール画面（→ P.28）→ 画質調整

2 画面消 にタッチ。

- 画面を表示させるとき
  - ➡ HOME・MAP・MENU・AUDIO のいずれかを押す。

知 識

- 画面を消した状態でも MENU を1秒押すと、ショートカット＋コントロール画面を表示することができます。
- 画面を消しても、GPS による現在地測位は継続されています。

1. 本機の設定を変更する

共通設定画面について

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定

2 各項目を設定する。

- 共通設定画面から、次の項目を設定できます。

HOME 画面カスタマイズ

HOME 画面に表示される機能やレイアウトを変更できます。(→ P.23)

アニメーション

画面が切り替わるとき、動きのある表現にする／しないを設定できます。

操作音設定

タッチスイッチにタッチしたときなどの応答音を消音、または 3 種類の中から選択できます。

操作画面継続表示

「する」に設定すると、オーディオ操作画面を継続して表示します。「しない」に設定すると、オーディオ画面を表示したまま約 20 秒操作しなかった場合、自動で元の画面に戻ります。

標準・かんたんモード画面切替

標準モードとかんたんモードの画面選択ができます。(→ P.26)

テーマ切替

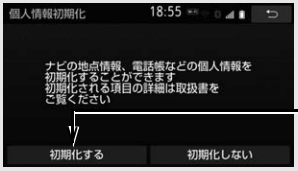
画面のテーマを変更することができます。

スタートアップ画像

本機の電源を入れたときに表示される画面をお好みに合わせて切り替えることができます。(→ P.63)

個人情報初期化

本機の設定や保存されている情報を初期化することができます。(→ P.59)



初期化する → はい → OK の順にタッチ。

ソフトウェア更新設定

ソフトウェア更新の設定を変更します。(→ P.363)

オープンソフトウェア情報

本製品に使用される第三者ソフトウェアに関するお知らせを表示します。(該当する場合、ソフトウェアの入手方法のご案内も含みます。)

セキュリティ設定

セキュリティの設定を行います。(→ P.37)

ヘルプネットのエアバッグ連動非対応通知

車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にしたとき、「本機は、エアバッグに連動し、自動的に緊急通報する機能はありません」のメッセージを表示する／しないを設定できます。

ヘルプネットのサービス開始操作未実施通知 ※

車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にしたとき、「サービス開始操作を実施していないため、ヘルプネット機能が使用できません」のメッセージを表示する／しないを設定できます。

時計表示

時計表示のする／しないを設定できます。

ショートカット登録・編集

ショートカットスイッチの登録、編集を行います。(→ P.28)

※ 販売店装着オプションの DCM、または標準装備の DCM 非装着時のみ

(知 識)

● 操作画面継続表示について

・ ハンズフリーの着信時などの割り込み画面が表示されると、割り込み画面の解除後に、元の画面に戻らないことがあります。

個人情報の初期化について

本機の設定や保存されている情報を初期化することができます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。

- 次の情報を削除、または初期設定の状態にすることができます。

項目	情報
文字入力	入力履歴
	追加した単語
	編集した定型文
	文字入力関連の設定・編集項目
ナビゲーション	走行軌跡
	目的地履歴
	メモリ地点
	迂回メモリ地点
	安全・快適走行設定の項目 ※1
	メンテナンス機能の各種設定項目
	メンテナンス自動通知の設定
	販売店の設定
	エコ機能の設定および履歴 ※2
	ショートカット項目
	Web 検索の設定情報
	赤信号案内や一時停止案内の設定
	ルート学習結果
	車両情報設定
オーディオ&ビジュアル	ラジオ、デジタルテレビでプリセットスイッチに記憶した周波数およびチャンネル情報など
	重低音カット設定
	ポータブル機の登録情報
	後席側のオーディオソース設定
	スタートアップ画像の設定
ハンズフリー	電話帳データ
	発信または着信の履歴データ
	ワンタッチダイヤル
	Bluetooth 電話機の登録情報
	ハンズフリー関連の設定・編集項目
T-Connect	T-Connect 画面の情報確認
	G メモリ
	T-Connect コンテンツで取得した TC 情報マーク
	メインメニュー画面にトヨタスマートセンターが追加したスイッチ
	ブックマーク
	閲覧履歴
	My リクエストのメニュー
	T-Connect 関連の設定・編集項目
SmartDeviceLink ™	SmartDeviceLink™ の設定

※1 踏切案内、合流案内、カーブ案内、レーン警告、事故多発地点案内の設定は初期化されません。

※2 対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

知 識

- 一度初期化されたデータは元に戻せません。十分注意して初期化してください。
- セキュリティの作動中（→ P.37）は個人情報の初期化ができません。セキュリティを停止（→ P.38）してから個人情報の初期化を行ってください。
- 本機を他人へ譲渡するときは、個人情報の初期化とパスワードの解除、セキュリティのロックの解除を必ず行ってください。

車両連携設定画面について

1 MENU ▶ 設定・編集 → 運転支援 → 車両連携設定

2 各項目を設定する。

● 車両連携設定画面から、次の項目を設定できます。

プリクラッシュセーフティシステム音声通知

プリクラッシュセーフティシステムの作動時に、音声で補足案内する / しないを設定できます。

インテリジェントクリアランスソナー音声通知

インテリジェントクリアランスソナーの作動時に、音声で補足案内する / しないを設定できます。

レーン逸脱音声通知

車線逸脱警報機能の作動時に、音声で補足案内する / しないを設定できます。

日没時のライト点灯お知らせ

日没時にライトが消灯しているとき、音声で案内する / しないを設定できます。

夜間ライト非点灯お知らせ

夜間にライトが消灯して走行しているとき、音声で案内する / しないを設定できます。

トンネル進入前の窓閉め忘れ通知

ルート案内中にウィンドウガラスを開けた状態でトンネルに進入しようとしたとき、音声で案内する / しないを設定できます。

エアコン操作時の窓閉め忘れ通知

ウィンドウガラスを開けた状態でエアコンを ON にしたとき、音声で案内する / しないを設定できます。

⚠ 注意

● 「プリクラッシュセーフティシステム音声通知」、「インテリジェントクリアランスソナー音声通知」、「レーン逸脱音声通知」はそれぞれのシステムの作動状況を補足で説明する機能です。運転手は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。

(知 識)

- 車種や装備の有無により設定できる項目は異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 車両連携設定画面で設定した各案内については、条件によって発話できないことがあります。
- 車両システム名称は車両によって変更になる場合があります。
- トンネル進入前の窓閉め忘れ通知について
  - トンネルの情報は国土交通省 国土地理院発行の地形図のデータを使用しています。地図データが古い場合は、正しい場所で案内されない場合があります。
- エアコン操作時の窓閉め忘れ通知について
  - 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッションON モード< ON モード>後 120 秒間は案内されません。

2. スタートアップ画像の設定をする

本機の電源を入れたときに表示される画面をお好みに合わせて切り替えることができます。

⚠ 警告

- 画像は、安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてご覧ください。安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ画像をご覧になることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定 → スタートアップ画像

2 1 ・ 2 ・ 3 ・ カスタム のいずれかにタッチ。

- カスタム は画像が登録してあるときのみタッチできます。

カスタムへの画像の登録

Audio SD カードに記録されている画像データを取り込み、カスタムに登録することができます。本機で使用できる Audio SD カードや画像データについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.603、P.613）をご覧ください。

1 Audio SD カードを挿入（→ P.244）→ MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定 → スタートアップ画像

2 カスタムの変更 にタッチ。

3 設定したい画像にタッチ。

- リストから画像を探したいとき
  ➡ リスト →設定したいファイル名→画像の順にタッチ。

4 スタートアップ画像設定 にタッチ。

● 別の画像を見たいとき

➡ < または > にタッチ。

5 完了 にタッチ。

● 選択した画像のプレビュー画面を見たいとき

➡ プレビュー にタッチ。

・プレビュー画面を解除するとき

➡ 3 秒経過または画像にタッチ。

知 識

● Audio SDカード再生時、カスタムの変更 にタッチすると、オーディオは OFF になります。

● CD 録音再生中（→ P.247）または本機で録音した音楽再生時（→ P.251）は カスタムの変更 にタッチできません。

1. 故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶特有の現象です。	故障ではありません。 そのままご使用ください。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整が適正でないため。	コントラスト、明るさを調整してください。（→ P.55）
車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ ON モード＞にしたあと、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくすると安定します。
地図が表示されない。	地図 SD カードが正しく挿入されていないため。	地図 SD カードを正しく挿入してください。（→ P.17）
タッチパネルが効かない、ずれる、反応が悪い。	タッチパネルに、保護シートを貼っているため。	保護シートを貼っている場合は、はがしてください。
スタートアップ画像変更用の画像の読み込みができない。	読み込み可能な SD カードではない。 画像データが規定外。	SD カードおよび画像データをご確認ください。（→ P.603、P.613）
車両情報を変更できない。 車両情報を設定できない。	目的地が設定されている。	目的地が設定されているときは、車両情報を設定できません。目的地を消去してから設定してください。
車両情報設定の「変更する」スイッチが操作できない。		

2

ナビゲーション

1 ナビをお使いになる前に

1. はじめに.....68

2 地図の見かた

1. ナビゲーション画面の見かた.....69
2. 地図画面を操作する 71
3. ルート案内をする 72
4. 目的地案内中の
現在地画面の見かた.....74

3 地図画面を操作する

1. 地図を表示する 75
2. 画面を分割表示する 83
3. 地図表示画面を設定する.....84
4. 高速道路・都市高速道路の表示.....89
5. 地図を呼び出す 92
6. 検索した地図を操作する.....105

4 目的地まで案内する

1. 目的地を設定して
ルートを探索する.....107
2. 目的地案内の開始 116
3. 目的地への案内について.....117
4. ルート案内中に操作する.....123
5. ルートを再探索する 124
6. ルートを変更する 126

5 地点を登録する

1. メモリ地点を登録する.....133
2. メモリ地点を
取り込み・取り出しする 142

6 ナビを使いこなす

1. 自車位置マークが
ずれているとき.....145
2. ナビの詳細を設定する.....146
3. 安全・快適走行の設定をする.....158
4. エコ機能について 165
5. GPSについて.....172
6. 知っておいて
いただきたいこと.....173

7 地図データ情報

1. 地図について.....179

8 VICS・交通情報を使う

1. VICS・交通情報の
表示について.....182

2. VICS・交通情報を活用する 185

3. VICS放送局を選択する 193

4. VICSについて 194

9 スマートフォンナビ連携

1. スマートフォン
ナビ連携について.....201

2. Bluetooth接続について 202

1. はじめに

ナビゲーションについて

目的地を設定することによって、自動的にルートが探索され、音声と画面表示による目的地案内が行われます。

知っておいていただきたいこと

- 走行するときは、実際の交通規制に必ずしたがってください。
- 安全のため、走行状態になると操作できなくなる機能があります。
- 目的地案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの参考ルートです。
  - ・必ずしも最短ルート、渋滞していないルート、早く行けるルートなどではありません。
- 道路・地名・施設情報・料金のデータは、最新状態ではないことや不備な点があることがあります。
- タイヤを交換したときは、距離の補正（自動補正）を行ってください。（→ P.145）
  - ・このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
- 自車位置マークは、必ずしも正しい位置を表示するとは限りません。
  - ・このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすことはできません。
- 実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。
  - ・人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マークがずれることがあります。

    ただし、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチング※ や GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

    「ナビの精度について」もあわせてご覧ください。（→ P.177）

※ マップマッチングとは、GPS 情報などを利用して得られた現在地の情報と、今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路に自車位置マークを表示させるシステムです。

1. ナビゲーション画面の見かた

番号	表示	機能	ページ
1	方位マーク	地図の方角を表示する。 : ノースアップ（北が上の地図） : ヘディングアップ（進行方向が上の地図） : 3D（3D の地図） • 地図向きの切り替えについて ➡「地図の向きを切り替える」	80
2	自車位置マーク	現在位置と車が向いている方角を表示する。	75
3	レーン（車線）表示	通過・分岐する交差点の車線を表示する。（地図データに情報のある交差点のみ） • 目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示されます。	—
4	時計表示	現在の時刻を表示する。	57
5	名称表示	状況により次のものを表示する。（地図データに情報のある地点のみ） • 通過・分岐する交差点の名称 • 走行している道路の名称 • 通過する IC・SA・PA の名称（高速道路を走行しているとき、かつ高速略図表示を解除しているときのみ） • 分岐する IC・JCT（ジャンクション：自動車専用道路同士の合流、分岐地点）の方面名称（高速道路を走行しているとき、かつ高速略図表示を解除しているときのみ） • 一般道方面看板	—
6	VICS タイムスタンプ	VICS・交通情報が発信されている地域で、VICS・交通情報が提供された時刻を表示する。 • ルート上に情報があるときは、情報に応じて、タイムスタンプの色が変わります。	183

番号	表示	機能	ページ
7	GPS マーク	人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに表示する。 • GPS マークが表示されているときでも、人工衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。	172
8	スケール表示	表示させている地図の縮尺を表示する。 • スケール表示について ➡「地図縮尺を切り替える」	77

(知 識)

● 本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、GPS マーク非表示、VICS 非表示の画面を使用しています。

2. 地図画面を操作する

地図に現在の車の位置を表示する

1 MAP を押す。

現在の車の位置が表示されます。

現在の位置（自車位置マーク）

地図画面の表示について

次のような表示をすることもできます。

地図の表示	ページ
スイッチを表示／非表示にする	76
地図の向きを切り替える	80
左右 2 画面で表示する	83
地図を立体的に表示する	80
地図の表示色を変える	148
市街図を表示する	81

地図を動かす

スライド操作で動かす

1 地図にタッチし、スライドまたはフリック操作をする。（→ P.76）

画面にタッチして動かす

1 地図にタッチ。

例えばここをタッチすると

タッチした位置が画面の中央に動きます。

タッチした位置

地図を拡大／縮小する

地図を拡大する

1 ⊕（拡大）にタッチ、またはピンチアウト操作（→ P.22）をする。

地図を縮小する

1 ⊖（縮小）にタッチ、またはピンチイン操作（→ P.22）をする。

3. ルート案内をする

目的地を決める

例として、「読み」から「上野動物園」を探して、目的地に設定してみましょう。

1 MENU を押す。

2 目的地 にタッチ。

3 読み にタッチ。

4-1 「うえのどうぶつえん」と入力する。

4-2 検索 にタッチ。

4-3 上野動物園／東京都台東区 にタッチ。

5 へ（8 方向）または地図にタッチして、目的地に設定したい場所に⊕を合わせる。

6 目的地セット にタッチ。

7 案内開始 にタッチ。

検索方法について

次の方法で検索することもできます。

検索方法	ページ
ジャンル検索	102
電話番号検索	101
住所検索	100
WEB 検索	555
メモリ地点検索	92
名称で検索	97
施設検索	100
TC で設定	—
マップコード検索	103
トイレのある施設検索	104

全ルート図について

案内を開始する前に、全ルート図から次のことができます。

項目	ページ
ルート情報を表示する	114
別のルートを表示する	114
探索条件を変更する	126
目的地を追加する	127
目的地の順番を並べ替える	127
目的地を消去する	128
出入口 IC（インターチェンジ）を指定・解除する	129
通過道路を指定する	130
通過道路を修正する	131
通過道路指定を解除する	131

項目	ページ
季節規制区間を迂回するルートを探索する	132
Tルート探索する	548

ルート案内を中止する

ルート案内中に寄り道をしたいときなどには、ルート案内を中止することができます。中止しても目的地は消去されません。

1 MENU を押す。

2 設定・編集 にタッチ。

3 案内中止 にタッチ。

- 案内を再開するとき
  ➡ 案内再開 にタッチ。

目的地を消去する

目的地までの道がわかるときなど、ルート案内が不要になったときには、目的地を消去することができます。

1 MENU を押す。

2 目的地 にタッチ。

3 目的地消去 にタッチ。

4 はい にタッチ。

4. 目的地案内中の現在地画面の見かた

番号	表示	機能	ページ
1	ルート表示	目的地を設定したとき、目的地までのルートを表示する。 • ルートの表示色の設定について ➡「地図表示カスタマイズ」	107、148
2	案内ポイント	目的地案内中、通過・分岐する交差点に表示する。	—
3	残距離表示	現在地から目的地までの距離を表示する。 • 表示されているルートを通っての距離を表示します。ルートからはずれたときは、直線距離を表示します。 • 残距離表示の切り替えについて ➡「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」	123
4	到着予想時刻表示／目的地方向マーク	状況により次のマークを表示する。 ■到着予想時刻表示 9:42（デジタル）（アナログ） 目的地への到着予想時刻を表示する。 • 到着予想時刻表示の切り替えについて ➡「到着予想時刻表示」、「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」 ■目的地方向マーク ルートからはずれたとき、目的地の方向を表示する。	151、123

1. 地図を表示する

現在地を表示する

地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。

現在地以外の地図表示中、または地図以外を表示中

1 MAP を押す。

● 現在地画面で、MAP を押すと、画面上部に現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。

知 識

● 初めて本機を起動したときやバッテリー<補機バッテリー>ターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。ただし、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→ P.145）

知 識

● 地図データに情報がないときは、路線名・路線番号は表示されません。
● 200m 図より広域な地図を表示しているときは、路線名・路線番号は表示されません。

緯度経度の表示

現在地の緯度や経度を確認することができます。

現在地の地図表示中

1 MAP を押す。

2 座標 にタッチ。

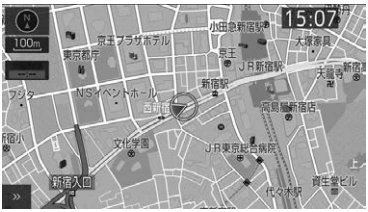
● 現在地の住所と緯度経度の座標、路線名・路線番号が表示されます。

知 識

● 緯度経度は、世界測地系と日本測地系の両方の座標が表示されます。
● 200m 図より広域な地図を表示しているときは、路線名・路線番号は表示されません。

スイッチを表示／非表示にする

地図上のスイッチ類の表示を少なくすることができます。



1 << にタッチ。

- スイッチ類を表示するとき
  ➡ >> にタッチ。

- << にタッチしたときに表示するスイッチ類を設定できます。（→ P.156）

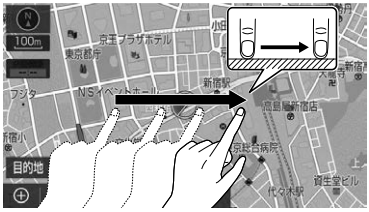
地図を動かす

スライド操作で動かす

スライドおよびフリック操作で地図を動かすことができます。

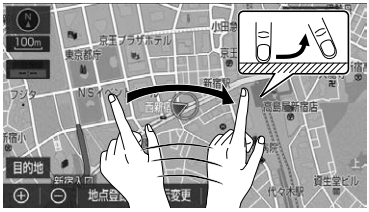
1 地図上にタッチし、スライドまたはフリック操作をする。（→ P.21）

▶スライド操作



- 指の動きに合わせて地図の中心が動きます。

▶フリック操作



- 指を払った方向に地図が動きます。
  - ・動く量は、払う速度により変化します。
  - ・動かした画面は、自動で止まります。動いている画面にタッチしても止めることができます。

知 識

- 走行中は、スライド操作、フリック操作はできません。

画面にタッチして動かす

タッチした地点を画面の中心として、地図を動かすことができます。

1 地図上にタッチ。

(知 識)

- 走行中で市街図（→ P.81）を表示しているときは、地図を動かすことはできません。
- 地図を動かすと、走行しても地図は動かなくなります。この場合、MAP を押し現在地の表示にすると、地図が動くようになります。
- 地図を動かしたときは、地図向きの切り替え（→ P.80）ができないことがあります。

地図を動かしたときの地名表示

地図を動かすと、画面上部に画面中心付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。

- 地図を動かした後、約 6 秒間表示されます。

(知 識)

- 以下のときは、路線名・路線番号は表示されません。
  - 地図データに情報のないとき
  - 200m 図より広域な地図を表示しているとき

地図縮尺を切り替える

地図を 25m 図～ 200k 図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。

地図を拡大表示する

1 ⊕ にタッチ、またはピンチアウト操作（→ P.22）をする。

地図を縮小表示する

1 ⊖ にタッチ、またはピンチイン操作（→ P.22）をする。

- 13 段階に切り替えることができます。（市街図表示（→ P.81）に切り替えたときは 14 段階）
- タッチするごとに、1 段階ずつ切り替わります。
- ⊖ ・ ⊕ にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、縮尺が切り替わります。
- ⊖ ・ ⊕ に約 1 秒以上タッチし続ける、またはピンチイン操作 / ピンチアウト操作をすると、縮尺を無段階に切り替えることができます。希望の縮尺になったら指を離します。

知 識

- 市街図表示中は、スケールバーを表示しません。また、縮尺の無段切り替えはできません。
- 走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字にタッチして縮尺を切り替えることはできません。

地図のスケール表示について

地図左上に表示される 100m の ＿＿ の長さが約 100m であり、表示されている地図が 1/1 万縮尺であることを示しています。

3D 表示では ＿＿ は表示されません。

スケール表示	縮尺
25m	1/2500
50m	1/5 千
100m	1/1 万
200m	1/2 万
400m	1/4 万
800m	1/8 万
1.6k	1/16 万
3k	1/32 万
7k	1/64 万
13k	1/128 万
26k	1/256 万
50k	1/512 万
100k	1/1024 万
200k	1/2048 万

知 識

- 25m 図は市街図表示（→ P.81）に切り替えたとき、表示することができます。

地図記号・地図表示について

表示	内容
（紫色）	高速道路 （都市高速道路・有料道路を含む）
（淡黄）	国道
（白色）	主要道・都道府県道・一般幹線道
（黄緑色）	新規開通道路
	トンネルまたは整備計画区間 （各道路で表示色は異なります。）
	私鉄
	JR
（青色）	水域
	都道府県界
（緑色）	緑地
（薄茶色）	駅舎・敷地

知 識

- 選択した地図色によって、表示される色が異なります。（→ P.148）

記号	内容
	官公庁
	都道府県庁

記号	内容
	市役所・東京 23 区役所
	町村役場・東京以外の区役所
	警察署
	消防署
	郵便局
IC	IC（インターチェンジ）
SA	SA（サービスエリア）
PA	PA（パーキングエリア）
IC	スマート IC （ETC 専用インターチェンジ）
	信号機
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校
幼	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど
H	ホテル・旅館など
	ビル
	工場
	灯台
	神社

記号	内容
卍	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリーナ・ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	山
•	その他の施設
	通常の踏み切り
	ボトルネック踏み切り ※
	トヨタ販売店・トヨタ共販店
	ネッツ店
	ダイハツ販売会社
TOYOTA L&F	トヨタ L&F
GR Garage	GR ガレージ

※ 列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。

知 識

- 地図データに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成しています。
- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して 1 つのマークで表示されることがあります。

地図の向きを切り替える

▶ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、常に北が上になるように地図を表示します。

▶ヘディングアップ表示

車の進行方向が常に上向きになるように地図を表示します。

▶3D 表示

地図を立体的に表示させることができます。3D 表示に切り替えているときは、車の進行方向が常に上向きになるように地図を表示します。

1 、 または にタッチ。

- タッチするごとに、ノースアップ表示・ヘディングアップ表示・3D 表示に切り替わります。

- 3D 表示の角度を調整することができます。(→ P.147)

知 識

- ヘディングアップ表示と 3D 表示は、現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）にするとノースアップ表示になりますが、現在地画面にするとヘディングアップ表示または 3D 表示に復帰します。

3D 表示の地図を回転する

1 地図上にタッチ。

2 、 にタッチし、地図を回転する。

：時計回り

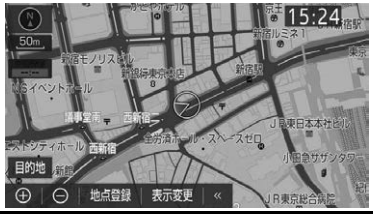
：反時計回り

知 識

- MAP を押すと、元の表示状態（回転前の状態）に復帰します。

市街図を表示する

地図データに市街図の情報がある地域では、50m 図または 25m 図を表示すると「市街図」が表示され、市街図表示に切り替えることができます。



50m 図または 25m 図表示中

1 ⊕ にタッチ。

- 市街図表示には 50m 市街図と 25m 市街図があります。
  ⊖ ・ ⊕ にタッチして切り替えます。
- 市街図の表示を解除する
  ➡ 50m 市街図表示中、⊖ にタッチ。

(知 識)

- 市街図がない地域に地図または現在地を動かすと、市街図表示は自動的に解除されます。
- 25m 市街図にすると ➡ (一方通行) を表示します。

施設の情報を表示する

地図画面上の施設などの情報を確認することができます。

1 地図表示中、施設アイコンなどにタッチ。

2 情報 にタッチ。

- 施設によっては 情報 が表示されない場合もあります。

地図をカスタマイズする

地図色、ルート色、自車位置マーク ◭ 、文字サイズを選択することができます。(→ P.148)

2. 画面を分割表示する

画面を左右2分割して表示することができます。画面の分割表示および右画面の表示設定はナビ詳細設定画面でも設定できます。(→ P.147)

知 識

- 現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）は、2 画面表示が解除されますが、現在地画面にすると、2 画面表示に復帰します。
- 一度 2 画面表示を解除し、再度 2 画面表示にしたときは、前回 2 画面表示していたときの縮尺で表示されます。

地図を左右 2 分割して表示する

1 地図表示中 → 表示変更 → 地図表示

2 地図 2 画面 にタッチ。

- 解除するとき

  ➡ 地図 1 画面 にタッチ。

右画面を地図画面から設定する

1 右画面の地図上にタッチ。

2 右画面の設定をする。

作動表示灯

- 周辺施設表示やVICS表示が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。
- 周辺施設表示、VICS 表示については、「地図表示設定をする」（→ P.147）をご覧ください。

3. 地図表示画面を設定する

施設マークを表示する

トイレのある施設やコンビニなどの施設マークを地図上に表示することができます。

知 識

- 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- 800m 図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）
- 表示することができる施設は、▲または⊕から半径約 10km 以内にある施設のみです。（最大 200 件まで）

1 地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設

2 施設のジャンルにタッチ。

- 5つまで選択することができます。

- トイレのある施設 は 駐車場あり 24 時間営業 や バリアフリー にタッチして、該当する施設を絞り込むことができます。
  - ・ トイレのある施設 が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。
  - ・ トイレの表示を解除したいとき
    - ➡ 再度 トイレのある施設 にタッチ。
- 表示されている以外のジャンルを選択するとき
  - ➡ 全ジャンル にタッチ。
- 全ジャンル にタッチしたとき
  - ➡ 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。
- 施設マークの表示を消去するとき
  - ・ 個別に消去
    - ➡ 選択済みの施設のジャンルにタッチ。
  - ・ すべて消去
    - ➡ 表示解除 にタッチ。

- 施設マークの表示／消去はナビ詳細設定画面でも設定できます。（→ P.149）

- 周辺施設設定 にタッチすると、走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを設定することができます。

- 周辺施設設定はナビ詳細設定画面でも設定できます。（→ P.157）

- 避難所・避難場所は、全ジャンル → その他 から表示することができます。避難所・避難場所には、以下のアイコンが表示されます。
  - ・ : 指定緊急避難場所
  - ・ : 指定避難所
  - ・ : 避難所兼緊急避難場所

(知 識)

- TC 情報マーク表示 は、T-Connect を利用しているときのみ使用できます。(→ P.511)
- TC 情報マーク表示 が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。
- トイレのある施設 の対象施設は限られます。コンビニのバリアフリー絞り込み条件は提供されていません。
- 避難所・避難場所は自治体が整備・公表している指定緊急避難所の情報を元に収録しています。災害の種類によって開設される避難所・避難場所が異なるため、災害時に避難所・避難場所が開設されているかは直接自治体にご確認ください。

ガソリンスタンドの施設マークを自動で表示する

ガソリン残量が設定した航続可能距離以下になると、ガソリンスタンドの施設マークを自動で表示し、音声でお知らせすることができます。

1 地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設

2 GS 自動表示 にタッチ。

作動表示灯

- GS 自動表示 が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。

■航続可能距離の設定

1 周辺施設設定 にタッチ。

2 < または > にタッチして、航続可能距離を設定する。

- 航続可能距離は、ナビ詳細設定画面の周辺施設設定でも設定できます。(→ P.157)

(知 識)

- 対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

近くの施設を検索する

現在地周辺にある施設マークの名称と距離を知ることができます。

1 地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設 → 検索する施設記号 → 表示施設一覧

2 施設名称にタッチ。

- 表示されている矢印は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを示しています。
  - ・地図を動かしたとき、矢印は表示されません。

● ソート / ルート沿い考慮 にタッチすると、表示順を切り替えることができます。

スイッチ	並べ方
距離順	または から近い施設の順
種類順	施設の記号の種類順

知 識

● 検索することができる施設は、または から半径約 10km 以内にある施設のみです。(最大 200 件まで)
● 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。
● 施設マークを表示していないときは、検索できません。

ルート・距離を考慮したリストを表示する

目的地が設定されているとき、ルート沿いにある施設のリストを表示することができます。

1 地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設 → 表示施設一覧 → ソート / ルート沿い考慮 → ルート沿い考慮

● 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右、後ろのどちらの方向にあるかを表示します。

知 識

● 表示することができる施設は、ルート沿いにある施設のみです。
● ルート沿い考慮 が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。

立体ランドマークの施設情報を表示する

1 立体ランドマークにタッチ。

● 名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 情報 にタッチ。

● 施設の内容が表示されます。(→ P.105)

DSSS（Driving Safety Support Systems）安全運転支援機能を使用する

▶販売店装着オプションの ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を装着したとき

DSSS（Driving Safety Support Systems）は、ドライバーの認知・判断の遅れや誤りを低減するための運転支援機能です。

見通しの悪い周辺の状況や、信号または標識などの交通管制情報を、道路上に設置された DSSS 用路側装置から受信し、車の走行状態や受信情報から、必要に応じてドライバーに周辺の危険要因に対する注意を促します。

DSSS では、次のような案内・注意喚起を行います。

(1)信号待ち発進準備案内

(2)前方停止車両存在案内

(3)わき道車両存在案内

- DSSSは警察庁と一般社団法人UTMS協会が推進しているプロジェクトで、車と道路のインフラの連携により信号情報や交差点周辺などの見通し外の車両存在情報などを取得し、安全運転を支援するシステムです。DSSS 用路側装置が設置されている地点で機能が作動します。
- 本サービスの対象交差点などの DSSS プロジェクトに関するお問い合わせについては、「VICS・ETC2.0(ITS スポット)・DSSS の問い合わせ先について」（→ P.196）をご覧ください。
- DSSS に関する規格は、一般社団法人 UTMS 協会によって策定されています。また、DSSS システム定義は DSSS 有識者懇談会によって策定されています。本製品はそれらに基づいて作られています。

⚠ 警告

- DSSS 運転支援機能はあくまでも補助機能です。
  案内・注意喚起を過信せず、常に道路標識・表示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

(知 識)

- 運転支援情報を受信したときは、ナビゲーション画面に案内マーク（ 、 、 ）が表示されます。
- ナビゲーション画面に表示される案内マークは、一定時間経過または支援対象区間通過後に消えます。
- 表示中の画面によっては、案内マークが表示されない場合があります。
- 以下のような場合は、DSSS機能が作動しないことや、案内・注意喚起の内容が実際の道路状況と異なる場合があります。
  - ETC2.0ユニットの上に物を置いたり、窓が汚れたりして、DSSS 用路側装置との通信が遮られたとき
  - DSSS 用路側装置に木の葉や雪などが付着して、通信が遮られたとき
  - 雨天時等、ワイパーが作動して DSSS 用路側装置の通信が遮られたとき
  - DSSS 用路側装置やETC2.0 ユニットに太陽光などが差し込んだとき
  - DSSS 用路側装置の通信エリアに駐停車車両があり、通信できないとき
  - DSSS 用路側装置の通信エリアに他の車両と並走して進入したとき
  - DSSS 用路側装置や感知器、信号機など路側装置の機器メンテナンス作業や故障などによって、通信ができないとき、または誤った情報が本機に提供されたとき
  - DSSS 用路側装置通過時の速度が著しく速いとき
  - DSSS用路側装置の近くに他のDSSS 用路側装置が設置されているとき
  - DSSS 用路側装置の向きが変わってしまっているとき（台風等）

知 識

- 車両始動直後に DSSS 用路側装置を通過したとき
- 本機に故障等があり、受信した情報を正しく処理できないとき
- システムの誤差などでナビゲーションが現在地を特定できないとき
- 遅い速度で走行しているとき
- サービス対象地点の地図データがないとき
- 自車位置が特定できないとき

走行した経路を表示する（走行軌跡）

走行した道路を約 1000km 分保存し、軌跡を表示することができます。

走行軌跡

走行軌跡を表示／解除する

1 地図表示中 → 表示変更

2 走行軌跡表示 /（走行軌跡解除）にタッチ。

▶ 走行軌跡解除 にタッチしたとき

- 走行軌跡表示のみを解除するとき
  ➡ いいえ にタッチ。
- 過去の走行軌跡情報を消去するとき
  ➡ はい にタッチ。

知 識

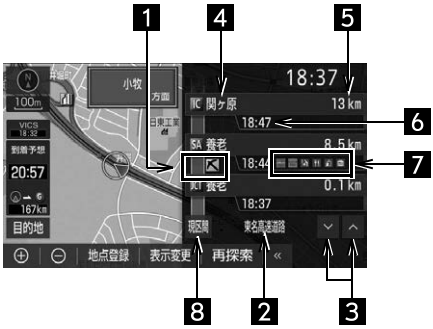
- 保存できる距離を超えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。
- 25m 図～ 50k 図で表示することができます。
- 走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

4. 高速道路・都市高速道路の表示

ハイウェイモード表示を操作する

高速道路（都市高速を除く）に入ると、自動的に高速道路の名称や施設の名称、施設にある設備などを表示するハイウェイモード（高速略図）に切り替わります。

目的地案内中は、都市高速または一部の有料道路に入っても、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。



番号	機能
1	VICS・交通情報を受信したとき、赤色（渋滞）、橙色（混雑）を表示。 •「VICS・交通情報の表示設定」（→P.184）で、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。
2	道路の名称を表示。
3	∧ または ∨ にタッチすると、表示区間が切り替わる。
4	施設の名称を表示。 （目的地案内をさせていないときは、最大 10 カ所まで）
5	現在地からの距離を表示。
6	通過予想時刻を表示。
7	施設（SA・PA のみ）にある設備を、ガソリンスタンドを除き最大 5 つまで表示。 • ガソリンスタンドは先頭に表示されます。 • 5 つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークがあります。
8	表示区間を切り替えているときに 現区間 にタッチすると、自車が走行している区間に戻る。

降りる IC より先の施設を表示する

目的地案内中でも、ハイウェイモード画面で降りる IC より先にある高速道路上の施設を表示させることができます。

1 ハイウェイモード表示中に ∧ にタッチして、出口 IC の上に表示される 降りる IC の先を表示 にタッチ。

降りる IC を変更する

目的地検索で設定した出口 IC 以外を降りる IC に設定することができます。

1 ハイウェイモード表示中に ∧ にタッチして、出口 IC に設定したい IC にタッチ。

● 選択した IC を解除するとき

➡ 解除 にタッチ。

2 ここで降りる にタッチ。

知 識

● 施設によっては出口に設定できないことがあります。

設備のマークについて

記号	内容
	ハイウェイ情報ターミナル
	トイレ
	スナックコーナー
	ショッピングコーナー
	お風呂、シャワー
	仮眠休憩施設
	ハイウェイオアシス
	ガソリンスタンド
	レストラン
	ベビーコーナー
	ドッグラン
	コンビニ
	オストメイトトイレ
IC	スマート IC (ETC 専用インターチェンジ)

知 識

● 反対車線の情報は表示されません。
● 通過予想時刻は設定した平均車速（→ P.150）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
● SA・PA に入るなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。
● 目的地案内中のとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、高速分岐案内画面（→ P.91）が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。
● ガソリンスタンドなど固有のロゴマークが表示される設備もあります。

ハイウェイモード表示を解除する

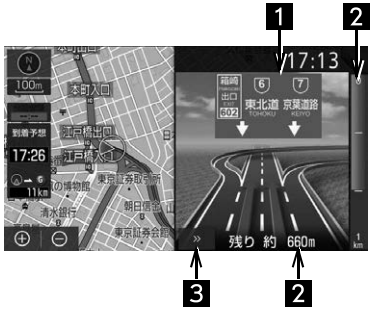
1 地図表示中 → 表示変更 → 地図表示

2 高速略図解除 にタッチ。

● ハイウェイモードに戻すとき
➡ 高速略図表示 にタッチ。

高速分岐案内表示を操作する

目的地案内中、分岐点（出口 IC・SA・PA・JCT）が近づくと、高速分岐案内が表示されます。



番号	機能
1	IC の出口名称、SA・PA 名称または JCT の方面名称を表示。
2	分岐点までの距離を表示。 • 分岐点に近づくとともに右側のバーが短くなります。
3	高速分岐案内画面を解除。 • 高速分岐案内画面に戻すとき ➡ MAP を押す。

知 識

- 地図データに情報のない分岐点では、高速分岐案内画面は表示されません。また、高速分岐案内画面が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 分岐点名称表示、車線数が実際の分岐点と異なることがあります。
- 目的地案内直後や目的地周辺では、高速分岐案内が行われない場合があります。
- 高速分岐案内画面は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐点が近いときは、続けて高速分岐案内画面が表示されます。

5. 地図を呼び出す

地図を検索する

目的地の設定・目的地の追加・メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときには、設定・登録する場所の地図をさまざまな方法で呼び出し、表示させることができます。

- 表示された画面で、地図の呼び出し方法を選びます。各呼び出し方法については、表（→ P.93）をご覧ください。

目的地の設定のとき

1 MENU または現在地画面 → 目的地 → 目的地画面（→ P.107）

＞ にタッチ
または
フリック操作

＜ にタッチ
または
フリック操作

目的地の追加のとき

1 ルート変更画面（→ P.126）→ 目的地・通過目的地の 追加 → 目的地追加画面（→ P.127）

＞ にタッチ
または
フリック操作

＜ にタッチ
または
フリック操作

● 目的地の設定と追加画面では、次の表にある方法で地図を表示することができます。

項目（スイッチ）	機能	ページ
読み	読みで検索した施設や、入力した地名がある地域の地図を表示する。	97
ジャンル	食べる・遊ぶなどの目的から現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。	102
電話番号	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した電話番号が使用されている地域の地図を表示する。	101
住所	県名や市町村名、番地で指定した地点または地域の地図を表示する。	100
WEB	トヨタスマートセンターを経由し、インターネットの検索エンジンを使用して地図を表示する。	555
メモリ地点	メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示する。 • メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。（→ P.133）	—
名称	名称で検索した施設や店舗がある地点の地図を表示する。 入力した地名がある地域の地図を表示する。	97
施設	さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。	100
TC で設定 ※	ドライブプランや G メモリ（→ P.507）を使用して地図を表示する。 • 目的地の設定を行うときのみ使用できます。	—
マップコード	書籍などに掲載されたマップコードを入力して、その地域の地図を表示する。	103
特別メモリに行く 1 / 2 / 3 / 4 / 5	特別メモリ地点を目的地としてルート探索を開始する。 • 特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。（→ P.134）	—
履歴	目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示する。 • 目的地履歴が登録されているときのみ使用できます。 前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。 • 一度目的地案内を行ったときのみ使用できます。	103
トイレ ※	トイレのある施設から検索した地点の地図を表示する。	104

項目（スイッチ）	機能	ページ
自宅に帰る／自宅登録 ※	自宅を目的地としてルート探索を開始する。 • 自宅を登録していない場合は、ここから登録することができます。（→ P.108） • 目的地の設定を行うときのみ使用できます。	—
自宅周辺	自宅周辺の地図を表示する。 • 自宅を登録しているときのみ使用できます。（→ P.133） • 目的地の追加を行うときのみ使用できます。	—
ルート計画	スマートフォンアプリから目的地を呼び出す。 • ご利用のスマートフォンアプリによって表示されることがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。	—
配置変更 / 目的地消去	目的地画面のスイッチの配置を変更する。 • 目的地を設定していないときのみ使用できます。 目的地を消去する。 • 目的地を設定しているときに使用できます。	97、128

※ 目的地追加画面では選択できません。

目的地の設定・追加以外のとき※

＜自宅の登録＞

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ → メモリ地点登録・編集 → 自宅 → 登録 → 自宅登録画面（→P.45）

＜特別メモリ登録＞

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ → メモリ地点登録・編集 → 特別メモリ → 登録 → 特別メモリ登録画面（→P.134）

＜メモリ地点登録＞

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ → メモリ地点登録・編集 → メモリ地点 → 登録 → メモリ地点登録画面（→P.135）

＜迂回メモリ登録＞

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ → メモリ地点登録・編集 → 迂回メモリ → 登録 → 迂回メモリ登録画面（→P.137）

＜販売店設定＞

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 項目設定 → 販売店設定 → 販売店設定画面（→P.49）

※ 画面はメモリ地点の登録時のものです。

- 目的地の設定と追加以外の地図呼び出し画面では、次の表にある方法で地図を表示することができます。

項目（スイッチ）	機能	ページ
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示する。	—
目的地履歴	目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示する。 • 目的地履歴が登録されているときのみ使用できます。 前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。 • 一度目的地案内を行ったときのみ使用できます。	103
WEB※	トヨタスマートセンターを経由し、インターネットの検索エンジンを使用してスポット検索を行う。	555
読み	読みで検索した施設や、入力した地名がある地域の地図を表示する。	97

項目（スイッチ）	機能	ページ
ジャンル	食べる・遊ぶなどの目的から現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。	102
電話番号	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した電話番号が使用されている地域の地図を表示する。	101
住所	県名や市町村名、番地で指定した地点または地域の地図を表示する。	100
メモリ地点	メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示する。 • メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。（→ P.133）	—
名称	名称で検索した施設や店舗がある地点の地図を表示する。 入力した地名がある地域の地図を表示する。	97
施設	さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。	100
マップコード	書籍などに掲載されたマップコードを入力して、その地域の地図を表示する。	103
特別メモリ周辺	特別メモリ地点周辺の地図を表示する。 • 特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。（→ P.134）	—

※ 自宅登録画面、迂回メモリ登録画面、販売店設定画面では表示させることができません。

スイッチの配置を変更する

1 地図の呼び出し画面（→ P.92）→ 配置変更

2 移動したいスイッチにタッチ。

3 << または >> にタッチして、スイッチを移動させる。

※この時点でスイッチの配置変更が確定します。

- ドラッグ操作でもスイッチを移動させることができます。（→ P.22）

読みまたは名称で地図を検索する

施設名称または地名を入力し、地図を呼び出すことができます。

また全国リスト画面（→ P.98）に表示された件数が多い場合は、エリア（→ P.99）・ジャンル（→ P.100）を指定することにより件数を絞り込むことができます。

知 識

- 入力中に検索先の候補が5件以下になり、約 10 秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。

読みで検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.92）→ 読み

2 名称の読みを入力し、検索 にタッチ。

- 入力するごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。
- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→ P.98）

名称で検索する

読み検索に比べ、検索する施設名称または地名の件数を絞り込むことができます。漢字やカタカナで検索するときに便利です。

■ひらがな・漢字入力

1 地図の呼び出し画面（→ P.92）→ 名称

2 名称を入力し、**変換** にタッチ。

- 入力したままの状態で確定したいとき
  ➡ **無変換** にタッチ。

3 入力したい候補にタッチ。

- 変換範囲を修正するとき
  ➡ **＜** ・ **＞** にタッチ。
- そのままの状態でよいとき
  ➡ **全確定** にタッチ。

4 **検索** にタッチ。

- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→ P.98）

■カタカナ、英数字、記号入力

1 **地図の呼び出し画面（→ P.92）→ 名称**

2 **カナ** ・ **英数字** のいずれかにタッチし、入力画面を切り替える。

3 名称を入力し、**検索** にタッチ。

▶カタカナ入力時

▶英数字・記号入力時

- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→ P.98）

全国リストから検索する

1 **地図の呼び出し画面（→ P.92）→ 名称 → （名称入力） → 検索**

2 表示させる施設名称または地名にタッチすると、タッチした施設の地図が表示されます。

- エリア（→ P.99）またはジャンル（→ P.100）を指定することにより、リストに表示されている施設名称または地名を絞り込むことができます。
- 同じ施設名称、または施設名称に複数の店舗（チェーン店など）があるときは、まとめてリストに表示されます。この場合、施設名称の右側に検索された施設の件数が表示されます。

● まとめて表示されたリストにタッチしたとき
➡ 施設名称にタッチ。
・ 施設名称のリストは、ソート にタッチすることで以下の並べ方をすることができます。

スイッチ	並べ方
名称順 ※1	50 音順
距離順 ※2	から近い施設または地名の順

※1 数字、ローマ字が先に表示されます。
※2 検索された施設名称または地名の件数が多い場合は、距離順に並び替えできない場合があります。

エリア別に絞り込む

エリアを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

1 全国リスト画面（→ P.98）→ 絞り込み → エリアで絞りこむ

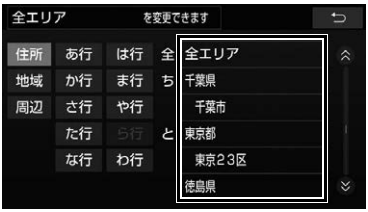
2 エリアの指定方法にタッチ。

● 次の方法で、エリアを指定することができます。

スイッチ	項目	ページ
住所	住所で絞り込む	99
地域	地域で絞り込む	99
周辺	周辺で絞り込む	99

■住所選択時

1 都道府県名にタッチ。



● リスト画面に戻すとき
➡ 全エリア にタッチ。

2 市区町村名にタッチ。

● 都道府県を指定してリスト画面を表示するとき
➡ ○○全域 にタッチ。

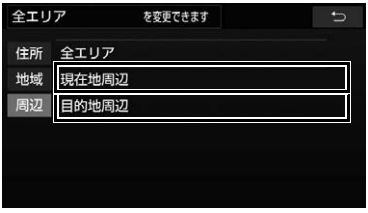
■地域選択時

1 地域名にタッチ。

● リスト画面に戻すとき
➡ 全エリア にタッチ。

■周辺選択時

1 現在地周辺 または 目的地周辺 にタッチ。



● リスト画面に戻すとき
➡ 全エリア にタッチ。
● 目的地を複数設定している場合に、
目的地周辺 にタッチしたとき
➡ 目的地にタッチ。

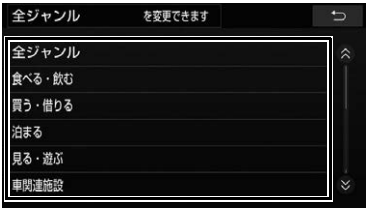
知 識
● 目的地を設定していない場合、
目的地周辺 は表示されません。

施設のジャンル別に絞り込む

ジャンルを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

1 全国リスト画面（→ P.98）→ 絞り込み → ジャンルで絞り込む

2 施設のジャンル→さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。



● リスト画面に戻すとき
➡ 全ジャンル にタッチ。
● 地名（住所）を入力したときは、その他 → 住所 の順にタッチすると、地名（住所）のリストが表示されます。

知 識
● 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

住所で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.92）→ 住所

2 住所を都道府県名から順にタッチ。

● 郡名は表示されません。
●「大字」や「字」の文字は省略して表示されます。（「大字○○」や「字○○」は「○○」と表示されます。）
● ○○主要部 にタッチすると、広域図が表示されます。

3 番地指定 にタッチ。

4 番地を入力し、検索 にタッチ。

● 入力した番地に該当する住所がないときは、了解 にタッチするとその丁目（字）の広域図が表示されます。

施設で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.92）→ 施設

2 施設のジャンルにタッチ。

- 表示されている以外のジャンルを表示するとき
  ➡ その他 にタッチし、施設のジャンルにタッチ。

3 都道府県名（路線名）にタッチ。

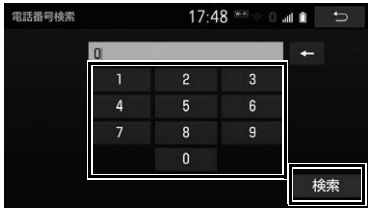
- さらに市区町村名（または路線名・販売会社名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（または路線名・販売会社名）にタッチします。
- 施設のジャンルによっては、全国施設リストが表示されることがあります。
  このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。
  全国の○○ にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が50 音順に表示されます。

4 施設名称にタッチ。

電話番号で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.92）→ 電話番号

2 電話番号を入力し、検索 にタッチ。



- 市外局番から入力します。
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 該当する施設がないときや個人住宅などのときは、市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 同じ電話番号で複数の地点があるとき
  ➡ 施設名称にタッチ。

知 識

- 同じ名前の施設が、複数表示されることがあります。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースでは、一般情報誌の情報とは異なった検索結果が表示される場合があります。
  - デパートの美術館・アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
  - 一般情報誌などではホール等の電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地の地図が表示されます。
- 施設の電話番号や所在地、名前などは 1 年間で数万件が変化します。この点に留意してご利用ください。
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。
- 収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。
  記憶できる件数をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

ジャンルで地図を検索する

現在地または目的地周辺など施設を検索するエリアを変更し、変更したエリア周辺の施設を検索することができます。

1 地図の呼び出し画面（→ P.92）→ ジャンル

2 施設のジャンル→さらに詳細な施設のジャンル→ 検索 の順にタッチ。

- 5 つまで選択することができます。
- 間違えたとき
  ➡ 選択解除 または選択済みの施設のジャンルにタッチ。
- 選択解除 にタッチした場合、最後に選択した施設のジャンルから解除されます。

3 施設名称にタッチ。

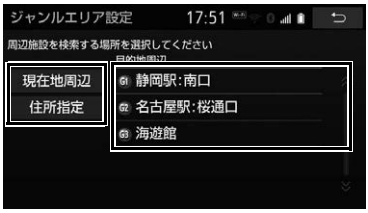
- 施設のリストは、
  ソート / ルート沿い考慮 にタッチすることで以下の並べ方をすることができます。

スイッチ	並べ方 / 機能
距離順	または から近い施設の順
種類順	施設の記号の種類順
ルート沿い考慮	ルート沿いの施設のみリストに表示されます。（→ P.86）

施設検索するエリアを変更する

1 地図の呼び出し画面（→ P.92）→ ジャンル → エリア

2 施設を検索したい地域にタッチ。



- 住所指定 にタッチすると、住所から施設を検索したい地域を選択することができます。
  ・選択方法について
  ➡「住所で地図を検索する」（→ P.100）
  手順 **2** へ。

3 へ（8 方向）または地図にタッチして、検索したい地点まで を移動する。

4 セット にタッチ。

マップコードで地図を検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.92）→ マップコード

2 マップコードを入力し、検索 にタッチ。

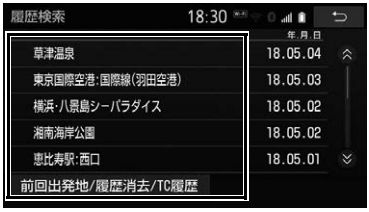
知 識

- マップコードとは、特定の位置の位置データをコード化し、1 ～ 13 桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。
- マップコードについては、以下のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
  http://www.e-mapcode.com
- マップコードは、メモリ地点（→ P.135）や自宅（→ P.133）、特別メモリ（→ P.134）、迂回メモリ地点（→ P.137）を登録すると、位置の名称の下に表示されます。

履歴で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.92）→ 履歴

2 希望の目的地履歴にタッチ。



- 前回出発地 / 履歴消去 /TC 履歴 → 前回出発地 の順にタッチすると、前回目的地案内させたときの出発地点の地図が表示されます。
- 前回出発地 / 履歴消去 /TC 履歴 → TC 履歴 の順にタッチすると、トヨタスマートセンターで設定した目的地の履歴が表示されます。

履歴を消去する

1 地図の呼び出し画面（→ P.92）→ 履歴 → 前回出発地 / 履歴消去 /TC 履歴 → 履歴消去

2 （地点名称）にタッチ。

3 はい にタッチ。

- すべての履歴を消去するとき
  ➡ 全消去 → はい の順にタッチ。

知 識

- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。

トイレのある施設を検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.92）→ トイレ

- 駐車場あり 、24 時間営業 や バリアフリー にタッチすることで、絞り込みできます。
  - ・ ルート沿い考慮 にタッチすると、ルート沿いにある施設のリストを表示することができます。
  - ・選択している項目の作動表示灯が点灯します。

2 施設名称にタッチ。

知 識

- 対象施設は限られます。
- コンビニのバリアフリー絞り込み条件は提供されていません。
- ルート沿い考慮が設定されているときに表示することができる施設は、ルート沿いにある施設のみです。

6. 検索した地図を操作する

ピンポイント検索について

地図を呼び出したとき、施設によっては、ピンポイント検索されます。

▶ピンポイント検索されたとき

▶ピンポイント検索されなかったとき

知 識

- 検索された施設に、詳細な情報があるときは、検索された施設の地点に が表示されます。

地図の位置を変更する

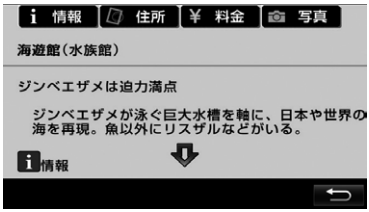
1 （8 方向）または地図にタッチして、地図を動かす。

施設の内容を表示する

1 情報 にタッチ。

▶簡易情報表示

▶情報付き施設表示



- 画面を動かすとき

  ➡ にタッチ。

- 情報 ・ 住所 ・ 料金 ・ 写真 にタッチすると、それぞれの情報が書かれている部分に画面が動きます。

知 識

- 呼び出した地図の地点により、表示される画面が異なります。
- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

提携駐車場を検索する

検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

1 提携 P にタッチ。

- 提携駐車場のリストが表示されます。

2 駐車場名称にタッチ。

- タッチした駐車場の地図が表示されます。
- 専用駐車場は P（青色）、提携駐車場は P （緑色）で表示されます。

(知 識)

- 提携 P にタッチしても、駐車場が検索されないことがあります。
- 地図データに情報のない駐車場は、検索されません。
- 施設によっては、駐車場が検索されない施設もあります。
- 検索される駐車場は、設定した車両情報（→P.46）により異なります。また、車両寸法が設定されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

住所で絞り込む

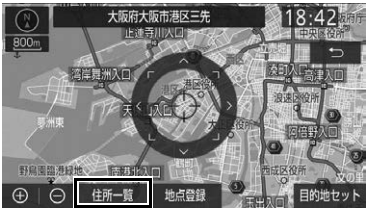
住所一覧から検索する

次のときに、検索することができます。

(1)「読みまたは名称で地図を検索する」のリスト画面で、地名をタッチしたとき

(2)「電話番号で地図を検索する」で、該当する施設がなかったとき

1 住所一覧 にタッチ。



2 地名にタッチ。

- タッチした地名の地図が表示されます。
- 詳細がわからないとき

  ➡ ○○主要部 にタッチし、広域図を表示。

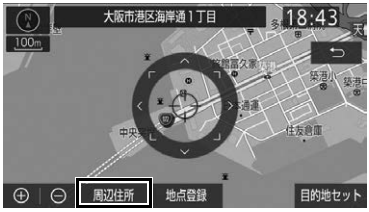
周辺住所から検索する

次のときに、検索することができます。

(1)「住所一覧から検索する」で、該当する住所がなかったとき

(2)「住所で地図を検索する」で、該当する住所がなかったとき

1 周辺住所 にタッチ。



2 番地にタッチ。

1. 目的地を設定してルートを探索する

目的地の設定について

(知 識)

- 800m 図以下の詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。(最大 100 カ所まで) 100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地履歴は、消去することもできます。(→ P.156)

目的地画面から目的地を設定する

1 MENU または現在地画面 → 目的地

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示する。(→ P.92、P.105)

3 ∧ (8 方向) または地図にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かし、目的地セット にタッチ。

- ⊕の位置に目的地が記号で表示され、ルート探索が開始されます。(→ P.109)
- 設定した目的地を消去するとき
  ➡「目的地を消去する」(→ P.128)
- すでに目的地が設定されているとき
  ➡ 次のいずれかにタッチ。

新規目的地 : 新しく目的地を設定する

追加目的地 : 目的地を追加する ※

※ 以降の設定方法について
➡「目的地を追加する」(→ P.127) 手順 **4** へ。

目的地候補情報から目的地を設定する

目的地が設定されていないときにエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にして現在地画面を表示させると、目的地候補情報が表示されたスイッチが表示されます。スイッチには自宅と特別メモリ (特別メモリの 1 と 2) までの距離と到着予測時間が表示されます。
表示されたスイッチにタッチすることで目的地に設定できます。

1 MAP にタッチ。

2 目的地に設定したいスイッチにタッチ。

- 目的地に設定するには事前に地点を登録しておく必要があります。(→ P.133、P.134)
  また、未登録のスイッチにタッチすることで登録することができます。(→ P.108)

知 識

- 目的地候補情報の自動表示を「する」に設定したとき、目的地候補情報が表示できます。(→P.154)
- 目的地候補情報は、走行開始後しばらくすると自動で消えます。

目的地候補情報が登録されていないときは

1 目的地候補情報が表示されたときに、未登録の 自宅 、特別メモリ 1 または 特別メモリ 2 にタッチ。

2 自宅や特別メモリに設定する場所を検索する。(→P.92)

3 セット にタッチ。

- 上記以外の方法でも登録することができます。(→P.133、P.134)

地図画面から目的地を設定する

現在、表示させている地図に目的地を設定することができます。

1 地図上にタッチし、目的地セット にタッチ。

2 へ(8 方向)または地図にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かし、目的地セット にタッチ。

- ⊕の位置に目的地が記号で表示され、ルート探索が開始されます。(→P.109)
- すでに目的地が設定されているときに、地図画面から目的地を追加した場合、その目的地が一番初めの目的地になり、ルート探索を開始します。

知 識

- 現在地画面の 目的地 にタッチしたときは、地図を検索する機能を使用することができます。(→P.92)

自宅を目的地に設定する

1 MENU または現在地画面 → 目的地

2 自宅に帰る にタッチ。

- 次の手順でも操作できます。
  - ・HOME 画面(→P.23) → 自宅に帰る
  - ・ショートカット + コントロール画面(→P.28) → 自宅に帰る

自宅が登録されていないときは

1 MENU または現在地画面 → 目的地

2 自宅登録 にタッチ。

3 自宅の登録方法を選択する。

- 次の方法で、地図を呼び出すことができます。

機能	ページ
現在地周辺	—
目的地履歴	103
住所指定	100

4 セット にタッチ。

5 自宅に帰る にタッチ。

特別メモリ地点を目的地に設定する

1 MENU または現在地画面 → 目的地

2 特別メモリの 1 ～ 5 にタッチ。

特別メモリが設定されていないときは

1 登録されていない特別メモリにタッチ。

2 はい にタッチ。

3 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。（→ P.92）

4 セット にタッチ。

- 上記以外の方法でも登録することができます。（→ P.134）

メモリ地点を目的地に設定する

1 MENU または現在地画面 → 目的地

2 メモリ地点 にタッチ。

3 目的地に設定するメモリ地点にタッチ。

- メモリ地点のリストは ソート / 絞り込み にタッチすることで以下の並べ方をすることができます。

スイッチ	並べ方
登録順	メモリ地点の登録順
名称順	50 音順
マーク順	マークの種類別
グループで絞る	設定してあるグループ別

ルート探索について

目的地の設定が終了すると、ルート探索が開始されます。ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。（→ P.110）

知 識

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても、探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- 高速道路や有料道路の IC・SA・PA 内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道路から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（→ P.124）を行ってください。
- 私有地などは、その土地の所有者であっても、進入規制を考慮したルートが探索されることがあります。
- 歩行者天国が行われる場所などは、開催日以外の日でも、進入規制を考慮したルートが探索されることがあります。
- 車両制限（車高・車幅・車長など）のある道路は、ルート探索時に考慮されません。

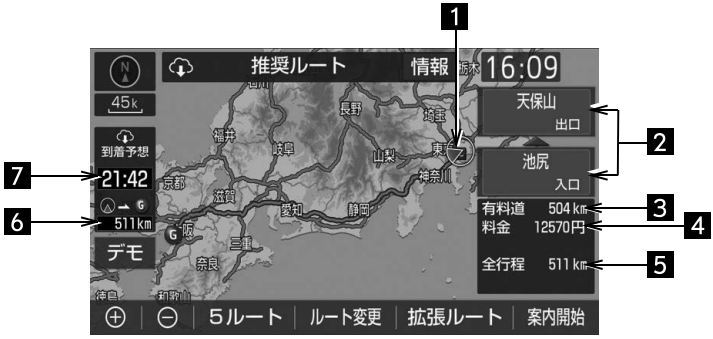
ルート探索後の全ルート図表示について

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

- 全ルート図が表示されたあと、MAP を押す、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。（→ P.116）
- 目的地案内開始後にも全ルート図表示画面を表示することができます。（→ P.123）

画面の表示について

下の画面はすべて最終の目的地までのものです。

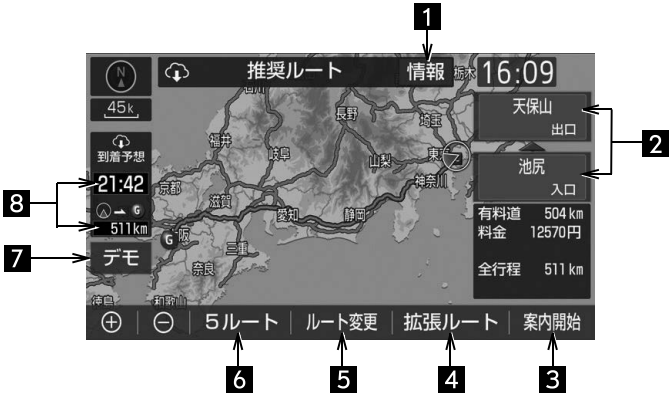


番号	表示	機能
1	IC マーク	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC と、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の位置に表示する。
2	IC 名称表示	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC の名称を下に、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の名称を上に表示する。
3	有料道路距離表示	目的地までに通るすべての有料道路の距離を表示する。 • 有料道路を通らないときは、利用する主な道路の種類が表示されます。
4	料金案内	目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示する。 • 有料道路を通らないときは、利用する主な道路の距離が表示されます。 • 目的地案内開始後に全ルート図表示画面を表示したときは、現在地から目的地までに通る残りの有料道路の料金を表示します。
5	距離表示	出発地点から目的地までの距離を表示する。

番号	表示	機能
6	残距離表示	表示されているルートの自車位置から目的地までの距離を表示する。 • ルートからはずれたときは、目的地までの直線距離を表示します。
7	到着予想時刻表示	目的地への到着予想時刻を表示する。 • ルートからはずれたときは、目的地方向マークを表示します。

全ルート図画面の操作

全ルート図表示画面で、次のことができます。



番号	スイッチ	機能	ページ
1	情報	ルート情報を表示する。（案内道路情報）	114
2	IC 名称	出入口 IC を指定する。	129
3	案内開始／案内に戻る	目的地案内を開始する。 目的地案内中は、現在地画面に戻る。	116
4	拡張ルート /T ルート	5 ルートと別の様々なルート探索パターンから希望のルートを選択する。 • 目的地案内開始後は表示されません。	546
		トヨタスマートセンターから交通情報を入手してルート検索する。	548
5	ルート変更	ルート変更画面を表示する。	126
6	5 ルート	別のルートを表示して選択する。 • 目的地案内開始後は表示されません。	114

番号	スイッチ	機能	ページ
7	デモ	デモンストレーションを開始する。	113
8	到着予想時刻・ 残距離表示	各目的地までの到着予想時刻・残距離に切り替える。（目的地を複数設定しているとき）	123

知 識

- トヨタスマートセンターから配信されるルートには が表示されます。
- 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- 料金は設定した車両情報（→P.46）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 到着予想時刻は設定した平均車速（→P.150）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 交通規制（常時進入禁止、時間による進入禁止など）区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に が表示されることがあります。
- 地図データには中央分離帯の情報が収録されていないものがあります。そのため、探索されるルートは中央分離帯を考慮したものではないことがあります。
- ルート上をタッチし続けることで通過する道路を指定することができます。（→P.130）

ルートの表示について

● ルートの表示は、次の 4 種類あります。

表示色	内容
▶青色	目的地を 1 カ所、または複数設定しているときの現区間（次の目的地まで）の表示
▶白色	目的地を複数設定しているときの現区間（次の目的地まで）以外の表示
▶水色	幅 5.5m 未満の道路表示（→ P.113）
▶橙色	季節規制区間の表示（→ P.152）

● ルートの表示色の設定を変更することができます。（→ P.148）

■幅 5.5m 未満の道路表示について

現在地または目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路を通るルートも探索します。

知 識

● 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。

デモンストレーション（デモ）を見る

ルート探索終了後、目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。

全ルート図表示画面（→ P.110）

1 デモ にタッチ。

● デモの表示速度を変更するとき

➡ 低速 、 中速 または 高速 にタッチする。

● デモを終了するとき

➡ MAP を押す、または走行する。

知 識

● 目的地案内を開始したあとは、デモを見ることはできません。

ルート情報を表示する（案内道路情報）

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・料金・通過予想時刻）を表示させることができます。

1 全ルート図表示画面（→ P.110）→ 情報

2 ルート情報画面が表示される。

- 入口 IC・出口 IC・JCT・目的地・道路の種別の変わり目などでルートを分割して表示します。
- 分割されたそれぞれのルートは、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。
  ・それぞれの地点の地図を表示するとき
  ➡ 地図 にタッチ。

知 識

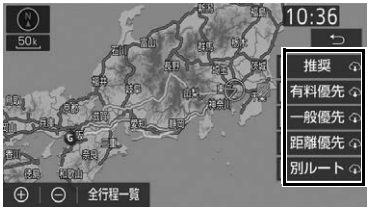
- 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。

5 つのルートから希望のルートを選ぶ

5 つのルートが 5 色に色分けされて表示されます。
燃費を設定している場合、最もエコなルートにアイコンが表示されます。（→ P.166）対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

1 全ルート図表示画面（→ P.110）→ 5 ルート

2 表示したいルート名称にタッチ。



- 選択したルートの全ルート図表示画面が表示されます。

スイッチ	内容
推奨	一般的なルートで案内します。
有料優先	有料道路を優先して案内します。
一般優先	一般道路を優先して案内します。
距離優先	距離の短いルートで案内します。
別ルート	他の４つのルートとは別のルートで案内します。

- トヨタスマートセンターから配信されるルートには が表示されます。

知 識

● 以下のときは、5 ルートを表示できません。
- 目的地を複数設定しているとき
- 通過する地点（IC・通過道路）を指定しているとき
- 目的地案内開始後

5 つのルートの詳細情報を表示する

5 つのルートの目的地までの距離・有料道路の距離・料金・所要時間を確認することができます。

1 全ルート図表示画面（→ P.110）→ 5 ルート → 全行程一覧

● ルート名称にタッチすると、タッチしたルートの全ルート図表示画面が表示されます。

● 燃費を設定している場合、エコ度が 3 段階の葉マークで表示されます。（→ P.166）対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2. 目的地案内の開始

目的地案内を開始する

全ルート図表示画面（→ P.110）

1 案内開始 にタッチ。

- 全ルート図が表示されたあと、MAP を押す、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。

目的地案内を中止する

1 MENU ▶ 設定・編集

2 案内中止 にタッチ。

- 再開するとき

  ➡ 案内再開 にタッチ。

知 識

- 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。

3. 目的地への案内について

音声案内について

目的地案内中の音声案内の例

■分岐交差点手前

700m 手前

「ポーン およそ 700m 先 ○○を右方向です」

300m 手前

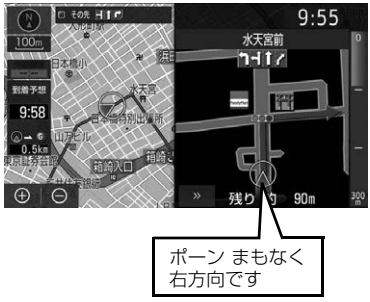
「ポーン およそ 300m 先 ○○を右方向です」

100m 手前

「ポーン まもなく右方向です」

交差点直前

「右方向です」



● ○○（道路名称や交差点名称、目印など）は、情報のある地点のみ案内されます。

▶信号機案内の例

「ポーン およそ 300m 先 次の信号を右方向です」

「ポーン 次の信号を右方向です」

「ポーン 2つ目の信号を右方向です」

▶目印案内の例

リアル交差点（→ P.121）を表示したときに音声案内されます。

「ポーン まもなく右方向 高架を登ります」

■有料道路への進入時

「ポーン まもなく右方向です
その先 高速道路です」

「ポーン この先 料金所です」

■連続車線変更案内時

連続車線変更案内（→ P.121）を表示したときに音声案内されます。

「ポーン すぐに左に車線変更が必要です」

■幅 5.5m 未満の道路への進入時

「実際の交通規制や道幅に注意して走行してください」

■首都高速の車線変更案内時

1km 手前

「およそ 1km 先、右（左）方向○○方面です

右（左）側 1 車線を走行してください」

500m 手前

「まもなく右（左）方向、○○方面です

右（左）側 1 車線を走行してください」

■首都高速の車線変更禁止区間案内時

1km 手前

「およそ 1km 先、右（左）方向○○方面です

車線変更禁止区間にご注意ください」

500m 手前

「まもなく右（左）方向、○○方面です

車線変更禁止区間にご注意ください」

目的地周辺に到着したときの音声案内の例

■目的地の手前

「ポーン まもなく目的地です」

■目的地の直前

「ポーン 目的地は右（左）側にあります」

音声案内はあくまでも参考としてください。

- 音声案内の音量は調整することができます。（→ P.46）
- MAP を押すと、再度音声案内が出力されます。

知 識

- 音声案内の例は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。
- 地図データに情報のある地点で案内されます。
- 首都高速の車線変更禁止区間案内は、車線変更禁止区間の端までの距離が短いときに、出力されない場合があります。
- 信号機案内は、以下のようなときに、出力されない場合があります。
  - 信号機があっても情報がないとき
  - 分岐する交差点までの距離が短いとき
  - 分岐する交差点までの間に別の信号機があるとき

幅 5.5m 未満の道路での音声案内について

目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートも音声案内を行います。

- 細街路での音声案内をする／しないを設定できます。（→ P.155）

知 識

- 実際の入り口（玄関、駐車場など）と異なる場所に案内される場合があります。
- 出発地点が幅 5.5m 未満の道路にある場合、幅 5.5m 以上の道路までは、音声案内を行いません。
- 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが案内されることがあります。

充電喚起案内

▶対象車種のみ

自宅を目的地に設定して自宅に到着したときに、車両側のメーター内に表示される駆動用電池残量が 4 以下になると、音声案内します。

- 充電喚起案内のする／しないを設定できます。（→ P.151）

知 識

- 充電喚起案内をするには自宅の登録が必要です。（→ P.108）
- 充電喚起案内の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

他モードでの音声案内について

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

- 他モードに切り替えたときに音声案内のする／しないを設定できます。（→ P.155）

知 識

- 音声案内が出力されていないときも、目的地案内は継続して行われます。

交差点案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、レーンリスト図（→ P.119）または交差点拡大図（→ P.120）に切り替わります。

レーン（車線）リスト図の表示／解除

分岐する交差点の手前（約 700m 以内）では、レーンリスト図を表示させることができます。

レーンリスト図は、走行する交差点の名称とレーンを 4 つまで表示させることができ、走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

⚠ 警告

- レーン案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

■レーンリスト

- レーンリスト図を解除するとき
  ➡ >> にタッチ。

知 識

- レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図（→ P.120）が自動的に表示されます。

■高精度レーンリスト

高精度レーンリストでは、実際の車線状況に応じたレーンリスト（右側・左側車線の増減を画面にそのまま反映したもの）が表示されます。

- レーンリスト図を解除するとき
  ➡ >> にタッチ。

■高精度レーンリストを表示できる地域について

2017 年 11 月時点の東京 23 区・政令指定都市 ※1・中核市 ※2 における片側 3 車線以上の道路

※1 横浜市、名古屋市、大阪市、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、京都市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市

※2 函館市、旭川市、青森市、八戸市、盛岡市、秋田市、郡山市、いわき市、宇都宮市、前橋市、高崎市、川越市、越谷市、船橋市、柏市、八王子市、横須賀市、富山市、金沢市、長野市、岐阜市、豊橋市、岡崎市、豊田市、大津市、豊中市、高槻市、枚方市、東大阪市、姫路市、尼崎市、西宮市、奈良市、和歌山市、倉敷市、福山市、呉市、下関市、高松市、松山市、高知市、久留米市、長崎市、佐世保市、大分市、宮崎市、鹿児島市、那覇市

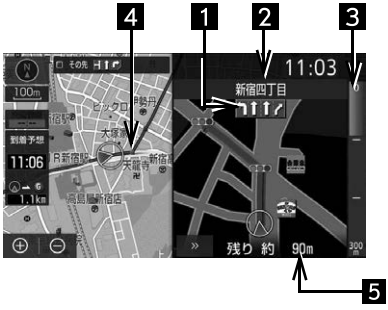
- 2018 年 9 月時点のものであり、変更される場合があります。

交差点拡大図について

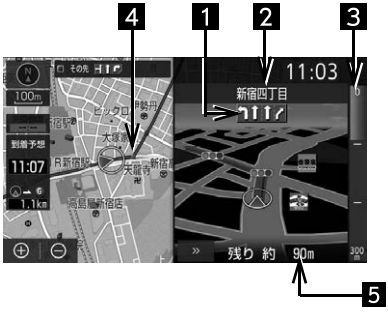
分岐する交差点に近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図が表示されます。

▶分岐しない交差点

▶分岐する交差点（交差点拡大図）



▶分岐する交差点（3D 交差点拡大図）



番号	機能
1	通過・分岐する交差点のレーンが表示されます。 • 走行を推奨するレーンが青色で表示されます。
2	通過・分岐する交差点の名称が表示されます。
3	交差点までの距離が表示されます。 • 交差点に近づくとともに右側のバーが短くなります。
4	通過・分岐する交差点に表示されます。
5	交差点までの距離が表示されます。

● 交差点拡大図の 3D 表示する／しないを設定できます。(→ P.150)

(知 識)

● 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は行われません。
● レーン表示・交差点名称表示が実際の交差点と異なることがあります。
● 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
● 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなることがあります。
● 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
● 交差点拡大図が表示されているとき、レーン表示・交差点名称表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。

連続車線変更案内について

分岐する交差点までの距離が短く、複数回車線変更が必要な場合に表示されます。

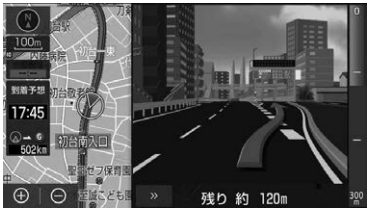
(知 識)

● 地図データに情報のある地点で表示します。

立体的な拡大図の表示／解除

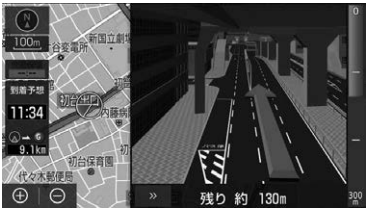
目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

▶都市高速 IC 入口

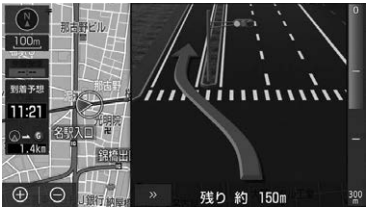


▶立体交差点

▶リアル交差点



▶側道案内



● 拡大図表示を解除するとき

➡ [>>] にタッチ。

・拡大図に戻すとき

➡ [MAP] を押す。

● 地図データに情報のある地点で表示されます。

● リアル交差点拡大図は、都市部の交差点で分岐が分かりづらい交差点で表示されます。

到着予想時刻について

全ルート図表示画面（→ P.110）と目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、到着予想時刻を表示させることができます。

到着予想時刻表示

● 到着予想時刻の表示（デジタル／アナログ）を設定できます。（→ P.151）

知 識

● 到着予想時刻は設定した平均速度（→ P.150）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

● ルートからはずれたときは、目的地方向マーク（）になります。

● 目的地の設定状況により目的地方向マークにタッチしたときの表示が異なります。

・目的地を２つ設定しているとき

➡ タッチするごとに各目的地の方向マークに切り替わります。

・目的地を３つ以上設定しているとき

➡ 直線距離切替画面で各目的地の方向マークがリスト表示されます。

4. ルート案内中に操作する

全ルート図を表示する

1 地図表示中 → 表示変更

2 全ルート にタッチ。

- 全ルート図表示画面について
  ➡「ルート検索後の全ルート図表示について」（→ P.110）

全ルート図表示縮尺に切り替える

目的地を設定しているときに、現在地から目的地までの全ルートを、現在地を地図表示画面の中心にした縮尺に切り替えることができます。

1 ⊖ または ⊕ にタッチ。

2 にタッチ。

知 識

- 現在地と目的地の位置によっては、全ルートを表示できないことがあります。

到着予想時刻・残距離表示を切り替える

目的地を複数設定しているとき、目的地ごとの到着予想時刻・残距離表示に切り替えることができます。

到着予想時刻・残距離表示

1 到着予想時刻・残距離表示にタッチ。

- 目的地が 2 カ所のときは、タッチするごとに各目的地までの到着予想時刻・残距離表示に切り替わります。

2 表示させたい目的地にタッチ。

知 識

- 状況により目的地までの表示が異なります。
  - ・現在地がルート上にあるとき
    ➡ 到着予想時刻と表示されているルートを通っての距離
  - ・ルートからはずれたとき
    ➡ 目的地の方向と直線距離

5. ルートを再探索する

ルートを再探索する

ルートをはずれたときは、自動的に再探索します。
再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

(知 識)

- 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートが探索されます。
- 自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。

ルートの再探索方法を選ぶ

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）の現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索をすることができます。

1 MAP ▶ 再探索

2 再探索する項目にタッチ。

項目（スイッチ）	機能
Tルート探索／取得中止 ※1	トヨタスマートセンターから交通情報を入手してルートの再探索を行う。ルート探索中、取得中止 にタッチすると、Tルート探索情報の取得を中止する。
推奨	現在地から次の目的地 ※2 の間で、一般的なルートを探索する。
有料優先	現在地から次の目的地 ※2 の間で、有料道路を優先してルートを探索する。
一般優先	現在地から次の目的地 ※2 の間で、一般道路を優先してルートを探索する。
距離優先	現在地から次の目的地 ※2 の間で、距離の短いルートを探索する。
別ルート	現在地から次の目的地 ※2 の間で、選ばれているルートとは別のルートを探索する。
ルート変更	ルート変更画面を表示する。(→ P.126)
次の消去	現在地の次の目的地を消去して、再探索をする。
全ての消去	全ての目的地を消去する。
周辺迂回 ※3	現在地周辺で、探索されたルートの迂回路を探索する。(探索されたルートが工事中で通れないときなどに使用します。) • 目的地案内開始前にはできません。
回避ルート探索 ※4	気象・災害情報エリアを回避するルートを探索する。

項目（スイッチ）	機能
次の◆解除 / 次のIC解除	現在地の次の通過道路（◆）を解除して、再探索をする。IC を指定している場合、次のIC解除 にタッチすると IC の指定を解除して、再探索をする。
有料道から探索／一般道から探索 ※5	有料道路と並行している一般道路を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートを探索する。 • 目的地案内開始前にはできません。

※1 T-Connect を利用しているときのみ使用できます。
※2 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路を指定しているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートを探索します。
※3 ルートからはずれたときは表示されません。
※4 目的地案内中に気象・災害情報を受信したときのみ表示されます。
※5 有料道路と一般道路が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは表示されません。

知 識

- 通常のルート探索では、スマート IC を通らないルートが探索されます。
- 「○○優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、有料優先 にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、一般優先 にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- 道路形状により再探索されないことや、条件を変更しても同じルートが探索されることがあります。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへ戻るルートではなく、設定している目的地または指定している IC・通過道路に向かうルートが再探索されます。

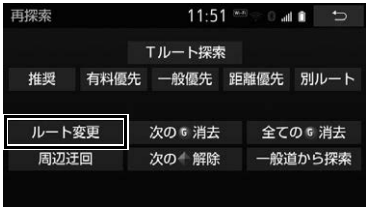
6. ルートを変更する

ルート変更画面を表示する

1 MAP ▶ 再探索

- 次の手順でも操作できます。
  - MENU ▶ 設定・編集
  - 全ルート表示画面 （→ P.110）

2 ルート変更 にタッチ。



3 ルート変更画面が表示される。

作動表示灯

- ルート変更画面では、次のことができます。

機能	ページ
探索条件の変更	126
目的地の追加	127
目的地の順番を並べ替える	127
目的地の消去	128
出入口 IC の指定・解除	129
通過道路の指定	130
通過道路の修正	131
通過道路指定の解除	131
季節規制区間の迂回ルート探索	132

- 探索開始 にタッチすると、スマート IC を通らないルートが探索されます。
- スマート IC 考慮 にタッチすると、目的地周辺や現在地周辺に適当なスマート IC がある場合は、スマート IC を通るルートが探索されます。適当なスマート IC がない場合は、通常の IC を通るルートが探索されます。スマート IC 考慮が設定されているときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。

知 識

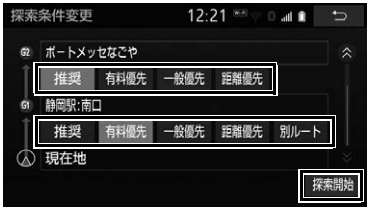
- スマート IC については、P.426 を参照してください。

探索条件を変更する

目的地を複数設定、または通過道路を指定しているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。

1 ルート変更画面（→ P.126）→ 探索条件変更

2 それぞれの区間の探索条件（ルート名称）→ 探索開始 の順にタッチ。



(知 識)

- 探索条件の特徴について
  ➡「ルートの再探索方法を選ぶ」(→ P.124)
- 最初の目的地までの区間のみ、「別ルート」が表示されます。

目的地を追加する

目的地を設定したあと、さらに追加して目的地を設定することができます。

1 ルート変更画面(→ P.126)→ 目的地・通過目的地の 追加

2 地図の呼び出し方法を選び、追加したい地点の地図を表示する。(→ P.92、P.105)

3 目的地セット にタッチ。

- ⊕の位置に目的地が で表示されます。
- ここまでの操作は、目的地の設定と同じ方法で追加することもできます。(→ P.107)

4 目的地を追加する区間の 設定 にタッチ。

- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 にタッチ。
- さらに追加して目的地を設定するとき
  ➡ 追加 にタッチ。(手順 **2** の画面へ)

(知 識)

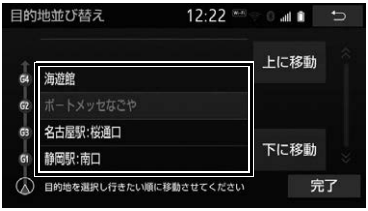
- 目的地は10カ所まで設定することができます。
- 800m 図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。記憶できる件数をこえると、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地履歴を選択して消去することもできます。(→ P.156)
- IC・通過道路(→ P.129)を指定しているときは、目的地を追加すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

目的地の順番を並べ替える

1 ルート変更画面(→ P.126)→ 目的地・通過目的地の 並び替え

- IC・通過道路(→ P.129)を指定しているときは、メッセージが表示されます。
  はい にタッチすると、指定されているIC・通過道路の指定が解除されます。その場合、不適切なルートが探索されることがあります。

2 順番を変更したい目的地にタッチ。



3 上に移動 または 下に移動 にタッチ。

- 上に移動 にタッチすると、タッチした目的地を上に移動します。（目的順としては後ろに移動します。）
- 下に移動 にタッチすると、タッチした目的地を下に移動します。（目的順としては前に移動します。）

4 完了 にタッチ。

- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 にタッチ。

目的地を消去する

次の方法で、目的地を消去することができます。

消去方法	ページ
ルート変更画面から消去する	128
目的地画面から消去する	128
地図画面から消去する	129

知 識

- すべての目的地を消去すると、目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度、目的地を設定してください。
- 複数目的地を設定し、IC・通過道路（→P.129）を指定しているときは、目的地を消去すると、指定されている地点によってIC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。
- 複数目的地を設定しているときに中間の目的地を削除すると、削除前に設定していた探索条件でルートが探索されます。

ルート変更画面から目的地を消去する

ルート変更画面（→P.126）

1 目的地・通過目的地の 消去 にタッチ。

2 消去したい目的地にタッチ。

- すべての目的地を消去するとき
  ➡ 全消去 にタッチ。

3 はい にタッチ。

- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 にタッチ。

目的地画面から目的地を消去する

1 MENU ▶ 目的地

2 目的地消去 にタッチ。

3 消去したい目的地にタッチ。

- すべての目的地を消去するとき
  ➡ 全消去 にタッチ。

4 はい にタッチ。

● ルート変更画面に戻ったとき
➡ 探索開始 にタッチ。

地図画面から目的地を消去する

1 地図上の消去したい目的地にタッチ。

2 情報 にタッチ。

3 消去 にタッチ。

4 はい にタッチ。

● ルート変更画面に戻ったとき
➡ 探索開始 にタッチ。

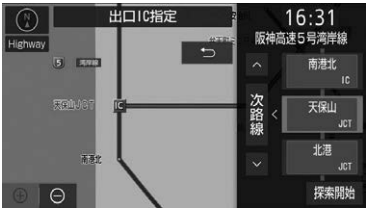
出入口 IC（インターチェンジ）を指定する

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口 IC・入口 IC を 1 カ所ずつ指定することができます。

出入口 IC を指定する

1 全ルート図表示画面（→ P.110）またはルート変更画面（→ P.126）→ (IC 名称表示)

2 次のいずれかの操作をする。



▶左画面で指定する

● 左画面で指定したい IC 付近に地図を動かし、右画面に表示される IC 候補から (指定したい IC) → 探索開始 の順にタッチ。

▶右画面で指定する

● ∧ ・ ∨ または 次路線 にタッチして IC を切り替え、(指定したい IC) → 探索開始 の順にタッチ。

● 次路線 は JCT があり分岐するときのみ表示されます。

● ルート変更画面に戻ったとき
➡ 探索開始 にタッチ。

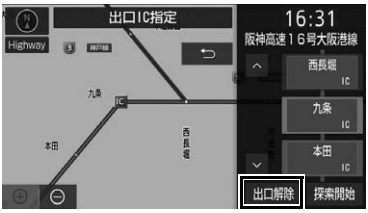
(知 識)

● スマート IC（ETC 専用インターチェンジ）を選択することもできます。
このとき、ETC 車載器の有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

IC の指定を解除する

1 全ルート図表示画面（→ P.110）またはルート変更画面（→ P.126）→ (IC 名称表示)

2 出口解除 または 入口解除 にタッチ。



通過する道路を設定する

目的地を設定したあと、通過する道路を指定することができます。

知 識

- 5 カ所まで指定することができます。
- IC を指定しているとき（→P.129）、通過道路を指定すると、指定されている地点によって、指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

通過する道路を指定する

■ルート変更画面から指定する

ルート変更画面（→P.126）

1 通過点（通過道路指定）の 指定 にタッチ。

2 通過道路を指定する位置に地図を動かし、通過道路セット にタッチ。

3 セット にタッチ。

- 通過道路が◆記号で指定されます。
- 希望の通過道路でないとき
  ➡ 次候補 にタッチ。
- 目的地を複数設定しているとき、または IC・通過道路を指定しているとき
  ➡ 通過道路を指定する区間の 設定 にタッチ。
- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 にタッチ。

知 識

- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、次候補 にタッチしても、道路が選べないことがあります。

■全ルート図をタッチして指定する

全ルート図表示画面（→P.110）

1 ルート上をタッチし続けると、◆記号が表示されます。指定する位置までスライド操作（→P.21）し、指を離す。

- 通過する道路の指定は地図画面でも操作できます。

通過する道路を修正する

■ルート変更画面から修正する

ルート変更画面（→ P.126）

1 通過点（通過道路指定）の 修正 にタッチ。

- 複数の道路を指定しているとき
  ➡ 道路または地名にタッチ。

2 通過道路を指定する位置に地図を動かし、通過道路セット にタッチ。

3 セット にタッチ。

- 通過道路が◆記号で指定されます。
- 希望の通過道路でないとき
  ➡ 次候補 にタッチ。
- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 にタッチ。

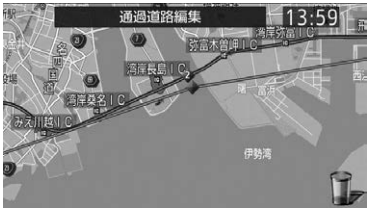
知 識

- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、次候補 にタッチしても、道路が選べないことがあります。

■全ルート図をタッチして修正する

全ルート図表示画面（→ P.110）

1 修正したい◆記号をタッチし続けて指定する位置までスライド操作（→ P.21）し、指を離す。



- 通過する道路の修正は地図画面でも操作できます。

通過する道路指定を解除する

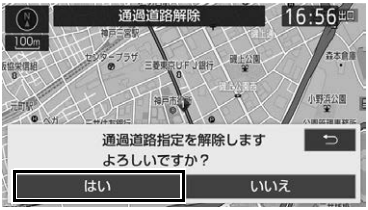
■ルート変更画面から解除する

ルート変更画面（→ P.126）

1 通過点（通過道路指定）の 解除 にタッチ。

- 複数の道路を指定しているとき
  ➡ 道路または地名にタッチ。

2 はい にタッチ。



- すべての通過道路指定を解除するとき
  ➡ 全解除 → はい の順にタッチ。
- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 にタッチ。

■全ルート図をタッチして解除する

全ルート図表示画面（→ P.110）

1 解除したい◆記号をタッチし続けてまでスライド操作（→ P.21）し、指を離す。

- 通過する道路の解除は地図画面でも操作できます。

季節規制区間の迂回ルートを探索する

1 ルート変更画面（→ P.126）→ 季節規制回避

- 季節規制回避が設定されているときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。

知 識

- 季節規制回避 は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。
- 規制区間を通らないと目的地に行けないようなとき（規制区間内に目的地・通過道路が設定・指定されているときなど）は、季節規制回避 にタッチしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

1. メモリ地点を登録する

地点の登録について

検索した地点を本機に登録することができます。

地点を登録しておくと、

(1) 地図にマークで表示されます。

(2) 近づいたときに音が鳴るようにすることができます。

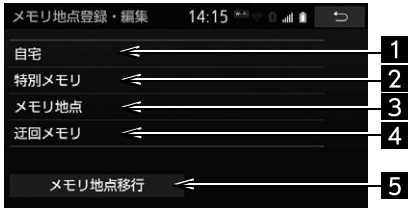
(3) 目的地の設定のときなどに、簡単な操作で地図を呼び出すことやルート探索を開始することができます。(→ P.92)

メモリ地点登録・編集画面を表示する

1 MENU ▶ 設定・編集

2 メモリ地点登録・編集 にタッチ。

3 メモリ地点登録・編集画面が表示される。



● 以下の方法で地点の登録・編集をすることができます。

番号	機能	ページ
1	自宅の登録と編集を行う。	133
2	特別メモリの登録と編集を行う。	134
3	メモリ地点の登録と編集を行う。	135
4	迂回メモリの登録と編集を行う。	137
5	メモリ地点の取り込みと取り出しを行う。	142

(知 識)

● 800m 図より詳細な地図で登録することができます。(現在地画面から登録するときを除く)

● 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号も同時に表示されることがあります。

自宅を登録する

自宅の登録方法は、「自宅を登録する」(→ P.45) をご覧ください。

自宅を修正／消去する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 自宅

2 修正 にタッチ。

● 自宅を消去するとき

➡ 消去 → はい の順にタッチ。

3 自宅修正画面で各項目を修正する。

● 修正・入力方法については下記ページをご覧ください。

項目	ページ
マーク	138
名称	139
地図への名称表示	139
名称読み	140
位置	140
電話番号	140

4 完了 にタッチ。

知 識

● 地図画面からも、自宅の修正 / 消去をすることができます。詳しくは、「メモリ地点の情報を修正する」（→P.138）/「メモリ地点を消去する」（→P.136）をご覧ください。

特別メモリを登録する

特別メモリとは、走行中でも呼び出すことが可能なメモリ地点です。5カ所まで登録することができます。

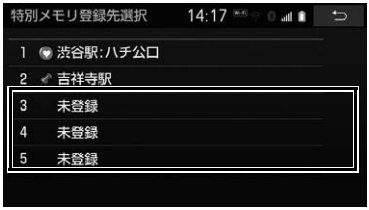
特別メモリを登録する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 特別メモリ → 登録

2 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。（→P.95）

3 セット にタッチ。

4 未登録の番号にタッチ。



● 特別メモリを置き換えたいとき

➡ 置き換えたい特別メモリ→ はい の順にタッチ。

5 完了 にタッチ。

知 識

● 設定されていない特別メモリがある場合は、目的地設定画面の特別メモリ 1 ～ 5（未登録）からも設定できます。（→P.109）

特別メモリを修正する

1 特別メモリ画面（→P.134）→ 修正

2 修正したい特別メモリにタッチ。

3 特別メモリ修正画面で各項目を修正する。

● 修正・入力方法については下記ページをご覧ください。

項目	ページ
マーク	138
名称	139
地図への名称表示	139
名称読み	140
位置	140
電話番号	140

4 完了 にタッチ。

知 識

● 地図画面からも、特別メモリの修正をすることができます。詳しくは、「メモリ地点の情報を修正する」（→ P.138）をご覧ください。

特別メモリを消去する

1 特別メモリ画面（→ P.134）→ 消去

2 消去したい特別メモリにタッチ。

3 はい にタッチ。

● すべての特別メモリを消去するとき
➡ 全消去 → はい の順にタッチ。

知 識

● 地図画面からも、特別メモリの消去をすることができます。詳しくは、「メモリ地点を消去する」（→ P.136）をご覧ください。

メモリ地点を登録する

メモリ地点を登録する

■設定・編集画面から登録する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → メモリ地点 → 登録

2 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。（→ P.95）

3 セット にタッチ。

4 完了 にタッチ。

■地図画面から登録する

1 地図表示中、現在地または登録したい位置に地図を動かし 地点登録 にタッチ。

メモリ地点を修正する

■設定・編集画面から修正する

1 メモリ地点画面（→ P.135）→ 修正

2 修正したいメモリ地点にタッチ。

● グループを作成（→ P.141）しているときは、ソート / 絞り込み → グループで絞る の順にタッチすると、設定したグループ名でメモリ地点を絞り込むことができます。
・ 絞り込みを解除したいとき
➡ ソート / 絞り込み → 絞り込み解除 の順にタッチ。

● 地図呼び出し画面のメモリ地点検索でも、グループで絞り込むことができます。（→ P.109）

● メモリ地点のリストは、以下の並べ方をすることができます。

スイッチ	並べ方
登録順	メモリ地点の登録順
名称順	50 音順
マーク順	マークの種類別

3 メモリ地点修正画面で各項目を修正する。

● 修正・入力方法については下記ページをご覧ください。

項目	ページ
マーク	138
名称	139
地図への名称表示	139
名称読み	140
位置	140
電話番号	140
グループ	141

4 完了 にタッチ。

■地図画面から修正する

1 地図表示中、修正するメモリ地点にタッチ。

2 情報 にタッチ。

3 修正 にタッチ。

4 以降の手順は「設定・編集画面から修正する」（→ P.135）手順 **3** へ。

知 識

● 名称順に並べ替えるには、名称の入力が必要です。（→ P.139）

メモリ地点を消去する

■設定・編集画面から消去する

1 メモリ地点画面（→ P.135）→ 消去

2 消去したいメモリ地点にタッチ。

● グループを作成（→ P.141）しているときは、ソート / 絞り込み / 全消去 → グループで絞る の順にタッチすると、メモリ地点を指定したグループで絞り込むことができます。

・絞り込みを解除したいとき

➡ 絞り込み解除 にタッチ。

3 はい にタッチ。

● すべてのメモリ地点を消去するとき

➡ ソート / 絞り込み / 全消去 → 全消去 → はい の順にタッチ。

● メモリ地点のリストは、

ソート / 絞り込み / 全消去 にタッチすると、以下の並べ方をすることができます。

スイッチ	並べ方
登録順	メモリ地点の登録順
名称順	50 音順
マーク順	マークの種類別

■地図画面から消去する

1 地図表示中、消去するメモリ地点にタッチ。

2 情報 にタッチ。

3 消去 にタッチ。

4 はい にタッチ。

迂回メモリを登録する

工事や通行止め、よく渋滞する場所などが分かっているとき、迂回メモリとして登録しておくと、そのエリアを迂回するルートを探索します。

迂回メモリを登録する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 迂回メモリ → 登録

2 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。(→ P.95)

3 セット にタッチ。

- 迂回範囲が黄色の四角で表示されます。

4 迂回範囲を設定し、セット にタッチ。

∧ ：迂回範囲を広くする

∨ ：迂回範囲を狭くする

- ∧ ・ ∨ の間にある数値は迂回させる範囲の一辺の距離になります。

5 完了 にタッチ。

(知 識)

- 800m 図より詳細な地図で登録することができます。
- 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称も同時に表示されることがあります。
- 迂回範囲を最小にすると、✖(迂回メモリ地点)に切り替えることができます。高速道路(都市高速・有料道路を含む)およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることができません。迂回したいときは、迂回メモリ地点を道路上に設定してください。
- 迂回メモリ地点は専用のマーク(✖)で表示され、マークを変更することはできません。

迂回メモリを修正する

迂回メモリの修正、および解除、迂回エリアの変更ができます。

1 迂回メモリ画面(→ P.137) → 修正

2 修正したい迂回メモリにタッチ。

3 迂回メモリ修正画面で各項目を修正する。

- 修正・入力方法については下記ページをご覧ください。

項目	ページ
名称	139
地図への名称表示	139
位置	140

● 迂回メモリの迂回機能を無効にしたいとき
➡ 無効 にタッチ。
● 有効にするとき
➡ 有効 にタッチ。
● 迂回エリアを変更したいとき
➡ 迂回エリア変更 にタッチ。
∧ ・ ∨ で迂回範囲を設定し、セット にタッチ。

4 完了 にタッチ。

迂回メモリを消去する

1 迂回メモリ画面（→ P.137）→ 消去

2 消去したい迂回メモリにタッチ。

3 はい にタッチ。

● すべての迂回メモリを消去するとき
➡ 全消去 → はい の順にタッチ。

メモリ地点の情報を修正する

メモリ地点のマーク・名称などの地点情報は、メモリ地点修正画面から変更できます。

メモリ地点修正画面を表示する

■設定・編集画面から表示する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 自宅 、特別メモリ または メモリ地点

2 修正 にタッチ。

● 自宅の場合は、自宅修正画面が表示されます。

3 修正するメモリ地点にタッチするとメモリ地点修正画面が表示される。

■地図画面から表示する

1 地図表示中、修正するメモリ地点にタッチ。

2 情報 にタッチ。

3 修正 にタッチ。

マークを変更する

1 メモリ地点修正画面（→ P.138）→ マーク

2 ┘マーク 1└、┘マーク 2└、┘マーク 3└ または 音声付 にタッチし、希望のマークを選ぶ。

● マークが不要なとき
➡ ┘マーク 3└ の マーク無し にタッチ。

3 完了 にタッチ。

■音声付きメモリを設定する

音声付きメモリに設定すると、音声付きメモリのマークに変更されます。設定した地点の約 500m 付近に近づくと音が鳴ります。

1 メモリ地点修正画面の マーク（→ P.138）→ 音声付

2 鳴らしたい音にタッチ。

- 鳴る音を確認するとき
  ➡ 音確認 にタッチ。

3 完了 にタッチ。

■音声／方向付きメモリを設定する

指定した方向から約 500m 付近に近づくと音が鳴ります。

1 メモリ地点修正画面の マーク（→ P.138）→ 音声付 → 方向付きメモリ

2 方向を指定し、セット にタッチ。

：反時計回り

：時計回り

3 完了 にタッチ。

メモリ地点名称を入力する

名称を入力しておくと、名称順での並べ替え（メモリ地点のみ対応）ができます。（→ P.135）

1 メモリ地点修正画面（→ P.138）→ 名称

2 文字入力画面で名称を入力する。（→ P.39）

3 完了 にタッチ。

地図にメモリ地点名称を表示する

メモリ地点修正画面（→ P.138）

1 地図への名称表示 にタッチ。

- 地図への名称表示が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき

  ➡ 地図への名称表示 にタッチ。

(知 識)

- 800m 図より詳細な地図で名称を表示することができます。

メモリ地点の名称読みを入力する

名称読みを入力しておくと、音声操作で地図を呼び出すことができます。(→ P.342)

1 メモリ地点修正画面（→ P.138）→ 名称読み

2 文字入力画面で名称読みを入力する。(→ P.39)

3 完了 にタッチ。

メモリ地点の位置を修正する

1 メモリ地点修正画面（→ P.138）→ 位置

2 ∧ (8 方向) または地図にタッチして地点の位置を修正し、セット にタッチ。

3 完了 にタッチ。

メモリ地点の電話番号を入力する

電話番号を入力しておくと、電話番号で地図を呼び出すことができます。(→ P.101)

1 メモリ地点修正画面（→ P.138）→ 電話番号

2 市外局番から電話番号を入力し、完了 にタッチ。

3 完了 にタッチ。

メモリ地点をグループで絞り込む

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → メモリ地点 → 修正 または 消去 → ソート / 絞り込み → グループで絞る

2 絞り込みたいグループにタッチ。

- 絞り込みを解除したいとき
  ➡ 絞り込み解除 にタッチ。

- 地図呼び出し画面のメモリ地点検索でも、グループで絞り込むことができます。(→ P.92)

グループを指定する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → メモリ地点 → 修正 → (指定するメモリ地点) → グループ

2 指定したいグループにタッチ。

- グループ指定をしないとき
  ➡ グループなし にタッチ。

3 完了 にタッチ。

■グループを作成・修正する

1 グループ画面で グループ編集 にタッチ。

2 新規グループ作成 にタッチ。

- グループ名を修正したいとき
  ➡ グループ名修正 → (修正したいグループ名) の順にタッチ。

3 文字入力画面でグループ名を入力する。(→ P.39)

■グループを削除する

1 グループ画面で グループ編集 にタッチ。

2 グループ削除 にタッチ。

3 (削除したいグループ名) にタッチ。

4 はい にタッチ。

- すべてのグループを削除するとき
  ➡ 全削除 → はい の順にタッチ。

2. メモリ地点を取り込み・取り出しする

メモリ地点の取り込みと取り出しについて

本機で登録したメモリ地点を、取り出したり、取り込んだりすることができます。

本機からメモリ地点を取り出すときには、パスワードの設定が必要になります。

- パスワードの初期化は「パスワードを初期化する」（→ P.142）を参照してください。
  初期化すると、本機に登録しているメモリ地点も消去されますのでご注意ください。

知 識

- WEB 検索（→ P.555）で登録したメモリ地点は、取り出すことができません。
- メモリ地点のデータ移行操作時は、他の操作をすることができません。

パスワードを設定する

パスワードを設定する

データの読み込みで使用するパスワードを設定すると、メモリ地点のデータを保存することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → メモリ地点移行

2 パスワードの 設定 にタッチ。

3 数字 4 桁のパスワードを入力し、完了 にタッチ。

- すでにパスワードが設定されているとき
  ➡ 既存のパスワードを入力後、新しいパスワードを入力。
- 間違えたとき
  ➡ ← にタッチ。

4 もう一度パスワードを入力し、完了 にタッチ。

知 識

- 設定したパスワードは、SD カードからメモリ地点を読み込むときに必要です。忘れないよう控えておいてください。

パスワードを初期化する

パスワードを忘れた場合、パスワードの初期化が必要です。初期化すると、本機に登録しているメモリ地点も消去されますのでご注意ください。

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → メモリ地点移行

2 パスワードの 初期化 にタッチ。

3 はい にタッチ。

4 はい にタッチ。

メモリ地点を取り出す

本機で登録したメモリ地点を Audio SD カードに保存することができます。

1 Audio SD カードを挿入 (→ P.244)
→ MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集

2 メモリ地点移行 にタッチ。

3 保存の SD にタッチ。

4 パスワードを入力し、完了 にタッチ。

- 間違えたとき
  ➡ ← にタッチ。

5 はい にタッチ。

6 了解 にタッチ。

- 登録しているすべてのメモリ地点が保存されます。

(知 識)

- メモリ地点を保存する前に、パスワードを設定してください。(→ P.142)
- メモリ地点を SD カードに保存すると、本機に登録しているメモリ地点はすべて消去されます。また、パスワードも初期化されます。
- すでにメモリ地点のデータを保存している SD カードを使用した場合、上書き保存となり、保存していたデータは消去されます。消去したデータは保証できませんので注意して保存してください。
- SDカードにデータを保存中は車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしないでください。データが破損するおそれがあります。
- 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にするなどして保存、読み込みが中断した場合、再度操作します。
- メモリ地点移行画面 (3の画面) で本体のスイッチを押しても、操作することができません。 ⮌ にタッチして、メモリ地点画面から操作します。

メモリ地点を取り込む

Audio SD カードに保存したメモリ地点の情報を、本機に取り込むことができます。

1 Audio SD カードを挿入（→ P.244）
→ MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集

- どの種類のメモリ地点を選択しても、SD カードに保存されているすべてのメモリ地点が取り込みの対象となります。

2 メモリ地点移行 にタッチ。

3 読み込みの SD にタッチ。

4 パスワードを入力し、完了 にタッチ。

- 間違えたとき
  ➡ ← にタッチ。

5 はい にタッチ。

6 了解 にタッチ。

知 識

- SDカードの誤消去防止スイッチのLOCKを解除してから操作します。
- メモリ地点を取り込むには、保存したときに入力したパスワードが必要です。
  パスワードの変更や初期化をした場合でも保存したときに入力したパスワードで取り込んでください。
- メモリ地点を移すと、本機に登録しているメモリ地点のデータはすべて消去され、SD カードに保存したすべてのメモリ地点のデータに置き替えられます。
- SD カードからメモリ地点を移すと、SD カードに保存していたメモリ地点のデータはすべて消去されます。

1. 自車位置マークがずれているとき

補正について

地図上の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。

GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

(知 識)

- 現在地の自動補正は、数分かかることがあります。

現在地を修正する

実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）とき、自車位置マークの位置と向いている方向を修正することができます。

800m 図より詳細な地図で補正することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → ナビ補正 → 現在地修正

2 ＜（8 方向）または地図にタッチして現在地を修正し、セット にタッチ。

3 方向を修正し、セット にタッチ。

：反時計回り

：時計回り

距離を補正する

走行中、地図上の自車位置マークの進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき、自車位置マークの進み方を修正することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → ナビ補正

2 自動補正 にタッチ。

- 自動補正 にタッチすると、GPS 情報を利用しながら、しばらく走行し、自動的に補正を行います。

(知 識)

- タイヤ交換を行ったときは自動補正を行ってください。
- 自動補正モード中ではないときも、距離補正の学習機能を持っているため、自車位置マークの進み方が走行状態により、変化することがあります。

2. ナビの詳細を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集

2 ナビ詳細設定 にタッチ。

3 設定したい項目にタッチ。

4 各項目を設定する。

● 詳しくは、次の表をご覧ください。

項目	ページ
地図表示設定	147
案内表示設定	150
ルート系設定	151
自動表示切替設定	154
音声設定	155
その他	156

● 初期設定の状態に戻すとき

➡ 初期状態に戻す にタッチ。

地図表示設定をする

地図表示設定

地図表示方法を、 地図１画面 、 地図２画面 から選択できます。

▶地図１画面

▶地図２画面

- 地図 2 画面表示させているとき、左画面の操作は、1 画面表示のときと同じです。
- 地図 2 画面表示にさせているときは、左画面のみ地図を動かすことができます。

右画面設定

地図を２画面表示にしたときの、右画面表示を設定できます。

作動表示灯

地図向きを切り替える

設定後にタッチ

左画面に施設の記号を表示させているときに、右画面でも施設の記号を表示する

左画面に VICS・交通情報を表示させているときに、右画面でも VICS・交通情報を表示する

地図縮尺を切り替える

3D 地図表示設定

地図を 3D 表示するときの角度設定ができます。

設定後にタッチ

角度を上げる

角度を下げる

初期設定の状態に戻す

地図表示カスタマイズ

地図をカスタマイズすることができます。

▶地図色

地図の表示色を フレッシュ 、 ナチュラル 、 スタイリッシュ 、 クッキリ 、 カラフル の中から選択できます。

▶ルート色

ルートの表示色を 5 色から選択できます。

▶自車マーク

自車位置マークを 2 種類から選択できます。

▶文字サイズ

地図上に表示される地名などの文字サイズを 大 、中 、小 の中から選択できます。

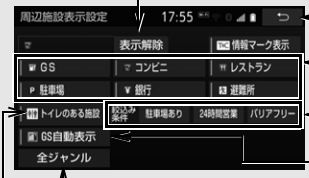
プレビューを表示
文字サイズを選択
初期設定の状態に戻す

地図色切り替えタイミング設定

昼画と夜画の切り替えタイミングを 時刻連動 、ライト連動 、ライト・明るさ連動 の中から選択できます。(→ P.55)

周辺施設表示

ガソリンスタンドなどの施設マークを地図上に表示することができます。



選択した施設をすべて解除
設定後にタッチ
施設のジャンルにタッチ
・5 つまで選択できます。
・再度タッチすると、解除されます。
トイレのある施設を条件で絞り込むことができます。
ガソリン残量が設定した航続可能距離以下になると、ガソリンスタンドの施設マークを表示します。※
航続可能距離は、 周辺施設 (→ P.85) または 周辺施設設定 (→ P.157) で設定します。
表示されている以外のジャンルを表示
・ 全ジャンル →施設のジャンル→さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ

トイレのある施設を表示できます。
・再度タッチすると、解除されます。

施設マーク

※ 対象車種についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

知 識

● ルート色設定について

・ ルート色が変更されるのは地図上のルート色のみです。ルート情報画面、探索条件変更画面、交差点拡大図などのルート色は変更されません。

案内表示設定をする

県境案内

都道府県境を通過したとき、案内マークと音声で案内する／しないを選択できます。

← 県境案内マーク

3D 交差点拡大図

交差点拡大図を立体的（3D）に表示する／しないを選択できます。

オートマップズーム

目的地案内中に案内地点に近づいたときに、地図の縮尺を自動で拡大する / しないを選択できます。

到着予想時刻用速度設定

ルート案内するときの、到着予想時刻・通過予想時刻・所要時間を計算する基準である平均車速を自動、または手動で設定できます。

▶手動で設定するとき

← 設定後にタッチ

上げる

下げる

初期設定の状態に戻す

到着予想時刻表示

到着予想時刻の表示を、デジタルまたはアナログに設定できます。

▶デジタル

▶アナログ

TC 情報マーク連動サービス ※1

オペレーターに目的地周辺の駐車場情報の送信を依頼した場合に、目的地に近付くと最新の満空情報に自動で更新する／しないを選択できます。

充電喚起案内 ※2

充電喚起案内のする／しないを選択できます。（→ P.118）

※1 T-Connect サービスを利用されているときに操作することができます。
※2 対象車種についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

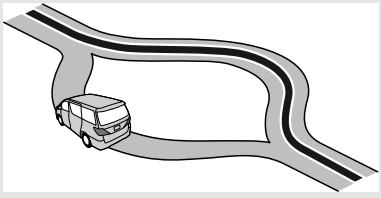
知 識

● 県境案内について
・ 県境案内は、遅れたり早くなることがあります。

ルート系設定をする

ルート学習

ルート探索時に、いつも通る道を考慮したルートで案内する／しないを選択できます。「する」に設定した場合、目的地案内中に、ルートとは異なる道路を走行した場合にそのルートを学習します。何度か同じように走行し、学習が完了すると次のルート探索時に学習したルートで案内させることができます。



- ルート学習する区間に、一部でも幅 5.5m 未満の道路が含まれている場合は、ルート学習をすることができません。（自宅登録時の自宅周辺を除く）
- ルート学習は、ルート探索時の推奨ルートに反映されます。

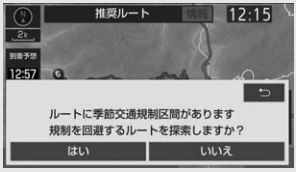
ルート学習結果の消去

はい にタッチすると、ルート学習結果を消去できます。

季節規制メッセージ表示

冬期通行止めになる道路など、長期間に渡り規制される区間を含むルートが探索されたとき、メッセージを表示する／しないを選択できます。規制区間は、全ルート図表示画面にルートが ▭（橙色）で表示されます。

▶「する」設定時



- 季節規制区間を迂回するルートを探索したいとき
  ➡「季節規制区間の迂回ルートを探索する」（→ P.132）

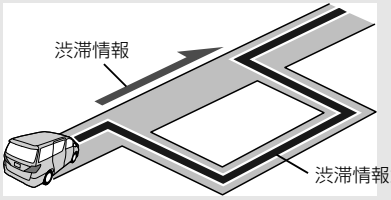
フェリールート利用

フェリーを利用するルートを探索する／しないを選択できます。フェリーの航路は ------（破線）で表示されます。

- フェリーターミナルまで音声案内が出力されます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

渋滞考慮探索

現況 VICS 情報が受信されたとき、受信された渋滞・規制情報を考慮したルートを探索する／しないを選択できます。



- T-Connect サービス利用時にプローブコミュニケーション交通情報が取得されたときは、取得された渋滞・規制情報が考慮されたルート探索ができます。（→ P.548）
- 現在地から約 10km 以内の渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮されません。

新旧ルート比較表示

現況情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示する／しないを選択できます。（→ P.192）

プローブ交通情報自動取得 ※

T ルート情報を取得する／しないを選択できます。（→ P.549）

サーバルート ※

ハイブリッドナビを使用したルート探索をする／しないを選択できます。

※ T-Connect サービスを利用されているときに操作することができます。

知 識

● ルート学習について
- ハイブリッドナビをご利用中の場合は、ルート学習機能を活用いただけません。そのため、ハイブリッドナビをご利用中は、ルート学習を設定する必要がありません。
- ハイブリッドナビは T-Connect の利用契約中であり、マップオンデマンドのサービス利用期間中にご利用いただけます。
- ルート学習する区間に、一部でも幅 5.5m 未満の道路が含まれている場合は、ルート学習をすることができません。（自宅登録時の自宅周辺を除く）
- ルート学習は、ルート探索時の推奨ルートに反映されます。
- 学習した道が使われない場合もあります。
- 自車位置マークが実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができない場合があります。（高速道路、またはバイパスのような高架道路と並行している道路がある場合など。）
- 地図データを更新した場合、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。

● 季節規制メッセージ表示について
- 地図データに情報のない規制区間では、ルートの色は変わらず、メッセージも表示されません。

● プローブ交通情報自動取得について
- ハイブリッドナビ利用期間中は、ハイブリッドナビでのルート情報の取得が優先されます。

自動表示切替設定をする

目的地候補情報の自動表示

目的地候補情報（現在地から自宅・特別メモリ 1・特別メモリ 2 までの距離、到着時間）の自動表示を表示する／しないを選択できます。（→P.107）

音声設定をする

VICS 渋滞・規制音声自動発声（→ P.185）

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）の現況情報を音声案内する／しないを選択できます。

細街路での音声案内（→ P.118）

目的地周辺で、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートで音声案内する／しないを選択できます。

他モード時の案内（→ P.119）

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときに、音声案内する／しないを選択できます。

ハートフル音声

以下の例のような、通常の目的地案内中の音声案内とは、異なった音声を 音声 1 、音声 2 、しない から選択できます。

▶ハートフル音声の例

- 自宅を目的地に設定して、目的地に到着したとき
  「お疲れさまでした」
- ナビゲーション画面が表示されるとき
  ・音声 1：「今日は○月○日○曜日です」
  ・音声 2：「今日は○月○日○曜日です」「○○の日です」

案内時の割込音

音声案内の割込音（ポーン）を、音 1 、音 2 、しない から選択できます。

- 消音を選択すると、割込音の出力をしません。

知 識

● VICS 渋滞・規制音声自動発声について
- 音声案内はあくまでも参考としてください。
- 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

● ハートフル音声について
- 状況などにより異なった音声が出力されたり、他のナビ音声案内などと重なったときは、出力されないことがあります。

その他の設定をする

スイッチ表示設定

地図画面の [<<] にタッチしたときに、表示するスイッチ類の設定ができます。

- 文字または記号が灰色のスイッチは、[<<] にタッチしたとき表示されません。

設定後にタッチ

初期設定の状態に戻す

車両情報設定

料金の計算、および提携駐車場を検索するときの基準である車両情報を変更することができます。(→ P.46)

目的地履歴の消去

目的地設定した地図の地点を削除できます。

消去する地点名称→ [はい] の順にタッチ

すべての目的地履歴を選択

- 目的地設定した地図の地点が 100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

ナビ補正

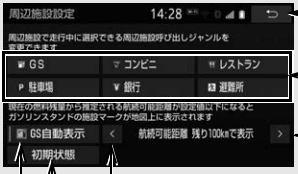
自車位置マーク の位置と方向、進み方を修正できます。(→ P.145)

VICS/ETC2.0 設定

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。(→ P.190) また、現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。(→ P.193)

周辺施設設定

走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更することができます。



設定後にタッチ

変更する周辺施設のジャンルにタッチ

航続可能距離を上げる

航続可能距離を下げる

初期設定の状態に戻す

ガソリン残量が航続可能距離以下になると、ガソリンスタンドの施設マークを表示※

QUICK SETUP

QUICK SETUP の設定や設定した内容を修正することができます。（→ P.32）

目的地画面配置変更

目的地検索画面（→ P.92）のスイッチを並べ替えることができます。

移動したいスイッチにタッチ

右に移動する

左に移動する

- ドラッグ操作でもスイッチを移動させることができます。

※ 対象車種についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

知 識

● VICS/ETC2.0 設定について

・ 割込み情報の表示／非表示の設定は、販売店装着オプションの ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を装着したときに設定できます。

3. 安全・快適走行の設定をする

1 MENU ▶ 設定・編集 → 運転支援

2 安全・快適走行設定 にタッチ。

3 各項目を設定する。

● 詳しくは、次の表をご覧ください。

一時停止案内 ※1

一時停止交差点に近づいたときに、案内マーク（ ）と音声で案内する／しないを選択できます。

赤信号注意喚起 ※2

赤信号の交差点に近づいてもアクセルペダルを踏み続けているなど、赤信号を見落としている可能性がある場合、喚起マーク（ ）と音声で「ピピッ、信号注意」と注意喚起する／しないを選択できます。

右折時注意喚起 ※2

交差点で右側方向指示灯を点滅させて右折待ちをしているときに、対向車や歩行者がいるにもかかわらず発進しようとしているなど、対向車や右折先の歩行者を見落としている可能性がある場合、喚起マーク（ : 対向車および歩行者を感知する交差点、 : 対向車のみを感知する交差点）と音声で「ピピッ、右折注意」などと注意喚起する／しないを選択できます。

信号待ち発進準備案内 ※2、※3、※4

信号で停車したとき、信号待ち時間の目安をナビゲーション画面に表示する／しないを選択できます。待ち時間が短くなると、周囲の状況確認を促すメッセージを表示します。

▶待ち時間が十分にある場合

▶待ち時間が少ない場合

- >> にタッチすると、信号待ち発進準備案内を消すことができます。再度表示するには、地図画面で 表示変更 → 信号待ち発進準備案内 の順にタッチします。

※1 東京 23 区、政令指定都市、中核市における片側 2 車線以上の道路に侵入する一時停止交差点が対象です。
※2 販売店装着オプションの ITS Connect を装着したときに操作することができます。
※3 販売店装着オプションの ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を装着したときに操作することができます。
※4 TSPS（→ P.437）でサービス使用時に光ビーコン走行情報のアップリンクを「する」に設定したときに作動します。

前方停止車両存在案内 ※2

前方が見えにくい場所に停止車両または低速車両が存在する場合、案内マーク（前方注意）と音声で「ポーン、この先、前方の車にご注意ください」と案内する／しないを選択できます。

わき道車両存在案内 ※2

見通しが悪い交差点のわき道に車が存在する場合、案内マーク（わき道注意）と音声で「ポーン、この先、わき道からの車にご注意ください」と案内する／しないを選択できます。

緊急車両存在通知 ※1

緊急車両（救急車）がサイレンを鳴らして近辺を走行しているときに、自車に対する緊急車両のおおよその方向・距離・進行方向を表示し、音声で「ポーン、前方 100m に緊急車両がいます」などと案内する／しないを選択できます。

- 緊急車両の距離と進行方向が表示されていないときは、自車のすぐ近くに緊急車両がいることを表します。
- ＞＞ にタッチすると、緊急車両存在通知を消すことができます。再度表示するには、地図画面で 表示変更 → 緊急車両存在通知 の順にタッチします。

光ビーコン走行情報のアップリンク ※2

走行履歴などの情報を ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を通じて、アップリンクする／しないを選択できます。

信号連携減速案内 ※2、※3

一つ先、二つ先の信号機が赤信号になる場合、緩やかに交差点手前で停止できるように早めの減速案内を表示する／しないを選択できます。

▶一つ先の場合

▶二つ先の場合

- ＞＞ にタッチすると、信号連携減速案内を消すことができます。

※1 販売店装着オプションの ITS Connect を装着したときに操作することができます。
※2 販売店装着オプションの ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を装着したときに操作することができます。
※3 光ビーコン走行情報のアップリンクを「する」に設定したときに作動します。

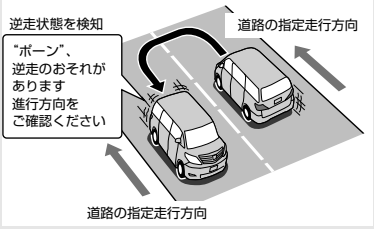
信号連携減速案内タイミング ※1、※2

信号連携減速案内をするタイミングの早い／遅いを選択できます。

逆走注意案内

サービス対象道路*にて、逆走状態を検知し、画面表示と音声で「ポーン、逆走のおそれがあります。進行方向をご確認ください」と案内する／しないを選択できます。

* サービス対象道路は、都市間高速道路・都市高速道路・一部の有料道路の本線および IC・JCT・SA・PA 施設です。



SAPA 逆走防止案内

SA・PA でエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にしたときに、画面表示と音声で「ポーン、逆走に注意し本線方面の看板に従って走行してください」と案内する／しないを選択できます。
なお、他の通知とのタイミング等により案内しないことがあります。

踏切案内（道路形状案内）

踏切に近づくと、案内マーク（ ）と音声で案内する／しないを選択できます。

合流案内（道路形状案内）

合流道路に近づくと、案内マーク（ 、 ）と音声で案内する／しないを選択できます。

※1 販売店装着オプションの ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を装着したときに操作することができます。
※2 光ビーコン走行情報のアップリンクを「する」に設定したときに作動します。

カーブ案内（道路形状案内）

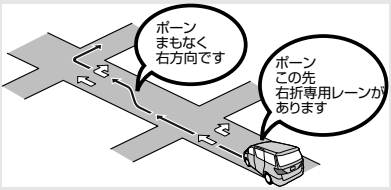
急カーブに近づくと、案内マーク（ 、 、 、 ）と音声で案内する／しないを選択できます。

レーン案内（道路形状案内）

都市高速道路走行中、レーン数減少地点に近づくと、案内マーク（ 、 ）と音声で案内する／しないを選択できます。

- 右折・左折専用レーンでは、案内マークは表示されません。

▶右折・左折専用レーン案内の例



- 直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先 右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折・左折専用レーン案内はされません。この場合は「ポーン まもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。

事故多発地点案内

交通事故が多発している地点を案内する／しないを選択できます。

- 一般道路上では、交通事故が多発している地点に案内マーク（ ：赤色）が表示されます。50m 図～ 800m 図の地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）
- 高速道路上では、交通事故が多発している地点に近づくと、案内マーク（ ：黄色）が表示され、音声で案内します。

学校存在案内

学校に近づくと、案内マーク（ ）と音声で案内する／しないを選択できます。

- 案内できる学校は、全国の小学校・中学校・養護学校（聾学校・盲学校含む）・外国人学校*の小学校・中学校です。

* 専有校舎物件のみ。

ゾーン 30 案内

ゾーン 30 区域に進入したときに、案内マーク（ ）と音声で「ポーン、30 キロ規制区域に入りました」と案内する／しないを選択できます。

⚠ 警告

● 安全・快適走行設定の案内は、あくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

(知 識)

● 一時停止案内について
- 東京 23 区、政令指定都市、中核市における片側 2 車線以上の道路に侵入する一時停止交差点が対象です。
- 以下のようなときは、一時停止案内が正常に作動しないおそれがあります。
  - 地図データに情報のない地点
  - 自車位置が正確に特定できないとき
  - 進入した道路の一時停止交差点までの距離が短いとき
- 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
  - 一時停止交差点が連続するとき
  - 他のナビ音声案内などと重なるとき
- 以下のようなときは、誤って一時停止案内を行う場合があります。
  - 自車位置が正確に特定できないとき
  - 地図データと実際の道路状態が変わったとき（信号機付き交差点に変わったなど）

● 赤信号注意喚起について
- 以下のようなときは、赤信号注意喚起が正常に作動しないおそれがあります。
  - 遅い速度で走行しているとき
  - 停車しているとき
  - 交差点付近の側道や駐車場内の通路など、DSSS 用路側装置が設置された道路と並行する場所を走行しているとき
  - 信号機の制御方式等により、DSSS 用路側装置から送信される信号情報が不確定なとき
  - DSSS 用路側装置から受信した情報が誤っていたとき

(知 識)

● 右折時注意喚起について
- 以下のようなときは、右折時注意喚起が正常に作動しないおそれがあります。
  - 交差点内で一旦停止せずに右折しようとしたとき
  - 周囲の環境や天候、DSSS 用路側装置の劣化などの影響により、対向車や歩行者の検知性能が低下しているとき
  - 対向車や歩行者が周囲の建物や別の車両に隠れているとき
  - DSSS 用路側装置の検知範囲外に対向車や歩行者がいるとき
  - DSSS 用路側装置から受信した情報が誤っているとき

● 信号待ち発進準備案内について
- 表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。(→ P.443)
- 以下のようなときは、信号待ち発進準備案内が正常に作動しないおそれがあります。
  - 停車時点で赤信号の待ち時間が少ないとき
  - 前方の信号機が青信号、黄信号または矢印信号のとき
  - 停車していないとき
  - 交差点付近の側道や駐車場など、DSSS/TSPS 用路側装置が設置された道路と並行する場所に停車しているとき
  - 信号機の制御方式等により、DSSS/TSPS 用路側装置から送信される信号情報が不確定なとき
  - DSSS/TSPS 用路側装置から受信した情報が信号待ち発進準備案内に対応していなかったとき
  - DSSS/TSPS 用路側装置から受信した情報が誤っていたとき

知 識

● 緊急車両存在通知ついて
- 表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。(→ P.443)
- 以下のようなときは、緊急車両存在通知が正常に作動しないおそれがあります。
  - 緊急車両と自車の距離が一定以上離れているとき
  - 緊急車両が自車から遠ざかる方向に走行しているとき
  - 立体交差付近を走行しているとき
  - 緊急車両から受信した情報が誤っているとき

● 信号連携減速案内について
- 表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。
- 以下のようなときは、信号連携減速案内が正常に作動しないおそれがあります。
  - 赤信号の残り時間が少ないとき
  - TSPS 用路側装置を通過後、信号情報が変化し、受信した信号情報が実際の信号表示と異なるとき
  - 信号機の制御方式（押しボタン式・感応式など）等により、TSPS 用路側装置から送信される信号情報が不確定なとき
- 赤信号の残り時間が少ないときは、信号連携減速案内が終了する場合があります。

知 識

● 前方停止車両存在案内について
- 以下のようなときは、前方停止車両存在案内が正常に作動しないおそれがあります。
  - DSSS 用路側装置を通過後、支援対象地点に進むまでに、停止車両や渋滞などの状況が変化し、受信した検知情報が実際の交通状況と異なるとき
  - 停止車両がセンサーの検知範囲外に存在しているとき
  - 車両を検出する路上に設置されたセンサーが、車両の特徴や環境条件、経年変化などによって、車両の未検知や誤検知を起こすとき

● わき道車両存在案内について
- 以下のようなときは、わき道車両存在案内が正常に作動しないおそれがあります。
  - DSSS 用路側装置を通過後、支援対象地点に進むまでに、前方のわき道に存在する車両の状況が変化し、受信した検知情報が実際の交通状況と異なるとき
  - 車両がセンサーの検知範囲外に存在しているとき
  - 路上に設置された車両を検出するセンサーが、車両の特徴や環境条件、経年変化などによって、車両の未検知や誤検知を起こすとき

知 識

● 逆走注意案内について
・ 以下のようなときは、逆走注意案内が正常に作動しないおそれがあります。
・ サービス対象道路以外を走行している場合
・「本線、または本線に繋がる区間でのU ターン、SA・PA 進入路からの逆走」以外の方法で逆走する場合（一般道から高速道出口へ進入し逆走する場合など）
・ ナビゲーション、またはナビゲーションの各種センサーが故障している場合
・ ナビゲーションが、サービス対象道路を走行中であることを特定できていない場合
・ 地図データに情報のない道路を走行している場合
・ 急激な回転をした場合
・ 自車位置補正、方位補正が行われた直後
・ 地図更新が行われた直後
・ 料金所付近を走行している場合
・ 本線への合流区間が短い場合
・ スマート IC 付き SA・PA、その他特定の SA・PA である場合
・ 以下のようなときは、誤って逆走注意案内が行われる場合があります。
・ 自車位置を逆走対象道路上と誤認識し、U ターン動作をした場合
・ 自車位置マークの位置が正しくない場合
・ 料金所手前などの U ターンが禁止されている場所で、逆走とはならない U ターンを行った場合
・ SA・PA 内で交通規制にしたがわない走行を行った場合（SA・PA 内での一方通行違反等）
・ 重大事故発生時などの警察・道路管理会社の誘導により U ターンを行った場合

知 識

● SAPA 逆走防止案内について
・ 高速道路から SA・PA へ進入した場合に案内されます。ただし、マップマッチングの状態により案内しないことがあります。
● 道路形状案内について
・ 地図データに情報のない地点では、道路形状案内は行われません。
・ 以下のようなときは、道路形状案内が正常に作動しないおそれがあります。
・ 目的地案内開始直後
・ 再探索直後
・ 目的地周辺
・ 現在地から道路形状案内地点までの距離が短い、道路形状案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。
・ 道路形状案内は、遅れたり早くなることがあります。
・ 次の道路形状案内マークが表示されている地点が短いときは、続けて道路形状案内が行われます。
● 学校存在案内について
・ 以下のようなときは、学校存在案内が正常に作動しないおそれがあります。
・ 地図データに情報のない地点
・ 土曜日、日曜日
・ 午後 7 時～午前 7 時
・ 自宅登録時の自宅周辺
・ 一部の有料道路や自動車専用道路を走行中
・ 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
・ 案内表示中に別の学校に近づいたとき
・ 他のナビ音声案内などと重なるとき
● ゾーン 30 案内について
・ ゾーン 30 案内はマップマッチングしている場合に案内されます。ゾーン 30 区域に進入した場合、タイミングがずれて案内されることがあります。
・ 地図差分更新などにより、今までゾーン 30 として指定されていた路線でも、ゾーン 30 に指定されなくなることがあります。

4. エコ機能について

エコ機能について

エコ機能とは、燃料消費量の少ないルートにアイコンを表示したり、運転内容をエコな観点で評価することで、環境にやさしい運転をサポートする機能です。

エコ機能の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

燃費を計算する

給油した量と給油した時点での走行距離から、燃費が計算されます。

また、燃費の履歴から平均燃費が計算されます。

知 識

- 満タンに給油しない場合、燃費が正確に計算されません。
- 履歴とグラフの表示（→P.165）は車種により異なります。
- 燃費が自動計算される場合、燃費画面には 毎分燃費 が表示（→P.167）され、データ入力 は表示されません。対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

給油量の入力

ガソリンスタンド給油時に給油量を入力すると、それまでの燃費が計算されます。燃費の計算が終了すると、走行距離はリセット（0km）されます。

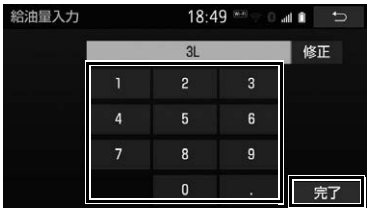
1 MENU ▶ 情報 → 燃費

2 データ入力 にタッチ。

3 給油量入力 にタッチ。

- 前回給油時に給油量を入力しなかった場合、給油量を入力しても正しい燃費は計算されません。その場合、給油後、走行距離リセット → はい の順にタッチして走行距離をリセットし、次回給油時に改めて給油量を入力してください。

4 給油量を入力し、完了 にタッチ。



- 間違えたとき
  ➡ 修正 にタッチ。

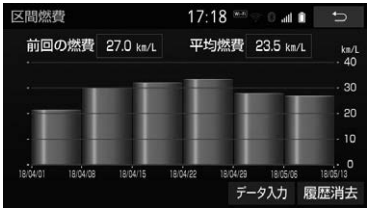
5 はい にタッチ。

知 識

- 走行距離の表示は、0.0km から 9999.9km になります。
- 入力できる給油量は、最大 99.9L、最小 0.1L です。

履歴とグラフの表示

平均燃費や燃費の履歴を表示させることができます。



1 MENU ▶ 情報

2 燃費 にタッチ。

● 履歴を消去したいとき

➡ 履歴消去 → はい の順にタッチ。

● 前回の燃費と全履歴の平均燃費が数値で表示されます。

知 識

● 数値の表示は、最大 99.9km/L、最小 0.1km/L になります。

● グラフの表示は、最大 60km/L になります。

ルート案内時の燃費を設定する

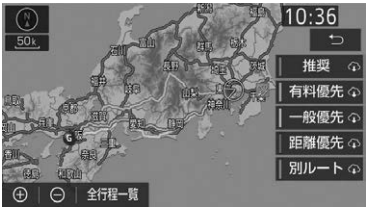
燃費を設定すると、5ルート同時表示画面のルートの中で最もエコなルートにアイコンを表示することができます。また、全行程一覧表画面にはルートごとにエコ度を 3 段階で表示することができます。

燃費は次の方法で設定することができます。

● 走行累計平均燃費を使用して燃費を設定する

● 燃費を手動で設定する

▶5 ルート同時表示画面



▶全行程一覧表示画面

走行累積平均燃費を使用する

走行状態に合わせて、自動で平均燃費を算出し、燃費を設定することができます。

1 MENU ▶ 情報

2 燃費設定 にタッチ。

3 走行累積平均燃費を使用する にタッチ。

● 一般道および高速道路をしばらく走行すると「学習済み」と表示され、燃費が設定されます。

知 識

● 走行累積平均燃費機能の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

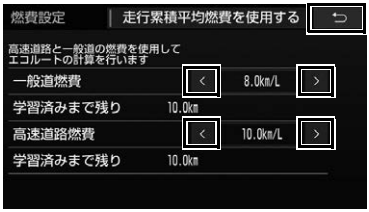
燃費を手動で設定する

履歴・グラフ（→ P.165）に表示されている平均燃費などを参考に手動で設定することができます。

1 MENU ▶ 情報

2 燃費設定 にタッチ。

3 一般道または高速道路の燃費を設定して ⮌ にタッチ。



- 燃費を上げたいとき
  ➡ ＞ にタッチ。
- 燃費を下げたいとき
  ➡ ＜ にタッチ。

知 識

- 走行累積平均燃費（→P.166）を使用している場合は、燃費を設定できません。
- フェリー航路は、燃料消費量の対象になりません。
- 入力できる燃費設定は、0.1km/L ～ 99.9km/L の範囲です。

エコ情報を表示する

運転内容をエコの観点で評価した結果やアドバイスを表示することができます。

知 識

- エコ運転の評価は、急発進や急加速、急減速、アクセルの状態、アイドリングの状態などから評価しています。エコ運転ができている場合は、評価までの時間は長くなります。

エコ運転評価の表示

全体のドライブ時間のうち、エコ運転ができた時間の割合を計算し、評価結果を表示します。

1 MENU ▶ 情報

2 エコ運転評価履歴 にタッチ。

- 評価履歴を消去したいとき
  ➡ 履歴消去 → はい の順にタッチ。

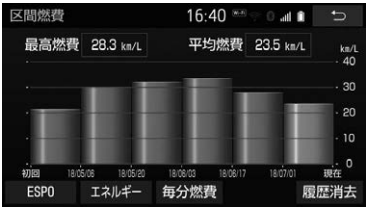
区間燃費の表示

車両側のメーターの燃費表示をリセットするごとの燃費情報を最大6回グラフで表示します。

1 MENU ▶ 情報

2 燃費 にタッチ。

3 区間燃費画面が表示される。



- 履歴を消去したいとき
  ➡ 履歴消去 → はい の順にタッチ。
- 最高燃費とは、前回区間燃費の履歴を消去してから現在までの過去最高の区間燃費です。

知 識

- 燃費が自動計算されない車種の場合、燃費画面には データ入力 が表示（→P.165）され、毎分燃費 は表示されません。対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 車両側のメーターの燃費表示については、車両の取扱書をご覧ください。
- 車種により表示する画面が異なります。

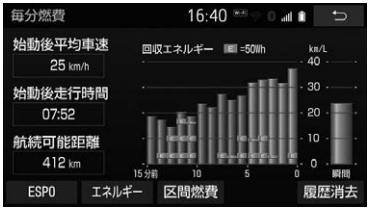
毎分燃費の表示

1分間ごとの燃費情報をグラフで表示します。

1 MENU ▶ 情報 → 燃費

2 毎分燃費 にタッチ。

3 毎分燃費画面が表示される。



- 履歴を消去したいとき
  ➡ 履歴消去 → はい の順にタッチ。
- 航続可能距離は、車両側のメーターから通知された数値が表示されます。
- 区間燃費 にタッチすると、区間燃費を表示します。

知 識

- 車種により表示する画面が異なります。

エネルギーモニターを表示する

ハイブリッドシステムの状態を、画面に表示することができます。

1 MENU ▶ 情報 → エネルギー

2 エネルギーモニター画面が表示される。

(知 識)

- エネルギーモニター表示の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 燃費表示画面（→P.167、P.168）またはESPO 画面（→P.170）の エネルギー にタッチしても表示することができます。
- 車両により表示する画面が異なります。

ESPO 画面を表示する

エコレベルや毎分燃費などの情報を画面に表示することができます。

1 MENU ▶ 情報

2 ESPO にタッチ。

3 ESPO 画面が表示される。

- 毎分燃費画面、区間燃費画面からも ESPO 画面を表示できます。

番号	スイッチ／表示	機能
1	更新スイッチ ※1	走行情報などをトヨタスマートセンターへ送信し、ステータスなどを更新します。
2	毎分燃費グラフ（前回エンジン<ハイブリッドシステム>始動～エンジン<ハイブリッドシステム>停止 / 今回エンジン<ハイブリッドシステム>始動～現在）	1分間ごとの燃費情報をグラフで表示します。 今回と前回の平均燃費を色分けして表示します。
3	アドバイススイッチ	• ドライバーの運転操作について、エコ運転の観点で診断した結果を表示します。良いところを確認したり、さらに良くするにはどうしたら良いかを知ることができます。 • エコ運転や環境に関する豆知識を表示します。

番号	スイッチ／表示	機能
4	エコカルテスイッチ※1	T-Connect の ESPO メニューが表示され、燃費ランキングなどが確認できます。
5	エネルギースイッチ	エネルギーモニター（→ P.169）を表示します。
6	区間燃費スイッチ	区間燃費（→ P.167）を表示します。
7	毎分燃費スイッチ	燃費画面（→ P.168）を表示します。
8	エコレベル平均値	エコレベルインジケーターの平均値を表示します。マークが増えるほど、環境に配慮した運転をしていることになります。
9	エコレベルメーター	エコ運転のレベルを表示します。 マークが増えるほど、環境に配慮した運転をしていることになります。
10	ステータス表示※2	エコ運転の採点結果や走行情報をトヨタスマートセンターに送信し、計算されたデータを元にポイントやステータスを表示します。 ステータスはエコ運転を継続することでブロンズ、シルバー、ゴールドの順にランクがアップします。
11	エコレベルインジケーター	エコレベルメーターのレベルに応じて、Good・Excellent が表示されます。 レベルが低い場合は表示されません。

※1 ご利用には T-Connect 利用申し込みが必要です。
※2 T-Connect サービスをご利用されているときに表示されます。

知 識

- ESPO 画面表示の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- トヨタスマートセンターへ送信する走行情報は、ナビゲーションシステムが算出するものであり、車両に表示される走行距離や燃費などとは一致しないことがあります。

5. GPS について

GPS（Global Positioning System：汎地球測位システム）は、米国が開発・運用しているシステムで、通常 4 個以上、場合により 3 個の人工衛星を利用して、利用者の現在位置（緯度・経度など）を知ることができるものです。
本機は、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して、ナビゲーションを行っています。

GPS 情報を利用できないとき

以下のようなときは、GPS 情報を利用できないことがあります。

- ビル・トラック・トンネルなどで人工衛星の電波が遮断されるとき
- GPS アンテナの上に物を置くなどして電波が遮断されるとき
- 人工衛星が電波を出していないとき（米国の追跡管制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- デジタル式携帯電話・モバイル機器など 1.5GHz 帯を使用する機器を GPS アンテナ付近で使用したとき

システムの特性上、避けられないズレ

本機は、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。
この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

6. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原因	処置
自宅が登録されていません “設定・編集”のメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、自宅周辺にタッチしたため。	自宅を登録してからお使いください。（→ P.45）
特別メモリ地点が登録されていません “設定・編集”のメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺または特別メモリに行く 1 ～ 5 にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。（→ P.134）
該当する電話番号が検索できません 確認して修正してください	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正してください	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する施設の地点が特定できません 周辺の地図を表示します	検索された施設の正確な所在地が特定できず、所在地の住所を代表する地点を検索したため。	実際の施設の所在地をご確認ください。
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	800m 図より広域の地図で、目的地・メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。（現在地画面から地点登録するときを除く）	目的地・メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図（800m 図以下）で行ってください。
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を動かして、道路付近に通過道路を指定してください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、河川などが近くにあるため。	はいにタッチしたあと、地図を道路付近に動かして、セットにタッチし、目的地を設定してください。 表示されている位置に目的地を設定するときは、いいえにタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	

メッセージ	原因	処置
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使いください	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。（→ P.133）
これ以上登録できません 消去してからお使いください	メモリ地点 400 カ所・G メモリ 100 カ所登録しているときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。（→ P.136）
指定した IC は時間規制によりご利用できない場合があります IC 指定を続けますか？	指定した IC に時間規制があるため。	指定を続けるとき、**はい** にタッチしてください。 指定をやめるとき、**いいえ** にタッチしてください。
指定された出入口 IC は規制があります ご注意ください	時間規制のある IC を利用時間内に通過できないおそれがあるため。	指定している前後の IC から乗降してください。
○○○○上に目的地を設定しますか？ （高速道路、有料道路など）	高速道路、有料道路上などで目的地を設定しようとしたため。	そのまま設定するときは、**設定する** にタッチしてください。 別の道路に設定するときは、**他の道路** にタッチしてください。
指定された区間の前後に乗降 IC または通過道路が決定済みです 指定を解除しますか？	乗降 IC または通過道路を指定してある前後に目的地を追加しようとしたため。	乗降 IC または通過道路の指定を解除して目的地の追加を続けるときは、**はい** にタッチしてください。 乗降 IC または通過道路の指定を解除せず目的地の追加を続けるときは、**いいえ** にタッチしてください。
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を動かすか、ほかの施設で検索してください。
該当する施設がありません	施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	条件を変更して、再度検索してください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしてもなおらないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
地図が表示されない。	地図 SD カードが差し込まれていますか。	地図 SD カードを差し込んでください。（→ P.17）
走行しても地図が動かない。 自車位置マークが表示されない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。（→ P.75）
GPS マークが表示されない。	GPS 情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、GPS アンテナの受信を妨げるものを取り除いてください。
音声案内が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。（→ P.116）
	案内の音量が小さく（音声 OFF に）なっていませんか。	音量を大きくしてください。（→ P.46）
実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている。 （自車位置マークがずれている。）	人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車位置マークがずれることがあります。 また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マークがずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。） GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→ P.145）
地図の画面上部が青色になる。	3D 表示にて、「空（ソラ）」が表示されており、それが青色となっていませんか。 3D 表示の 1.6k 図より広域な地図で「空（ソラ）」が表示されます。	「空（ソラ）」の青色が気になるようでしたら、2D 表示にする（→ P.80）か、3D 表示で 1.6k 図より詳細な地図にしてください。（→ P.77）

症状	考えられること	処置
渋滞情報が表示されない。	VICS 情報を 非表示 に設定していませんか。	VICS 情報を表示させる設定になっているかご確認ください。(→ P.184)
	FM-VICS 選局が 手動 に設定され、現在地エリアの FM-VICS 放送局が選局されていないと FM-VICS 放送を受信できません。	現在地エリアの FM-VICS 放送局を選局するか、自動 にタッチしてください。(→ P.193)
FM-VICS が受信できない。	周辺機器に FM トランスミッターを使用していませんか。	FM トランスミッターの使用を中止してください。
	車両のラジオアンテナを最大まで伸ばしていますか。	車両のラジオアンテナを最大まで伸ばしてください。

ナビの精度について

次のようなときは、故障ではありません。

知 識

- このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。(→ P.145)

■以下のような車両の状態（走行場所や運転条件）のときは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。

- 角度の小さなＹ字路を走行しているとき、他方の道に自車位置マークが表示されることがあります。
- 走行中の道路の近くに別の道路が並走している場合、隣の道路に自車位置マークが表示されることがあります。
- 市街図を表示させているとき、自車位置マークやルート表示が反対車線や道路以外の場所に表示されることがあります。
- 市街図から市街図以外の縮尺の地図に切り替えたとき、ほかの道路に自車位置マークが表示されることがあります。
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと、自車位置マークが移動前の位置になっていることがあります。
- 自車位置マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行したとき
- バッテリー<補機バッテリー>ターミナルを脱着したあと
- らせん状の道路を走行しているとき
- 勾配の急な山岳等を走行しているときや急カーブを走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場などでの切り返しや、ターンテーブルで回転をしたあと、一般道路に出たとき
- 渋滞・交差点の手前などで、発進・停止を繰り返したときや徐行運転時
- 砂、砂利、雪道などのすべりやすい道路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- タイヤを交換したとき（特に応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ使用時）
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したとき
- タイヤの空気圧が 4 輪とも指定の空気圧でないとき
- 摩耗したタイヤに交換したとき（2 シーズン目以降のスタッドレスタイヤなど）
- ビルの近くを走行したとき
- 高速走行中、長距離のルート探索を行ったとき

以上のようなときでも、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

■探索条件や走行場所により、以下のように適切な目的地案内が行われないことがあります。

- 直線道路走行中に、直進の案内が行われることがあります。
- 交差点で曲がるのに、案内が行われないことがあります。
- 案内が行われない交差点があります。
- U ターン禁止の場所で、U ターンするルートの案内が行われることがあります。
- 実際には通行できない道（進入禁止の道路、工事中の道路、道幅が狭い道路など）の案内が行われることがあります。

- 目的地までの道路がなかったり、細い道路しかないときは、目的地から離れた所までしか目的地案内が行われないことがあります。
- ルートからはずれたとき（手前の交差点などで曲がったときなど）、音声案内が誤って出力されることがあります。
- 実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている場合、誤った案内をすることがあります。

■ルート再探索時、以下のようなことがあります。

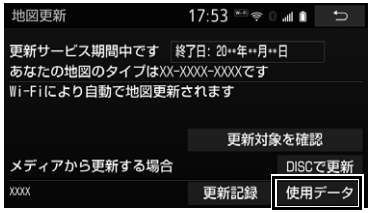
- 再探索時のルートの表示が、次の右左折までに間に合わないことがあります。
- 高速走行時の再探索時間が長いことがあります。
- 再探索時に、ルートが遠まわり（大まわり）になることがあります。
- 通過するはずの目的地を通らずに最終の目的地に向かうとき、再探索すると、通過するはずの目的地へ戻るルートが表示されることがあります。
- 再探索しても、ルートが変わらないことがあります。
- ルートが探索されないことがあります。

1. 地図について

データベースの情報を見る

1 MENU ▶ 設定・編集 → 地図更新

2 使用データ にタッチ。



3 使用データ画面が表示される。

地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。

なお、このナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

知 識

- 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 幅が 3m 未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が 3m 未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

地図データの更新について

地図データは、以下の方法で更新することができます。

全更新：最新版地図ソフトを購入いただき、すべての地図データを更新します。また、ナビ購入日より 3 年間で 1 回無償で地図データを更新できます。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

差分更新：通信またはパソコン（ディスク）を使用して、部分的に地図データを更新します。詳しくは、「マップオンデマンド（地図差分更新）」（→ P.537）をご覧ください。

知 識

- 最新版地図ソフトの発行は、予告なく終了する場合があります。
- 全更新は、お買い上げの販売店で行います。また、販売店での更新作業には、作業時間に応じた費用が別途、発生する場合があります。
  詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 無償地図更新が可能かどうかを使用データ画面（→ P.179）で確認できます。

地図データベースについて

いかなる形式においても、著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

2 万 5 千分 1 地形図、数値地図 (国土基本情報) 電子国土基本図 (地図情報)、数値地図 (国土基本情報) 基盤地図情報 (数値標高モデル) 及び基盤地図情報を使用しました。（承認番号　平 29 情使、第 812-001 号)

この地図作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
（測量法 第 44 条に基づく成果使用承認 01-0040）

©2013 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

© アイシン・エィ・ダブリュ（株）& ZENRIN CO.,LTD. & （株）トヨタマップマスター

■交通規制データの出典

- この地図に使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター （JARTIC）の交通規制情報を使用しています。
  この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。

■道路交通規制の優先

- このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

■交通事故多発地点

- 地図データに収録されている事故多発地点データは、警察庁及び国土交通省のデータを基に作成してあります。

■道路交通情報データ

- 道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。データ作成には、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICS センター）の技術が用いられています。

■渋滞考慮探索

- 渋滞考慮探索は、JARTIC/VICS の情報、プローブコミュニケーション交通情報を基にアイシン・エィ・ダブリュ株式会社が作成したデータを使用しています。

■渋滞考慮探索機能（交通情報予測機能）

- 渋滞考慮探索機能（交通情報予測機能）はアイシン・エィ・ダブリュ株式会社の提供です。

1. VICS・交通情報の表示について

地図上に VICS 交通情報／記号（→ P.199）を表示することができます。以下は表示例です。

▶通常の地図

▶ハイウェイモード

	渋滞情報の表示例		
	渋滞	混雑	空き道
現況情報	（赤色）	（橙色）	（水色）
統計情報	（赤色）	（橙色）	（水色）

VICS・交通情報について

VICS・交通情報には、現況情報と統計情報があります。

知 識

- 現況情報と統計情報を同時に表示する設定にしている場合は、現況情報を優先して表示します。
- 現況交通情報・統計情報は表示されない地点があります。また、地図差分更新（→ P.537）などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。

知 識

- 提供される現況交通情報・統計情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。
- 表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。
- 交通情報量が多い場合に、交通情報表示までに時間がかかる場合があります。

現況情報について

■現況 VICS 情報

VICS センターから提供される現況の情報です。

知 識

- 現況情報は、1.6k 図より詳細な地図で表示することができます。
- VICS 記号によっては、1.6k 図では表示できない記号もあります。
- 現況交通情報は、T ルート探索（→ P.548）すると取得することができます。

■現況交通情報

トヨタスマートセンターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報です。（→ P.548）

統計情報について

過去の交通情報を統計処理した情報です。

知 識

- この情報は、地図データに収録されています。現況情報が受信できないときでも、日時・時間帯に応じた情報を表示できます。
- 統計情報は、800m 図より詳細な地図で表示することができます。

タイムスタンプについて

渋滞・規制音声案内が一度出力された後にタイムスタンプにタッチすると、現況情報の提供時刻や渋滞情報、渋滞・規制音声案内を出力することができます。(→ P.185)

タイムスタンプ

時刻表示について

- 現況情報が提供された時刻を示しています。(現況情報が受信された時刻ではありません。)
- 現況情報が継続して受信されないと、約30 分後に自動的に消去され、「- - : - -」の表示になります。
  現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が「- - : - -」になります。
- 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にした直後など、現況情報が受信されるまでは、「- - : - -」の表示になります。

色について

目的地案内中で現在地がルート上にあるとき、ルート上(約 10km 以内)に現況情報があると色が変わります。

スイッチ	内容
赤色(8:00)	渋滞情報
橙色(8:00)	混雑情報
黄色(8:00)	交通規制情報

文字表示について

現況 VICS 情報を受信すると「VICS」、現況交通情報を受信すると「交通情報」と表示します。

(知 識)

- 現況 VICS 情報・現況交通情報の両方が受信されていないときは、「交通情報」が灰色になります。
- 1.6k 図より広域な地図では「交通情報」と表示します。
- 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にした直後など、現況情報が受信されるまでは「交通情報」と表示します。
- 現況VICS情報と現況交通情報を同時に表示できるときは、「VICS」と表示します。

VICS 記号の内容を表示する

1 地図上の規制情報、または施設情報(→ P.199)の記号にタッチ。

(知 識)

- VICS 記号によっては、内容が表示されないこともあります。

VICS・交通情報の表示設定

1 地図表示中 → 表示変更 → 交通情報表示

2 VICS・交通情報を表示する道路にタッチ。

スイッチ	内容
1	高速道路・一般道路に表示
2 ※	一般道路のみに表示
3	高速道路のみに表示
4	交通情報を表示しない

※ ハイウェイモード（→P.89）では、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報が表示されます。

- VICS・交通情報を表示したときは、タイムスタンプが表示されます。

表示する VICS・交通情報を選択する

1 地図表示中 → 表示変更 → 交通情報表示 → 種類

2 表示する VICS・交通情報にタッチ。

作動表示灯

- 表示する項目が選択されているときは、作動表示灯が点灯します。

スイッチ	内容
渋滞・混雑 ※1	渋滞・混雑している道路の表示
規制情報	事象・規制がある道路の表示
充電施設 ※2	充電施設情報の表示
空き道 ※1	空いている道路の表示
駐車場	駐車場 / 臨時駐車場情報の表示

※1 渋滞・混雑、空き道は統計情報を表示することができます。また、現況情報と統計情報を同時に表示することもできます。ただし、同じ地点に両方の情報があるときは、現況情報を優先して表示します。

※2 充電施設情報は 2018 年 9 月現在、提供されていません。

2. VICS・交通情報を活用する

渋滞・規制音声案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）の現況情報を音声案内させることができます。

音声案内の例

▶VICS 表示がある地点
「およそ 1km 先 渋滞があります」

▶VICS 記号のある地点
「およそ 5km 先 電気工事のため 車線規制中です」

● 渋滞・規制音声自動発声の出力する／しないを設定できます。（→ P.155）

知 識

● 音声案内はあくまでも参考としてください。
● 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
● 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

渋滞・規制音声案内を再出力する

1 タイムスタンプにタッチ。

● 一度音声案内が出力されるとタイムスタンプがタッチスイッチになり操作することができます。

知 識

● VICS 渋滞・規制音声自動発声を「しない」に設定していても、タイムスタンプにタッチすると渋滞・規制音声案内を出力させることができます。

VICS 図形情報・文字情報を表示する

1 MENU ▶ 情報 → VICS → FM 図形 または FM 文字

2 情報の番号（ 1 · 2 · 3 … ）にタッチ。

● 文字情報または図形情報に切り替えるとき
➡ 文字 または 図形 にタッチ。

3 ∧ · ∨ 、または 自動送り にタッチ。

● 情報のページを送るとき
➡ ∧ · ∨ にタッチ。
● 文字情報または図形情報に切り替えるとき
➡ 文字 または 図形 にタッチ。
● 目次 にタッチすると、VICS 情報目次画面が表示されます。（手順 **2** の画面）
● 自動送り にタッチすると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。
● 走行中は自動送りできません。
● 情報の自動送りを中止するとき
➡ 停止 にタッチ。

- 前回情報を表示させたときに 自動送り にタッチしていると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。
- 自動送り中に ∧ または ∨ にタッチして、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。

緊急情報を表示する

緊急情報 ※ を受信すると自動的に表示 します。

※ 気象・津波・火山噴火（地震を除く）の特別警報

緊急情報を切り替えるとき

1 ∧・∨ にタッチ。

- 詳細文字情報に切り替えるとき
  ➡ 詳細情報 を選択。
- 対象エリアを確認するとき
  ➡ 対象エリア にタッチ。
- >> を選択する、または約 15 秒以上操作しなかったときは、元の画面に戻ります。
  ・表示時間は調整することができます。（→ P.191）

緊急情報を再表示する

一度表示した緊急情報を再度表示すること ができます。

■地図画面から表示する

1 画面上部の 確認 にタッチ。

■情報画面から表示する

1 MENU ▶ 情報 → VICS

2 FM 緊急 を選択。

避難所・避難場所を検索する

緊急情報の割込み画面を解除後、現在地画面から避難所・避難場所を検索することができます。

1 にタッチ。

- 避難所・避難場所のアイコンが表示された、避難所モード画面に移行します。再度、 にタッチすると元の画面に戻ります。
  避難所・避難場所のアイコンについては、「施設マークを表示する」（→ P.84）を参照してください。
- は、エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にするまで表示されます。

2 避難場所検索 にタッチ。

作動表示灯

- 避難所・避難場所のアイコンにタッチすると避難所施設の種別情報を表示します。
- 避難所モードでは、メモリ地点は非表示になります。
- 避難所モード時は、作動表示灯が点灯します。

3 避難所・避難場所の名称にタッチ。

- 避難所・避難場所までの距離と進行方向からみてどの方向にあるかを矢印で表示します。
- 目的地が設定されているときに

  ルート沿い考慮 にタッチすると、ルート沿いにある避難所・避難場所のリストを表示します。
  - 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右、後ろのどちらの方向にあるかを表示します。

知 識

- 地上デジタルテレビの緊急警報放送（EWS）を受信したときも、避難所・避難場所を検索することができます。緊急警報放送（EWS）については、「緊急警報放送（EWS）の受信」（→ P.273）を参照してください。

気象・災害情報を表示する

気象・災害情報を受信すると地図上に自動的に該当エリアがハイライト表示されます。

- 気象・災害情報エリアを回避するルートを探索することができます。（→ P.124）

割込情報（ビーコン即時案内）を表示する

▶販売店装着オプションの ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を装着したとき

割込情報の表示設定をすると、ビーコンからの現況 VICS 情報が受信されたとき、VICS 文字情報または図形情報を自動的に表示させることができます。

割込情報を切り替えるとき

1 ∧・∨ にタッチ。

- 文字情報または図形情報に切り替えるとき

  ➡ 文字 または 図形 にタッチ。
- 割込情報が複数ページある場合は、ページ送りできます。

● >> にタッチする、または約 15 秒以上操作しなかったときは、元の画面に戻ります。
表示時間は調整することができます。（→ P.191）

● 割込情報の音声を停止するとき
➡ 音声停止 にタッチ。（→ P.190）

知 識

● 表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。

ETC2.0 サービスで受けられる割込情報について

ETC2.0 サービスでは、VICS 文字情報・図形情報以外に、以下のサービスが受けられます。

● ETC2.0 サービスについては、「ETC2.0 サービスで提供されるサービス内容について」（→ P.435）をご覧ください。

知 識

● 以下の割込情報の音量は、ナビの音量設定で調整することができます。（→ P.46）
・ 安全運転支援情報
・ 前方状況情報提供サービス
・ 施設情報提供サービス

■安全運転支援（注意警戒情報）案内サービス

見通しの悪いカーブ先の渋滞などを、高速道路などに設置されたITSスポットから受信して、音声と画面で案内します。

⚠ 警告

● ETC2.0 サービス安全運転支援案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知 識

● ETC2.0 サービスにより提供される情報にはいくつかの種類があります。この種類は、情報画面上に表示される情報種別で判別されます。

代表例として以下のような情報が提供されます。

▶前方障害物情報提供

見通しの悪いカーブの先の停止車両や渋滞情報をカーブへの侵入前に音声や画面表示で案内します。

● 現在表示されている割込情報を消すとき
➡ >> にタッチ。

知 識

- 以下のようなときは、安全運転支援案内が行われない場合があります。
  - ETC アンテナ付近に障害物があるとき
  - 大型車と並んで走行しているとき
  - 他のナビ音声案内、画面表示などと重なるとき
  - 低速度で走行しているとき
  - 自車位置が正確に特定できないとき
  - ITS スポット路側無線装置、車両検知センサー・カメラ等の路側システムが稼動していないとき
- 表示させている画面により、安全運転支援情報が画面に表示されないことがあります。
- 実際の音声や画面表示は ITS スポットから提供されるものと異なることがあります。
- その他の安全運転支援情報については、「VICS・ETC2.0(ITS スポット)・DSSS の問い合わせ先について」(→ P.196) をご覧ください。

■道路交通情報

代表例として以下のような情報が提供されます。

▶前方状況情報提供サービス

進行方向先の交通状況を画面と音声、または音声で案内します。

▶長文読上げサービス

ハイウェイラジオなどの情報を音声で案内します。

「現在の○○高速上り方向の情報をお知らせします。・・・・・」

1 「長文読上げ情報を受信しました 読上げますか？」のメッセージが表示されたときは、**はい** にタッチ。

- 読み上げ中、**中止** にタッチする、または約 15 秒以上操作しなかったときは、元の画面に戻ります。読み上げる時間は「自動割込みの表示時間」で調整することができます。(→ P.191)

知 識

- 読上げ情報は、2 回読上げると終了します。
- 再度読上げ情報を聞くときは、「割込情報を呼び出す」(→ P.189) をご覧ください。
- 長文読上げサービスの音量は、オーディオの音量調整スイッチで調整することができます。(→ P.211)

▶施設情報提供サービス

進行方向先のサービスエリアやパーキングエリアの混雑情報や施設情報を画面や音声で案内します。

割込情報を呼び出す

割込情報の表示を「しない」に設定しているときに、受信された割込情報を表示させることができます。
また、一度表示された割込情報を再度表示させることもできます。

■地図画面から呼び出す

地図表示中

1 **割込情報** にタッチ。

- 最新の割込情報を表示します。

- 地図画面に **割込情報** を表示する／しないを選択できます。(→ P.190)

知 識

● 地図画面に表示する 割込情報 は、受信より５分以上経過すると消去されます。

■メニュー画面 から呼び出す

1 MENU ▶ 情報 → VICS

2 VICS 呼出、または ETC2.0 呼出の 割込情報 にタッチ。

3 ∧・∨ にタッチして、割込情報を切り替える。

● 画面は、図形情報を使用しています。文字情報（ETC2.0 呼出のときは、表示情報、読上げ情報）を表示したときも操作方法は同じです。

● VICS 呼出の文字情報または図形情報に切り替えるとき

➡ 文字 または 図形 にタッチ。

● ETC2.0 呼出の表示情報または読み上げ情報に切り替えるとき

➡ 表示情報 または 読上げ情報 にタッチ。

知 識

● 提供時刻より約30分以上経過した割込情報は、表示させることができません。

割込情報の表示設定を変更する

▶販売店装着オプションの ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を装着したとき

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → VICS/ETC2.0 設定

自動割込を設定する

1 各項目にタッチし、「する」/「しない」を切り替える。

割込設定	内容
自動割込 VICS 注意警戒情報	VICS 注意警戒情報を表示します。
自動割込 VICS 文字情報	VICS 文字情報を表示します。
自動割込 VICS 図形情報	VICS 図形情報を表示します。
自動割込 ETC2.0 表示情報	ETC2.0 情報、長文読上げ情報確認画面を表示します。
自動割込 ETC2.0 注意警戒情報	ETC2.0 注意警戒情報、安全運転支援情報を表示します。
自動割込み表示時間	割込情報の表示時間を調整します。（→ P.191）

割込設定	内容
ETC2.0 音声案内	長文読上げ情報以外の音声情報の発話を設定します。
ETC2.0 走行情報のアップリンク	ETC2.0 走行情報アップリンクのする／しないを選択できます。（→ P.191）
地図画面の割込情報スイッチ表示	地図画面に 割込情報 を表示する／しないを選択できます。

2 ⮌ にタッチ。

知 識

- 自動割込情報を「しない」に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報または図形情報が表示されます。
- ETC2.0 サービスにより提供される自動割込は、注意警戒情報と ETC2.0 表示情報の設定項目でする／しないを設定できます。各々の設定項目は割込み画面上部の情報種別と同じです。
- ETC2.0 音声案内を「する」に設定した場合でも、割込み画面下の 音声停止 にタッチすると、音声案内を中止できます。
- 同一割込み中において、発話中止後の再読み上げはできません。 音声停止 で中止した発話は次回割込み時に復帰します。

自動割込表示時間を調整する

1 自動割込みの表示時間 にタッチ。

2 表示時間を調整し、⮌ にタッチ。

- 長くするとき
  ➡ ＞ にタッチ。
- 短くするとき
  ➡ ＜ にタッチ。

3 ⮌ にタッチ。

知 識

- 音声案内中は表示時間が経過しても表示は消えません。音声案内終了後に消えます。

ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする

走行履歴などの情報（走行位置の履歴や車両に関する情報など）を ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を通じて、ITS スポットへ送ることができます。詳しくは、「道路管理者からのお知らせとお願い」をご覧ください。（→ P.197）

1 ETC2.0 走行情報のアップリンク にタッチし、「する」/「しない」を切り替える。

知 識

- 初期状態では「する」に設定されています。「しない」の場合、走行履歴などの情報を利用したサービスを受けられない場合があります。

新旧ルートを比較して表示する

現況情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示します。

● 渋滞考慮探索・新旧ルート比較表示を「する」に設定したとき、新旧ルート比較表示ができます。(→P.152、P.153)

新ルートで案内するとき

1 新ルート にタッチ。

● 約 20 秒以上操作しなかったときも、新ルートで案内します。

元ルートで案内するとき

1 元ルート にタッチ。

(知 識)

● 新旧ルート比較表示を「しない」に設定していても、渋滞考慮探索（→ P.152）を「する」に設定していて、渋滞を考慮したルートが新たに見つかったときは自動的に新しいルートで案内します。

● 新旧ルート比較表示では、VICS・交通情報の表示設定（→ P.184）に関わらず渋滞情報が表示されます。
ただし、地図の縮尺によっては表示されないことがあります。(→P.182)

● 交通情報を受信する度に、新旧ルート比較が表示されます。

3. VICS 放送局を選択する

現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → VICS/ETC2.0 設定 → VICS 選局

● 表示される画面は、前回選択していたモード（自動選択または手動選択）により異なります。

▶自動選択時

▶手動選択時

自動で放送局を選択する

現在地がある都道府県の、VICS 提供 FM 放送局が受信され、現在地を移動すると、自動的に放送局が切り替わります。

1 自動 にタッチ。

● 通常は、 自動 にしておいてください。「自動」で受信されないときのみ、 手動 で放送局または放送エリアを選択してください。

知識

● 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

手動で放送局を選択する

▶エリア選択

選んだ都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信されます。受信状態が変わると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

▶周波数選択

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態が変わっても自動的に放送局は切り替わりません。

1 手動 にタッチ。

2 エリア選択時は、受信させる放送局のある都道府県名にタッチ。
周波数選択時は、 ∧ ・ ∨ にタッチして、放送局の周波数を選ぶ。

● 放送局の電波が受信されると、「受信中」が表示されます。

3 ⮌ にタッチ。

4. VICS について

VICS（Vehicle Information and Communication System：道路交通情報通信システム）は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

「VICS WIDE」について

本機は「VICS WIDE」に対応しています。従来の VICS に加えて、次のようなサービスを利用することができます。

- プローブ情報に対応した渋滞情報の提供拡大
- 緊急情報（特別警報（地震を除く））の提供
- 気象・災害情報エリアの表示

VICS のメディアについて

VICS は、FM 多重放送・電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）・電波ビーコン（2.4GHz）光ビーコンの4つのメディアを受信することができます。

- 4つのメディアはそれぞれ特長が異なります。
- 電波ビーコン（2.4GHz）は、本機では受信しません。

■FM 多重放送

FM 多重放送は、VICS 提供 FM 放送局（NHK-FM）から電波の届く範囲の車両に VICS 情報の提供が行われます。

■電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）※

電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）は、おもに高速道路の路側に設置されており、その地点を通過する車両にETC2.0サービス情報の提供が行われます。また、ETC2.0サービスにて受信した情報を本機に蓄積し、高速道路上の任意の場所でタイミングよく情報提供が行われる場合もあります。

■電波ビーコン（2.4GHz）

電波ビーコン（2.4GHz）は、おもに高速道路の路側に設置されており、その地点を通過する車両に VICS 情報の提供が行われます。

■光ビーコン※

光ビーコンは、おもに一般道路の各車線ごとに設置されており、その車線を通過する車両に VICS 情報の提供が行われます。

※ 販売店装着オプションの ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を装着したときのみ受信することができます。

VICS の運用時間について

24 時間運用されています。

ただし、FM 多重放送は、AM1：00 ～ 5：00 の間はメンテナンスのため休止する場合があります。

- 休止時間については、VICS FM 多重放送の「気象情報他」で案内します。
- VICS の運用時間は予告なく変更・廃止されることがあります。

VICS FM 多重放送を受信できないとき

本機は、以下のようなとき VICS FM 多重放送の情報を受信できません。

- VICS FM 多重放送を受信できない状態から、VICS 情報を表示させようとした場合、VICS 情報が表示されない、または地図画面上のVICSタイムスタンプが更新されません。

知っておいていただきたいこと

- 提供されるVICS情報はあくまでも参考としてください。(提供される VICS 情報は、最新ではないことがあります。)
- 電波や光の信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがありますが、新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
- VICSの表示内容は、VICSセンターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
- VICS 情報は、発信されている地域により、情報の内容が異なります。
- VICS による交通情報（渋滞や混雑など）の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。

FM 多重放送特有の事項について

- FM 多重放送は、一定周期で情報が更新されますので、情報が揃うまでに時間がかかることがあります。
- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことがあります。受信できないときは、VICS 情報が表示されなかったり、地図画面上のVICSタイムスタンプが更新されません。
  - ・トンネルの中にいるとき
  - ・高層ビルの谷間にいるとき
  - ・高架道路の下にいるとき
  - ・盆地にいるとき
  - ・大型車とすれちがったとき

電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）特有の事項について

- 電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）は、直線的にしか電波が届きません。
- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。
  - ・電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）を発信する路側に街路樹が茂っているとき
  - ・トンネルの中にいるとき
  - ・高架道路の下にいるとき
  - ・大型車と並んで走行しているとき
  - ・ETC アンテナ付近に障害物があるとき
  - ・高速道路の下の一般道路を走行しているとき、高速道路の電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）が受信されることがあります。

光ビーコン特有の事項について

- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。
  - ・大型車の後ろを走行しているとき
  - ・光ビーコンが太陽と重なったとき
  - ・フロントウィンドウが汚れたり、雪が積もっているとき
  - ・光ビーコンユニット付近に障害物があるとき
  - ・光ビーコンユニットが汚れているとき

VICS の用語について

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

緊急情報について

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

交通情報関連の用語について

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

駐車場・SA・PA 関連の用語について

- 空車：駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
- 混雑：駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
- 満車：駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
- 不明：駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

VICS センター著作権および VICS 過去データについて

1 お客様は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外のVICS技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが所有しまたは管理することに同意する。

2 お客様は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの共通ネットワーク仕様書以外のVICS技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICS・ETC2.0(ITS スポット）・DSSS の問い合わせ先について

トヨタ販売店への問い合わせについて

■以下の内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 販売店装着オプションのETC2.0ユニット（光アンテナ付）の調子・機能・使用方法・その他に関するもの
- VICS 情報の表示に関するもの
- ETC2.0 サービスにて提供される道路交通情報／インターネット接続に関するもの
- ETC2.0 安全運転支援案内に関するもの
- VICS のサービスエリアに関するもの
- DSSS 運転支援機能に関するもの
- その他上記に類するもの

VICS センターへの問い合わせについて

■以下の内容は VICS センターにご相談ください。

- VICS 文字情報・VICS 図形情報に関するもの
- ETC2.0 サービスにて提供される道路交通情報／インターネット接続に関するもの
- ETC2.0 安全運転支援案内に関するもの
- VICS の概念・事業計画（サービスエリアの計画）に関するもの
- DSSS の概念・事業計画に関するもの

お問い合せ窓口：お客様相談窓口

電話番号：0570-00-8831

平日 9:30 ～ 17:45（土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）

※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※PHS、IP 電話等からはご利用できません。

※お電話のお問い合わせにつきましては、内容の正確な確認のため、録音させていただいております。

FAX 番号：

03-3562-1719（24 時間受付）

ホームページ：

次のアドレスでも連絡先をご覧いただけます。

https://www.vics.or.jp/

連絡先およびアドレスは、予告なしに変更・休止することがあります。ご了承ください。

道路管理者からのお知らせとお願い

プローブ情報の利用及び取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ETC2.0 及びITS スポット対応カーナビ※1 からプローブ情報を収集する場合における情報の利用や取り扱いについて、次の通りお知らせします。

プローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みにも活用する予定です。

なお、道路管理者はこのお知らせを変更することがあります。この場合には変更後のお知らせを道路管理者 Web サイト等に掲載します。

※1: 製品により、ITS 車載器、DSRC ユニット、DSRC 車載器等と呼ばれていることがあります。

1. プローブ情報

(1)ここで「プローブ情報」とは、ETC2.0及びITSスポット対応カーナビに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者が管理するITSスポット（DSRC路側無線装置）※1と無線通信を行うことにより ETC2.0 及び ITS スポット対応カーナビから収集される情報を言います。
なお、このプローブ情報から車両又は個人を特定することはできません。プローブ情報として収集する情報は次の通りです。※2

- ETC2.0 及び ITS スポット対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカ、型番等）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカ、型番等））
- 車両に関する情報※3
- 走行位置の履歴※4
- 急な車両の動きの履歴※4

※1: 道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理するITSスポットを含みます。

※2: ただし、個別サービスの種類によっては、プローブ情報として収集される情報以外の情報を利用する場合があるため、このようなサービスを利用する場合には、その利用や取り扱いについて、当該サービス提供者の説明を受け、同意した上で当該サービスを利用してください。

※3: 車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号又は車両番号の４桁の一連番号は含まれないため、車両又は個人を特定することはできません（例：「品川 500 あ 1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

※4: 走行開始地点や走行終了地点などの個人情報にかかわる情報は、収集されません。

2. プローブ情報の利用目的

(1)道路管理者は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサービス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。※5

※5: 例えば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ドライバーに情報提供することが考えられます。

(2)道路管理者は、(1)の目的以外でプローブ情報を利用しません。

3. プローブ情報の収集

(1)道路管理者は、道路管理者が管理するITSスポット※1によって、プローブ情報を収集する場合があります。

(2)ETC2.0 及び ITS スポット対応カーナビ利用者は、設定により、**1**.(1)で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択することができます。※6
選択の方法は、「ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする」(→P.191)をご覧ください。

※6: カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは該当しません。

(3)ETC2.0 及び ITS スポット対応カーナビ利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供することで、これを利用した様々な追加サービスの提供を受けられる場合があります。

4. プローブ情報の第三者への提供

(1)道路管理者は、2. (1) の目的のため、プローブ情報を統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

(2)道路管理者は、ETC2.0 及び ITS スポット対応カーナビ、ITS スポット等の関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。

(3)道路管理者は、(1) 及び (2) 以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

5. プローブ情報の取り扱い

(1)道路管理者は、プローブ情報を安全に管理し、情報の漏えい等の防止に努めます。

(2)道路管理者は、プローブ情報が不要となった時点で、当該プローブ情報を消去します。

(3)道路管理者は、プローブ情報の提供先における情報の安全管理について、提供先を適切に指導します。

6. 問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室

03-5253-8111(代)

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社

次のホームページでも説明をご覧いただけます。

国土交通省ホームページ：http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html

2015 年 7 月（国土交通省発表）

VICS 記号・表示について

表示	道路の種類
※(黒色)	通行止めの区間
(赤色)	渋滞している道路
(橙色)	混雑している道路
(水色)	すいている道路

※ 夜画のときは白色で表示されます。

記号	交通情報
P / P (青色)	駐車場 / 臨時駐車場（空車）
P / P (橙色)	駐車場 / 臨時駐車場（混雑）
P / P (赤色)	駐車場 / 臨時駐車場（満車）
P / P (黒色)	駐車場 / 臨時駐車場（不明）
P / P	駐車場 / 臨時駐車場（閉鎖）
SA PA (青色)	SA・PA（空車）
SA PA (橙色)	SA・PA（混雑）
SA PA (赤色)	SA・PA（満車）
SA PA (黒色)	SA・PA（不明）
SA PA	SA・PA（閉鎖）
(青色)	充電施設（空車）
(橙色)	充電施設（混雑）
(赤色)	充電施設（満車）

記号	交通情報
(黒色)	充電施設（不明）
	充電施設（閉鎖）
	事故
	故障車
	路上障害
(青色)	注意
(黒色)	地震警戒宣言
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
	速度規制
	イベント

記号	交通情報
	イベント（開催外）
	緊急情報
	気象速報
	災害速報

知 識

- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の VICS・交通情報が代表して 1 つの記号で表示されることがあります。

1. スマートフォンナビ連携について

動作確認済のスマートフォン*を本機に接続して、地図の操作や、目的地の設定、オーディオ操作の確認などをすることができます。本機能を使用するためには、専用のアプリケーション（NaviCon® または smart nAVViLink）をスマートフォンにダウンロードする必要があります。スマートフォンの設定や利用方法については、「App Store」または「Google Play™」のヘルプをご覧ください。

* 本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト (http://toyota.jp/dop/navi/update/) でご確認ください。

※ 専用のアプリケーションについては予告なく変更、終了する場合があります。

- 本システムに接続するスマートフォンが対応していなければならない仕様については、「Bluetooth 対応プロファイルについて」（→ P.614）をご覧ください。
- SmartDeviceLink ™の説明については、（→ P.588）を参照してください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中にスマートフォンの操作をしないでください。

注意

- スマートフォンは車室内に放置しないでください。（炎天下など、車室内が高温となる場合があります）
- スマートフォンを本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、接続状態が悪化することがあります。

（知 識）

- スマートフォンナビ連携機能を使用するためには、スマートフォンを本機に登録する必要があります。（→ P.52）
- 一部機能については走行中の操作はできません。
- 接続対応スマートフォンについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2. Bluetooth 接続について

Bluetooth 機器使用上の注意事項

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
- この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。想定与干渉距離は 10m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

（知 識）

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。
植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器およびそれ以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

スマートフォンを登録する

スマートフォンナビ連携を使用するためには、まず本機にスマートフォンを登録することが必要です。
（→ P.52）

スマートフォンを接続する

スマートフォンの本機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

（知 識）

- スマートフォン側の操作については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth オーディオの再生中に接続動作を行った場合、オーディオ再生しているポータブル機、またはスマートフォンの接続を切断します。
- Bluetooth オーディオの操作後にスマートフォンの接続を行った場合、接続できないことがあります。また、スマートフォンの接続動作中に Bluetooth オーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。

スマートフォンを自動で接続する

Bluetooth 詳細設定の ACC ON 時の自動接続（→ P.484）を「する」に設定すると、自動で Bluetooth 接続できます。

車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にするたびに、本機は過去の接続履歴順に Bluetooth 接続します。

■Bluetooth 接続確認表示

Bluetooth 詳細設定の電話機の接続確認案内（→ P.484）で「する」を選択しているときは、スマートフォンが Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。

スマートフォンナビ連携機能を使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認表示

● Bluetooth 接続状態表示でも確認できます。（→ P.449）

知 識

● 接続完了の表示は、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にした後、スマートフォンと Bluetooth 接続完了したときに表示されます。
（ヘルプネット動作後に再接続した場合は表示されません。）

● スマートフォンの機種によっては車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>がアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、スマートフォン本体で照明を OFF に設定してください。
（設定については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。）

■自動接続できなかった場合

接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→ P.203）

スマートフォンを手動で接続する

スマートフォンの自動接続が失敗したときや自動接続 OFF 状態にしているときに Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

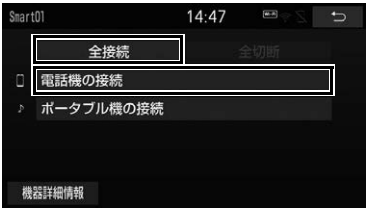
1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 スマートフォンを Bluetooth 接続可能な状態にする。

3 使用するスマートフォンにタッチ。

● または にタッチするとスマートフォンの接続を開始します。

4 全接続 または 電話機の接続 にタッチ。



5 Bluetooth 接続画面が表示される。

● 他の機器を Bluetooth 接続しているときは、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

6 Bluetooth 接続状態表示を確認する。

知識

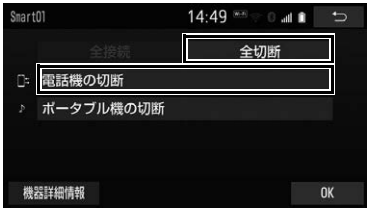
● スマートフォンの状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

スマートフォンの接続を切る

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 接続を切るスマートフォンにタッチ。

3 全切断 または 電話機の切断 にタッチ。



Bluetooth 接続の再接続について

車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>がアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>のときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、再接続処理を自動的に行います。この場合、再接続が完了すると接続完了が表示されます。

知識

● 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ P.203)

Bluetooth 接続が切断された場合

スマートフォン側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

- 次のいずれかの方法で再接続してください。

項目	ページ
手動で接続する	203
改めてスマートフォンを選択する	205

使用するスマートフォンを選択する

スマートフォンの登録をすると、一番新しく登録したスマートフォンが本機で使用するスマートフォンとして選択されます。複数のスマートフォンを使用するときは、必要に応じてスマートフォンを選択します。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 スマートフォンを Bluetooth 接続可能な状態にする。

3 使用するスマートフォンにタッチ。

- または にタッチするとスマートフォンの接続を開始します。

4 全接続 または 電話機の接続 にタッチ。

- 他の Bluetooth 機器が接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ はい にタッチします。
- 接続完了のメッセージが表示されたら、スマートフォンナビ連携が使用できます。

知 識

- 接続できない場合は、一度他の Bluetooth 機器を切断してから、再度接続操作を行ってください。

スマートフォン機器詳細情報を表示する

本機に登録されているスマートフォンに関する情報の表示と設定をすることができます。

- 情報は、次の項目が表示されます。

機器名称

本機に表示されるスマートフォンの名称です。任意の名称に変更することができます。(→ P.206)

接続方法

スマートフォンと本機の接続を、どちら側からするか選ぶことができます。(→ P.307)

機器アドレス

機器固有のアドレスで、変更することはできません。

自局電話番号

スマートフォンの電話番号です。

対応プロファイル

スマートフォンで対応しているプロファイルで、変更することはできません。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 情報を表示したいスマートフォンにタッチ。

3 機器詳細情報 にタッチ。

4 各項目の設定・確認をする。

● 初期設定の状態に戻すとき
➡ 初期状態 にタッチ。

スマートフォン機器の名称を変更する

本機に表示されるスマートフォンの名称を、任意の名称に変更することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → (名称変更したいスマートフォン) → 機器詳細情報

2 機器名称 にタッチ。

3 文字入力画面で入力する。(→ P.39)

4 ↩ にタッチ。

知 識

● 本機で機器名称を変更しても、スマートフォンに登録されている機器名称は変更されません。

スマートフォン機器の登録を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → 削除

2 削除したいスマートフォンにタッチ。

3 はい にタッチ。

3

オーディオ&ビジュアル

1 はじめに

1. 知っておいて
いただきたいこと.....210
2. 基本操作をする.....211

2 ラジオを聞く

1. ラジオを聞く.....223

3 ディスク（DVD・CD・MP3/WMA/AAC）を再生する

1. はじめに.....225
2. ディスクの出し入れ.....226
3. 音楽を再生する.....228
4. 映像を再生する.....231
5. 知っておいて
いただきたいこと.....240

4 Audio SDカードを再生する

1. お使いになる前に.....243
2. Audio SD カードの出し入れ.....244
3. Audio SDカードに録音する.....247
4. 音楽ファイルを再生する.....251
5. 動画ファイルを再生する.....254
6. 本機で録音したデータを
編集する.....259
7. Audio SDカードを
初期化する.....266

5 デジタルテレビを見る

1. 地上デジタルテレビの
操作について.....267
2. テレビの操作.....269
3. TVメニュー画面について.....274
4. 視聴設定画面について.....280
5. 知っておいて
いただきたいこと.....282

6 HDMIを使う

1. HDMIを操作する.....283

7 USBメモリーを再生する

1. はじめに.....285
2. 音楽ファイルを再生する.....287
3. 動画ファイルを再生する.....290

8 iPodを再生する

1. はじめに.....294
2. 音楽ファイルを再生する.....295
3. iPodの設定をする.....297

9 Bluetoothオーディオを再生する

1. はじめに.....298
2. Bluetoothオーディオを再生する.....301
3. Bluetoothオーディオを設定する.....304

10 ステアリングスイッチを使う

1. ステアリングスイッチで操作する.....310

11 後席ディスプレイ

1. リモコンで操作する.....312
2. 後席側の設定について.....319

12 SD Photoを再生する

1. SD Photoを再生する.....322

13 知っておいていただきたいこと

1. 故障とお考えになる前に.....324

1. 知っておいていただきたいこと

使用できるメディアについて

使用できるメディア※については、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.602）をご覧ください。

また、使用できるディスクの状態や形状については「ディスクの取り扱い」（→P.600）をご覧ください。

※ メディアとは、CD・DVD・Audio SD カード・USB メモリーなどの記憶媒体や本機に接続することができる外部機器の総称です。
本書では一部を除き、記憶媒体や外部機器をメディアという表現で説明しています。

Audio SD カードおよびアダプターについて

注意

- 定期的に表面についたゴミやほこりなどを乾いた布でふき取ってください。
- ラベルがはがれていたり、ネームテープが貼ってある Audio SD カードおよびアダプターは使用しないでください。
- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。Audio SD カードおよびアダプターが使用できなくなることがあります。
- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。
- 持ち運びや保管の際は、収納ケースに入れてください。
- 静電気や電気的ノイズを受けるおそれのある場所に、Audio SD カードを放置しないでください。データが破損するおそれがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

注意

- Audio SD カードの再生中、録音中は、Audio SD カードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。Audio SD カードの取り出し方法については、「Audio SD カードを取り出す」（→P.245）をご覧ください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

DVD プレーヤーについて

- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、正常に動作しないときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びをすることがあります。

文字情報の表示について

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

2. 基本操作をする

基本操作スイッチ

車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>のときに使用できます。

▶オーディオ操作画面（AM ラジオ）

メディアの出し入れをする
・音楽ディスク、映像ディスク（→ P.226）
・Audio SD カード（→ P.244）

オーディオソース選択画面を表示する

音の設定をする（→ P.214）

▶本体のスイッチ

AUDIO

押すとオーディオ操作画面を表示します。

約 1 秒押し続けるごとに、オーディオの ON/OFF が切り替わります。
ディスクが取り出せなくなった場合、5 秒以上押し続けた後、スイッチから指を離すと取り出すことができます。

オーディオ操作画面表示中に押すと、オーディオソース選択画面を表示し、オーディオソースを切り替えることができます。

▶オーディオソース選択画面の画面スイッチ

メディアの出し入れをする
・音楽ディスク、映像ディスク（→ P.226）
・Audio SD カード（→ P.244）

希望するオーディオソースを選択する

オーディオを OFF にする

交通情報を受信する（→ P.224）

後席設定画面を表示する（→ P.319）

スイッチの配置を変更する（→ P.214）

VOL −、VOL +

押すごとに、1 ステップずつ音量が変わります。
1 秒以上押し続けると、連続して調整できます。

⚠ 警告

● 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

(知 識)

● オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。
● 音量を上げすぎると、スピーカーからの振動により、ビビリ音などの異音が発生する場合があります。適度な音量でお聞きください。
● オーディオソース選択画面の **後席設定** は、販売店装着オプションの後席ディスプレイが接続されているときのみ表示されます。
● 本体の音量調整スイッチで連続して音量を大きくする場合は、誤って音量が上がりすぎないように、VOL 50 で止まります。VOL 50 を超えると押し続けても連続して調整できなくなりますので、1 ステップずつ調整してください。

オーディオソース選択画面の操作

オーディオソースを再生／受信するには、オーディオソースを選択します。オーディオソースを選択するときは、オーディオソース選択画面を表示させてから操作します。

1 各オーディオ操作画面（→ P.211）
→ AUDIO または ソース選択
または
MENU ▶ ソース選択

スイッチ	内容
AM	AM ラジオを聞く。（→ P.223）
FM	FM ラジオを聞く。（→ P.223）
DISC	CD または DVD を再生する。（→ P.228、P.231）
TV	デジタルテレビを見る。（→ P.269）
SD	パソコンなどで Audio SD カードに記録した音楽ファイルや動画ファイルを再生する。（→ P.251、P.254）
SDREC	本機で CD から Audio SD カードに録音した音楽ファイルを再生する。（→ P.251）
Bluetooth	Bluetooth オーディオを再生する。（→ P.301）
USB (iPod)	USB メモリーに記録した音楽ファイルや動画ファイルを再生する。（→ P.287、P.290） iPod を再生する。（→ P.295）
HDMI	HDMI 対応の機器を再生する。（→ P.283）
交通情報	交通情報を聞く。（→ P.224）

知 識

- 次のようなときは、スイッチを操作しても選択することができません。
  - ディスクが挿入されていないとき（DISC モード）
  - 再生するデータのない（録音されていない）とき（SDREC モード）
  - Audio SD カードが挿入されていないとき（SDREC、SD モード）
  - 販売店装着オプションの iPod 対応 USB/HDMI 入力端子に機器が接続されていないとき（USB/iPod モード）
- iPod、USB は販売店装着オプションの iPod 対応 USB/HDMI 入力端子が接続されていないと表示されません。
- HDMI は販売店装着オプションの iPod対応 USB/HDMI 入力端子が接続されていないと表示されません。
- iPod を接続すると、USB が iPod に登録した機器名称の表示に切り替わります。
- SD は販売店装着オプションのドライブレコーダーに保存された映像も再生できます。
- SmartDeviceLink™専用アプリケーションと SmartDeviceLink ™対応アプリケーションがインストールされたスマートフォンを Bluetooth 接続した場合、SmartDeviceLink™対応アプリケーションのアイコンが表示されます。アイコンにタッチすると、選択されたアプリケーションが起動します。
- 本機で使用できるメディアやデータについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.602）をご覧ください。

スイッチの配置を変更する

1 オーディオソース選択画面（→ P.213）→ 配置変更

2 移動したいオーディオソースにタッチ。

3 << または >> にタッチして、スイッチを移動させる。
※ この時点でアイコンの配置変更が確定します。

● スイッチをドラッグして移動させることもできます。（→ P.22）

音の設定をする

1 各オーディオ操作画面（→ P.211）→ 音設定

● 次の手順でも操作できます。
・ショートカット+コントロール画面（→ P.28）→ 音設定
・HOME 画面（→ P.23）→ 音設定

2 各項目を設定する。

● 音設定画面から次の項目が設定できます。

項目		ページ
音質設定	ASL を設定する	215
	重低音カットを設定する	
	LOUDNESS を設定する	
	バーチャルシアターを設定する	
	HARMONIZER を設定する	
	E-VOLUTION を設定する	
POSITION	POSITION を設定する	217
BAL/FAD	BALANCE/FADER を調整する	218
EQ	イコライザを設定する	219
SFC	SFC（音場）を設定する	220

音質を設定する

1 各オーディオ操作画面（→ P.211）→ 音設定 → 音質設定

2 各種設定をする。

- ASL の設定をするとき
  ➡「ASL を設定する」（→ P.215）
- 重低音カットの設定をするとき
  ➡「重低音カットを設定する」（→ P.215）
- LOUDNESS の設定をするとき
  ➡「LOUDNESS を設定する」（→ P.215）
- バーチャルシアターの設定をするとき
  ➡「バーチャルシアターを設定する」（→ P.215）
- HARMONIZER の設定をするとき
  ➡「HARMONIZER を設定する」（→ P.216）
- E-VOLUTION の設定をするとき
  ➡「E-VOLUTION を設定する」（→ P.216）

■ASL を設定する

走行時の車速に応じて、オーディオの音量を自動で補正するレベルを設定することができます。
ASL は Automatic Sound Levelizer の略です。

1 ASL にタッチし、HIGH・MID・LOW・OFF のいずれかにタッチ。

■重低音カットを設定する

重低音をカットすることによりドアスピーカーの振動を抑えることができます。

1 重低音カット にタッチし、「する」／「しない」を切り替える。

■LOUDNESS を設定する

オーディオを小音量で聞いているときなど、低音・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 LOUDNESS にタッチし、「する」／「しない」を切り替える。

■バーチャルシアターを設定する

車両に搭載されているスピーカーや車室内の状況により、低音や音の広がり感、音場定位を補正することができます。
バーチャルシアター機能は、ソースがラジオ以外のときに効果があります。

1 バーチャルシアター にタッチし、「する」／「しない」を切り替える。

2 TWEETER にタッチし、「あり」／「なし」を切り替える。

- ツィーターありの場合は「あり」に設定してください。

3 BASS にタッチし、HIGH・MID・LOW のいずれかにタッチ。

● 低音レベルを設定

LOW ＜ MID ＜ HIGH
低音レベル小 ⟷ 低音レベル大

4 FIELD にタッチし、HIGH・MID・LOW のいずれかにタッチ。

● 音場レベルを設定

LOW ＜ MID ＜ HIGH
音場レベル小 ⟷ 音場レベル大

(知 識)

● 走行中は操作できません。
● バーチャルシアターは SFC と同時に設定できません。

■HARMONIZER を設定する

圧縮時に失われた音の響きや奥行き感、音色などの倍音を自動再生する音質補強レベルを設定することで、クリアなサウンドを楽しむことができます。

ハーモナイザー機能は、ソースが Bluetooth オーディオのときに効果があります。

1 HARMONIZER にタッチし、HIGH ・ LOW ・ OFF のいずれかにタッチ。

■E-VOLUTION を設定する

圧縮された音楽データは、録音の条件により音量レベルが異なることがあります。音楽データの音量レベルを自動的に調整することにより、曲ごとの音量レベルの差を少なくすることができます。

E-VOLUTION 機能は、MP3/WMA/AAC 音楽データを再生しているとき、およびソースが iPod、USB メモリー、SD のときに効果があります。

1 E-VOLUTION にタッチし、「する」／「しない」を切り替える。

2 インジケータ表示 にタッチし、「する」／「しない」を切り替える。

●「する」に設定している場合、再生している曲の補正レベルをインジケータで表示します。(例：E-VOL+2)

● 補正レベルは -5 ～ +5 です。

3 補正音量レベル にタッチし、HIGH・MID・LOW のいずれかにタッチ。

● 補正する音量レベルを設定

LOW ＜ MID ＜ HIGH
音量レベル小 ⟷ 音量レベル大

4 反応速度 にタッチし、FAST ・ MID ・ SLOW のいずれかにタッチ。

● 補正レベルを設定

FAST ＜ MID ＜ SLOW

楽曲の音量変化にあわせて素早く補正 ※1 ⟷ 楽曲の音量変化にあわせて緩やかに補正 ※2

※1 音量変化が小さい曲向け

※2 音量変化が大きい曲向け

知 識

- E-VOLUTION は再生中に音量補正を行うため、楽曲や設定状況により、原曲のイメージと異なる場合があります。必要に応じて設定を調整してください。
- 本機能は曲の出だしで補正レベルを算出します。レベルを算出後は音量レベルを下げる方向に補正します。
- 音源や早送り／早戻しのタイミングによって、補正レベルを継続する場合があります。

POSITION を設定する

各スピーカーと視聴者の距離を設定することで、スピーカーの位置による音声到達の遅延を補正することができます。

プレミアムダブルツィーターシステム装着車では車両に合わせた設定値を呼び出すことができます。

1 各オーディオ操作画面（→ P.211）→ 音設定 → POSITION

▶プレミアムダブルツィーターシステム装着車

2 フロントステージ または パノラマステージ にタッチ。

知 識

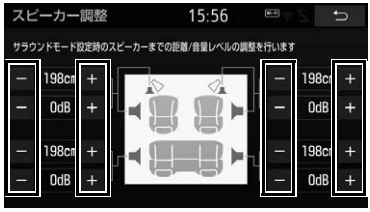
- HOME 画面（→ P.23）からも「フロントステージ」と「パノラマステージ」の切り替えができます。
- 「フロントステージ」と「パノラマステージ」切替時はミュート（消音）するため一瞬音切れが発生します。
- プレミアムダブルツィーターシステム装着車では、システムが車両に合わせたチューニングを行っています。

▶ダブルツィーターシステム装着車

2 フロントステージ または サラウンド にタッチ。

3 サラウンド を選択したときは、スピーカー調整 にタッチ。

4 各スピーカーの ＋ 、－ にタッチし、距離、音量レベルを設定する。



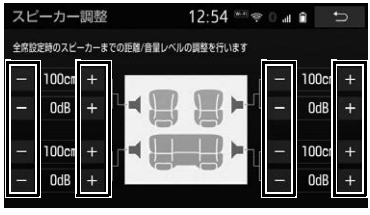
知 識

● HOME 画面（→ P.23）からも「フロントステージ」と「サラウンド」の切替ができます。

▶プレミアムダブルツィーターシステム装着車、ダブルツィーターシステム装着車を除く

2 運転席 または 全席 にタッチし、スピーカー調整 にタッチ。

3 各スピーカーの ＋ 、－ にタッチし、距離、音量レベルを設定する。



知 識

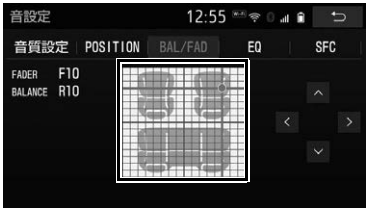
● HOME 画面（→ P.23）からも「運転席」と「全席」の切替ができます。

BALANCE/FADER を調整する

前後左右の音量バランスの調整をすることができます。

1 各オーディオ操作画面（→ P.211）→ 音設定 → BAL/FAD

2 音場の中心にしたいポイントにタッチ。



● ∧ ・ ∨ ・ ＜ ・ ＞ にタッチすると、ポイントを微調整することができます。

● ∧ ・ ∨ ・ ＜ ・ ＞ にタッチし続けると、連続的に変化しますが、センター値で停止します。再度、タッチすると微調整することができます。

知 識

● 走行中は操作できません。

● 調整レベルは
バランス（左右）：15（LEFT）～0（CENTER）～ 15（RIGHT）
フェーダー（前後）：15（FRONT）～0（CENTER）～ 15（REAR）です。

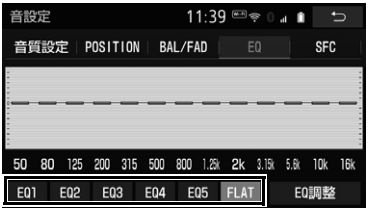
● POSITION 設定（→ P.217）が「フロントステージ」のときは設定できません。（ダブルツィーターシステム装着車のみ）

イコライザを設定する

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択したり、お好みの音質に設定することができます。

1 各オーディオ操作画面（→ P.211）→ 音設定 → ⌊EQ⌋

2 イコライザを設定する。



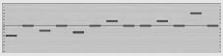
- イコライザカーブを選択するとき
  ➡「イコライザカーブを選択する」（→ P.219）
- イコライザカーブを調整するとき
  ➡「イコライザカーブを調整する」（→ P.220）

■イコライザカーブを選択する

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択することができます。

1 EQ1 ～ EQ5 のいずれかにタッチ。

- 選択された音質モードのイコライザカーブが表示されます。
- 音質を補正しない場合
  ➡ FLAT にタッチ。
- HOME 画面（→ P.23）からも同様の操作ができます。

スイッチ	イコライザカーブ
EQ1	 高域を強調したパターン
EQ2	低域高域を強調したパターン
EQ3	低域を強調したパターン
EQ4	高域を抑えたパターン
EQ5	中低域を強調したパターン
FLAT	EQ 補正なし

■イコライザカーブを調整する

お好みでイコライザカーブを調整することができます。

1 EQ 調整 にタッチ。

2 調整したいバンドの周波数にタッチ。

3 ＋ または － にタッチして、レベルを調整する。

- ＋ : レベルを上げる。
- － : レベルを下げる。

4 各バンドごとに、手順 **2**～**3** の操作を繰り返す。

5 ⮌ にタッチ。

- 調整したイコライザカーブを記憶するとき
  ➡ EQ1 ～ EQ5 のいずれかに“ピーッ”と音がするまでタッチし続ける。
- 調整したイコライザカーブを初期状態にするとき
  ➡ EQ1 ～ EQ5 のいずれかにタッチし、初期状態 → はい の順にタッチ。
- すべてのイコライザカーブをリセットするとき
  ➡ FLAT を“ピーッ”と音がするまでタッチし続ける。

知 識

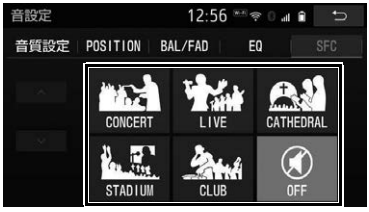
- 周波数レベルは -8 ～ +6 です。
- 外部入力機器（iPod、ポータブルオーディオ機器、HDMI 機器など）を接続する場合、外部入力機器の EQ 設定レベルを高くしていると音が割れることがあります。この場合は、EQ 設定レベルを低くしてください。

SFC（音場）を設定する

再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現することができます。

1 各オーディオ操作画面（→ P.211）→ 音設定 → SFC

2 音場モードにタッチ。



スイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール
LIVE	ライブハウス
CATHEDRAL	残響音の多い教会
STADIUM	野外スタジアム
CLUB	ディスコ、クラブ
OFF	SFC OFF

- SFC（音場）の調整、記憶をするとき
  ➡「SFC（音場）の調整、記憶をする」（→ P.221）

知 識

- SFC レベルを調整中に、別の SFC モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。
- SFC はバーチャルシアターと同時に設定できません。
- 走行中は操作できません。
- POSITION 設定（→ P.217）が「フロントステージ」のときは、SFC の設定は OFF になります。（ダブルツィーターシステム装着車のみ）
- プレミアムダブルツィーターシステム装着車、ダブルツィーターシステム装着車では、リヤスピーカーにのみ SFC の効果があります。

■SFC（音場）の調整、記憶をする

あらかじめ設定されている各 SFC（音場）モードのレベルを調整、記憶することができます。

1 調整したい音場モードで、∧ または ∨ にタッチ。

2 調整した音場モードを " ピーッ " と音がするまでタッチ。

- 調整した音場レベルをリセットするとき
  ➡ OFF を “ ピーッ ” と音がするまでタッチし続ける。

知 識

- 調整レベルは -5 ～ +5 です。

画面モードについて

DVD などの映像は、通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。

標準画モード（Normal）

入力映像をよこ 4：たて 3（デジタルテレビは、よこ 16：たて 9）の割合で表示します。
SD 動画、USB ビデオの場合、動画ファイルの縦横比に合わせて表示します。

ワイド 1 画モード（Wide1 ／ Wide）

DVD、HDMI の場合は、よこ 16：たて 9 の割合で表示します。テレビ、SD 動画、USB ビデオの場合は、ディスプレイのサイズに合わせて拡大表示します。

ワイド 2 画モード（Wide 2 ／ Full）

入力映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。（DVD、SD 動画、USB ビデオの場合、上下方向の映像が切れます。）

HDMI の場合は、ディスプレイのサイズに合わせて拡大表示します。

テレビは対応していません。

お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

画面モードを切り替える

各映像の画面モードの切り替え方法については、次のページをご覧ください。

映像	ページ
DVD	233
SD 動画	257
デジタルテレビ	280
HDMI	284
USB ビデオ	293

1. ラジオを聞く

▶AM ラジオ受信時

プリセットスイッチ

▶FM ラジオ受信時

プリセットスイッチ

知 識

- 走行中、受信状態は刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。
- 放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。

プリセットスイッチ

記憶されている放送局を受信します。

記憶したい周波数に切り替え、“ピーッ”と音がするまでタッチすると、その周波数を記憶します。

∧／∨（FM ラジオのみ）

7 つ以上の放送局を受信した場合、プリセットスイッチのページが切り替わります。

AUTO.P

“ピーッ”と音がするまでタッチすると、自動で受信可能な周波数を、一時的にプリセットスイッチに記憶します。再度タッチすると、解除されます。

- AUTO.P スイッチによりプリセットスイッチに放送局が記憶されているときは、画面に「AUTO.P」の表示が出ます。

エリア

ナビゲーションがエリアごとに記憶している放送局を表示します。（GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名と周波数がプリセットスイッチに表示されます。）再度タッチすると、解除されます。

- エリアスイッチによりプリセットスイッチに放送局が記憶されているときは、画面に「エリア .P」の表示が出ます。

< TUNE >

タッチするごとに周波数が切り替わります。

“ピッ”と音がするまでタッチすると、受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を自動で選択します。再度タッチすると、選局を停止します。

(知 識)

● AUTO.P スイッチについて
- 自動で周波数を記憶させても、AUTO.P スイッチにタッチする前(「AUTO.P」の表示が出ていないとき)に記憶させたチャンネルは消去されません。
- 受信感度の良い周波数を低い順にプリセットスイッチへ自動的に記憶します。受信が 12 局未満の時は、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、< TUNE > スイッチで選択し、記憶させた周波数と AUTO.P スイッチで記憶させた周波数は一致しないことがあります。
- AUTO.P スイッチによる周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。

● エリア スイッチについて
- プリセットスイッチにタッチし続けても、周波数を記憶させることはできません。
- AM 放送の場合、昼画表示(ライト消灯時)と夜画表示(ライト点灯時)で、表示される周波数・放送局名が異なることがあります。

● < TUNE > スイッチについて
- HOME 画面(→ P.23)からも同様の操作ができます。
- ショートカット+コントロール画面(→ P.28)からも同様の操作ができます。
  ⏮ : < TUNE と同じ操作ができます。
  ⏭ : TUNE > と同じ操作ができます。
- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で選局できないことがあります。

(知 識)

● AUTO.P スイッチまたは エリア スイッチによる周波数の記憶操作をしていないときは、画面に「マニュアル .P」が表示されます。

交通情報を聞く

交通情報放送を行っている地域で、記憶されている周波数の交通情報放送を受信することができます。

オーディオソース選択画面
(→ P.213)

1 交通情報 にタッチ。

● 解除するとき
➡ オーディオソース選択画面(→ P.213)で 交通情報 以外のオーディオソース、または AUDIO OFF にタッチ。

記憶されている周波数を変更する

1 AM 放送で記憶したい周波数を選択する。(→ P.223)

2 オーディオソース選択画面(→ P.213)に切り替える。

3 交通情報 に“ピッ”と音がするまでタッチし続ける。

(知 識)

● 初期設定では 1620kHz にセットしてあります。
● 交通情報受信中は、周波数の変更はできません。

1. はじめに

この項目では、以下の操作方法を説明しています。

- 音楽ディスク（音楽 CD、MP3/WMA/AAC ディスク）
- 映像ディスク（DVD ビデオ、DVD-VR で記録したディスク）

⚠ 警告

- 映像は、安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
  安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

2. ディスクの出し入れ

本機で使用できるディスクについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.602）をご覧ください。

また、使用できるディスクの状態や形状については「ディスクの取り扱い」（→ P.600）をご覧ください。

ディスクを入れる

1 メニュー画面（→ P.25）→ ▲ TILT・EJECT

- 次の手順でも操作できます。
  - ・HOME 画面（→ P.23）→ ▲ TILT・EJECT ※
  - ・オーディオソース選択画面（→ P.213）→ ▲
  - ・各オーディオ操作画面（→ P.211）→ ▲

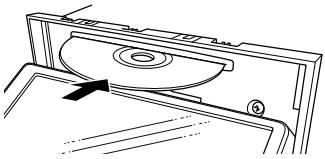
※ HOME 画面設定時（→ P.23）

2 ▲ DISC にタッチ。

- ディスクを挿入可能な状態までディスプレイが開きます。

3 ラベル面を上にして、挿入口に挿入する。

- 途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、ディスプレイが閉じます。その後、自動的に再生が開始します。



ディスクを取り出す

1 メニュー画面（→ P.25）→ ▲ TILT・EJECT

- 次の手順でも操作できます。
  - ・HOME 画面（→ P.23）→ ▲ TILT・EJECT ※
  - ・オーディオソース選択画面（→ P.213）→ ▲
  - ・各オーディオ操作画面（→ P.211）→ ▲

※ HOME 画面設定時（→ P.23）

2 ▲ DISC にタッチ。

- ディスクを排出可能な状態までディスプレイが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出したあと、CLOSE にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。

⚠ 注意

- ディスクの差し込み途中に、CLOSE にタッチしないでください。
- ディスプレイ部の開閉時は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、ディスプレイの故障の原因となります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。

注意

- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（“P” 位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・Ⓡ位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N” 位置または " ニュートラル " 位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスクを取り出す際、下記に注意してください。
  - A/T 車はディスクを取り出す際、“P” 位置で干渉する場合は、“N” 位置に切り替えてから操作してください。（コラム A/T の場合は “P” または “N” 位置で操作してください。）
  - M/T 車はディスクを取り出す際、1・3・5・Ⓡ位置で干渉する場合は、“N” 位置に切り替えてから操作してください。

注意

- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。ディスクに傷がつき、音とびするおそれがあります。
- ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因となります。
- ディスクが押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、ディスクを傷つけるおそれがあります。
- 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、ディスクを挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。

知 識

- ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。
- ⏏DISC にタッチしてもディスクが取り出せない場合は、 AUDIO を５秒以上押し続けた後、スイッチから指を離すと取り出すことができます。

ディスプレイ警告ブザー

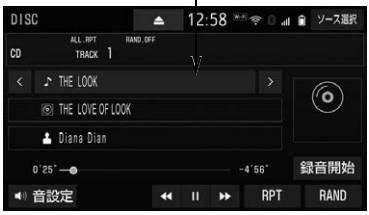
ディスプレイ部を開いたまま車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にすると、“ピッピッピッピッピッ” というブザー音でお知らせします。車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ON モード＞にして CLOSE にタッチすると、ディスプレイを閉じることができます。

3. 音楽を再生する

本機で使用できるディスクや MP3/WMA/AAC 音楽データについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.602、P.605）をご覧ください。

また、使用できるディスクの状態や形状については「ディスクの取り扱い」（→ P.600）をご覧ください。

▶音楽 CD 再生時



▶MP3/WMA/AAC ディスク再生時

※ 再生中ファイルの音声フォーマットが表示されます。

知 識

● 再生している音楽 CD にアーティスト名などの情報が収録されていなくても、地図 SD カードのデータベースに該当する情報がある場合は表示されます。

＜（トラック名）＞ （音楽 CD 再生時）
＜（ファイル名）＞ （MP3/WMA/AAC ディスク再生時）

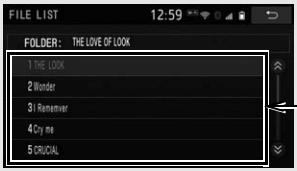
ファイル／トラックが切り替わります。

ファイル／トラック名

▶音楽 CD の場合
トラックリストを表示します。

• ページを切り替えると、リストの先頭にあるトラックが再生されます。

▶MP3/WMA/AAC ディスクの場合
ファイルリストを表示します。



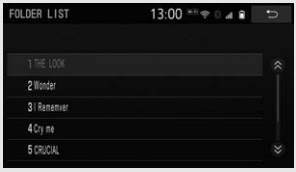
- ページを切り替えると、リストの先頭にあるファイルが再生されます。

＜（フォルダ名）＞（MP3/WMA/AAC ディスク再生時）

フォルダが切り替わります。

フォルダ名（MP3/WMA/AAC ディスク再生時）

フォルダリストを表示します。



- フォルダにタッチすると、ファイルリストが表示されリストの先頭にあるファイルが再生されます。
- ファイルリストで、再生したいファイルにタッチすると、タッチしたファイルが再生されます。ページを切り替えると、リストの先頭にあるファイルが再生されます。**完了** にタッチすると、操作画面に戻ります。
- フォルダリストで、ページを切り替えると、リスト先頭にあるフォルダ内のファイルが再生されます。

録音開始（音楽 CD のみ）

Audio SD カードへの録音を開始します。（→ P.247）

RAND（ランダム）

▶音楽 CD の場合
タッチするたびに、ランダム再生（RAND）→ランダム解除（RAND.OFF）が切り替わります。

▶MP3/WMA/AAC ディスクの場合
タッチするたびに、フォルダ内でランダム再生（RAND）→全フォルダからランダム再生（FLD.RAND）→ランダム解除（RAND.OFF）の順に切り替わります。

RPT（リピート）

▶音楽 CD の場合
タッチするたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→全曲をリピート再生（ALL.RPT）が切り替わります。

▶MP3/WMA/AAC ディスクの場合
タッチするたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→再生中のフォルダをリピート再生（FLD.RPT）→全曲をリピート再生（ALL.RPT）の順に切り替わります。

⏸（一時停止）／▶（再生）

再生を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

◀◀／▶▶

タッチし続けると、早戻し／早送りします。指を離すと、その位置から再生します。

（知 識）

- ＜ / ＞（ファイル名／トラック名）、◀◀ / ▶▶ スイッチについて
  - HOME 画面（→ P.23）やショートカット＋コントロール画面（→ P.28）からも同様の操作ができます。
    ⏮ ：（ファイル／トラック名）＜ と同じ操作ができます。
    “ピッ” と音がするまでタッチし続けると、◀◀ と同じ操作となります。
    ⏭ ：（ファイル／トラック名）＞ と同じ操作ができます。
    “ピッ” と音がするまでタッチし続けると、▶▶ と同じ操作となります。
- RPT 、RAND 、⏸（一時停止）/ ▶（再生）スイッチについて
  - HOME 画面 （→ P.23）からも同様の操作ができます。
- MP3/WMA/AAC ディスクについて
  - ランダム再生（RAND、FLD.RAND）中のリピートは、再生中の曲のリピート再生（RPT）のみ切替可能となります。

4. 映像を再生する

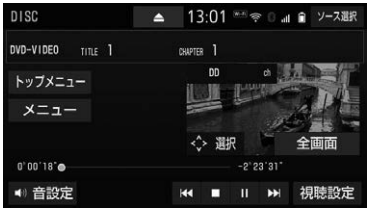
以下の映像を再生することができます。

- DVD ビデオ（ビデオフォーマットで記録した DVD-R/RW 含む）
- DVD-VR（ビデオレコーディングフォーマットで記録した DVD-R/RW）

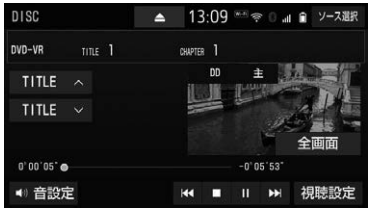
詳しくは、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.602）をご覧ください。

また、使用できるディスクの状態や形状については「ディスクの取り扱い」（→ P.600）をご覧ください。

▶DVD ビデオ再生時



▶DVD-VR 再生時



⚠ 警告

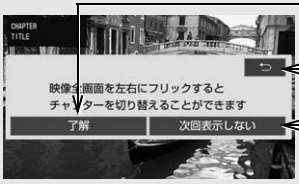
- DVD ビデオでは、迫力のある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクで、会話シーンのときに音量調整を行うと、効果音のシーンや DVD ビデオ以外のモードにしたとき、音量が大きすぎることがありますので、注意してください。
  音量が大きすぎると運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

（知 識）

- ディスクによっては読込み中の画面の表示時間が長い場合があります。
- 再生する DVD ビデオにより、再生プロテクトを解除するために暗証番号を入力する必要があります。詳しくは「暗証番号入力画面が表示されたときは」（→ P.240）をご覧ください。
- ディスクを挿入する、またはディスクが挿入されているときにディスクモードにすると、ディスク読込み中の画面が表示され、その後再生をはじめます。
- メニュー項目の画面など音声が収録されていない場面があります。そのような場面では、音声が出力されない状態が継続されますので、一度、映像を確認して、再生などの操作を行ってください。
- 販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続した場合、走行中でも後席で DVD 映像をご覧になることができます。

全画面／映像

本機の電源を入れたあと、初めて 全画面 または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。 了解 ・ 次回表示しない ・ ⮌ のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。



本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない

次回もこのメッセージを表示

次回からこのメッセージを表示しない

- 全画面表示中、画面を左右にフリック操作すると、チャプターが切り替わります。（→ P.21）

▶▶|

次のチャプターに切り替わります。

“ピーッ”と音がするまでタッチし続けると、映像を早送りします。指を離すと、その位置から再生します。

一時停止中に“ピーッ”と音がするまでタッチし続けると、スロー再生します。

❚❚（一時停止）／▶(再生)

映像を一時停止します。再度タッチすると、停止した位置から再生します。

■(停止）／▶(再生)

映像を停止します。▶(再生）にタッチすると、停止位置から再生します。

|◀◀

チャプターの頭出しをします。連続してタッチすると、前のチャプターに切り替わります。

“ピーッ”と音がするまでタッチし続けると、映像を早戻しします。指を離すと、その位置から再生します。

TITLE ∧／TITLE ∨(DVD-VR 再生時のみ)

プレイリストまたはプログラムが切り替わります。

視聴設定

視聴設定の切り替えをします。（→ P.233）

トップメニュー／メニュー（DVD ビデオ再生時）

ディスク特有のメニュー項目を操作できます。

- ディスクによっては、再生がはじまると、メニューが表示されます。
- メニュー画面を表示中に、操作スイッチが表示されていないとき
  ➡ 選択 にタッチ。
- ディスクによっては、メニュー項目を直接タッチして選択できるものもあります。

知 識

- ⏮ ／ ⏭ スイッチについて
  - HOME 画面（→ P.23）やショートカット＋コントロール画面（→ P.28）からもチャプターの切り替えや早戻し／早送りの操作ができます。ただし、スロー再生はできません。（一時停止中でも早送りの動作をします。）
  - ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。
- トップメニュー ／ メニュー スイッチについて
  - 表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクの取扱説明書をご覧ください。（表内の画面は一例です。）
- ■（停止）／ ▶（再生）スイッチについて
  - ディスクにより、停止位置から再生する機能に対応していない場合があります。
- TITLE ∧ ／ TITLE ∨ スイッチについて
  - HOME 画面 （→ P.23）やショートカット＋コントロール画面（→ P.28）で ⏭ または ⏮ を “ピッ” と音がするまでタッチしてもプレイリスト／プログラムを切り替えることができます。（DVD-VR 再生時のみ）

知 識

- ⏸（一時停止）/ ▶（再生）スイッチについて
  - HOME 画面 （→ P.23）からも同様の操作ができます。
- 画面のスイッチにタッチしたとき、画面に ⃠ が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを示していますので、その操作を行うことはできません。

設定画面について

DVD に関する設定は、視聴設定画面、初期設定画面から変更できます。

視聴設定画面について

DVD 操作画面（→ P.231）

1 視聴設定 にタッチ。

2 各項目を設定する。

▶DVD ビデオ再生時

▶DVD-VR 再生時

● **初期設定** にタッチすると、初期設定画面が表示されます。（→ P.237）

サーチ

タイトル番号を入力し 完了 にタッチすると、そのタイトル番号の映像を再生します。

リターン（DVD ビデオのみ）

ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生します。

ページ送り（DVD-VR のみ）

静止画が収録されているディスクの場合、タッチするごとに静止画が切り替わります。

音声

音声が複数収録されているディスクの場合、音声切替 にタッチするごとに、音声が切り替わります。

• 現在選択中の音声は、DVD-VR 再生時には表示されません。

字幕

字幕が複数収録されているディスクの場合、字幕切替 にタッチするごとに、字幕言語が切り替わります。

- 字幕消し にタッチすると、字幕が消えます。再度選択すると、表示されます。
- 字幕消し および現在選択中の字幕は、DVD-VR 再生時には表示されません。

アングル（DVD ビデオのみ）

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、アングル切替 にタッチするごとに、アングルが切り替わります。複数のアングルが収録されているときは、マルチアングルマーク（→ P.237）が表示されます。

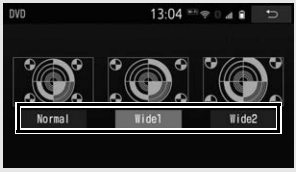
再生モード（DVD-VR のみ）

ディスク内にプレイリストやプログラムが作成されているときにプレイリストやプログラムを再生します。

- プレイリスト または プログラム にタッチします。

Wide

Normal ・ Wide1 ・ Wide2 のいずれかにタッチすると、画面モードが切り替わります。



- 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.221）をご覧ください。

画質調整

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整します。

- 画質の調整については「画質を調整する」（→ P.55）をご覧ください。

主／副（DVD-VR のみ）

音声多重で収録されているディスクを再生中、主／副 にタッチするごとに、主音声→副音声→主・副音声→主音声の順に切り替わります。

初期設定

プレーヤーをお好みの設定に変更します。（→ P.237）

知 識

- ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

初期設定画面について

視聴設定画面で、**初期設定** にタッチすると表示されます。

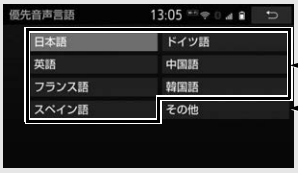
● 設定を初期の状態に戻すとき

➡ **初期状態** にタッチ。

※ 視聴制限以外の項目設定が初期の状態に戻ります。

音声

優先して聞きたい音声の言語を設定します。

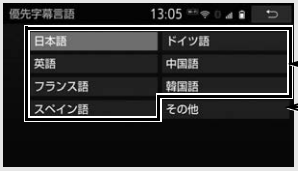


出力させる音声言語にタッチ

言語コード（→ P.239）を指定する場合は、**その他** → 言語コードを入力→ **完了** の順にタッチ

字幕

優先して表示したい字幕の言語を設定します。

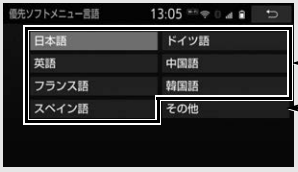


表示させる字幕言語にタッチ

言語コード（→ P.239）を指定する場合は、**その他** →言語コードを入力→ **完了** の順にタッチ

ソフトメニュー

ディスク独自のメニュー項目に表示される言語を設定します。



表示させるメニュー言語にタッチ

言語コード（→ P.239）を指定する場合は、**その他** →言語コードを入力→ **完了** の順にタッチ

マルチアングルマーク

マルチアングル（→ P.242）で記憶されているディスクを再生させているときに、マルチアングルマークの表示／非表示を切り替えることができます。

視聴制限レベル

暗証番号を入力後、視聴制限レベル（→ P.242）を設定します。

- 暗証番号が未設定のとき（「ーーーー」が表示されているとき）は、入力した番号が暗証番号として登録されます。
- 暗証番号入力時、修正 に連続して 10 回タッチすると、暗証番号を初期化（未設定の状態に）することができます。

オートスタート（DVD ビデオのみ）

メニュー画面表示中に走行を開始したとき、選択されているメニュー項目の自動再生のON/OFF を切り替えることができます。

音声ダイナミックレンジ

音声の最大値と最小値の比を、MAX ・ STD ・ MIN の中から選択できます。

- MAX ：最大ダイナミックレンジ
- STD ：標準ダイナミックレンジ
- MIN ：最小ダイナミックレンジ

映像出力切替

DVD の再生画面に合わせて画面サイズを切り替えることができます。

- 16：9（ワイド） ：通常のワイドサイズで表示されます。4：3 のサイズで収録されたDVD ソフトの場合、左右両端が黒表示または左右に伸びて表示されます。
- 4：3（レターボックス） ：上下両端が黒く表示された映像です。4：3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、画面サイズに合わせて（4:3）表示されます。
- 4：3（パンスキャン） ：左右両端がカットされた映像です。4：3 のサイズで収録されたDVD ソフトの場合、画面サイズに合わせて（4:3）表示されます。

知 識

● オートスタート スイッチについて

・ ディスクにより自動的に再生することができない場合があります。

● 映像出力切替 スイッチについて

・ 後席ディスプレイなどの別のディスプレイを接続した場合、本機で設定した画面サイズにより、後席ディスプレイで表示されるサイズは異なります。

■言語コード一覧

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0520	エストニア語	1214	リンガラ語	1911	スロバキア語
0514	英語	0521	バスク語	1215	ラオス語	1912	スロベニア語
0618	フランス語	0601	ペルシア語	1220	リトアニア語	1913	サモア語
0405	ドイツ語	0609	フィンランド語	1222	ラトビア語	1914	ショナ語
0920	イタリア語	0610	フィジー語	1307	マダガスカル語	1915	ソマリ語
0519	スペイン語	0615	フェロー語	1309	マオリ語	1917	アルバニア語
1412	オランダ語	0625	フリジア語	1311	マケドニア語	1918	セルビア語
1821	ロシア語	0701	アイルランド語	1312	マラヤーラム語	1919	スワティ語
2608	中国語	0704	スコットランドゲール語	1314	モンゴル語	1920	ソト語
1115	韓国語	0712	ガリシア語	1315	モルダビア語	1921	スンダ語
0512	ギリシャ語	0714	グァラニ語	1318	マラーティー語	1922	スウェーデン語
0101	アファル語	0721	グジャラート語	1319	マレー語	1923	スワヒリ語
0102	アブハズ語	0801	ハウサ語	1320	マルタ語	2001	タミル語
0106	アフリカーンス語	0809	ヒンディー語	1325	ビルマ語	2005	テルグ語
0113	アムハラ語	0818	クロアチア語	1401	ナウル語	2007	タジク語
0118	アラビア語	0821	ハンガリー語	1405	ネパール語	2008	タイ語
0119	アッサム語	0825	アルメニア語	1415	ノルウェー語	2009	ティグリニア語
0125	アイマラ語	0901	国際語	1503	プロバンス語	2011	トルクメン語
0126	アゼルバイジャン語	0905	Interlingue	1513	オロモ語	2012	タガログ語
0201	バシキール語	0911	イヌピアック語	1518	オリヤー語	2014	ツワナ語
0205	ベラルーシ語	0914	インドネシア語	1601	パンジャブ語	2015	トンガ語
0207	ブルガリア語	0919	アイスランド語	1612	ポーランド語	2018	トルコ語
0208	ビハーリー語	0923	ヘブライ語	1619	パシュトー語	2019	ツォンガ語
0209	ビスラマ語	1009	イディッシュ語	1620	ポルトガル語	2020	タタール語
0214	ベンガル語	1023	ジャワ語	1721	ケチュア語	2023	トウィ語
0215	チベット語	1101	グルジア語	1813	レトロマンス語	2111	ウクライナ語
0218	ブルトン語	1111	カザフ語	1814	ルンディ語	2118	ウルドゥー語
0301	カタロニア語	1112	グリーンランド語	1815	ルーマニア語	2126	ウズベク語
0315	コルシカ語	1113	カンボジア語	1823	ルワンダ語	2209	ベトナム語
0319	チェコ語	1114	カンナダ語	1901	サンスクリット語	2215	ボラピューク語
0325	ウェールズ語	1119	カシミール語	1904	シンド語	2315	ウォロフ語
0401	デンマーク語	1121	クルド語	1907	サンゴ語	2408	コサ語
0426	ブータン語	1125	キルギス語	1908	セルビアクロアチア語	2515	ヨルバ語
0515	エスペラント語	1201	ラテン語	1909	シンハラ語	2621	ズールー語

5. 知っておいていただきたいこと

DVD 再生中の操作について

DVD ではディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。この DVD プレーヤーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクの取扱説明書もあわせてご覧ください。

暗証番号入力画面が表示されたときは

▶DVD ビデオ

再生保護や視聴年齢制限が設定されているディスクは、挿入時や操作画面で 全画面 や 暗証番号入力 にタッチしたときに再生プロテクト解除画面が表示されます。

1 暗証番号を入力し、完了 にタッチ。

● 間違えたとき

➡ 修正 にタッチ。

DVD について

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

本機の地域番号（リージョンコード）は「2」です。

地域番号に「2」を含むディスク、または地域番号が「ALL」のディスクのみ再生可能です。

それ以外のディスクを再生させようとしたときは、「リージョンコードエラー」というメッセージが画面に表示されます。

本機の地域番号については、「地域番号（リージョンコード）」をご覧ください。（→ P.242）

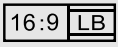
音声について

この DVD プレーヤーでは、ディスク再生時の音声は、リニア PCM・ドルビーデジタル・MPEG オーディオ・AAC に対応しており、ほかのデコード方式には対応していません。デコード方式の詳細については P.241 を参照してください。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク	意味
NTSC/PAL	カラーテレビの方式。
	音声のトラック数。 • 音声言語数。（数字「2」が収録されている音声数。）
	字幕の言語数。 • 字幕言語数。（数字「2」が収録されている言語数。）
	アングルの数。 • アングル数。（数字「3」が収録されているアングル数。）

マーク	意味
	16:9 ワイドサイズ。 • モニターの画面サイズが標準（4:3）のときは、レターボックスで再生されます。
	画面サイズ（横：縦の比） • 4：3の標準サイズ
	画面サイズ • レターボックス
	リージョン番号 • 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号。ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。 • 本機のリージョン番号は、「2」です。ディスクに「2」（2を含むもの）または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。

ディスクの構成について

ディスクに記憶されている映像や曲はいくつにも区切られています。

【例】

タイトル 1	チャプター 1
	チャプター 2
タイトル 2	チャプター 1
	チャプター 2
	チャプター 3
タイトル 3	チャプター 1

■タイトル

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りの一番大きい単位。通常は、映像ソフトでは映画 1 作品、音楽ソフトでは、アルバム 1 枚（あるいは 1 曲）にあたります。それぞれのタイトルに順につけられた番号をいいます。

■チャプター

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位。1 つのタイトルは、複数のチャプターで構成され、それぞれのチャプターに順につけられた番号をいいます。

知 識

● ディスクによっては、再生中にタイトル番号、チャプター番号、再生時間が表示されないものもあります。

DVD プレーヤーの用語について

より正しく有効に DVD を利用していただくために、次の用語の説明をご一読ください。

■DVD ビデオ

動画の記憶されている DVD ビデオでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである「MPEG2」（エムペグ 2）が採用され、映像データが平均約 1/40 に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCM のほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。

さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

■視聴制限

「国ごとの規制レベルに合わせ、その国の視聴制限に対応し、ディスクの再生を制限する。」という DVD ビデオの機能の 1 つです。視聴制限は、ディスクによって異なり、全く再生されないことや、過激な場面を飛ばしたり、別の場面に差し替えて再生されることがあります。

DVD ビデオでは、1 から 8 のレベルで視聴制限を設定することができます。

	1	2～7	8
子供向け	○	○	○
一般向け	×	○	○
成人向け	×	×	○

○ : 視聴可 X: 視聴不可

■マルチアングル

DVD ビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル（カメラの位置）で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

■マルチランゲージ（多言語）

DVD ビデオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

■地域番号（リージョンコード）

DVD プレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンコード）が設けられています。

再生させるディスクに表示されている番号に、プレーヤーに設定されている地域番号が含まれていない場合は、ディスクを再生させることはできません。

地域番号については、「再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について」をご覧ください。（→ P.240）

■ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大 6ch に分解して記録、再生する（ウーハー ch は通常 0.1ch で表現するため、5.1ch）完全ディスクリート（分割）方式です。

■サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換するとき、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。

1 秒間に区切る回数を表わしたのが、サンプリング周波数でそのときのデータ量の大きさが量子化ビット数です。

これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

■リニア PCM

音楽 CD に用いられている信号記録方式です。

音楽 CD では 44.1kHz ／ 16bit で記録されているのに対し、DVD ビデオでは
48kHz ／ 16bit ～ 96kHz ／ 24bit で記録されているので、音楽 CD よりも高音質の再生が可能です。

■AAC（Advanced Audio Coding）

衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。CD 並みの音質データを約 1/12 まで圧縮できます。また、5.1 ch のサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

1. お使いになる前に

Audio SD カードについて

Audio SD カードで次のファイルを再生することができます。

- 音楽 CD の録音ファイル
- 音楽ファイル
- 動画ファイル

本機で使用できる Audio SD カードについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.603）をご覧ください。

音楽 CD の録音について

音楽 CD を Audio SD カードに録音することができます。また、録音したアルバムにアルバム名やアーティスト名などの情報を自動で付けるので、聞きたいアルバムをアルバム名やアーティスト名などから簡単に探し出し再生することができます。

詳細は P.247 をご覧ください。

知識

- 本機で音楽 CD を録音すると、Audio SD カード内に録音用フォルダ（.SDRIP）ができます。録音用フォルダ（.SDRIP）内にパソコンで記録した音楽ファイルを入れると、その音楽ファイルは再生することができません。また、録音用フォルダ（.SDRIP）内のデータをパソコンなどで編集すると、再生できなくなったり、データが破損するおそれがあります。

音楽ファイルの再生について

Audio SD カード に記録された音楽ファイルならびに本機で録音した音楽を再生することができます。詳細は（→ P.251）をご覧ください。

本機で使用できる音楽ファイルについては、「音楽データについて」（→ P.605）をご覧ください。

動画ファイルの再生について

家庭用レコーダーなどで Audio SD カードに録画した CPRM 対応の動画ファイルを再生することができます。また、パソコンなどで Audio SD カード に記録した動画ファイルを再生することも可能です。

本機で使用できる動画ファイルについては、「Audio SD カード /USB メモリーから再生できる動画データについて」（→ P.612）をご覧ください。

⚠ 警告

- 映像は、安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
  安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

2. Audio SD カードの出し入れ

本機で使用できる Audio SD カードについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.603）をご覧ください。

Audio SD カードを入れる

1 メニュー画面（→ P.25）→ ▲ TILT・EJECT

- 次の手順でも操作できます。
  - ・HOME 画面（→ P.23）→ ▲ TILT・EJECT ※
  - ・オーディオソース選択画面（→ P.213）→ ▲
  - ・各オーディオ操作画面（→ P.211）→ ▲

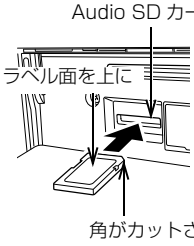
※ HOME 画面設定時（→ P.23）

2 ▲ Audio SD にタッチ。

- ディスプレイが開きます。

3 挿入口に Audio SD カードを挿入する。

- ラベル面を上にして、挿入口にまっすぐ奥まで挿入します。



- Audio SD カードを挿入すると、ディスプレイが自動で閉じます。

⚠ 注意

- Audio SD カードの差し込み途中に、CLOSE にタッチしないでください。
- Audio SD カードを挿入すると、ディスプレイが自動で閉じますので、手などを挟まないよう注意してください。

注意

- Audio SD カードはラベル面を上にして、“カチッ” と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
- 挿入口に Audio SD カード以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（“P” 位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・Ⓡ位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを “N” または “ニュートラル” 位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。

知 識

- ディスプレイを開けたままエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にし、再度エンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にしたときは、Audio SD カードを挿入しても自動でディスプレイは閉じません。CLOSE にタッチしてディスプレイを閉じてください。

Audio SD カードを取り出す

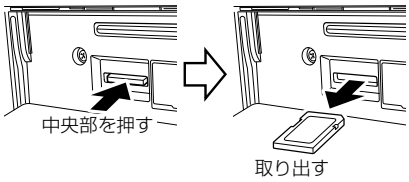
1 メニュー画面（→ P.25）→ ⏏ TILT・EJECT

● 次の手順でも操作できます。
- ・HOME 画面（→ P.23）→ ⏏ TILT・EJECT ※
- ・オーディオソース選択画面（→ P.213）→ ⏏
- ・各オーディオ操作画面（→ P.211）→ ⏏

※ HOME 画面設定時（→ P.23）

2 ⏏ Audio SD にタッチ。

3 Audio SD カードを軽く押して取り出す。



4 CLOSE にタッチ。

● ディスプレイが閉じます。

⚠ 警告

● Audio SD カードを取り出している場合、カードを乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと窒息、またはけがのおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠ 注意

● ディスプレイ部の開閉時は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、ディスプレイの故障の原因となります。
● ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。
● ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
● ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷するおそれがあります。
● Audio SD カードを取り出す際、下記に注意してください。
- ・A/T 車は Audio SD カードを取り出す際、“P” 位置で干渉する場合は、“N” 位置に切り替えてから操作してください。（コラム A/T の場合は “P” または “N” 位置で操作してください。）
- ・M/T 車は Audio SD カードを取り出す際、1・3・5・Ⓡ位置で干渉する場合は、“N” 位置に切り替えてから操作してください。

● 本機から Audio SD カードを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。Audio SD カードを破損するおそれがあります。

注意

- ⏏ 地図 SD にタッチして、Audio SD カードを取り出すと、Audio SD カードや Audio SD カード内のデータが破損するおそれがあります。
- Audio SD カードを取り出すときは、TILT・EJECT 画面で ⏏ Audio SD にタッチしてから取り出してください。パソコンでの読み込みができなくなるおそれがあります。
- ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因となります。
- Audio SD カードが押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、Audio SD カードを傷つけるおそれがあります。
- 長時間使用すると Audio SD カードが高温になる場合があります。Audio SD カードを取り出すときは、ご注意ください。
- 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、Audio SD カードを挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。

3. Audio SD カードに録音する

データベースについて

CD アルバムを再生または録音した場合、地図 SD カードに収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名を検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote® メディアデータベースを使用しています。

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音されなかった録音内容、および消失した録音データについては保証できません。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 音楽作品は、著作権法により保護されています。
  したがって、本機で録音した Audio SD カードを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用許諾条件について詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「一般社団法人日本音楽著作権協会」（JASRAC）等権利者に直接お尋ねください。
- 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードにして録音する場合、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をイグニッション ON モード<ON モード>にすると、録音したデータが消失するおそれがあります。
- ノンストップ CD（曲と曲の間の無音部分がない CD）を録音する場合、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。
- 車両のバッテリー<補機バッテリー>ターミナルをはずし、再度接続した場合、地図画面を表示してからすぐに録音できないことがあります。

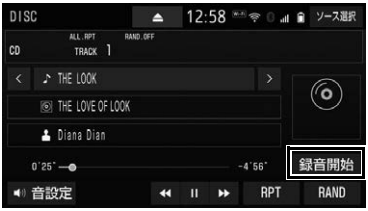
録音する

1 Audio SD カードを挿入する。（→ P.244）

2 録音したい CD を挿入する。（→ P.226）

3 CD 操作画面を表示する。（→ P.228）

4 録音開始 にタッチ。



- 再生している CD の録音を開始します。

自動で録音する

CD を再生すると同時に、自動的に録音を開始することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → CD ⇒ SD 録音設定

2 自動録音 にタッチし、「する」に切り替える。

3 録音したい CD を挿入する。（→ P.226）

- 再生と同時に、自動的に録音を開始します。

曲を選んで録音する

希望の曲だけを選んで録音することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → CD ⇒ SD 録音設定

2 自動録音 にタッチし、「しない」に切り替える。

3 選んで録音 にタッチし、「する」に切り替える。

4 録音したい CD を挿入する。（→ P.226）

5 CD 操作画面を表示する。（→ P.228）

6 録音開始 にタッチ。

7 録音したい曲にタッチ。

- 走行中は曲を選択することはできません。
- 選択を解除するとき
  ➡ 選択されている曲にタッチ。

8 完了 にタッチ。

知 識

- T-Connect Apps を起動中は録音できません。
- 録音中は録音された音楽を時間差で再生するため、CD 再生時と異なって聞こえることがあります。
- 録音中に他のオーディオソースに切り替えることができます。オーディオソースを切り替えても録音は継続されます。
- 録音中に T-Connect Apps は使用できません。
- 録音が完了した後、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしたり、他のオーディオに切り替えるなどお客様が操作しない限り、録音された音を継続して再生します。
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。
- 音飛びなどが発生した場合、録音をやりなおします。
- 音飛びなどが原因で録音が完了していない場合、トラックリスト画面（→ P.251）に が表示されます。
- 録音の開始時や終了時は、音楽が一時的に停止することがあります。
- Audio SD カードの容量がなくなった場合、録音が中止され録音途中の曲は削除されます。
- 通常の速さで再生しながら、最大２～３倍の速さで録音するため、再生している曲と録音している曲は異なります。
- 録音中は、ステータスバーに「REC」と赤字で表示されます。
- 録音中は、RPT 、RAND 、トラック名の各スイッチ、早送り、早戻しは操作できません。
- 録音中の選曲操作は制限されます。

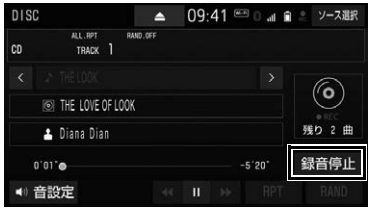
知 識

- CD 以外のモードに切り替えても、録音は継続されます。ただし以下のときは、録音を中止または中断し、録音途中の曲を削除します。
  - ・車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしたとき
  - ・オーディオの電源を OFF にしたとき
  - ・CD を取り出したとき
  - ・録音した曲数が 9999 曲になったとき
  - ・Audio SD カードの容量がいっぱいになったとき
- CD を録音しながら再生しているときに、録音が終了すると、再生中の音が一瞬途切れる場合があります。

録音を中止する

1 CD 操作画面を表示する。(→ P.228)

2 録音停止 にタッチ。



録音の設定を変更する

CD の再生と同時に自動的に録音を開始する「自動録音」と、希望の曲を選んで録音する「選んで録音」の切り替えや録音音質を切り替えることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オーディオ」 → CD ⇒ SD 録音設定

2 録音音質、録音方法にタッチ。

- 録音音質を切り替えるとき
  - ➡ 録音音質 にタッチし、高音質 または 普通 にタッチ。
- 自動録音を設定するとき
  - ➡ 自動録音 にタッチし、「する」／「しない」を切り替える。
- 選んで録音を設定するとき
  - ➡ 自動録音 にタッチし、「しない」に切り替え、選んで録音 にタッチし、「する」に切り替える。

知 識

- 走行中および録音中は、録音設定をすることができません。
- 本機は、音楽 CD を AAC（Advanced Audio Coding）圧縮技術で圧縮して、Audio SD カードに録音することができます。
- Audio SD カードに録音することができるデータは、CD（アルバム／ 8cm ディスクを除くシングルディスク）の音楽データのみです。
- 連続複製防止システム（SCMS：シリアルコピーマネージメントシステム）が働くため次の CD からは録音できません。
  - ・オーディオ機器を使用して録音した CD-R や CD-RW（パソコンを使用して作成、または複製した CD-R や CD-RW は、ライティングソフトウェアの仕様に依存されます。）
  - ・録音が禁止されている音楽 CD

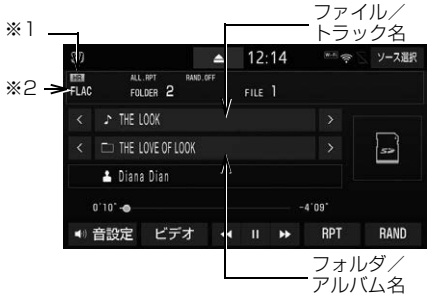
知 識

- MP3・WMA・AAC・WAV(LPCM)・FLAC・ALAC を記録した CD-R や CD-RW からは録音できません。
- 録音可能な曲の総数は、最大 9999 曲です。ただし、録音する Audio SD カードの容量や曲の長さによっては、最大 9999 曲まで録音することができません。
- Audio SD カードに録音すると、録音データ管理用として最大約 200MB が使用されます。そのため、実際の容量よりも録音可能なデータが少なくなることがあります。
- 録音された音楽は暗号化されて Audio SD カードに記録されるため、パソコンや他の機器では再生できません。
- 録音したデータは、パソコンに保存することができます。保存したデータは、録音時に使用した Audio SD カードであれば、同じフォルダ構成で再度データを保存することができます。
- 地図 SD カードには録音できません。

4. 音楽ファイルを再生する

本機で使用できる音楽ファイル（パソコンで記録した場合）については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.603、P.605）をご覧ください。

▶パソコンで記録した音楽再生時



▶本機で録音した音楽再生時

※1 サンプリング周波数が 96kHz 以上かつ量子化ビット数が 24bit 以上のハイレゾ音源再生時に表示されます。
※2 再生中ファイルの音声フォーマットが表示されます。

知 識

● 本機で録音した CD の情報がデータベースにない場合、アーティスト名には「NO　DATA」、アルバム名には録音した日時、トラック名には TRACK1、TRACK2… と表示されます。

＜（ファイル／トラック名）＞

ファイル／トラックが切り替わります。

ファイル／トラック名

ファイル／トラックリストを表示します。

• ページを切り替えると、リストの先頭にあるファイル／トラックが再生されます。

＜（フォルダ／アルバム名）＞

フォルダ／アルバムが切り替わります。

フォルダ／アルバム名（パソコンで記録した音楽再生時のみ）

フォルダ／アルバムリストを表示します。

フォルダ／アーティスト／アルバムごとに分類して、並び替え

- フォルダ／アルバム選択後、再生したいファイル／トラックにタッチすると、タッチしたファイル／トラックが再生されます。**完了**にタッチすると、操作画面に戻ります。
- ページを切り替えると、リスト先頭にあるフォルダ／アルバム内のファイル／トラックが再生されます。

アルバム名（本機で録音した音楽再生時のみ）

アルバムリストを表示します。

アーティスト／録音日時／ジャンル／マイベストごとに分類して、並び替え

- アルバム選択後、再生したいトラックにタッチすると、タッチしたトラックが再生されます。**完了**にタッチすると、操作画面に戻ります。
- ページを切り替えると、リスト先頭にあるアルバム内のトラックが再生されます。

RAND（ランダム）

タッチするたびに、フォルダ／アルバム内でランダム再生（RAND）→全フォルダ／アルバムからランダム再生（FLD.RAND/ALB.RAND）→ランダム解除（RAND.OFF）の順に切り替わります。

RPT（リピート）

タッチするたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→再生中のフォルダ／アルバムをリピート再生（FLD.RPT/ALB.RPT）→全曲をリピート再生（ALL.RPT）の順に切り替わります。

ビデオ（パソコンで記録した音楽再生時のみ）

動画ファイルの再生に切り替わります。（→ P.254）

⏸（一時停止）／ ▶（再生）

再生を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

◀◀／▶▶

タッチし続けると、早戻し／早送りします。指を離すと、その位置から再生します。

知 識

● ＜ / ＞（ファイル/トラック名）、◀◀ / ▶▶ スイッチについて
- HOME 画面（→ P.23）やショートカット＋コントロール画面（→ P.28）からも同様の操作ができます。
  ⏮ :（ファイル / トラック名）＜ と同じ操作ができます。
  “ピッ” と音がするまでタッチし続けると、◀◀ と同じ操作となります。
  ⏭ :（ファイル / トラック名）＞ と同じ操作ができます。
  “ピッ” と音がするまでタッチし続けると、▶▶ と同じ操作となります。

● RPT 、RAND 、⏸（一時停止）/ ▶（再生）スイッチについて
- HOME 画面（→ P.23）からも同様の操作ができます。

● フォルダ／アルバムリストについて
- 「アルバム」、「アーティスト」については、タグ情報（→ P.608）があるファイルのみ分類して表示されます。

● アルバムリストについて
- 「マイベスト」は、オリジナルの楽曲集が作成されていないときは選べません。（→ P.259）
- トラックはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストの表示方法（「アーティスト」、「録音日順」、「ジャンル」）を変更すると再生順が変わります。

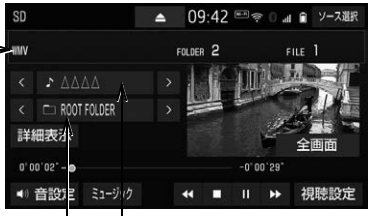
● ランダム再生（RAND、FLD.RAND/ALB.RAND）中のリピートは、再生中の曲のリピート再生（RPT）のみ切替可能となります。

5. 動画ファイルを再生する

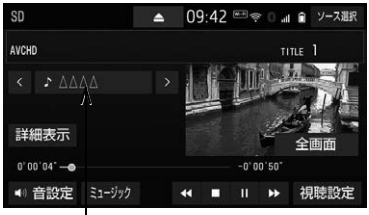
この項目では、家庭用レコーダーなどで Audio SD カードに録画した CPRM 対応の動画ファイルやパソコンなどで Audio SD カードに記録した動画ファイルの操作方法を説明しています。

本機で使用できる SD-Video 規格については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.603、P.612）をご覧ください。

▶CPRM に非対応の動画ファイル再生時（AVCHD 以外）



▶CPRM に非対応の動画ファイル再生時（AVCHD）



※ 再生中ファイルの動画フォーマットが表示されます。

▶CPRM に対応の動画ファイル再生時

知 識

● 販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続した場合、走行中でも後席で動画をご覧になることができます。

＜（ファイル／番組／ AVCHD タイトル名）＞

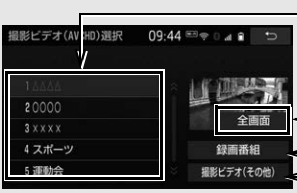
ファイル／番組／ AVCHD タイトルが切り替わります。

ファイル／番組／ AVCHD タイトル名

ファイル／番組／ AVCHD タイトルリストを表示します。

▶CPRM に非対応の動画ファイル再生時（AVCHD 以外）

▶CPRM に非対応の動画ファイル再生時（AVCHD）



▶CPRM に対応の動画ファイル再生時

- ページを切り替えると、リスト先頭にあるファイル／番組が再生されます。

＜（フォルダ名）＞（CPRM に非対応の AVCHD 以外）

フォルダが切り替わります。

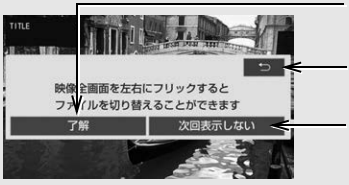
フォルダ名（CPRM に非対応の AVCHD 以外）

フォルダリストを表示します。

- フォルダにタッチすると、フォルダ内のファイルリストが表示されます。
- ファイルリストで再生したいファイルにタッチすると、タッチしたファイルが再生されます。

全画面／映像

本機の電源を入れたあと、初めて 全画面 または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。了解 ・ 次回表示しない ・ ⮌ のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。



本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない

次回もこのメッセージを表示

次回からこのメッセージを表示しない

- 全画面表示中、画面を左右にフリック操作すると、ファイル／番組が切り替わります。（→ P.21）

▶▶（早送り）

タッチし続けると、映像を早送りします。指を離すと、その位置から再生します。

- 一時停止中は、タッチし続けている間、スロー再生します。

⏸（一時停止）／▶（再生）

映像を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

■（停止）／▶（再生）

映像を停止します。▶（再生）にタッチすると、停止位置から再生します。

◀◀（早戻し）

タッチし続けると、映像を早戻しします。指を離すと、その位置から再生します。

視聴設定

視聴設定の切り替えをします。（→ P.257）

詳細表示／番組情報表示

タイトル／番組（動画ファイル）の情報を表示します。

▶CPRM に非対応の動画ファイル再生時

▶CPRM に対応の動画ファイル再生時

ミュージック

パソコンで記録した音楽ファイルの再生に切り替わります。（→ P.251）

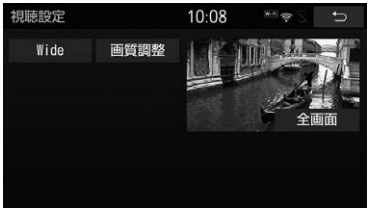
知 識

- ＜ / ＞（ファイル/番組/AVCHDタイトル名）、◀◀ / ▶▶ スイッチについて
  - HOME 画面 （→ P.23）やショートカット+コントロール画面（→ P.28）からも動画ファイル、番組の切り替えや早戻し／早送りの操作ができます。
    ⏮ :（ファイル / 番組 /AVCHD タイトル名）＜ と同じ操作ができます。
    “ピッ” と音がするまでタッチし続けると、◀◀ と同じ操作となります。
    ⏭ :（ファイル / 番組 /AVCHD タイトル名）＞ と同じ操作ができます。
    “ピッ” と音がするまでタッチし続けると、▶▶ と同じ操作となります。
- ⏸（一時停止）/ ▶（再生）スイッチについて
  - HOME 画面 （→ P.23）からも同様の操作ができます。

視聴設定画面を操作する

操作画面で、視聴設定 にタッチすると表示されます。

▶CPRM に非対応の動画ファイル再生時



▶CPRM に対応の動画ファイル再生時

二重音声 （CPRM に対応した動画ファイル再生時）

二重音声が収録されている場合、音声切替 にタッチするごとに、主音声→副音声の順に切り替わります。

字幕 （CPRM に対応した動画ファイル再生時）

字幕が複数収録されている場合、字幕切替 にタッチすると、字幕が切り替わります。
字幕消し にタッチすると、字幕を消します。

Wide

Normal ・Wide1 ・Wide2 のいずれかにタッチすると、画面モードが切り替わります。

• 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.221）をご覧ください。

画質調整

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整します。
• 画質の調整については「画質を調整する」（→ P.55）をご覧ください。

6. 本機で録音したデータを編集する

本機で Audio SD カードに音楽を録音すると、アーティスト名やジャンルなどの情報を自動で付与しグループ分けしますが、お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成することもできます。また、アルバム情報の編集などをすることができます。

サウンドライブラリ編集メニュー画面について

Audio SD カードの編集をするときは、サウンドライブラリ編集メニュー画面から行います。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オーディオ」 → サウンドライブラリ編集

2 各項目の編集・確認をする。

- サウンドライブラリ編集メニュー画面から次のことができます。

項目	ページ
マイベストを作成する	259
マイベストを編集する	260
・マイベストの名称を修正する	260
・曲を追加する	260
・曲を並び替える	261
・曲を削除する	261
・マイベストを削除する	262
アルバム情報を修正する	262
・アルバム名、アルバム読みを修正する	262
・アーティスト名を修正する	262
・アーティスト読みを修正する	263
・ジャンルを修正する	263
・トラック名、トラック読みを修正する	263
・タイトル情報を再取得する	264
アルバムを削除する	264
トラックを削除する	265
SD 詳細情報を表示する	265

知 識

- 走行中および録音中は、サウンドライブラリの編集をすることができません。

お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する

作成した楽曲集は、アルバムリスト画面のマイベストから簡単に呼び出すことができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オーディオ」 → サウンドライブラリ編集 → マイベストの 新規作成

2 マイベストの名称を入力する。

3 完了 にタッチ。

4 登録したい曲の含まれているアルバムにタッチ。

● 「アーティスト」、「録音日順」、「ジャンル」、「マイベスト」から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

5 登録したい曲にタッチ。

● 選択を解除するとき
➡ 選択されている曲にタッチ。

6 登録 にタッチ。

7 完了 にタッチ。

● 続けて曲を追加するとき
➡ 追加 にタッチ。(手順 **4** へ)
・同様の手順で追加できます。

(知 識)

● 同じ名称は重複して登録できません。
● マイベストは 999 個作成できます。また、1 つのマイベストには 99 曲まで登録できます。

マイベストを編集する

作成したマイベストの修正や削除をすることができます。

マイベストの名称を修正する

1 MENU ▶ 設定・編集 →
「オーディオ」 →
サウンドライブラリ編集 →
マイベストの 名称修正 →
(修正したいマイベスト)

2 名称を入力する。

3 完了 にタッチ。

(知 識)

● 同じ名称は重複して登録できません。

曲を追加する

1 MENU ▶ 設定・編集 →
「オーディオ」 →
サウンドライブラリ編集 →
マイベストの 編集 →
(追加したいマイベスト) →
トラックを追加

2 追加したい曲が含まれているアルバムにタッチ。

● 「アーティスト」、「録音日順」、「ジャンル」、「マイベスト」から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 追加したい曲にタッチ。

● 選択を解除するとき
➡ 選択されている曲にタッチ。

4 登録 にタッチ。

5 完了 にタッチ。

● 続けて曲を追加するとき
➡ 追加 にタッチ。(手順 **2** へ)

● 同様の手順で追加できます。

(知 識)

● 1つのマイベストには99曲まで登録できます。

曲を並び替える

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オーディオ」 → サウンドライブラリ編集 → マイベストの 編集 → (並べ替えをしたいマイベスト) → トラックを並び替え

2 移動したい曲にタッチ。

3 移動したい場所の 挿入 にタッチし、完了 にタッチ。

曲を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オーディオ」 → サウンドライブラリ編集 → マイベストの 編集 → (消去したい曲の含まれているマイベスト) → トラックを削除

2 削除したい曲にタッチし、削除 にタッチ。

● 選択を解除するとき
➡ 選択されている曲にタッチ。

3 はい にタッチ。

マイベストを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊オーディオ⌋ → サウンドライブラリ編集 → マイベストの 編集 → （消去したいマイベスト） → このマイベストを削除

2 はい にタッチ。

アルバム情報を修正する

アルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名などを変更することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊オーディオ⌋ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正

2 編集したいアルバムにタッチ。

- ⌊アーティスト⌋、⌊録音日順⌋、⌊ジャンル⌋ から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 各項目を編集する。

アルバム名、アルバム読みを修正する

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊オーディオ⌋ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → アルバム または アルバム読み

2 アルバム名またはアルバム読みを入力し、完了 にタッチ。

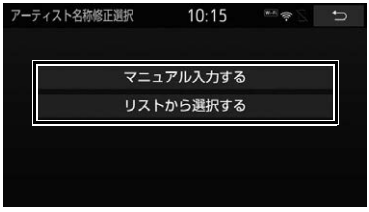
知 識

- 読みは半角カタカナのみ入力できます。

アーティスト名を修正する

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊オーディオ⌋ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → アルバムアーティスト

2 編集方法にタッチ。



■マニュアル入力するときは

1 マニュアル入力する にタッチ。

2 アーティスト名を入力し、完了 にタッチ。

■リストから選ぶときは

1 リストから選択する にタッチ。

2 アーティスト名にタッチ。

知 識

● リストに表示されるアーティストはすでに登録されているアーティストのみです。

アーティスト読みを修正する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → アルバムアーティスト読み

2 アーティスト読みを入力し、完了 にタッチ。

知 識

● 読みは半角カタカナのみ入力できます。

ジャンルを修正する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → ジャンル

2 ジャンルを選択し、完了 にタッチ。

トラック名、トラック読みを修正する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → トラック名を修正 → (修正したいトラック) → トラック または トラック読み

2 トラック名またはトラック読みを入力し、完了 にタッチ。

知 識

● 読みは半角カタカナのみ入力できます。

タイトル情報を再取得する

録音時に地図 SD カードのデータベースから付与されたタイトル情報が、録音に使用した CD のタイトル情報と違っているときには、再度、データベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オーディオ」 → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → SD で検索

- 複数候補があるとき
  ➡ タイトルにタッチ。

2 登録 にタッチ。

(知 識)

- TC で検索 は、T-Connect を利用されているときに使用することができます。T-Connect を利用すると、最新の CD タイトル情報をトヨタスマートセンター経由で Gracenote® メディアデータベースから取得することができます。(→ P.566)
- 再生している曲の録音に使用したCDのタイトル情報とは、全く異なる候補が表示されることがあります。登録の前に、必ずタイトル情報を確認してください。

- CD タイトル検索画面は、CD タイトルを検索しているときに表示されます。

・検索が終わると自動的に画面が切り替わります。
・中止するとき
  ➡ 中止 にタッチ。

アルバムを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オーディオ」 → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 削除

2 削除したいアルバムにタッチ。

- 「アーティスト」、「録音日順」、「ジャンル」から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 このアルバムを削除 にタッチ。

4 はい にタッチ。

知 識

● 削除するアルバム内の曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

トラックを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌜オーディオ⌟ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 削除

2 削除したい曲が含まれているアルバムにタッチ。

● ⌜アーティスト⌟、⌜録音日順⌟、⌜ジャンル⌟ から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 トラックを削除 にタッチ。

4 削除したい曲にタッチ。

● 選択を解除するとき
➡ 選択されている曲にタッチ。

5 削除 にタッチ。

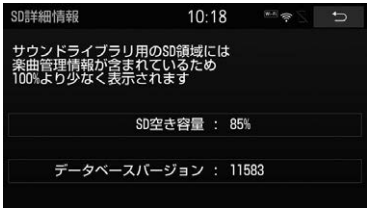
6 はい にタッチ。

知 識

● 削除する曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

Audio SD カードの空き容量を確認する（詳細情報の表示）

データベースのバージョン情報やAudio SD カードの空き容量を確認することができます。



1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌜オーディオ⌟ → サウンドライブラリ編集 → SD 詳細情報

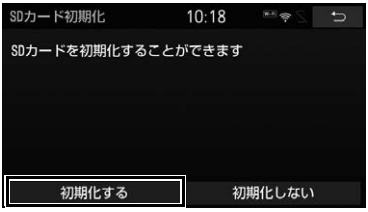
7. Audio SD カードを初期化する

Audio SD カードを初期化する

Audio SD カードを初期化することができます。初期化すると、Audio SD カード内のデータがすべて削除されます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オーディオ」 → SD カード初期化

2 初期化する にタッチ。



3 はい にタッチ。

1. 地上デジタルテレビの操作について

地上デジタルテレビの操作は、おもに操作画面と TV 局リスト画面から行います。

目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

⚠ 警告

- 映像は、安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてご覧ください。安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

（知 識）

- デジタルテレビの画面表示などは、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

初回起動時の設定

地上デジタルテレビの機能を初めて使用する場合は、プリセットスイッチにチャンネルを記憶します。

オーディオソース選択画面
（→ P.213）

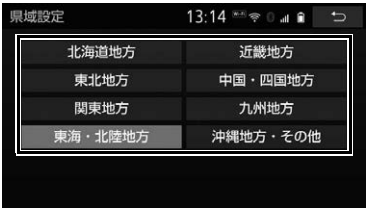
1 TV にタッチ。

2 初期設定 にタッチ。

3 郵便番号を入力し、次へ にタッチ。

- 間違えたとき
  ➡ 修正 にタッチ。

4 地域にタッチ。



- 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方
  ➡ 沖縄地方・その他 にタッチ。

5 都道府県にタッチし、**スキャン** にタッチ。

- 初期スキャン中画面が表示され受信可能な放送局を探します。
- 終了すると自動でホームプリセット設定画面を表示します。

- 受信を中止したいとき
  ➡ **中止** にタッチ。
- 最大 12 局まで受信し、受信した放送局をプリセットスイッチに表示します。

6 **次へ** にタッチ。

7 **完了** にタッチ。

(知 識)

- プリセットスイッチの順番を変更したい場合は、プリセットスイッチの内容を変更することができます。(→ P.278)
- 受信する地域により、放送局を表示するまで約 5 分程度かかる場合があります。
- 引越しなどでお住まいの地域や都道府県が変わった場合は、再度設定することができます。(→ P.279)

2. テレビの操作

知 識

- 本機での地上デジタルテレビ放送の受信は受信場所によって、電波の強さが変わったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
  この関係の主な例を次に説明します。
  - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  - 電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなることがあります。
  - トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- 地上デジタルテレビ放送では、5.1ch を AAC 方式で圧縮した番組（AAC5.1ch 放送）を放送していることがあります。本機は AAC5.1ch 放送には対応していません。AAC5.1ch 放送を受信した場合、2ch 再生となります。
- 本機はハイビジョン放送の受信に対応しています。双方向通信には対応していません。
- 販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続した場合、走行中でも後席でテレビをご覧になることができます。

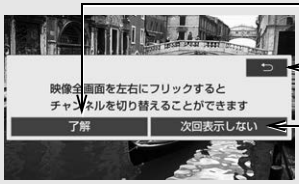
プリセットスイッチ

記憶されているチャンネルの放送局を受信します。

- 現在受信中の放送局に複数の番組（サービス）がある場合、そのプリセットスイッチにタッチするたびに番組（サービス）が切り替わります。地デジ・ワンセグ受信設定が「地デジ」の場合、地上デジタルテレビ放送の番組（サービス）のみ切り替わります。「ワンセグ」の場合、ワンセグ放送の番組（サービス）のみ切り替わります。

全画面／映像

本機の電源を入れたあと、初めて 全画面 または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。了解 ・ 次回表示しない ・ ⮌ のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。



本機の電源が入っている間は、次回このメッセージを表示しない

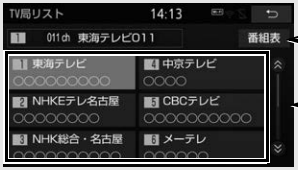
次回もこのメッセージを表示

次回からこのメッセージを表示しない

- 全画面表示中、画面を左右にフリック操作すると、プリセットスイッチに記憶されている順にチャンネルが切り替わります。（→ P.21）

TV 局リスト

TV 局リスト画面を表示します。



EPG（電子番組表）を見る（→ P.271）

プリセットスイッチ：見たいチャンネルにタッチ

サービスリスト

サービスリスト画面を表示します。

全画面を表示

見たい番組にタッチ

メニュー

TV メニュー画面を表示します。（→ P.274）

視聴設定

視聴設定画面を表示します。（→ P.280）

知 識

- プリセットスイッチについて
  - すべてのプリセットスイッチにチャンネル番号が表示されていない場合、チャンネル設定が行われていません。初期スキャンを行ってください。(→ P.278)
- ワンセグ放送のサービス番号は、611 ～ 728 に割り当てられています。
- ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送を行っていない場合、ワンセグ放送に切り替えることができません。
- 地デジ・ワンセグ受信設定が自動切替の場合は、地上デジタルテレビ放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替わっていても自動で通常の地上デジタルテレビ放送に戻ります。(→ P.274)
- 地上デジタルテレビ放送では 1 つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。
  違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。
- 1 つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。
- 1 つのチャンネルで複数の番組を同時に放送している中に独立したデータ放送（文字放送）がある場合があります。
- ショートカット＋コントロール画面（→ P.28）で ⏮ または ⏭ にタッチしてもチャンネルを切り替えることができます。
- HOME 画面（→ P.23）で ＜ または ＞ にタッチしてもチャンネルを切り替えることができます。

電子番組表（EPG）を見る

EPG とは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で番組をさがすことができます。

1 デジタルテレビ操作画面（→ P.269）→ TV 局リスト → 番組表

知 識

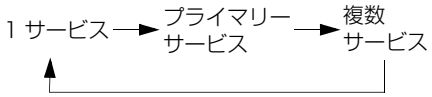
- TV 番組表画面からお好みの地上デジタルテレビ映像（番組）に切り替えることができます。
  - テレビ映像を表示する場合：全画面 にタッチ。
  - チャンネルを切り替える場合：放送局名 に タッチ。
- TV番組表画面は現在から最大7日分表示することができます。

見たい番組を探す（別のサービスの番組表に切り替える）

1 デジタルテレビ操作画面（→ P.269）→ TV 局リスト →
番組表

2 表示切替 にタッチ。

● タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。



・1 サービスは、1 チャンネルの 1 番組を表示します。
・プライマリーサービスは、3 チャンネルを 1 番組ずつ表示します。
・複数サービスは、1 チャンネルの全番組を表示します。

● 番組の情報を見たいとき
➡ 番組にタッチ。

知 識

● 同じ時間帯に3番組以上あるときは、⬇が表示されます。その番組名にタッチすると、その時間帯の番組がリスト表示されます。リストから番組にタッチすると、番組の情報を見ることができます。

■前後の時間帯の番組情報に切り替える

1 ∧ または ∨ にタッチ。

● 前の放送時間帯の番組を表示するとき
➡ ∧ にタッチ。
● 次の放送時間帯の番組を表示するとき
➡ ∨ にタッチ。

■チャンネルを切り替える

1 「ｃｈ」の ＜ または ＞ にタッチ。

● チャンネルを大きい方へ選択するとき
➡ ＞ にタッチ。
● チャンネルを小さい方へ選択するとき
➡ ＜ にタッチ。

■日付を切り替える

1 前日 または 翌日 にタッチ。

緊急警報放送（EWS）の受信

緊急警報放送（EWS:Emergency Warning System）とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送を受信した場合、メッセージが表示されます。OK または 視聴する にタッチすると、緊急警報放送を見ることができます。放送が終了すると、自動的に元の番組に戻ります。

- 走行中は表示することができません。安全な場所に停車し、表示してください。
- 緊急警報放送を解除後、現在地画面から避難所・避難場所を検索することができます。（→ P.186）

知 識

- 緊急警報放送（EWS）は、TV 以外のオーディオソース選択中でも受信可能です。
- 使用している機能によって緊急警報放送（EWS）は表示されません。機能を終了すると表示されます。
  以下は代表的な機能例です。
  - DSSS（→ P.87）
  - 安全、快適走行の案内（→ P.158）
  - 音声操作システム（→ P.330）
  - ETC システム（→ P.424）
  - ヘルプネット（→ P.513）
  - エージェント（→ P.556）
  - 本機起動時の地図 SD カード読み込み中およびスタートアップ画像表示中

3. TV メニュー画面について

TV メニュー画面について

テレビの受信に関する設定やデータ放送の操作などをすることができます。

1 デジタルテレビ操作画面（→ P.269）→ メニュー

2 各項目を設定する。

地デジ・ワンセグ受信設定

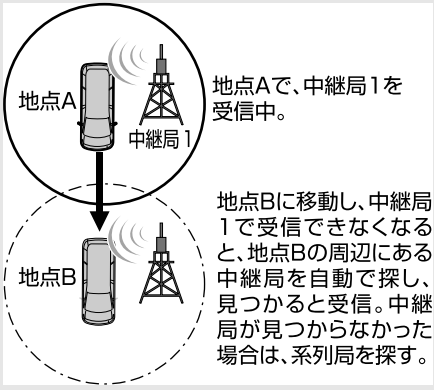
地上デジタルテレビ放送／ワンセグ放送を切り替えます。

- 自動切替 ：地上デジタルテレビ放送が受信できなくなった場合、自動でワンセグ放送に切り替わります。地上デジタルテレビが受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切り替わります。
- 地デジ ：受信状態に関わらず地上デジタル放送を受信します。
- ワンセグ ：受信状態に関わらずワンセグ放送を受信します。

放送局サーチ

走行中に、地上デジタルテレビ放送の受信状態が不安定になった場合、より受信感度が良い中継局や系列局を自動的にサーチして受信することができます。

- 系列局＋中継局 ：受信できなくなった場合、その地点の周辺にある中継局をサーチします。中継局が見つからない場合は、系列局をサーチします。受信するとプリセットスイッチにチャンネルが更新されます。
- 中継局 ：受信できなくなった場合、その地点の周辺にある中継局をサーチします。
- OFF ：放送局のサーチを行いません。



プリセットモード

プリセットモード（ホーム／トラベル／エリア）を切り替えます。

- **ホーム** ：ホームプリセットで記憶したチャンネル（→ P.267、P.278）が表示されます。普段ご覧になるときは、このモードを使用します。
- **トラベル** ：旅先などでこのモードを使用すると、ホームとは別にプリセットスイッチにチャンネルを記憶することができます。自宅周辺に帰ってきたときは、ホームに戻すことができます。トラベルに設定した後、"ピーッ" と音がするまで **トラベルスキャン** にタッチし続けると、トラベルスキャンを開始し、見つけた放送局を自動で記憶します。
- **エリア** ：自分がいる地域の放送局が分からなくなったとき、このモードを使用すると、その地域で放送されているチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。

データ放送操作

データ放送操作画面を表示します。（→ P.276）

ホームプリセットメニュー

ホームプリセットの設定をします。

ホームプリセットを設定する（→ P.278）

お住まいの地域を設定する（→ P.279）

デバイス ID 表示

地上デジタルテレビを受信するための ID を確認できます。

放送局を切り替え

(知 識)

● 地デジ・ワンセグ受信設定 スイッチについて
- ワンセグ放送を受信しているときは、画面左上に「ワンセグ」と表示されます。
- 放送が切り替わるとき、一時的に画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- 自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、ワンセグ自動切替を ON（する）にしていても、ワンセグ放送に切り替わりません。

● 放送局サーチ スイッチについて
- 放送局サーチ中は、映像および音声が出力されず、「放送局サーチ中です」のメッセージが表示されます。
- 系列局を受信した場合、自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- 放送局のサーチ中、後席ディスプレイに異なる映像が表示される場合がありますが、故障ではありません。
- プリセットモードで「エリア」を選択しているときは、放送局サーチでチャンネルが切り替わってもプリセットスイッチは更新されません。

(知 識)

● デバイス ID 表示画面について
- デバイス ID 表示画面中は、自分がいる地域が変わったり、放送局サーチでチャンネルが切り替わってもデバイス ID 表示画面の表示は更新されません。
- 局管理 RMP メーカ ID が「0 - 0000 - 0000 - 0000 - 0000 - 0000 - 0000」で表示されている場合は、その放送局を視聴することができません。

データ放送の操作について

データ放送とはデジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組の内容と関係ないニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。

データ放送を見る

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10 キー（テンキー）などで操作します。
操作方法は受信したデータ放送により異なります。

デジタルテレビ操作画面（→ P.269）

1 メニュー にタッチ。

2 データ放送操作 にタッチ。

3 d にタッチ。

● データ放送が表示されます。

● データ放送画面を解除するとき
➡ 再度 d にタッチ。

≪ Off

スイッチの表示を消します。

- ≫ On にタッチすると、スイッチが表示されます。

表示

色ボタンとカーソルでデータ放送を操作します。

色ボタン
カーソル
カーソルを操作して選択した項目を実行
色ボタン・カーソルの表示位置を移動

数字

10 キー（テンキー）で数字を入力し、データ放送を操作します。

数字を入力
入力した数字を決定
10 キーの表示位置を移動

戻る

データ放送操作画面を、ひとつ前に表示させていた画面に戻します。

（知 識）

- 本機はワンセグ放送のデータ放送には対応していません。
- データ放送を受信可能な場合、デジタルテレビ操作画面に d が表示されます。
- データ放送の操作は、画面に表示される指示の順に行ってください。

ホームプリセットを設定する

プリセットスイッチに記憶しているチャンネルを編集したり、居住地域を変更することができます。

（知 識）

- ホームプリセット設定、居住地域の登録は「プリセットモード」（→P.275）が「ホーム」に設定されている場合のみ設定することができます。

ホームプリセットを設定する

ご使用になる地域で受信できる放送局（チャンネル）を自動で受信して、プリセットスイッチに記憶させることができます。ホームプリセットの設定には、新たに記憶させる初期スキャンと、現在記憶されているプリセットスイッチに新たに受信できる放送局（チャンネル）を追加させる追加スキャンの 2 種類があります。

（知 識）

- 最大 12 局まで受信し、受信した放送局をプリセットスイッチに表示します。

■チャンネルをスキャンする

1 デジタルテレビ操作画面（→ P.269）→ メニュー →
ホームプリセットメニュー →
ホームプリセット設定

2 初期スキャン に “ピーッ” と音がするまで、または 追加スキャン に “ピッ” と音がするまでタッチし続ける。

- 初期スキャン中画面または追加スキャン中画面が表示され、自動で放送局の受信が始まります。
- 受信を中止したいとき
  ➡ 中止 にタッチ。

3 完了 にタッチ。

■プリセットスイッチの内容を変更する

1 デジタルテレビ操作画面（→ P.269）→ メニュー →
ホームプリセットメニュー →
ホームプリセット設定

2 変更したいプリセットスイッチにタッチ。

3 記憶したい放送局を選択し、完了 にタッチ。

- 後ろの放送局を選択するとき
  ➡ ＞ にタッチ。
- 前の放送局を選択するとき
  ➡ ＜ にタッチ。

お住まいの地域を設定する

データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。引越したときは必ず設定してください。

1 デジタルテレビ操作画面表示中（→P.269）→ メニュー →
ホームプリセットメニュー →
居住地域の登録

2 県域設定 または 郵便番号設定 にタッチ。

- 県域設定 にタッチしたとき
  ➡ 地域→都道府県の順にタッチ。
  ・東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの場合は、沖縄地方・その他 にタッチします。
- 郵便番号設定 にタッチしたとき
  ➡ 郵便番号を入力し、完了 にタッチ。

4. 視聴設定画面について

視聴設定画面について

映像や音声に関する設定をすることができます。

1 デジタルテレビ操作画面表示（→ P.269）→ 視聴設定

2 各項目を設定する。

● 映像を全画面表示するとき

➡ 全画面 または映像にタッチ。

映像

地上デジタルテレビ放送では、マルチビュー放送で複数の映像を提供する場合があります。
タッチするごとに、映像が切り替わります。

- マルチビュー放送とは、同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像が送られる放送のことです。

音声

地上デジタルテレビ放送では、複数の音声を提供している場合があります。
タッチするごとに、音声が切り替わります。

主／副

タッチするごとに、主音声→副音声→主／副音声の順に切り替わります。

文字スーパー

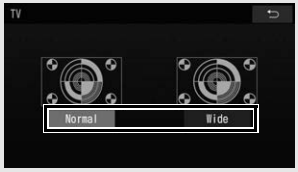
地上デジタルテレビ放送では、放送と独立して文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）を行っています。
タッチするごとに、日本語→英語→表示なしの順に文字スーパーが切り替わります。

字幕

地上デジタルテレビ放送では、複数の字幕を提供している場合があります。
タッチするごとに、日本語→英語→字幕なしの順に字幕が切り替わります。

Wide

Normal または Wide にタッチすると、画面モードが切り替わります。



- 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.221）をご覧ください。

画質調整

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整します。

- 画質の調整については「画質を調整する」（→ P.55）をご覧ください。

知 識

- 映像 スイッチについて
  - 映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。
- 主／副 スイッチについて
  - 副音声または主／副音声を選択している場合、受信状態によって主音声・副音声が頻繁に切り替わることがあります。

5. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原　因	処　置
放送を受信できません	デジタルテレビの受信エリア外にいるため。	デジタルテレビを受信できるエリアに移動してください。
	チャンネルを記憶した地域と異なる場所にいるため。	初期スキャン（→ P.278）、またはプリセットモードの切り替え（→ P.274）をしてください。
データ放送を表示できませんでした	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作しなおしてください。
受信制御データが設定されていません しばらくお待ちください エラーコード：EC21	デバイス ID 更新中のため。	受信中の放送局を 30 秒程度、受信状態を継続してください。

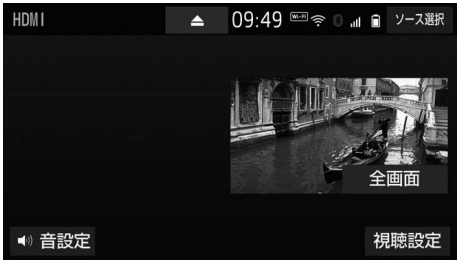
1. HDMI を操作する

販売店装着オプションの iPod 対応 USB/HDMI 入力端子に接続した HDMI 対応機器を再生することができます。

HDMI 対応機器の接続・取り外しの詳細については、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/HDMI 入力端子に同梱の取扱書を参照してください。

本機で使用できる HDMI 機器については、「HDMI 機器について」（→ P.604）をご覧ください。

● 接続後、接続した機器の電源を入れてください。



⚠ 警告

● 映像は、安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

（知 識）

● HDMI モード中に HDMI ケーブルを抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
● 接続する HDMI 対応機器や再生するメディアによっては、映像が正しく表示されなかったり、音声が聞き取りにくくなったりする場合があります。
● 販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続した場合、走行中でも後席で映像をご覧になることができます。

全画面／映像

操作画面を解除し、映像を全画面表示します。

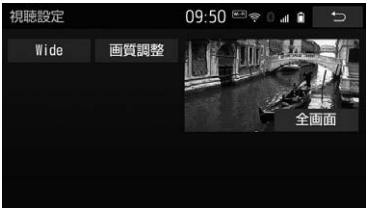
視聴設定

視聴設定の切り替えをします。（→ P.284）

☆印は販売店装着オプションです。

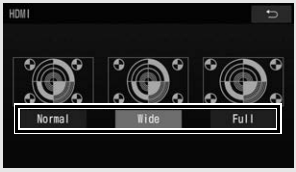
視聴設定画面について

操作画面で、視聴設定 にタッチすると表示されます。



Wide

Normal ・ Wide ・ Full のいずれかにタッチすると、画面モードが切り替わります。



- 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.221）をご覧ください。

画質調整

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整します。

- 画質の調整については「画質を調整する」（→ P.55）をご覧ください。

1. はじめに

USB メモリーについて

販売店装着オプションの iPod 対応 USB/HDMI 入力端子に接続した USB メモリー内のデータを再生することができます。再生できるデータは、パソコンなどで記録した音楽ファイル（→ P.285）と動画ファイル（→ P.285）です。

本機で使用できる USB メモリーや USB メモリーに記録できるデータについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.604、P.605）をご覧ください。

USB メモリーの接続・取り外しの詳細については、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/HDMI 入力端子に同梱の取扱書を参照してください。

「USB メモリーについて」（→ P.604）に該当していても、ご利用の USB メモリーによっては、本機で再生できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

音楽ファイルの再生について

USB メモリーに記録された音楽ファイルを再生することができます。再生可能な音楽ファイルについては、「音楽データについて」（P.605 ～ P.611）をご覧ください。

動画ファイルの再生について

拡張子 MP4（H.264/MPEG-4 AVC）などで記録した動画を再生することができます。再生可能な動画ファイルについては、「Audio SD カード /USB メモリーから再生できる動画データについて」（→ P.612）をご覧ください。

知 識

- 再生中に USB メモリーを抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- USB メモリーが接続されている状態で、他モードより USB メモリーモードに切り替えたときは、最初のファイルが再生されます。また、同じ USB メモリー（内容が変更されていないもの）が再び差し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- USB メモリーまたは iPod を接続しているときに本機が過電流を検知すると、「異常検知で USB 停止中です」(USB 接続時)、「iPod が接続できませんでした」(iPod 接続時) のメッセージが表示され、オーディオの電源が OFF になります。再度 USB メモリーまたは iPod を再生するときは、一度車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にし、再度車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ ON モード＞にしてください。

☆印は販売店装着オプションです。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中に USB メモリーを操作しないでください。
- 映像は、安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
  安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

注意

- USB メモリーを車室内に放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB メモリーが接続されているときに、USB メモリーの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。
- USB 入力端子に USB メモリー以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- 本機でUSBメモリーを使用しているときにUSB メモリーのデータが消失しても、消失したデータについては補償できません。
- USB モード中は、USB メモリーを取りはずさないでください。USB メモリー内のデータが破損するおそれがあります。

2. 音楽ファイルを再生する

この項目では、USB メモリーに記録した音楽ファイルの操作方法を説明しています。本機で使用できる USB メモリーや USB メモリーに記録できる音楽データについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.604、P.605）をご覧ください。

※1 サンプリング周波数が 96kHz 以上かつ量子化ビット数が 24bit 以上のハイレゾ音源再生時に表示されます。
※2 再生中ファイルの音声フォーマットが表示されます。

＜（ファイル／トラック名）＞

ファイル／トラックが切り替わります。

ファイル／トラック名

ファイル／トラックリストを表示します。

- ページを切り替えると、リストの先頭にあるファイル／トラックが再生されます。

＜（フォルダ／アルバム名）＞

フォルダ／アルバムが切り替わります。

フォルダ／アルバム名

フォルダ／アルバムリストを表示します。

フォルダ／アーティスト／アルバムごとに分類して、並び替え

- フォルダ／アルバム選択後、再生したいファイル／トラックにタッチすると、タッチしたファイル／トラックが再生されます。完了にタッチすると、操作画面に戻ります。
- ページを切り替えると、リスト先頭にあるフォルダ／アルバム内のファイル／トラックが再生されます。

RAND（ランダム）

タッチするたびに、フォルダ／アルバム内でランダム再生（RAND）→全フォルダ／アルバムからランダム再生 (FLD.RAND/ALB.RAND) →ランダム解除（RAND.OFF）の順に切り替わります。

RPT（リピート）

タッチするたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→再生中のフォルダ／アルバムをリピート再生 (FLD.RPT/ALB.RPT) →全曲をリピート再生（ALL.RPT）の順に切り替わります。

⏸（一時停止）／ ▶(再生)

再生を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

◀◀／▶▶

タッチし続けると、早戻し／早送りします。指を離すと、その位置から再生します。

ビデオ

USB メモリー内の動画ファイルの再生に切り替わります。（→ P.290）

知 識

● ＜ / ＞(ファイル／トラック名)、◀◀ / ▶▶ スイッチについて
・ HOME 画面（→ P.23）やショートカット＋コントロール画面（→ P.28）からも同様の操作ができます。
⏮ :(ファイル／トラック名) ＜ と同じ操作ができます。
“ピッ” と音がするまでタッチし続けると、◀◀ と同じ操作となります。
⏭ :(ファイル／トラック名) ＞ と同じ操作ができます。
“ピッ” と音がするまでタッチし続けると、▶▶ と同じ操作となります。
● RPT 、RAND 、⏸(一時停止) / ▶(再生) スイッチについて
・ HOME 画面（→ P.23）からも同様の操作ができます。
● フォルダ／アルバムリストについて
・ ┘アルバム└ 、┘アーティスト└ については、タグ情報（→ P.608）があるファイルのみ分類して表示されます。
● ランダム再生（RAND、FLD.RAND/ALB.RAND）中のリピートは、再生中の曲のリピート再生（RPT）のみ切替可能となります。

3. 動画ファイルを再生する

この項目では、USB メモリーに記録した動画ファイルの操作方法を説明しています。

本機で使用できる USB メモリーや USB メモリーに記録できる動画ファイルについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.604、P.612）をご覧ください。

※ 再生中ファイルの動画フォーマットが表示されます。

知 識

- 販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続した場合、走行中でも後席で動画ファイルをご覧になることができます。

＜(ファイル名)＞

ファイルが切り替わります。

ファイル名

ファイルリストを表示します。

- ページを切り替えると、リスト先頭にあるファイルが再生されます。

＜(フォルダ名)＞

フォルダが切り替わります。

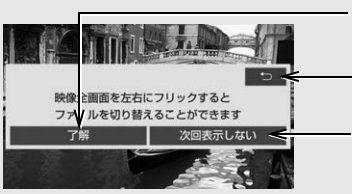
フォルダ名

フォルダリストを表示します。

- フォルダにタッチすると、フォルダ内のファイルリストが表示されます。
- ファイルリストで再生したいファイルにタッチすると、タッチしたファイルが再生されます。
- ページを切り替えると、リスト先頭にあるファイルが再生されます。

全画面／映像

本機の電源を入れたあと、初めて 全画面 または映像にタッチしたときは、メッセージが表示されます。 了解 ・ 次回表示しない ・ ⮌ のいずれかにタッチすると、メッセージは解除され全画面表示になります。



- 全画面表示中、画面を左右にフリック操作すると、ファイルが切り替わります。(→ P.21)

▶▶(早送り)

タッチし続けると、映像を早送りします。指を離すと、その位置から再生します。
- 一時停止中は、タッチし続けている間、スロー再生します。

▮▮(一時停止) ／ ▶(再生)

映像を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

■(停止) ／ ▶(再生)

映像を停止します。▶(再生)にタッチすると、停止位置から再生します。

◀◀(早戻し)

タッチし続けると、映像を早戻しします。指を離すと、その位置から再生します。

視聴設定

視聴設定の切り替えをします。(→ P.293)

詳細表示

タイトル(動画ファイル)の情報を表示します。

ミュージック

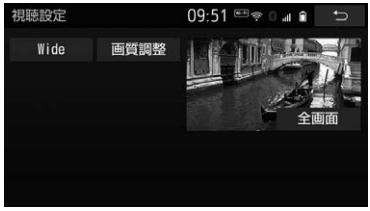
USB メモリー内の音楽ファイルの再生に切り替わります。(→ P.287)

(知 識)

- ＜ / ＞(ファイル名)、◀◀ / ▶▶ スイッチについて
  - HOME 画面(→ P.23)やショートカット+コントロール画面(→ P.28)からも動画ファイルの切り替えや早戻し／早送りの操作ができます。ただし、スロー再生はできません。(一時停止中でも早送りの動作をします。)
    ⏮ :(ファイル名)＜と同じ操作ができます。
    "ピッ" と音がするまでタッチし続けると、◀◀と同じ操作となります。
    ⏭ :(ファイル名)＞と同じ操作ができます。
    "ピッ" と音がするまでタッチし続けると、▶▶と同じ操作となります。
- ▮▮(一時停止) / ▶(再生) スイッチについて
  - HOME 画面(→ P.23)からも同様の操作ができます。

視聴設定画面を操作する

操作画面で、**視聴設定** にタッチすると表示されます。



Wide

Normal ・ **Wide1** ・ **Wide2** **のいずれかにタッチすると、画面モードが切り替わります。**

- 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.221）をご覧ください。

画質調整

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整します。

- 画質の調整については「画質を調整する」（→ P.55）をご覧ください。

1. はじめに

販売店装着オプションの iPod 対応 USB/HDMI 入力端子に接続した iPod を再生することができます。

iPod の接続・取り外しの詳細については、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/HDMI 入力端子に同梱の取扱書を参照してください。

本機で使用できる iPod については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.604）をご覧ください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中に iPod を操作しないでください。

注意

- iPod を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPod が接続されているときに、iPod の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。
- iPod端末の差込口にiPod端末以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

知 識

- 音楽のみ再生できます。
- iPod モード中に iPod 端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- iPod を接続する場合は、Apple 純正ケーブルを使用してください。
- iPod を本機に接続する前と取り外した後では、シャッフルやリピートなどの設定が変わることがあります。
- サンプルレートが 44.1kHz 以外の曲の場合、iPod の種類によっては正しく再生されないことがあります。
- 機種やソフトウェアバージョンによっては、本書の説明どおりに動作しない場合があります。

☆印は販売店装着オプションです。

2. 音楽ファイルを再生する

この項目では、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/HDMI 入力端子に接続した iPod の操作方法を説明しています。

本機で使用できる iPod については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.604）をご覧ください。

トラック名

トラックリストを表示します。

カバーアート

拡大表示画面を表示します。

選曲

選曲リストを表示します。

- リスト選択後、再生したいトラックにタッチすると、タッチしたトラックが再生されます。
  完了 にタッチすると、操作画面に戻ります。

RAND（ランダム）

アルバム内でランダム再生（RAND）→ 全アルバムからランダム再生（ALB.RAND）→ ランダム解徐（RAND.OFF）の順に切り替わります。
• 接続する iPod により、動作が異なります。

RPT（リピート）

再生中の曲をリピート再生（RPT）→ 全曲をリピート再生（ALL.RPT）→ リピート解徐（RPT.OFF）の順に切り替わります。
• 接続する iPod により、動作が異なります。

⏸（一時停止）／▶(再生)

再生を一時停止します。再度タッチすると、再生します。

⏮

トラックの頭出しをします。再生時間が 1 秒未満の場合、前のトラックの先頭から再生します。
" ピッ " と音がするまでタッチし続けると、早戻しします。指を離すと、その位置から再生します。

⏭

次のトラックの先頭から再生します。
" ピッ " と音がするまでタッチし続けると、早送りします。指を離すと、その位置から再生します。

(知 識)

● ⏮ / ⏭ スイッチについて
・ HOME 画面（→ P.23）やショートカット＋コントロール画面（→ P.28）からも同様の操作ができます。

● RPT 、RAND 、⏸(一時停止) / ▶(再生) スイッチについて
・ HOME 画面（→ P.23）からも同様の操作ができます。

● 選曲 スイッチについて
・ トラックはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストのプレイモード（「プレイリスト」、「アーティスト」、「アルバム」、「曲」、「Podcasts」、「オーディオブック」、「ジャンル」、「作曲者」）を変更すると再生順が変わります。

● カバーアートについて
・ カバーアートのデータによっては、拡大表示画面にすると画像が粗くなることがあります。

3. iPod の設定をする

iPod カバーアートを表示する

iPod カバーアート表示のする／しないを設定できます。

- JPEG 形式で保存されたカバーアートのみ表示できます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → iPod 設定

2 カバーアート表示 にタッチし、「する」／「しない」を切り替える。

知 識

- カバーアートは、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより表示できない場合があります。
- カバーアートの表示には時間がかかることがあり、その間操作はできません。

1. はじめに

Bluetooth オーディオについて

動作確認済の Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤー※（以下「ポータブル機」）を本機に接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。

本システムに接続するポータブル機が対応していなければならない仕様については、「Bluetooth 対応プロファイルについて」（→P.614）をご覧ください。ただし、ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 携帯電話のオーディオプレーヤーを含む。Bluetooth オーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。本機で動作確認済みの携帯電話の機種については、お買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト (http://toyota.jp/dop/navi/update/) でご確認ください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。

注意

- ポータブル機は車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- ポータブル機を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

（知 識）

- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。

各種表示について

電池残量表示について

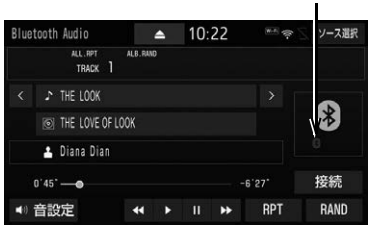
表示	
残量	無　少 ◀——▶ 多

（知 識）

- 接続した機器によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 電池残量表示はポータブル機の表示と一致しないことがあります。
- 外部電源が接続されているときは残量表示は で表示されます。
- Bluetooth 接続により、ポータブル機の電池が早く消耗します。

Bluetooth 接続状態表示について

Bluetooth 接続状態表示



表示	接続状態
（青色）	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態でご使用ください。
（灰色 / 白色）※	この状態では再生時に音質が劣化することがあります。表示が青色になるまで、ポータブル機を移動してご使用ください。
	Bluetooth 接続されていない状態を示しています。 この状態では使用できませんので、再度、ポータブル機の選択をご確認ください。（→ P.306） ポータブル機の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。（→ P.52）

※ テーマ切替（→ P.57）の設定により表示の色が異なります。

知識

- Bluetooth 通信用のアンテナが本機内に内蔵されています。
  次のような場所や状態でポータブル機を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が灰色 / 白色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。
  - ポータブル機がディスプレイから隠れる場所にあるとき
    （シートの後ろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
  - ポータブル機が金属製のものに接したり、覆われているとき

  ポータブル機を使用するときは、青色の表示が出るように、ポータブル機の場所を移動させてください。

Bluetooth 機器使用上の注意事項について

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  （上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
  この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。
  変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
  想定与干渉距離は 10m 以下です。
  この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

(知 識)

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。
  シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。
  植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器およびそれ以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

ハンズフリーと同時に使用するとき

- Bluetooth オーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 対応機器（携帯電話）を使用するときは、次のようになります。
  - ポータブル機の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
  - ポータブル機の再生音声にノイズが発生することがあります。
  - ポータブル機の動作が遅くなることがあります。
- 再生中にハンズフリーで使用する通信機器の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。
- ハンズフリーの電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがあります。
  この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に接続できない場合があります。

Wi-Fi® と同時に使用するとき

Bluetooth オーディオを再生しているとき、Wi-Fi® が接続されると、ポータブル機の機種によってはオーディオの音声が途切れる、またはノイズが入ることがあります。

2. Bluetooth オーディオを再生する

ポータブル機を接続したときに、接続した機器を再生することができます。
Bluetooth オーディオを使用するためには、まず本機にポータブル機を登録することが必要です。(→ P.52)

(知 識)

- 接続した機器によっては、次のような場合があります。
  - 本機で操作できない。
  - 動作や音量が異なる。
  - 本機とポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
  - アーティスト名、アルバム名、トラック名、電池残量などの表示や ALBUM の < ・ > などのスイッチが表示されない。
  - アルバム名・トラック名からリストが表示できない。
  - リピートやランダム再生ができない。
  - 再生を停止すると、接続が切断される。この場合、手動で接続してください。(→ P.304)
  - 音飛びするときは、Wi-Fi® 設定を「OFF」にすることで音飛びが解消される場合があります。(→ P.578)

＜（トラック名）＞

トラックが切り替わります。

トラック名

トラックリストを表示します。

- ページを切り替えると、リストの先頭にある曲が再生されます。

＜（アルバム名）＞

プレイリストが切り替わります。

アルバム名

プレイリストを表示します。

- プレイリスト選択後、再生したいトラックにタッチすると、タッチしたトラックが再生されます。

接続

ポータブル機が Bluetooth 接続されてないときに接続します。（→ P.304）

RAND（ランダム）

タッチするたびに、アルバム内でランダム再生（RAND）→ 全アルバムからランダム再生（ALB.RAND）→ ランダム解除（RAND.OFF）の順に切り替わります。

RPT（リピート）

タッチするたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→再生中の アルバムをリピート再生（ALB.RPT）→ 全曲をリピート再生 (ALL.RPT) またはリピート解除（RPT.OFF）の順に切り替わります。

- 全曲をリピート再生 (ALL.RPT) になるか、リピート解除 (RPT.OFF) になるかは、接続する機器により、動作が異なります。

▶(再生)

一時停止しているときにタッチすると、再生します。

- 接続した機器によっては、再生中に ▶ にタッチすることで、一時停止する場合があります。

⏸(一時停止)

再生を一時停止します。

- 接続した機器によっては、一時停止時に ⏸ にタッチすることで、再生する場合があります。

◀◀／▶▶

接続した機器によっては、タッチし続けると、早戻し／早送りします。指を離すと、その位置から再生します。

知 識

- ＜ / ＞(トラック名)、◀◀ / ▶▶ スイッチについて
  - HOME 画面（→ P.23）やショートカット＋コントロール画面（→ P.28）からも同様の操作ができます。
    ⏮ :(トラック名) ＜ と同じ操作ができます。
    “ピッ” と音がするまでタッチし続けると、◀◀ と同じ操作となります。
    ⏭ :(トラック名) ＞ と同じ操作ができます。
    “ピッ” と音がするまでタッチし続けると、▶▶ と同じ操作となります。
- RPT 、RAND 、⏸(一時停止) / ▶(再生) スイッチについて
  - HOME 画面（→ P.23）からも同様の操作ができます。

3. Bluetooth オーディオを設定する

ポータブル機を接続する

ポータブル機の本機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

(知 識)

● ポータブル機側の操作については、ポータブル機の取扱説明書をご覧ください。

自動で接続する

ACC ON 時の自動接続が「する」に設定されているとき（→ P.308）、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にするたびに、本機は登録（選択）したポータブル機と自動的に Bluetooth 接続します。

● ポータブル機の接続確認表示が「する」に設定されているとき（→ P.308）、Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示させることができます。
使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認表示

● ポータブル機は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。

(知 識)

● Bluetooth 接続状態は、Bluetooth オーディオ操作画面でも確認できます。(→ P.299)
● 接続完了の表示は、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にした後、初めて Bluetooth 接続完了したときに 1 回のみ表示されます。
● ポータブル機の機種によっては、次のような場合があります。
  ・ 自動接続しない。
  この場合、手動で接続してください。
  (→ P.304)
  ・ 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>がアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>のときに表示部の照明がついたままになる。
  この場合、ポータブル機本体で照明を OFF に設定してください。
  (設定については、ポータブル機の取扱説明書をご覧ください。)
  ・「外部からの接続」、「ポータブル機からの接続」などの切り替え設定がある場合があります。ポータブル機の設定をご確認ください。

■自動接続できなかった場合

自動接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。
(→ P.304)

手動で接続する

自動接続が失敗したときや ACC ON 時の自動接続を「しない」に設定しているとき（→ P.308）、Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中
(→ P.301)

1 ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にする。

2 接続 にタッチ。

3 接続したいポータブル機にタッチ。

- ♪ にタッチするとポータブル機の接続を開始します。

4 全接続 または ポータブル機の接続 にタッチ。

- Bluetooth 接続状態表示を確認します。良好な状態であれば使用できます。

知 識

- ポータブル機の状態によっては、一度で接続できないことがあります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

ポータブル機から接続するとき

ポータブル機側から Bluetooth 接続をするように設定しているとき（→ P.307）は、ポータブル機を操作して接続します。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.301）

1 ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にする。

2 接続 にタッチ。

3 接続したいポータブル機にタッチ。

- ♪ にタッチするとポータブル機の接続を開始します。

4 全接続 または ポータブル機の接続 にタッチ。

5 ポータブル機を操作して、接続する。

- ポータブル機側の接続操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。

Bluetooth 接続の再接続について

車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>がアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>のときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。

- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ P.304)
  ポータブル機の機種によっては、自動的に再接続しない場合があります。

■Bluetooth 接続を切断した場合

ポータブル機側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続を切断した場合は、再接続処理は行いません。

- 再接続は次のいずれかの方法で行ってください。
  - 手動で接続する(→ P.304)
  - 改めてポータブル機を選択する(→ P.306)

使用するポータブル機を選択する

一番新しく登録したポータブル機が本機で使用する機器として選択されます。
複数のポータブル機を使用するときは、必要に応じて機器を選択します。

(知 識)

- ポータブル機は本機に最大 5 台まで登録することができますが、本機で使用できるのはポータブル機選択で選択された機器のみです。

1 Bluetooth オーディオ操作画面(→ P.301) → 接続

または

MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 ポータブル機を Bluetooth 接続可能状態にする。

3 使用するポータブル機にタッチ。

- ♪ にタッチするとポータブル機の接続を開始します。

4 全接続 または ポータブル機の接続 にタッチ。

- Bluetooth 接続中の機器がある場合は、確認のメッセージが表示されます。
  切断してよければ、はい にタッチします。

ポータブル機の詳細情報を表示する

本機に登録されているポータブル機に関する情報の表示と機器名称や、本機との接続方法を変更することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → (詳細情報を表示したいポータブル機) → 機器詳細情報

2 各項目を確認／変更する。

- 機器詳細情報画面から次の項目の確認／変更ができます。

機器名称

本機に表示されるポータブル機の名称です。任意の名称に変更することができます。

- 文字入力画面で入力します。
- 本機で機器名称を変更しても、ポータブル機に登録されている機器名称は変更されません。

接続方法

ポータブル機と本機の接続を、本機側から接続する方法（車載機から）、またはポータブル機側から接続する方法（ポータブル機から）に切り替えることができます。

- 「車載機から」か「ポータブル機から」のどちらで接続すればいいかは、接続するポータブル機により異なります。接続方法についてはポータブル機の取扱説明書をご覧ください。
- 接続方法を「ポータブル機から」に設定した場合、「ACC ON 時の自動接続」(→ P.308) を「する」にしていても自動接続は行いません。

機器アドレス

機器固有のアドレスで、変更することはできません。

対応プロファイル

ポータブル機が対応しているプロファイルで、変更することはできません。

本機の Bluetooth 設定を変更する

Bluetooth 設定は、本機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → Bluetooth 詳細設定

2 各項目を確認／変更する。

- 初期設定の状態に戻すとき

  ➡ 初期状態 → はい の順にタッチ。

- Bluetooth 詳細設定画面から次の項目の確認／変更ができます。

ACC ON 時の自動接続

「する」に設定すると、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にするたびに、本機は登録（選択）したポータブル機と自動的に Bluetooth 接続します。

- 通常は自動接続「する」の状態で使用してください。

機器名称

Bluetooth ネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。

- 文字入力画面で入力します。
- 機器名称を変更した場合、ハンズフリーの Bluetooth 設定の機器名称も同時に変更されます。

PIN コード

ポータブル機を本機に登録する際のパスワードです。4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。

機器アドレス

本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称や PIN コードを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。

電話機の接続確認案内

電話機が Bluetooth 接続されたとき、接続完了の表示を画面上部に表示する／しないを設定できます。(→ P.484)

ポータブル機の接続確認表示

「する」に設定すると、ポータブル機が Bluetooth 接続されたとき、接続完了の表示を画面上部に表示することができます。

対応プロファイル

本機が対応しているプロファイルで、変更することはできません。

ポータブル機の接続を切る

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 接続を切るポータブル機にタッチ。

3 全切断 または ポータブル機の切断 にタッチ。

ポータブル機の登録を削除する

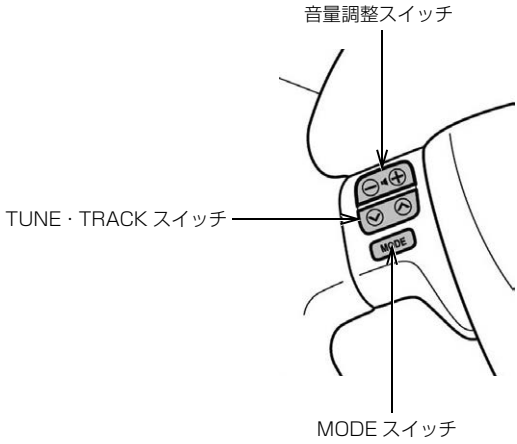
1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → 削除

2 削除するポータブル機にタッチ。

3 はい にタッチ。

1. ステアリングスイッチで操作する

ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリングスイッチで、各オーディオや T-Connect の主要操作をすることができます。



スイッチ	モード	機能
音量調整スイッチ ⊖・⊕	全モード	− ：音量が小さくなります。 ＋ ：音量が大きくなります。 • 1 秒以上押し続けると、連続して調整できます。
TUNE・TRACK スイッチ ⌄・⌃	ラジオ（AM・FM） デジタルテレビ	プリセットスイッチに登録されている周波数・チャンネルが順番に切り替わります。
		“ピッ” と音がするまで押すと、受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を選択します。再度押すと、選択を停止します。
	DVD プレーヤー SDREC SD USB iPod Bluetooth オーディオ SmartDeviceLink ™	ファイル・トラック・チャプターが切り替わります。
		“ピッ” と音がするまで押すと、フォルダ・アルバムが切り替わります。 • フォルダ・アルバムが作成されている場合のみ切り替わります。 “ピッ” と音がするまで押すと、早送り / 早戻しします。指を離すと、その位置から再生します。 (iPod のみ)

スイッチ	モード	機能
MODE MODE	全モード	押すと次の順番でオーディオソースが切り替わります。FM →（DVD プレーヤー）→デジタルテレビ→（SD）→（SDREC）→ Bluetooth オーディオ→（USB/iPod）→ HDMI →（SmartDeviceLink ™）→ AM → FM※ • オーディオソース選択画面のスイッチの配置を変更（→ P.214）すると、切り替わる順番も変わります。
		1 秒以上押し続けると、消音または再生を一時停止します。再度、1 秒以上押し続けると解除されます。

※（ ）内のモードは、ディスクが挿入されていないなど再生することができないときは選択できません。

⚠ 警告

● 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

知 識

● TUNE・TRACK スイッチについて
  ・ 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数／チャンネルの受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。
  ・ ディスクや接続している機器により、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。
● ステアリングスイッチで SmartDeviceLink ™を操作する場合は、使用しているアプリケーションによって動作が異なります。
● 他のステアリングスイッチ機能について
  ・ 音声操作システム（→ P.331）
  ・ ハンズフリー（→ P.454）
  ・ エージェント（→ P.557）
● お車によっては、スイッチのデザインが異なります。

1. リモコンで操作する

後席ディスプレイについて

販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続している場合、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

後席ディスプレイは、走行中、停車中に関わらず映像をご覧になることができます。

後席ディスプレイに付属のリモコンで映像の切り替えやオーディオの操作をすることができます。詳しい説明や、後席ディスプレイ本体の取り扱いについては後席ディスプレイに同梱の取扱書をご覧ください。

■後席ディスプレイに表示される画面

後席では、以下のオーディオソースを視聴可能です。

- デジタルテレビ
- DVD プレーヤー
- SD 動画
- USB ビデオ ※
- HDMI※

※ 映像をご覧になる場合、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/HDMI 入力端子が必要です。

その他のオーディオの画面が表示されている場合、黒い画面が表示されます。

⚠ 警告

- 事故防止のため、リモコンの電池および絶縁シートは幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

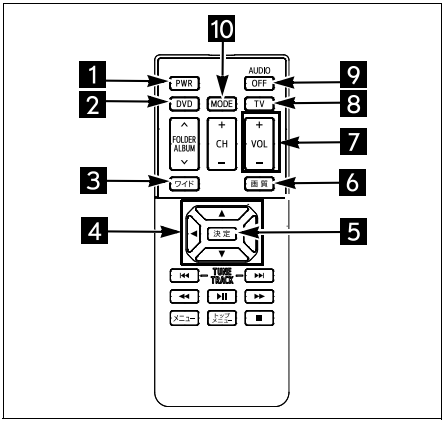
- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコンの上に重いものをのせたり、すわったりしないでください。
- リモコンを分解しないでください。
- リモコンの電池を交換する場合、＋極と－極を必ず正しい向きにして取り付けてください。

知 識

- 前席側と同じオーディオソースを選択した場合、後席側の出力は前席側に連動します。
- 前席側と異なるオーディオソースを選択している場合でも、前席側のオーディオソースにより、動作しない組み合わせがあります。(→ P.319)

☆印は販売店装着オプションです。

オーディオ共通の操作をする



番号	名称	機能
1	電源スイッチ	押すごとに、後席ディスプレイの電源の ON/OFF が切り替わります。
2	ディスクモード切り替えスイッチ	押すと、DVD プレーヤーに切り替わります。
3	ワイドモード切り替えスイッチ	オーディオが DVD プレーヤー、SD 動画、USB ビデオ、HDMI の場合のみ、押すごとに、後席ディスプレイのワイドモードが、ノーマル→ワイドの順に切り替わります。
4	項目選択スイッチ	後席ディスプレイの画質調整画面のとき、▼/▲ボタンを押すごとに、設定項目が切り替わり、◀/▶を押すごとに調整内容が切り替わります。
5	項目決定スイッチ	後席ディスプレイの画質調整画面で押すと、調整内容が決定されます。 後席ディスプレイのワイドモードを切り替えた場合、押すと、選択したモードに決定されます。
6	画質調整スイッチ	押すと、後席ディスプレイの画質調整画面に切り替わり、下記の項目が設定できます。 • 明るさ／コントラスト／色合い／色の濃さ • 映像モード （ノーマル／ソフト／ダイナミック／シネマ） • バックライトコントロール（オート／ナビ連動） • オープニング画（あり／なし）
7	音量調整スイッチ	押すごとに、1 ステップずつ音量が変わります。 1 秒以上押し続けると、連続して調整できます。
8	TV 切り替えスイッチ	押すと、デジタルテレビに切り替わります。

番号	名称	機能
9	オーディオ OFF スイッチ	押すと、オーディオの電源が OFF になります。※1
10	オーディオモード切り替えスイッチ	スイッチを押すごとに、次の順に切り替わります。 FM →（DVD プレーヤー）→デジタルテレビ→（SD）→（SDREC）→ Bluetooth オーディオ→（USB/iPod）→（HDMI）→（SmartDeviceLink ™）→ AM → FM※2 • オーディオソース選択画面のスイッチの配置を変更（→ P.214）すると、切り替わる順番も変わります。
		オーディオの電源が OFF のときスイッチを押すと、OFF にしたときのモードで電源が ON になります。
		1 秒以上押し続けると、消音または再生を一時停止します。再度、1 秒以上押し続けると解除されます。

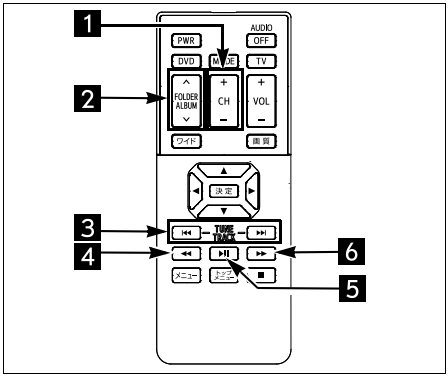
※1 後席側のオーディオソース（→ P.319）が「前席連動」以外に設定されている場合は、音声・画面とも消した状態になります。

※2（ ）内のモードは、再生または視聴できない場合は切り替わりません。

知 識

- USB メモリー（ミュージック／ビデオ）、iPod（ミュージック）の操作をする場合、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/HDMI 入力端子が必要です。
- SmartDeviceLink ™の操作をする場合、使用しているアプリケーションによって動作が異なります。

再生中の曲を操作する



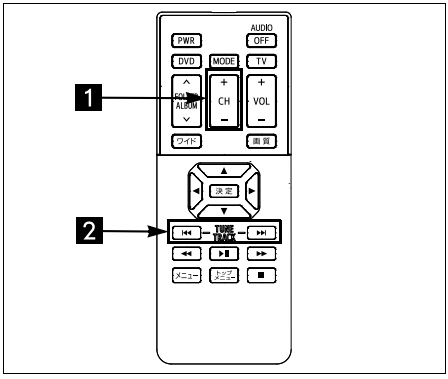
番号	名称	機能
1	フォルダ／アルバム切り替えスイッチ（上側）※	押すと、次のフォルダ／アルバムに切り替わり、フォルダ／アルバム内の先頭の曲から再生されます。
2	フォルダ／アルバム切り替えスイッチ（下側）※	押すと、前のフォルダ／アルバムに切り替わり、フォルダ／アルバム内の先頭の曲から再生されます。
3	選曲スイッチ（右側）	押すと、次の曲に切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、曲が早送りされます。
	選曲スイッチ（左側）	押すと、曲の頭出し、連続で押すと、前の曲に切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、曲が早戻しされます。
4	早戻しスイッチ	押し続けている間、曲が早戻しされます。
5	一時停止／再生スイッチ	再生中に押すと、曲が一時停止します。 停止中または一時停止中に押すと、曲が再生されます。
6	早送りスイッチ	押し続けている間、曲が早送りされます。

※ 音楽ディスク（MP3/WMA/AAC）、Audio SD カード、USB メモリー、Bluetooth オーディオを再生している場合のみ

(知 識)

- USB メモリー（ミュージック／ビデオ）、iPod（ミュージック）の操作をする場合、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/HDMI 入力端子が必要です。
- Bluetooth オーディオの操作をする場合、接続している機器により、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。
- SmartDeviceLink ™の操作をする場合、使用しているアプリケーションによって動作が異なります。

ラジオ・デジタルテレビを操作する



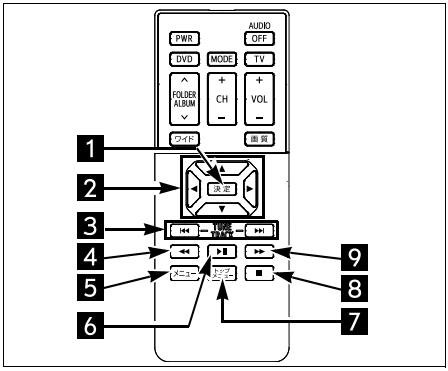
番号	名称	機能
1	放送局／チャンネル切り替えスイッチ	押すと、プリセットスイッチに記憶されている放送局やチャンネルを順に呼び出します。
2	周波数切り替えスイッチ ※1	押すごとに、1 ステップずつ周波数が切り替わります。 1 秒以上押し続けると、自動選局を開始します。
	チャンネル切り替えスイッチ ※2	押すと、プリセットスイッチに記憶されているチャンネルを順に呼び出します。

※1 ラジオの場合
※2 デジタルテレビをご覧の場合

知 識

- 放送局やチャンネルを切り替える場合、あらかじめプリセットスイッチに記憶します。その場合、本体側で操作します。（→ P.223、267）
- ラジオの放送局を自動受信する場合、受信電波の弱い地域では、自動的に選局できないことがあります。

DVD プレーヤーを操作する

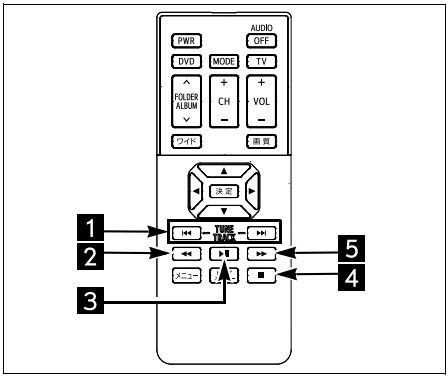


番号	名称	機能
1	項目決定スイッチ	押すと、DVD メニューや DVD トップメニューで選択した項目が決定されます。
2	項目選択スイッチ	押すと、DVD メニューや DVD トップメニューで項目が選択されます。
3	チャプター切り替えスイッチ（右側）	押すと、次のチャプターに切り替わります。 1 秒以上押し続けると、以下の動作をします。 • DVD ビデオ再生時：押し続けている間、映像が早送りされます。 • DVD-VR 再生時：次のプレイリスト／プログラムに切り替わります。
	チャプター切り替えスイッチ（左側）	押すと、チャプターの頭出し、連続で押すと前のチャプターに切り替わります。 1 秒以上押し続けると、以下の動作をします。 • DVD ビデオ再生時：押し続けている間、映像が早戻しされます。 • DVD-VR 再生時：前のプレイリスト／プログラムに切り替わります。
4	早戻しスイッチ	押し続けている間、映像が早戻しされます。
5	メニュースイッチ	押すと、DVD メニューが表示されます。
6	一時停止／再生スイッチ	再生中に押すと、映像が一時停止します。 停止中または一時停止中に押すと、映像が再生されます。
7	トップメニュースイッチ	押すと、DVD トップメニューが表示されます。
8	停止スイッチ	押すと、映像が停止します。
9	早送りスイッチ	押し続けている間、映像が早送りされます。 一時停止中に押し続けると、スロー再生されます。

(知 識)

- 自動再生されないディスクや、記録されているメニュー項目を操作しないと再生されないディスクがあります。
- ディスク内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能しないことがあります。

Audio SD カード（動画）・USB メモリー（動画）を操作する



番号	名称	機能
1	ファイル切り替えスイッチ（右側）	押すと、次の映像に切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早送りされます。
	ファイル切り替えスイッチ（左側）	押すと、映像の頭出し、連続で押すと、前の映像に切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早戻しされます。
2	早戻しスイッチ	押し続けている間、映像が早戻しされます。
3	一時停止／再生スイッチ	再生中に押すと、映像が一時停止します。 停止中または一時停止中に押すと、映像が再生されます。
4	停止スイッチ	押すと、映像が停止します。
5	早送りスイッチ	押し続けている間、映像が早送りされます。 一時停止中に押し続けると、スロー再生されます。

(知 識)

- USB メモリー（ビデオ）の操作をする場合、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/HDMI 入力端子が必要です。

2. 後席側の設定について

後席側の設定をする

前席側（本機）と後席側（後席ディスプレイ）で違ったオーディオソースを楽しめるように設定したり、後席の音量を調整することができます。

1 オーディオソース選択画面（→ P.213）→ 後席設定

2 各項目を設定する。

- 後席設定画面から次の設定をすることができます。
- HOME 画面（→ P.23）からも同様の操作ができます。

後席側のオーディオソースを選択する

後席側のオーディオソースを選択することができます。

1 オーディオソース選択画面（→ P.213）→ 後席設定

2 前席連動、DISC、TV、SD、USB または HDMI にタッチ。

作動表示灯

- タッチしたオーディオソースを後席ディスプレイで視聴することができます。
- 後席側のオーディオソースを選択すると、前席側の音声は、フロントスピーカーから出力され、後席側の音声は、リヤスピーカーから出力されます。
- 前席側と同じオーディオソースを視聴するとき
  ➡ 前席連動 にタッチ。
- 前席側のオーディオソースにより、選択できる後席側のオーディオソースは次の通りです。

前席側のオーディオソース	後席側で選択できるオーディオソース
AUDIO OFF	DVD、テレビ、SD 動画、USB ビデオ、HDMI
AM/FM	DVD、テレビ、SD 動画、USB ビデオ、HDMI
DISC（DVD）	テレビ、SD 動画、USB ビデオ、HDMI
DISC（CD）	テレビ、SD 動画、USB ビデオ、HDMI
DISC（MP3/WMA/AAC）	テレビ、SD 動画、USB ビデオ、HDMI
SDREC	DVD、テレビ、USB ビデオ、HDMI
SD（ミュージック）	DVD、テレビ、USB ビデオ、HDMI

前席側のオーディオソース	後席側で選択できるオーディオソース
SD（動画）	DVD、テレビ、HDMI
Bluetooth オーディオ	DVD、テレビ、SD 動画、USB ビデオ、HDMI
テレビ	DVD、SD 動画、USB ビデオ、HDMI
HDMI	DVD、テレビ、SD 動画、USB ビデオ
iPod（ミュージック）	DVD、テレビ、SD 動画、HDMI
USB（ミュージック）	DVD、テレビ、SD 動画、HDMI
USB（ビデオ）	DVD、テレビ、HDMI
SmartDevice Link ™	DVD、テレビ、SD 動画、USB ビデオ、HDMI

知 識

- USB および HDMI は、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/HDMI 入力端子を接続している場合のみ表示されます。
- 後席側のオーディオソースを選択すると、音質の設定は無効となり、設定することができません。前席連動 にタッチすると、音質の設定は有効となり、設定することができるようになります。
- CD 録音中は、後席で SD 動画は選択できません。
- 後席側のオーディオソースが 前席連動 以外のときの後席リモコンでの操作は、後席側のオーディオ機能のみ操作できます。
- 後席側のオーディオソースが 前席連動 以外のときは、リモコンのオーディオ OFF スイッチ（→P.313）を押すと、映像や音声はミュートになります。
- 前席でドライブレコーダー再生中は、後席側で SD 動画／ USB ビデオを再生していた場合は、後席映像は表示されなくなります。

知 識

- 前席側と後席側で異なるオーディオソースを設定しているとき、次の場合は設定が解除されます。
  - 後席ディスプレイのリモコンやステアリングスイッチの操作により、前席側と後席側で同じオーディオソースが選択されたとき
  - 後席側で DVD を視聴しているときに、DVD を取り出したとき
  - 後席側で TV を視聴しているときに、前席側のオーディオソースを HDMI に切り替えたとき
  - 後席側で SD 動画を視聴時に、前席側のオーディオソースを SDREC または USB ビデオに切り替えたとき
  - 後席側で SD 動画を視聴しているときに、CD 録音を開始したとき
  - 後席側で SD 動画を視聴しているときに、Audio SD カードを取り出したとき
  - 後席側で SD 動画を視聴しているときに、Audio SD カードの初期化を開始したとき
  - 後席側で USB ビデオを視聴しているときに、前席側のオーディオソースを SD 動画に切り替えたとき
  - 後席側で USB ビデオを視聴しているときに、USB メモリーを iPod 対応 USB/HDMI 入力端子から取りはずしたとき
  - 後席側で SD 動画または USB ビデオを視聴しているときに、前席側のオーディオソースをドライブレコーダーに切り替えたとき

知識

- プレミアムダブルツィータシステム装着車/ダブルツィーターシステム装着車で前席側と後席側で異なるオーディオソースを再生中に「フロントステージ」に切り替えると、前席に連動して再生します。
- プレミアムダブルツィータシステム装着車で「フロントステージ」選択時に後席側のオーディオソースを選択すると、「パノラマステージ」に切り替わります。その後、前席連動に切り替えると、「フロントステージ」に切り替わります。
- ダブルツィーターシステム装着車で「フロントステージ」選択時に後席側のオーディオソースを選択すると、「サラウンド」に切り替わります。その後、前席連動に切り替えると、「フロントステージ」に切り替わります。

後席側の音量を調整する

後席側の音量を調整することができます。

1 オーディオソース選択画面（→P.213）→ 後席設定

2 後席側のオーディオソースにタッチ。

3 ＋ または － にタッチ。

- 大きくするとき
  ➡ ＋ にタッチ。
- 小さくするとき
  ➡ － にタッチ。

後席側の映像・音声を ON/OFF する

後席側の映像や音声を本機側で ON/OFF することができます。

1 オーディオソース選択画面（→P.213）→ 後席設定

2 後席側のオーディオソースにタッチ。

3 ミュート にタッチ。

- タッチするごとに、後席側の映像や音声が ON/OFF します。
- ON のときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。

1. SD Photo を再生する

SD Photo とは、Audio SD カードに記録されている写真を本機で表示する機能です。

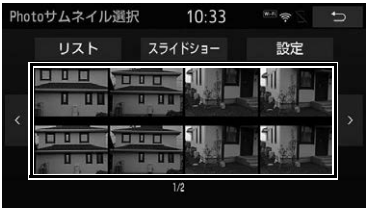
本機で使用できる Audio SD カード、画像データについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.603、P.613）をご覧ください。

写真を見る

1 Audio SD カードを挿入(→ P.244)
→ MENU ▶ 情報 → Photo

- Audio SD カード再生時、Photo にタッチすると、オーディオは OFF になります。（CD 録音再生中、または本機で録音した音楽再生時（→ P.251）は Photo にタッチできません。）

2 見たい写真にタッチ。



- Photo 操作画面が表示されます。表示された画像を操作することができます。（→ P.323）
- サムネイル上に見たい写真がないとき
  ➡ ＜ または ＞ にタッチ。
- リストから写真を選びたいとき
  ➡ リスト →見たいファイル名→見たい画像の順にタッチ。

知 識

- Audio SD カードの状態(使用容量)により、Photo にタッチできるようになるまで時間がかかる場合があります。

スライドショーを再生する

Photo サムネイル選択画面（→ P.322）

1 スライドショー にタッチ。

- スライドショーを解除するとき
  ➡ 画像にタッチ。

スライドショーの間隔を設定する

Photo サムネイル選択画面（→ P.322）

1 設定 にタッチ。

2 スライドショー間隔 にタッチし、早い（5 秒）・ やや早い（10 秒）・ 標準（15 秒）・ やや遅い（30 秒）・ 遅い（60 秒）のいずれかにタッチ。

Photo 操作画面を操作する

選択中の写真に対して、全画面、詳細情報の表示や、写真を回転することができます。

全画面

タッチすると、画面全体に写真が表示されます。

< / >

写真が切り替わります。

回転

タッチするごとに、右に 90° ずつ回転します。

詳細表示

タッチすると、表示している写真の情報が表示されます。

1. 故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしてもなおらないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

オーディオ共通

症状	考えられること	処置
音がでない。	音量が 0 になっている。	音量を上げてください。
	ミュート（消音）になっている。	ミュート（消音）を解除してください。（→ P.311、P.313）
映像がでない。	パーキングブレーキを引いていない。	パーキングブレーキを引いてください。
	画面消しスイッチで画面を消している。	画面消しを解除してください。（→ P.56）
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスが適切でない。	音量バランスを調整してください。（→ P.218）
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスが適切でない。	音量バランスを調整してください。（→ P.218）
勝手に音量ボリューム値が下がる。	車両連動オートボリューム機能（ASL: Automatic Sound Levelizer）が動作しているため。	ASL を「OFF」に設定すると、音量ボリューム値は変化しません。（→ P.215）
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象です。	故障ではありません。そのままご使用ください。

AM ／ FM

症状	考えられること	処置
受信感度が悪い。	移動により、受信状態が悪くなったため。	受信状態の安定した場所に移動してください。
	ラジオアンテナを取り外した（洗車等）ことにより受信状態が悪くなったため。	ラジオアンテナを取りつけてください。

ディスク（音楽 CD ／ MP3 ／ WMA ／ AAC）

症状	考えられること	処置
ディスクを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
	ファイルが対応していないため。	対応しているファイルをご確認ください。（→ P.605）
「DISC をお確かめください」というメッセージが表示される。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れをふき取ってください。
	ディスクに傷やそりがある。	傷やそりのないディスクに交換してください。
	ディスクの裏表を逆にして挿入している。	ディスクのラベル面を上にして挿入してください。
	本機で再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクをご確認ください。（→ P.602）

テレビ

症状	考えられること	処置
画面が止まっている。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
画面がガクガクして映る、コマ落ちしている。		
画面に正方形のノイズが映る。		
地上デジタル放送の受信が悪い。	地デジ・ワンセグ受信設定が「地デジ」に設定されているため。	地デジ・ワンセグ受信設定を「自動切替」に設定してください。（→ P.274）

症状	考えられること	処置
受信できない。「受信できません」というメッセージが表示される。 「スキャンを実行してください」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていないため。	チャンネルスキャンをしてください。（→ P.278）
	放送局（チャンネル）が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わったため。	
	移動により、受信中のチャンネルの電波が弱くなったため。	放送局サーチの設定を「系列局＋中継局」または「中継局」に設定すると、自動で系列局や中継局を探して受信することができます。（→ P.274）
	受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
突然、放送番組が変わった。	電波状態が変化し、地デジチューナーが　地上デジタル放送⇔ワンセグ　と切り替わった際、地上デジタル放送とワンセグ放送の放送内容が異なっている（非サイマル放送）場合は、放送番組が変わったように見えます。	地上デジタル放送とワンセグ放送で、放送番組内容が変わる場合があります。故障ではありません。

Audio SD カード

症状	考えられること	処置
音楽ファイルを再生できない。	ファイルが対応していないため。	対応しているファイルをご確認ください。（→ P.605）
パソコンで作成した Audio SD カードの曲を認識しない。	ファイルが対応していないため。	対応しているファイルをご確認ください。（→ P.605）
Audio SD カードに入れた動画が再生できない。	ファイルが対応していないため。	対応しているファイルをご確認ください。（→ P.612）
Audio SD カードに録音した曲が音飛びする。	CD の中にはライブ盤のように途切れることなく次の曲が再生されるものがあります。これを SD に録音再生したときは自動的に曲間に無音部を設けて再生しますので、音飛びしているように感じることもあります。	故障ではありません。 そのままご使用ください。

症状	考えられること	処置
CD 録音時、録音開始 がトーンダウンして Audio SD カードに録音できない。	録音済みの CD が挿入されているため。	録音していない CD で録音を開始してください。
	対応していない Audio SD カードを使用したため。	対応している Audio SD カードをご確認ください。 (→ P.603)
Audio SD カードに記録している画像データの読み込みができない。	対応していない Audio SD カードや画像データを使用しているため。	対応している Audio SD カードや画像データをご確認ください。 (→ P.603、P.613)

4

音声操作システム／ボイスサポート

1 音声操作システム

1. はじめに.....330
2. 各部の名称.....331
3. 基本操作を覚える 333
4. 音声操作の使用例 336
5. 音声認識コマンド一覧.....346
6. 知っておいて
いただきたいこと.....349

2 ボイスサポート

1. はじめに.....350
2. ボイスサポートを使用する.....351
3. ボイスサポートの設定.....352
4. 知っておいて
いただきたいこと.....353

1. はじめに

音声操作システムについて

音声操作システム（音声認識用マイク、トークスイッチまたは音声認識スイッチ）を使用することにより、音声認識コマンドを発声して、ナビゲーションやオーディオなどの操作を行うことができます。

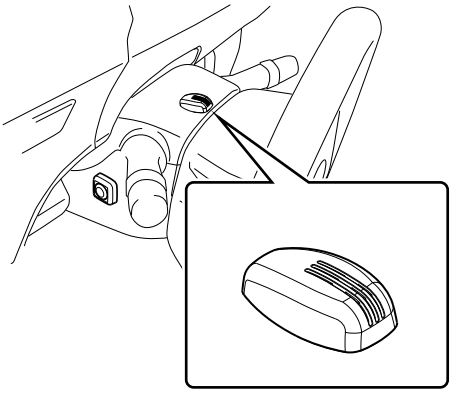
- 音声認識コマンドを、正しく発声しないと認識されないことがあります。以下の点にご注意ください。
  - ・音声操作を開始するときは、必ずトークスイッチまたは音声認識スイッチを短く押してください。
  - ・“ピッ”という音の後にお話しください。“ピッ”という音の前または同時に発声した場合は、正しく認識されません。
  - ・ハッキリと発声してください。
  - ・声色によっては、認識されづらいこともあります。
  - ・騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、発声するときは、できるだけ窓を閉めておいてください。また、エアコンの風量が大きいときも、正しく認識されないことがあります。
  - ・方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで発声してください。
  - ・地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで発声してください。
- 以下のようなときにトークスイッチまたは音声認識スイッチを押すと、「ピピッ」と音がして、音声操作システムを利用できません。現在の動作が完了した後、再度音声操作をご利用ください。
  - ・デモ表示中
  - ・TILT・EJECT 画面表示中
  - ・緊急通報中
  - ・ハンズフリー通話中

※ エージェント機能については、エージェント（→P.556）を参照してください。

2. 各部の名称

音声認識用マイク

音声認識コマンドを発声するときに使用します。



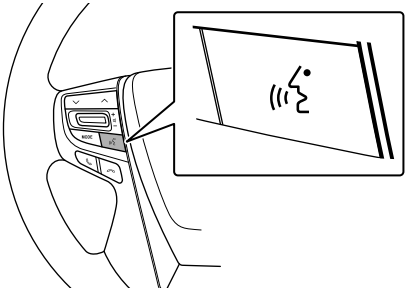
● 音声認識用マイクの取り付け位置は一例です。

トークスイッチまたは音声認識スイッチ

スイッチを操作することにより、音声認識モードを開始／中止できます。

▶ステアリングスイッチ装着車でトークスイッチがある場合

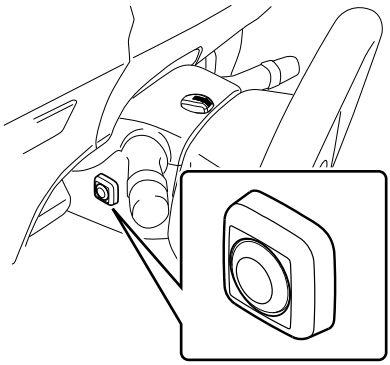
＜トークスイッチ＞



● お車によってはトークスイッチのない場合があります。

▶ステアリングスイッチ非装着車または、ステアリングスイッチ装着車でトークスイッチがない場合

＜音声認識スイッチ＞



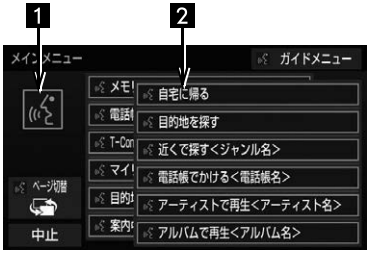
● 音声認識スイッチの取り付け位置は一例です。

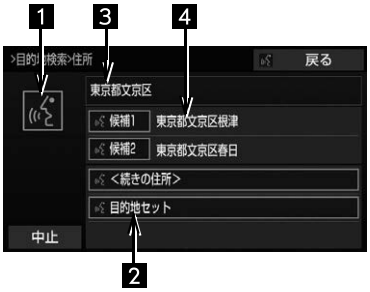
知 識

● T-Connect を使用した場合、トークスイッチまたは音声認識スイッチを長押しすると、エージェント画面（→ P.559）が表示されます。

音声操作画面について

▶音声認識（→ P.334）





番号	名称	内容
1	認識中アイコン	音声認識中になると点灯する。
2	コマンドリスト	発声可能なコマンドが、認識中アイコンと同じ色で表示される。
3	認識結果	認識結果が表示される。
4	候補	認識結果に他の候補がある場合に表示される。

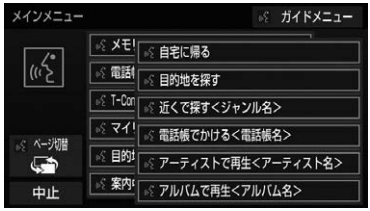
3. 基本操作を覚える

メニュー画面の種類について

メニュー画面には、メインメニュー画面とガイドメニュー画面があります。

メインメニュー画面について

トークスイッチまたは音声認識スイッチを押すと最初に表示される画面です。よく使われるコマンドが表示されます。ここに表示されないコマンドは、ガイドメニューから操作してください。



- コマンドの表示を切り替えたいとき
  ➡「ページ切替」と発声する、または **ページ切替** にタッチ。
- ガイドメニュー画面を表示したいとき
  ➡「ガイドメニュー」と発声する、または **ガイドメニュー** にタッチ。

(知 識)

- 表示が隠れているコマンドを発声しても認識されます。ページを切り替える必要はありません。
- T-Connect のデータ受信ができないなど、使用できないコマンドは表示されないことがあります。

ガイドメニュー画面について

希望のコマンドがメインメニュー画面にない場合、ガイドメニュー画面に表示されたコマンドから操作してください。操作できるコマンドは、音声認識コマンド一覧（→ P.346）にあるコマンドです。

(知 識)

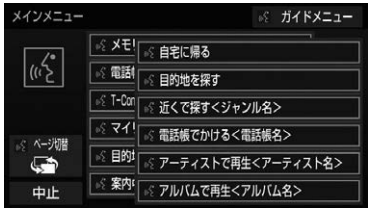
- T-Connect のデータ受信ができないなど、使用できないコマンドは表示されないことがあります。

音声認識モードを開始する

基本的な操作の流れを見ながら、音声操作を開始する方法と、音声認識モード中の基本操作を覚えましょう。

1 トークスイッチまたは音声認識スイッチを押し、すぐにスイッチから指を離す。

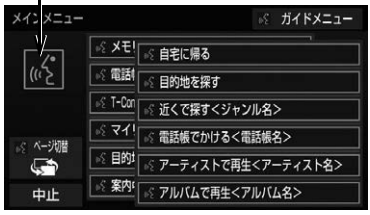
● 音声操作画面に切り替わり、「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」という音声ガイドのあと、<ピッ>と音がします。



2 認識中アイコンが点灯したら、希望のコマンドを発声する。

● <ピッ>と音がしてから5～6秒以内に発声してください。

認識中アイコン



● コマンドが認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。

(知 識)

● トークスイッチまたは音声認識スイッチを押した後の音声ガイドは、記載と異なる音声ガイドが出力されることがあります。

● コマンドの<○○○○>は、本機に登録されている施設名称や、ユーザで登録した電話帳名称などを任意に発声できます。(→ P.344)

例)「電話帳でかける　自宅」「近くで探す　コンビニ」

・ <○○○○>を発声することで、操作手順が短縮されます。

・ <○○○○>を省略しても認識されます。

認識結果が違うとき

表示された画面により、次の操作をしてください。

● 発声したコマンドと異なる認識結果のとき

➡「いいえ」と発声し、「音声認識モードを開始する」(→ P.334) 手順 **2** へ。

● 候補に希望の結果が表示されているとき

➡「候補 1」または「候補 2」と発声する。

● 候補に希望の結果が表示されていないとき、または候補が表示されないとき

➡「戻る」と発声する、もしくは音声認識スイッチ / トークスイッチを押し、「音声認識モードを開始する」(→ P.334) 手順 **2** へ。

➡ 戻るスイッチを押し、「音声認識モードを開始する」(→ P.334) 手順 **2** へ。

連続して音声操作をする

目的地検索など、連続して音声操作をする場合があります。(→ P.337)

音声操作を再開する

次のような場合は、音声認識モードを中断します。

- コマンドを2回連続で認識できなかったとき。

この場合、トークスイッチまたは音声認識スイッチを押すと再開できます。

ヘルプ機能を使用する

音声ガイドによる詳しい操作方法を聞くことができます。

- コマンドの読み方や発声例を知りたいとき。
  ➡「ヘルプ」と発声する。

音声ガイドを省略する

音声ガイド出力時にトークスイッチまたは音声認識スイッチを押すと、音声ガイドが途中でも次の動作に移ることができます。

音声認識モードを中止する

次のいずれかの操作をしてください。

- トークスイッチまたは音声認識スイッチを押し続ける。
- 中止 にタッチ。

4. 音声操作の使用例

使用例の見かた

ここでは、音声操作の具体的な使い方を説明します。
例にしたがって、同じように操作してみてください。
ここで紹介するのは、主にメインメニュー画面から連続して音声操作をする場合の例です。

● 文中の表記は次のようになっています。

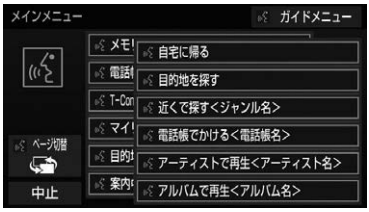
(○○○) : スイッチの操作
「○○○」: 本機から出力される音声ガイド
＜○○○＞: 本機から出力される操作音
「○○○」: 発声するコマンド

● 説明にないコマンドの使い方は、「音声認識コマンド一覧」(→ P.346) をご覧ください。

自宅を目的地に設定する

自宅を目的地に設定して、ルートを探索してみましょう。

お客様：(トークスイッチまたは音声認識スイッチを押す)
本機：「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「自宅に帰る」



本機：「自宅に帰る」
本機：「よろしければ、はいとお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「はい」
本機：「はい」

● 以上で、自宅を目的地に設定して、ルートが探索されます。

(知 識)

● 自宅が登録されていない場合は、使用することができません。自宅を登録してから使用してください。(→ P.45)

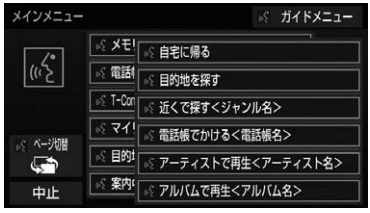
色々な方法で目的地を設定する

目的地を設定するときは、色々な検索方法を使うことができます。
ここでは代表して、「住所で探す」から設定する場合を説明します。

● 検索できる住所は、画面操作の住所検索（→ P.100）から検索できる住所です。

例）「東京都文京区後楽一丁目 1－2」を目的地に設定します。

お客様：（トークスイッチまたは音声認識スイッチを押す）
本機：「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「目的地を探す」



本機：「目的地を探す」
本機：「検索方法をお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「住所で探す」
本機：「住所で探す」
本機：「住所を都道府県からお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「東京都」
本機：「東京都」
本機：「続きの住所をお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「文京区」
本機：「文京区」
本機：「続きの住所をお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「後楽」
本機：「後楽」
本機：「続きの住所をお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「一丁目」
本機：「一丁目」
本機：「続きの住所をお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「1－2」
本機：「1－2」※1
本機：「よろしければ、目的地セットとお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「目的地セット」
本機：「目的地セット」
本機：「よろしければ、はいとお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「はい」
本機：「はい」

● 以上で、この住所を目的地に設定して、ルートが探索されます。

複数の候補が表示されたとき

- ※1 の後、「よろしければ、目的地セットとお話しください」「<ピッ>」と出力されます。選択したい候補の番号、または「目的地セット」と発声してください。

知 識

- コマンドを発声するときは、次の点に注意して発声してください。
  - 住所は、すべての地名を一度に発声しても、途中で区切って発声してもかまいません。
  - 郡・大字・字・番地・号は省略して発声してください。
  - 「ー」は「の」または「はいふん」と発声してください。

コマンドを言いなおす

直前に発声した内容によって言いなおす範囲が異なります。

例）住所検索で、東京都文京区を検索したとき

- 都道府県名と市区町村名を一度に発声した場合
  ➡「東京都文京区」と都道府県名から言いなおす。
- 都道府県名と市区町村名を分けて発声し、直前に発声したのが市区町村名の場合
  ➡「文京区」と市区町村名のみ言いなおす。

目的地設定について

設定した件数や場所により、設定する条件が異なります。

知 識

- 音声操作・スイッチのどちらでも操作できます。

■すでに目的地が設定されているとき

- 設定している目的地の数が 9 件以下であれば、検索結果は一番手前の目的地として追加されます。
- 目的地を 10 件設定しているときに、目的地削除の案内に「はい」と発声すると、既に設定している目的地はすべて削除され、新規に目的地が設定されます。

■高速道路などの付近を目的地に設定したとき

はい : 高速道路などを目的地に設定する
いいえ : 他の道路を目的地に設定する

その他の方法で検索する

「住所で探す」から目的地を設定するほかに、以下の方法があります。ここでは、それぞれの検索方法を使用するときの注意点を説明します。

検索方法 コマンド	機能
施設名で探す 「施設で探す」	施設名から目的地を検索する（→ P.339）
電話番号で探す 「電話番号で探す」	電話番号から目的地を検索する（→ P.339）
メモリ地点で探す 「メモリ地点で探す」	メモリ地点から目的地を検索する（→ P.342）
最寄の施設で探す 「近くで探す」	最寄の施設から目的地を検索する（→ P.340）

施設名で探す

- 検索できる施設は、画面操作の施設検索（→ P.100）から検索できる施設です。
- 原則として「都道府県名＋施設名」を発声します。
  - ・都道府県名と施設名は、都道府県名・施設名の順に続けて発声しても、都道府県名だけ発声して、次の音声ガイドの後に施設名を発声するというように分けて発声してもかまいません。
- 次の施設は、都道府県名が分からないとき、他の名称で指定することもできます。

▶販売店、レンタリース、ジェームス※

系列名＋店名

例）トヨタ＋△△店

※ ジェームスの場合、系列名は「ジェームス」になります。

▶駅

鉄道会社名＋路線名＋駅名

例）JR　東海道新幹線　東京駅

▶高速 IC・SA・PA、有料 IC

道路名＋施設名

例）東名高速道路　東京インター

（知 識）

- 現在地の都道府県の施設を認識させるときは、都道府県名を発声する必要はありません。また、立体ランドマークが表示される施設を認識させるときも、都道府県名を発声する必要はありません。
- 都道府県名・政令指定都市名で開始される施設名は、施設名のみで認識されます。また、施設名の最初の名称と実際に存在する都道府県（政令指定都市）名が一致しなくても、認識されます。
  例）千葉県にある東京ディズニーランドは、「東京ディズニーランド」と発声すれば認識され、“千葉県”を発声する必要はありません。

（知 識）

- 音声操作で検索できる施設は、次の施設です。
  - ・地図に表示される立体ランドマークの施設（→ P.86）
  - ・「施設で地図を検索する」（→ P.100）から検索できる施設
- 発声する施設名は、上記方法で表示される施設名をそのまま発声してください。

電話番号で探す

数字は一度にすべて発声しても、分けて発声してもかまいません。
発声するときは、以下の例を参照の上、局番単位の区切る位置に注意して発声してください。

- 例）「03 − 1234 − 5678」を発声する場合
  - ・一度にすべて発声するとき
    「ゼロ、サン、イチ、ニ、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナ、ハチ」
  - ・分けて発声するとき
    「ゼロ、サン」＋「イチ、ニ、サン、ヨン」＋「ゴ、ロク、ナナ、ハチ」
- 市内局番については、桁読みで発声することができます。
  - ・例）「03 − 1234 − 5678」の市内局番を桁読みで発声する場合
    「センニヒャクサンジュウヨン」

（知 識）

- 「−」は「の」または「はいふん」と発声しても、省略してもかまいません。

最寄の施設を目的地に設定する

さまざまなジャンルから検索した施設を目的地に設定できます。

- ジャンルを選択するときは、「ジャンル名」を発声します。

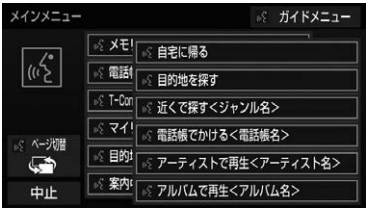
例）最寄の「コンビニエンスストア」を目的地に設定します。

- ここでは「近くで探す」と「<ジャンル名>」を発声する場合で説明します。

お客様：（トークスイッチまたは音声認識スイッチを押す）

本機：　「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
<ピッ>

お客様：「近くで探す」※1



本機：　「近くで探す」

本機：　「ジャンル名をお話しください」
<ピッ>

お客様：「コンビニ」

本機：　「コンビニエンスストア」

本機：　「施設の番号を選択してお話しください」、「またはルート沿いで探すとお話しください」
<ピッ>

お客様：「2」

本機：　「2」

本機：　「よろしければ、はいとお話しください」
<ピッ>

お客様：「はい」

本機：　「はい」

- 以上で、最寄のコンビニエンスストアを目的地に設定して、ルートが探索されます。

■「近くで探す」と「<ジャンル名>」を続けて発声する

- ※1 で「近くで探す　“○○○<ジャンル名>”」と発声すると、簡単に検索を始めることができます。
例）「近くで探す　コンビニ」

My リクエストを使う

My リクエストに登録されているコンテンツをリクエストできます。

● コンテンツを選択するときは、「コンテンツ名」を発声します。

例)「道路交通情報：一般道」をリクエストします。

お客様：(トークスイッチまたは音声認識スイッチを押す)
本機： 「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「マイリクエストを実行」

本機： 「マイリクエストを実行」
本機： 「表示されているコンテンツ名をお話しください」
＜ピッ＞
お客様：「道路交通情報一般道」
本機： 「交通情報一般」

(知 識)

● 表示が隠れているコマンドを発声しても認識されます。ページを切り替える必要はありません。

他のページのコンテンツをリクエストする

他のページに登録してあるコンテンツをリクエストしたいときは、次の操作を行います。

1 ▲▲ または ▼▼ にタッチ。

2 トークスイッチまたは音声認識スイッチを押し、「コンテンツ名」を発声する。

サウンドライブラリの楽曲を検索する

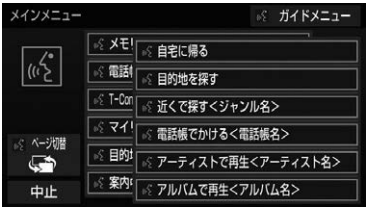
サウンドライブラリ（→ P.259）内の楽曲を、音声認識で検索して再生できます。

● アーティスト名とアルバム名は、サウンドライブラリ画面で表示される読みを発声します。
・ アーティスト名：アーティスト読み
・ アルバム名：アルバム読み

例） ○○○（アーティスト名）の曲を再生します。
ここでは「アーティストで再生」と「＜アーティスト名＞」を発声する場合で説明します。

お客様：(トークスイッチまたは音声認識スイッチを押す)
本機： 「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
＜ピッ＞

お客様：「アーティストで再生」※1



本機：「アーティストで再生」
本機：「アーティスト名をお話しください」
<ピッ>
お客様：「○○○<アーティスト名>」
本機：「○○○<アーティスト名>」
本機：「よろしければ、はいとお話しください」※2
<ピッ>
お客様：「はい」※3
本機：「はい」
以上で、選択したアーティストの曲が再生されます。

「アーティストで再生」と「<アーティスト名>」を続けて発声する

- ※1 で「アーティストで再生 “○○○<アーティスト名>”」と発声すると、簡単に再生できます。

複数の候補が表示されたとき

- ※2 で「再生、とお話しください」と出力されます。
- ※3 で「候補 1」、「候補 2」、または「再生」と発声してください。

(知 識)

- アーティスト読み（アーティスト名）、アルバム読み（アルバム名）が付与されなかったり、表示用のアーティスト、アルバムの名称と読みが異なることがあります。
この場合、サウンドライブラリ画面で表示されるアーティスト名、アルバム名を発声しても読みが異なるため、音声操作で楽曲の検索ができません。
サウンドライブラリ画面で、それぞれの読みをご確認ください。
- サウンドライブラリ画面を確認し、ご希望のアーティスト読み（アーティスト名）、アルバム読み（アルバム名）でない場合は、次のいずれかの操作をしてください。
  - ・「タイトル情報を再取得する」（→ P.264）の操作で、再度、該当する情報を付与し、情報が更新されないか確認する。
  - ・「アルバム名、アルバム読みを変更する」（→ P.262）、「アーティスト読みを変更する」（→ P.263）の操作で、希望の読みに変更する。
- 認識対象となるアーティスト名、またはアルバム名が 1500 件を超えると、音声操作で楽曲の検索ができません。SDREC 操作画面から操作してください。（→ P.251）
- 楽曲の検索ができない場合、「曲を探す」と表示されます。

メモリ地点を使う

メモリ地点に登録した施設を目的地に設定できます。（→ P.135）

- メモリ地点を指定するときは、「メモリ地点名」を発声します。

例） ○○○（メモリ地点名）を目的地に設定します。

ここでは「メモリ地点で探す」と「<メモリ地点名>」を発声する場合で説明します。

お客様：（トークスイッチまたは音声認識スイッチを押す）

本機：「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
＜ピッ＞

お客様：「メモリ地点で探す」※1

本機：「メモリ地点で探す」

本機：「選択したいメモリ地点登録名称をお話しください」
＜ピッ＞

お客様：「○○○<メモリ地点名>」

本機：「○○○<メモリ地点名>」※2

本機：「よろしければ、はいとお話しください」
＜ピッ＞

お客様：「はい」

本機：「はい」

以上で、メモリ地点を目的地に設定し、ルートが検索されます。

「メモリ地点で探す」と「<メモリ地点名>」を続けて発声する

● ※1 で「メモリ地点で探す “○○○<メモリ地点名>”」と発声すると、簡単に検索を始めることができます。

複数の候補が表示されたとき

● ※2 の後、「よろしければ、目的地セットとお話しください」「＜ピッ＞」と出力されます。選択したい候補の番号、または「目的地セット」と発声してください。

（知 識）

● メモリ地点の名称読みを登録すると、音声操作で認識させることができます。（→P.140）

● 表示が隠れているコマンドを発声しても認識されます。ページを切り替える必要はありません。

電話をかける

電話帳に登録した名称や電話番号を発声して、電話をかけることができます。

電話番号でかける

● 電話番号を発声するときの注意点については、「電話番号で探す」（→P.339）と同様です。

例）「03ー1234ー5678」に電話をかけます。

お客様：（トークスイッチまたは音声認識スイッチを押す）

本機：「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
＜ピッ＞

お客様：「電話番号でかける」

本機：「電話番号でかける」

本機：「電話番号を市外局番からお話しください」
<ピッ>

お客様：「03 − 1234 − 5678」

本機：「03 − 1234 − 5678」

本機：「続きの番号、または発信とお話しください」
<ピッ>

お客様：「発信」

本機：「発信」

知 識

● 表示が隠れているコマンドを発声しても認識されます。ページを切り替える必要はありません。

電話帳でかける

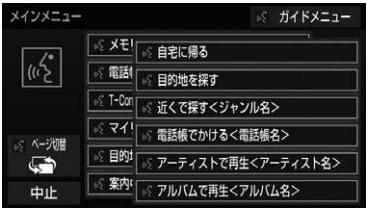
● 発信できる電話番号は、電話帳（→ P.473）に登録してある電話番号です。

例） ○○○（電話帳名）に電話をかけます。

お客様：（トークスイッチまたは音声認識スイッチを押す）

本機：「ピッと鳴ったら、お話しください」「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」
<ピッ>

お客様：「電話帳でかける」※1



本機：「電話帳でかける」

本機：「電話帳に登録されている名称をお話しください」
<ピッ>

お客様：「○○○<電話帳名>」

本機：「○○○<電話帳名>」※2

本機：「発信とお話しください」
<ピッ>

お客様：「発信」

本機：「発信」

以上で、選択した電話帳名の電話番号に発信します。

「電話帳でかける」と「<電話帳名>」を続けて発声する

● ※1 で「電話帳でかける “○○○<電話帳名>”」と発声すると、簡単に発信できます。

複数の候補が表示されたとき

● ※2 の後、「よろしければ、はいとお話しください」と出力されます。発信したい候補の番号、または「はい」と発声してください。

知 識

- 音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。
- データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

5. 音声認識コマンド一覧

音声認識コマンド一覧について

音声認識モードで表示されるコマンドについて、発声する認識語とそのときの動作をまとめています。

●「音声認識モードを開始する」（→ P.334）の手順で、コマンドを発声します。

（知 識）

- 表ではすべてのコマンドを紹介しています。
- 次のようなコマンドは、コマンドリストに表示されない場合があります。
  - ・ 車両に装着されていない機器のコマンド
  - ・ 現在利用できないコマンド

  例）メモリ地点で探すコマンドは、メモリ地点の名称読みを登録していないと表示されません。
- メインメニュー画面に表示されないコマンドを認識させるには、まずガイドメニュー画面の表示コマンドを発声し、希望のコマンドを表示させてください。

音声認識コマンド一覧

メインメニュー画面の表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する
目的地を探す	もくてきちをさがす	ルート検索コマンドを表示する
近くで探す＋（ジャンル名）	ちかくでさがす 例）「近くで探す　コンビニ」「近くの　コンビニ」	希望の（ジャンル名）のうち、より近いところを探す
電話帳でかける＋（電話帳名）	でんわちょうでかける 例）「電話帳でかける XXX※1」「電話帳 XXX※1」	（電話帳名）の電話をかける
アーティストで再生＋（アーティスト名）※2	あーてぃすとでさいせい 例）「アーティストで再生　XXX※3」「アーティスト　XXX※3」	（アーティスト名）から音楽を再生する
アルバムで再生＋（アルバム名）※4	あるばむでさいせい 例）「アルバムで再生 XXX※3」「アルバム XXX※3」	（アルバム名）から音楽を再生する

コマンド名称	認識語	動作
メモリ地点で探す＋（メモリ地点名）	めもりちてんでさがす 例）「メモリ地点で探す XXX※5」「メモリ地点 XXX※5」	（メモリ地点名）へのルートを表示する
電話番号でかける	でんわばんごうでかける	電話番号から電話をかける
（T-Connect コンテンツ名）※6	例）「オペレーターサービス※7」など	T-Connect サービスの（コンテンツ名）を実行する
マイリクエストを実行	まいりくえすとをじっこう	マイリクエストを実行する
（次の／最終／すべての）目的地削除	もくてきちさくじょ 例）「次の目的地削除」「最終目的地削除」「すべての目的地削除」	設定した目的地を削除する
案内中止※8	あんないちゅうし	ルート案内を中止する
案内再開※9	あんないさいかい	中止したルート案内を再開する

※1 任意の電話帳名を発声してください。
※2 アーティスト読み（→ P.263）を設定していない場合は「曲を探す」と表示されます。
※3 任意のアーティスト名、またはアルバム名を発声してください。
※4 アルバム読み（→ P.262）を設定していない場合は「曲を探す」と表示されます。
※5 登録したメモリ地点名称を発声してください。（→ P.135）
※6 T-Connect（→ P.492）通信を行っていない場合は「T-Connect を実行」と表示されます。
※7 トヨタスマートセンターから設定されたコンテンツを利用できます。
※8 ルート案内中のみ操作できます。
※9 ルート案内中止したときのみ操作できます。

ガイドメニュー画面の表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する
目的地を探す	もくてきちをさがす	ルート検索コマンドを表示する
曲を探す	きょくをさがす	オーディオ操作コマンドを表示する
電話をかける	でんわをかける	通話コマンドを表示する
T-Connect を使う	てぃーこねくとをつかう	T-Connect コマンドを表示する

▶ルート検索コマンド

コマンド名称	認識語	動作
住所で探す	じゅうしょでさがす	住所から目的地を設定し、ルートを表示する
電話番号で探す	でんわばんごうでさがす	電話番号から目的地を設定し、ルートを表示する
施設で探す	しせつでさがす	施設名から目的地を設定し、ルートを表示する
近くで探す	ちかくでさがす	近くの施設を目的地に設定し、ルートを表示する
メモリ地点で探す	めもりちてんでさがす	登録したメモリ地点を目的地に設定し、ルートを表示する

▶オーディオ操作コマンド

コマンド名称	認識語	動作
アルバムで再生	あるばむでさいせい	アルバム名から音楽を再生する
アーティストで再生	あーてぃすとでさいせい	アーティスト名から音楽を再生する

▶通話コマンド

コマンド名称	認識語	動作
電話帳でかける	でんわちょうでかける	電話帳から電話をかける
電話番号でかける	でんわばんごうでかける	電話番号から電話をかける

▶T-Connect コマンド

コマンド名称	認識語	動作
T-Connect を実行	てぃーこねくとをじっこう	T-Connect サービスのコンテンツを実行する※
マイリクエストを実行	まいりくえすとをじっこう	マイリクエストを実行する

※トヨタスマートセンターから設定されたコンテンツを利用できます。

6. 知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがあります。次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしてもなおらないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
音声認識コマンドを発声しても、T-Connect関連の機能が操作できない。	サーバーとの通信ができない状況である。	通信機器の接続と通信状況をご確認ください。
トークスイッチまたは音声認識スイッチを押したときに「ピピッ」と音がして、音声操作が開始されない。	デモ表示中・TILT・EJECT 画面表示中・緊急通報中・ハンズフリー通話中など、音声操作が動作しないタイミングでシステムを起動している。	現在の動作が完了した後、再度トークスイッチまたは音声認識スイッチを押してください。
音声認識コマンドを発声しても正常に動作しない、またはコマンドが認識されにくい。	車内外の音・ノイズに影響を受けているため、音声認識コマンドとして認識されていない。	エアコンの風量を下げる、窓を閉めるなどした後、再度音声認識コマンドを発声してください。
音声操作による電話発信ができない。	電話帳の名称読みが入力されていない。	電話帳の名称読みを入力してください。（→ P.477）
電話帳の候補が表示されない。	同姓や、類似の名称が電話帳に複数登録されている。	電話帳に登録しているフルネームを発声してください。

1. はじめに

ボイスサポートについて

ボイスサポートは、トークスイッチまたは音声認識スイッチを押すことなくマイクに向かって対応している音声コマンドを発声することで、特定の機能を音声で操作できる機能です。

「マイエージェント」と発声するとエージェントを、「マイオペレーター」と発声するとオペレーターサービスを開始させることができます。

- エージェント（→ P.556）
- オペレーターサービス（→ P.550）

- 音声コマンドを正しく発声しないと認識されないことがあります。以下の点にご注意ください。
  - ・ハッキリと発声してください。
  - ・声色によっては、認識されづらいこともあります。
  - ・騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、発声するときは、できるだけ窓を閉めておいてください。また、エアコンの風量やオーディオの音量が大きいときも、正しく認識されないことがあります。
- 発声した音声コマンドが認識されにくい場合、認識率を調整することができます。（→ P.352）
- 以下のようなときに発声してもボイスサポートを利用できません。現在の操作が完了した後、もしくは契約を行った後、再度ボイスサポートをご利用ください。
  - ・デモ表示中
  - ・カメラ表示中
  - ・TILT・EJECT 画面表示中
  - ・ハンズフリー通話中
  - ・緊急通報中
  - ・T-Connect 未契約
- 以下のようなときに発声すると、「ピピッ」と音がして、ボイスサポートを利用できません。接続を行った後、再度ボイスサポートをご利用ください。
  - ・Wi-Fi® 未接続（→ P.577）
  - ・通信ロックの設定中（→ P.572）
  - ・通信モジュール（DCM）未接続

音声認識用マイク

音声認識コマンドを発声するときに使用します。（→ P.331）

2. ボイスサポートを使用する

音声認識でエージェントを開始する

1 音声認識用マイクに向かって「マイエージェント」と発声し、エージェント画面を表示させる。

2 マイクスイッチが緑色になったら、発声する。以降の手順は、画面案内にしたがって、発声・操作する。（→ P.557）

音声認識でオペレーターサービスを開始する

1 音声認識用マイクに向かって「マイオペレーター」と発声し、オペレーターに接続する。

- マイオペレーターの初期設定は「しない」になっています。
  ボイスサポート設定で「する」に設定できます。（→ P.352）

2 以降の手順は、画面案内にしたがって、操作する。（→ P.551）

知 識

- ボイスサポートの設定が「しない」になっていると、音声コマンドを認識しません。
  ボイスサポート設定のする／しないを選択してください。（→ P.352）

3. ボイスサポートの設定

ボイスサポートの各種設定を変更することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ボイスサポート → 音声コマンド設定

2 マイエージェント または マイオペレーター にタッチ。

- 使用できる音声コマンドの作動表示灯が点灯します。
- 設定を初期の状態に戻すとき
  ➡ 初期状態 → はい の順にタッチ。

3 各項目を設定する。

- 設定を初期の状態に戻すとき
  ➡ 初期状態 → はい の順にタッチ。

ボイスサポート

ボイスサポートのする／しないを選択できます。

認識率調整

音声コマンドの認識率を設定できます。

- 設定値を高くするごとに、音声コマンドの認識率は上がります。ただし、誤検出率も上がるため、お使いの環境に合わせて調整してください。

認識率のテストができます

音声コマンドを発声することにより、認識率のテストができます。

- テスト にタッチし、画面にしたがって、発声してください。

4. 知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがあります。次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしてもなおらないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
音声コマンドを発声しても、音声操作が開始されない。	マイクが接続されていない、または脱落している。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	T-Connect 関連機能の場合、サーバーとの通信ができない状況である。	通信機器の接続と通信状況をご確認ください。
	発声によって操作する機能が動作できないタイミングで発声している。音声コマンドごとに動作できないタイミングは異なります。	本書の各機能の項目で動作できないタイミングをご確認ください。
	ボイスサポートの設定が「しない」になっている。	ボイスサポートの設定を「する」にしてください。（→ P.352）
音声コマンドを発声すると、「ピピッ」と音がして、正常に動作しない。	Wi-Fi® 未接続（→ P.577）・通信ロックの設定中（→ P.572）・通信モジュール（DCM）未接続など、ボイスサポートが利用できないタイミングで発声している。	接続を行った後、再度ボイスサポートをご利用ください。
音声コマンドを発声しても正常に動作しない、またはコマンドが認識されにくい。	車内外の音・ノイズに影響を受けているため、音声コマンドとして認識されていない。	エアコンの風量やオーディオの音量を下げる、窓を閉めるなどした後、再度音声コマンドを発声してください。
	ボイスサポートの発声が、音声コマンドとして認識されていない。	ボイスサポート認識率調整の設定値を高くしてください。（→ P.352） ただし、誤検出率も上がるため、お使いの環境に合わせて調整してください。
	デモ表示中、カメラ表示中、TILT・EJECT 画面表示中、ハンズフリー通話中、緊急通報中、T-Connect 未契約など、ボイスサポートが動作しないタイミングで発声している。	現在の動作が完了した後、もしくは契約を行った後、再度音声コマンドを発声してください。

症状	考えられること	処置
意図しないタイミングで動作する。または「ピピッ」と音がする。	車内外の音・ノイズを音声コマンドとして誤検知している。	ボイスサポート認識率調整の設定値を低くしてください。（→P.352）

5

情報

1 情報について

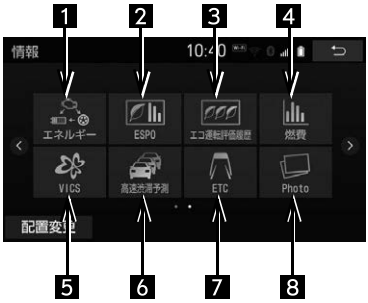
1. 情報画面について 356
2. 交通ナビ関連情報について.....358
3. ソフトウェア更新について.....359

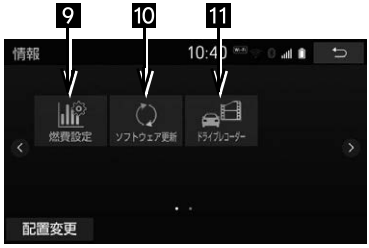
1. 情報画面について

情報画面を表示する

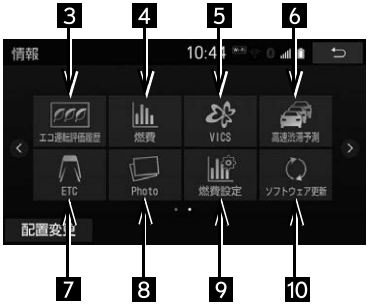
1 MENU ▶ 情報

▶ESPO 対応車種の場合





▶ESPO 非対応車種の場合



- 車種や装備の違いにより、実際の画面と異なることがあります。
- 情報画面から次の操作を行うことができます。

番号	スイッチ	機能	ページ
1	エネルギー ※1	エネルギーモニター画面の表示	169
2	ESPO※1	ESPO 画面の表示	170
3	エコ運転評価履歴 ※1	エコ運転評価履歴画面の表示	167
4	燃費 ※1	燃費情報画面の表示	165
5	VICS	VICS 図形情報、文字情報の表示	185
		割込情報（VICS/ETC2.0 サービス）の表示 ※2	190

番号	スイッチ	機能	ページ
6	高速渋滞予測 ※3	渋滞予測情報の表示	552
7	ETC※4	ETC 画面の表示	428
8	Photo	SD Photo 画面の表示	322
9	燃費設定 ※1	燃費設定画面の表示	166
10	ソフトウェア更新	ソフトウェア更新画面の表示	359
11	ドライブレコーダー ※5	ドライブレコーダー画面の表示	419

※1 対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
※2 販売店装着オプションの ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を装着したときに操作することができます。
※3 T-Connect サービスを利用されているときに操作することができます。
※4 販売店装着オプションのナビ連動 ETC システム /ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を取り付けたときのみ表示されます。ETC システム /ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を取り付けていないときは、表示順序が繰り上がって表示されます。
※5 販売店装着オプションのカメラ別体型ドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）またはカメラ一体型ドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）を装着したときに操作することができます。

スイッチの配置を変更する

1 MENU ▶ 情報 → 配置変更

2 移動したいスイッチにタッチ。

3 << 、>> にタッチしてスイッチを移動させる。

- ドラッグ操作（→ P.22）で移動することもできます。

4 ↩ にタッチ。

2. 交通ナビ関連情報について

交通ナビ関連情報を表示する

JAF や道路交通情報センターなどの電話番号を表示することができます。また、登録されているメモリ地点（→ P.135）や設定されている目的地（→ P.107）に電話番号が入力されていれば、その地点の電話番号を表示することができます。

1 MENU ▶ 電話

2 交通ナビ にタッチ。

3 項目にタッチ。

4 選択した項目により、次のいずれかの操作をする。

JAF または道路交通情報センターの情報を表示する

1 都道府県名、施設名称の順にタッチ。

メモリ地点の情報を表示する

1 メモリ地点にタッチ。

- 地図を表示するとき
  ➡ 地図 にタッチ。
- リストの並べ方を替えるとき
  ➡「メモリ地点を修正する」（→ P.135）手順 **2** へ。

知 識

- 交通ナビ から表示したメモリ地点のリストは、50 音順に並び替えることができません。

目的地の情報を表示する

1 目的地にタッチ。

- 目的地が 1 カ所のみ設定されているとき
  ➡ 目的地 にタッチすると、名称と電話番号を表示する。
- 目的地が複数設定されているときは、リスト画面が表示されます。

3. ソフトウェア更新について

より快適にナビゲーションシステムをご利用いただくため、購入後のナビゲーションシステムの機能・操作性向上を目的にソフトウェアの更新を行っています。

- 更新対象
  - ・ナビゲーションシステムの性能改善
  - ・ナビゲーションシステムの操作性向上

※ 地図データ、CD タイトル情報（CDDB）は本サービスの更新対象ではありません。

ソフトウェア更新は、次のいずれかの方法で行います。

(1) CD-R または Audio SD カードを使用して更新する
（CD-R または SD カードが必要です）

(2) DCM を使用して更新する

(3) Wi-Fi® 通信を使用して更新する

※ ご不明点についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

注意

- CD-RまたはAudio SDカードを使用してソフトウェア更新をする場合、インターネットに接続できる環境のパソコンと、CD-R または SD カードが必要となります。お客様のパソコンの環境によっては通信料金が高額となりますのでご注意ください。
- ソフトウェア更新はお客様の責任において実行してください。
- ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンに戻すことはできません。
- ソフトウェア更新で適用されるソフトは本機専用です。その他の機器で使用しないでください。
- ソフトウェア更新の内容によっては一部の設定が初期化されることがあります。その場合はソフトウェア更新後、再度設定を行ってください。

注意

- 通信機能を使用して更新する場合は、ソフトウェア更新後、自動的にトヨタ自動車の配信サーバーに更新が完了したことを通知します。なお、トヨタ自動車は送信された情報をソフトウェア更新以外の目的には使用いたしません。また、お客様のご契約形態によっては通信料が発生する場合があります。
- ソフトウェア更新の内容によっては、お客様自身での更新が許可されていない場合があります。詳細はトヨタのパソコンサイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）でご確認ください。

CD-R または Audio SD カードを使用して更新する

更新データを準備する

1 MENU ▶ 情報 → ソフトウェア更新

2 「機種識別 ID」を確認する。

3 パソコンで専用サイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）にアクセスし、ソフトウェア更新メニューから、「機種識別 ID」に対応した更新ソフトがあることを確認する。

● 機種識別 ID に対応した更新ソフトが見つからない場合は、対象のナビゲーションシステムには現在更新ソフトは提供されていないか、お客様自身での更新が許可されていない場合があります。なお、更新ソフトは随時配信されます。

4 更新ソフトをパソコンにダウンロードする。

5 パソコンにダウンロードした更新ソフトを CD-R または Audio SD カードにコピーする。

● 更新ソフトは、CD-R または Audio SD カード内の最上位階層に保存してください。作成したフォルダ内に更新ソフトを保存すると、更新ソフトを読み込むことができません。

ソフトウェアを更新する

1 MENU ▶ 情報 → ソフトウェア更新

2 OPEN/CLOSE にタッチ。

3 CD-R または Audio SD カードを挿入する。（→ P.226、P.244）

4 更新を実施する にタッチ。

5 はい にタッチ。

6 データがインストールされ、ソフトウェア更新準備が開始される。

● 更新ソフトがインストールされます。

● インストールが完了したとき
➡ 更新準備完了画面が表示される。

7 車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にした後、再度アクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ ON モード＞にする。

8 データがコピーされ、ソフトウェア更新が開始される。

● ソフトウェア更新が完了すると、画面が自動的に、最後に表示していた画面、または TILT・EJECT 画面に切り替わります。

● ソフトウェアの情報を確認するとき
➡ ソフトウェア更新画面で、更新情報 にタッチ。

● ソフトウェアの更新履歴を確認するとき
➡ ソフトウェア更新画面で、更新履歴 にタッチ。

注意

● ソフトウェア更新中は、CD-R または Audio SD カードを抜いたり、車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にしないでください。

（知 識）

● ソフトウェア更新中は、一部動作が遅くなることがあります。

Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）または通信モジュール（DCM）を利用して更新する

※車が通信可能な場所にあることが必要です。

※通信モジュール（DCM）が装着されていない場合、DCM から更新することができません。

Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）または通信モジュール（DCM）を使ったソフトウェア更新は、ソフトウェア更新設定内容によって一部手順が異なります。

納車時の設定やソフトウェア更新設定の変更については、「ソフトウェア更新の設定を変更する」（→ P.363）をご確認ください。

Wi-Fi® 通信を使ってソフトウェア更新をするには、以下の条件が必要です。

- Wi-Fi® アクセスポイントに接続が完了している
- 車が Wi-Fi® アクセス可能な場所にある
- 通信設定が「Wi-Fi®」になっている（→ P.575）

※ ソフトウェアの更新の内容によっては、DCM を使用した更新ができない場合があります。この場合は、CD-R または Audio SD カードを使用して更新を行ってください。

ソフトウェア更新設定の自動確認「する」のときの更新

1 配信サーバーに新しい更新ソフトがある場合、メッセージが表示される。

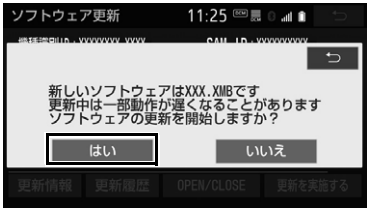
- 更新ソフトウェアの自動確認が「する」のとき、本機は定期的に配信サーバーへアクセスして更新ソフトウェアの有無を確認します。

2 はい にタッチ。

- いいえ にタッチすると、次回確認時に再度通知します。

3 更新を実施する にタッチ。

4 はい にタッチ。



- 更新ソフトのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。

● ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中に車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしたときは、次回エンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にしたときにインストールを再開します。

5 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にした後、再度アクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にする。

● ソフトウェアの情報を確認するとき
➡ ソフトウェア更新画面で 更新情報 にタッチ。
● ソフトウェアの更新履歴を確認するとき
➡ ソフトウェア更新画面で 更新履歴 にタッチ。

ソフトウェア更新設定の自動確認「しない」のときの更新

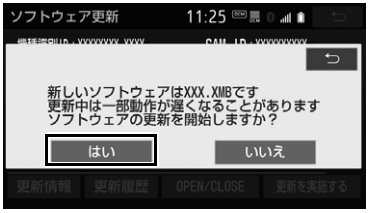
1 MENU ▶ 情報 → ソフトウェア更新

2 センターに確認する にタッチ。

● 新しい更新ソフトが見つかると、センターに確認する が 更新を実施する に変わります。
● 新しい更新ソフトがない場合は、次の配信までお待ちください。

3 更新を実施する にタッチ。

4 はい にタッチ。



● 更新ソフトのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。
● ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中に車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしたときは、次回エンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にしたときにインストールを再開します。

5 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にした後、再度エンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にする。

● ソフトウェアの情報を確認するとき
➡ ソフトウェア更新画面で 更新情報 にタッチ。
● ソフトウェアの更新履歴を確認するとき
➡ ソフトウェア更新画面で 更新履歴 にタッチ。

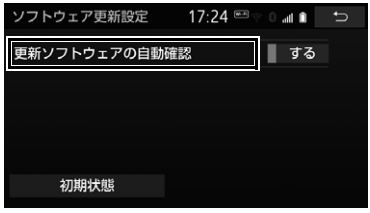
ソフトウェア更新の設定を変更する

ソフトウェア更新の設定を変更することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定

2 ソフトウェア更新設定 にタッチ。

3 更新ソフトウェアの自動確認 にタッチし、「する」／「しない」を設定する。



● 初期設定は、「する」となっています。

6

周辺監視

1 バックガイドモニター

1. バックガイドモニターについて 366
2. ガイド画面の出しかた 368
3. ガイド方法の選びかた 369
4. 並列駐車のしかた（進路表示モード）.....371
5. 並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）.....374
6. 縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）.....376
7. 縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）.....384
8. バックガイドモニター機能の設定.....386
9. バックガイドモニターについての注意点.....387
10. 知っておいていただきたいこと.....392

2 マルチビューバックガイドモニター

1. マルチビューバックガイドモニターについて.....393
2. カメラの視点切替方法 395
3. マルチビューバックガイドモニターについての注意点 397

3 雨滴除去機能

1. 雨滴除去機能について.....400

4 バックモニター

1. バックモニターについて.....403
2. ガイド画面の出しかた.....404
3. バックモニターについての注意点 405

5 ブラインドコーナーモニター / コーナービューモニター

1. ブラインドコーナーモニター / コーナービューモニターについて 409
2. 画面の出しかた 410
3. ブラインドコーナーモニター／コーナービューモニターについての注意点.....412

6 パノラミックビューシステム

1. パノラミックビューシステムについて 416

1. バックガイドモニターについて

車両後方の映像をモニター画面に映し出し、駐車時などの後退操作を補助する装置です。

縦列駐車時は音声でも案内します。

- 並列駐車（車庫入れ等）
- 縦列駐車（路側駐車等）

※ 車種により、バックガイドモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

(知 識)

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

運転時の注意について

⚠ 警告

- バックガイドモニターは、後退操作を補助する装置です。過信しないで注意して運転してください。後退するときは、必ず目視やミラーなどで車の後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
  画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。特に周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 後退するときは、ブレーキペダルを踏んで速度調整しながら、ゆっくり後退してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。(→ P.388)
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れたりすることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- 各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。十分理解した上で、バックガイドモニターをご使用ください。
- 駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから後退してください。

☆印は販売店装着オプションです。

⚠ 警告

- 道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 以下のような状況では、バックガイドモニターを使用しないでください。
  - ・ 雪道、凍結した道などのすべりやすい路面
  - ・ タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - ・ トランクまたはバックドアが完全に閉まっていないとき
  - ・ カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路
- タイヤを交換するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。タイヤ交換やタイヤサイズを変更すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。
- 本機能は、各車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け替えるときは必ずお買い上げの販売店でバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください。（そのままでは本機能をご使用になれない車種があります）

2. ガイド画面の出しかた

ガイド画面の出しかた

1 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>がイグニッション ON モード< ON モード>のとき、シフトレバーを Ⓡ にする。

● 解除するとき
➡ シフトレバーを Ⓡ 以外にする。

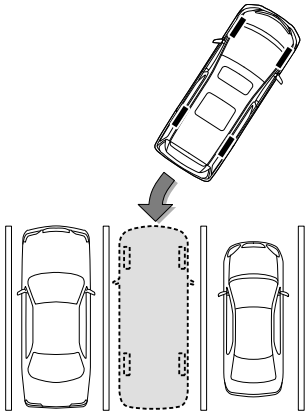
知 識

● シフトレバーを Ⓡ にしていても、MAP ・ AUDIO など各モードのスイッチを押すと、押したスイッチのモード画面に切り替わります。

3. ガイド方法の選びかた

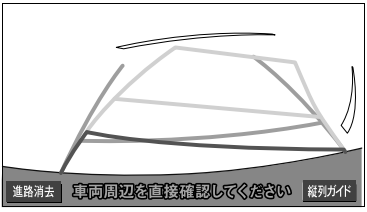
並列駐車（車庫入れ）時に使用するとき

車庫入れなど並列駐車をするときは、次のいずれかのモードを使用します。



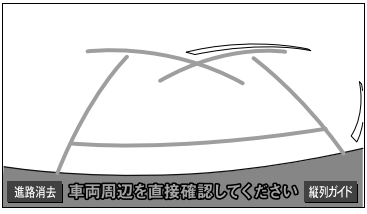
▶進路表示モード（→ P.371）

ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されるモードです。



▶駐車ガイド線表示モード（→ P.374）

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。



● 車両感覚に慣れた方（進路表示モードを必要とせずに駐車できる方）はこちらのモードをご使用ください。

モードの切り替えかた

1 MENU ▶ 設定・編集 → 運転支援

2 カメラ設定 にタッチ。

3 バックガイドモニター設定 にタッチ。

4 駐車ガイド線表示 にタッチ。

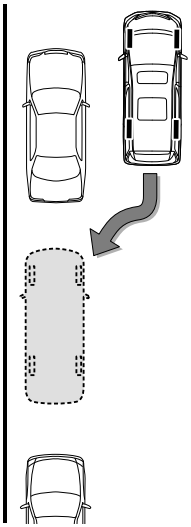
5 する または しない にタッチ。

● 駐車ガイド線表示モードに切り替えるとき
➡ する にタッチ。

● 進路表示モードに切り替えるとき
➡ しない にタッチ。

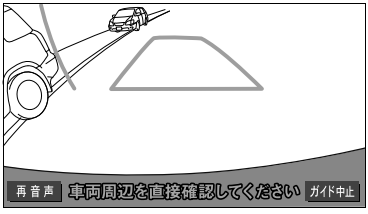
縦列駐車時に使用するとき

縦列駐車をするときは、次のいずれかのモードを使用します。



▶縦列ガイドモード（→ P.376）

画面表示と音声案内により、縦列駐車を補助するモードです。

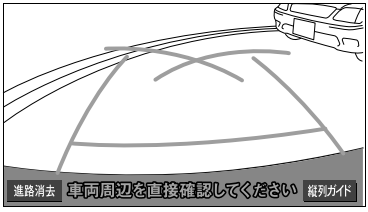


知識

- ガイドを中止したいときは、**ガイド中止** にタッチすると、最初（シフトレバーを Ⓡ にしたとき）の画面にもどります。
- 音声案内をもう一度聞きたいときは、**再音声** にタッチします。

▶駐車ガイド線表示モード（→ P.384）

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。



- 縦列ガイドモードを必要とせずに駐車のできる方や、縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

モードの切り替えかた

■縦列ガイドモードへの切り替え

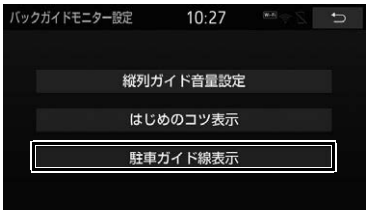
1 シフトレバーを Ⓡ にする。

2 **縦列ガイド** にタッチ。

■駐車ガイド線表示モードへの切り替え

1 **MENU** ▶ **設定・編集** → 「**運転支援**」 → **カメラ設定** → **バックガイドモニター設定**

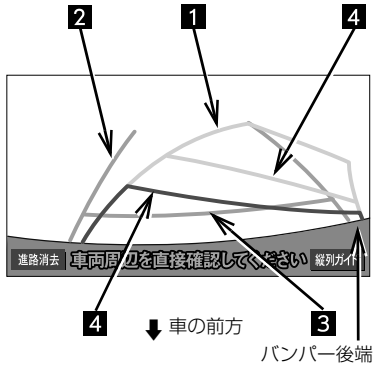
2 **駐車ガイド線表示** にタッチ。



3 **する** にタッチ。

4. 並列駐車のしかた（進路表示モード）

画面の見かた



1 予想進路線（黄色）

車が後退していく進路の目安を示す。
- ハンドル操作と連動します。

2 車幅延長線（緑色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。
- 実際の車幅より広く表示しています。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっているときは、予想進路線と重なります。

3 距離目安線 約 0.5m 先（緑色 ）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。
- 約 0.5m 先を示します。

4 距離目安線 約 0.5m 先（赤色 ） 約 1m 先（黄色 ）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。
- ハンドル操作と連動します。予想進路線とともに動きます。
- それぞれの中心位置で、約 0.5m 先（赤色）・約 1m 先（黄色）を示します。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっていないときは誤差が生じます。
  上の画面では、距離目安線が示す実際の距離（赤色：約 0.5m 先、黄色：約 1m 先）より、右側は近くの位置に、左側は遠くの位置に表示されます。

⚠ 警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲り角・カーブ等がなく、渋滞の少ない道路を前進で約 5 分間以上走行してください。それでもなおらない場合は、お買い上げの販売店で点検を受けてください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

知識

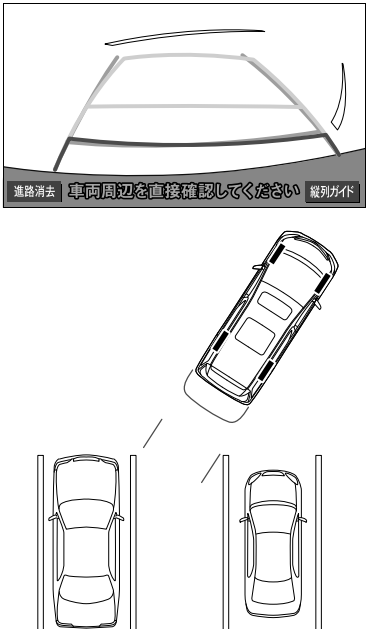
- 進路消去 にタッチすると、予想進路線や車幅延長線を消すことができます。この場合、距離目安線はハンドル操作と連動しません。もとに戻すときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

操作のしかた

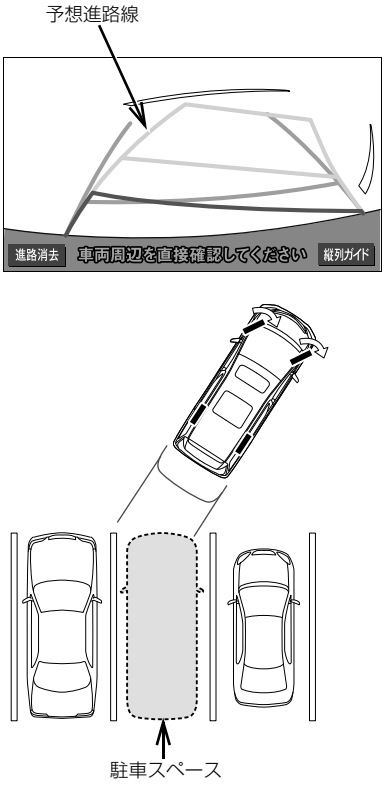
以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 進路表示モードにする。(→ P.369)

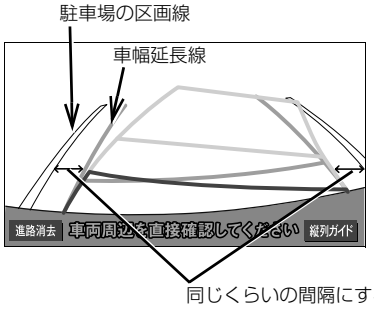
2 シフトレバーを Ⓡ にする。

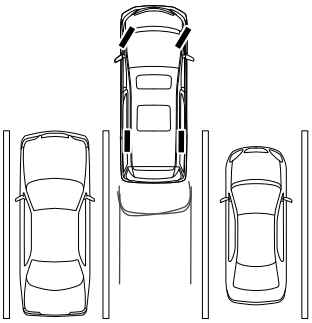


3 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する。



4 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が、車の近くの位置で同じくらいになるようにハンドルを操作する。

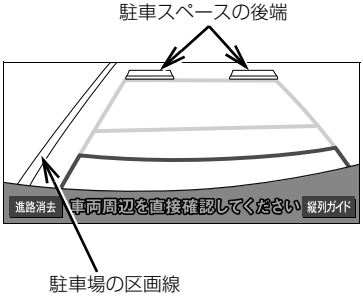




5 車幅延長線と駐車場の区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、車が駐車スペースに全部入るまで、ゆっくり後退する。

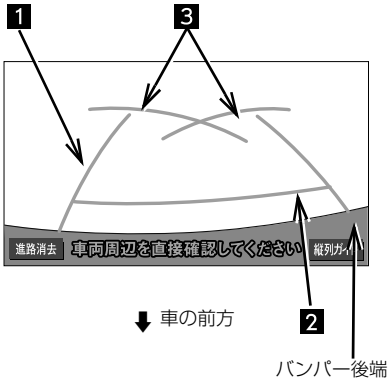
知識

- 駐車するときは、画面の映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず直接確認してください。
  - 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。
  - 駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。



5. 並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見かた



1 車幅延長線（緑色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。
- 実際の車幅より広く表示しています。

2 距離目安線 約 0.5m 先（緑色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。
- 約 0.5m 先を示します。

3 駐車ガイド線（緑色）

ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示す。
- 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

⚠ 警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

知識

- 進路消去 にタッチすると、車幅延長線を消すことができます。元に戻すときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

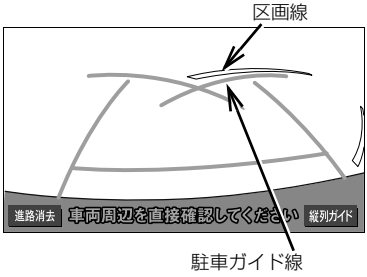
操作のしかた

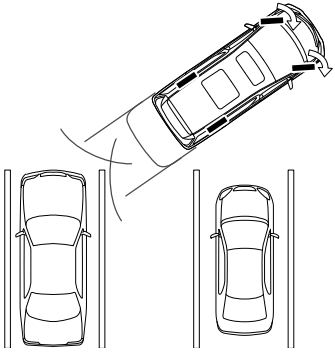
以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 駐車ガイド線表示モードにする。（→ P.369）

2 シフトレバーを Ⓡ にする。

3 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まる。





知 識

● 駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

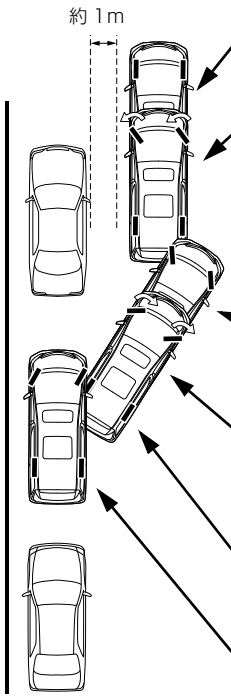
4 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

5 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終える。

6. 縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）

車の動きと画面・音声案内の流れ

〈車の動き〉　　〈操作内容〉



道路と平行で、駐車している車との間隔が約 1m の位置で止まる。

緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合うまで後退したら止まる。**（画面①）**

車を止めたままハンドルを操作し、緑の枠を駐車したい場所に合わせたら、ハンドルをそのままにして後退する。**（画面②）**

緑の曲線が表示されて、緑の曲線が駐車したい位置の左端に合うまでハンドルをそのままにして後退する。**（画面③）**

駐車したい位置の左端に合ったら止まり、ハンドルを逆方向にいっぱいまで操作する。

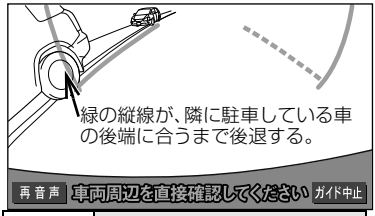
（画面④）

ハンドルをそのままにして、距離目安線などを参考に目視やミラーで周辺を確認し後退する。**（画面⑤）**

車がほぼまっすぐになったら、縦列ガイドモードが終了する。**（画面⑥）**

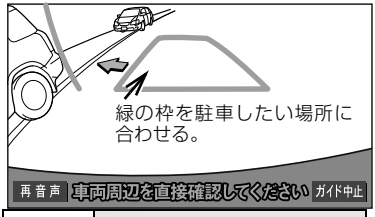
■画面・音声案内の流れ

画面①

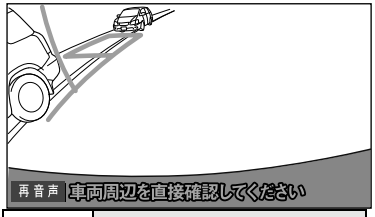


音声案内	「緑の縦線が隣の車の後ろに合うまでバックして止まります。」

画面②

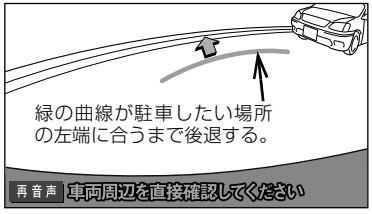


音声案内	「止まったままハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」

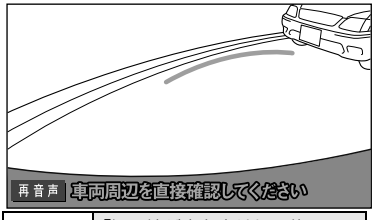


音声案内	「枠を合わせたらハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

画面③

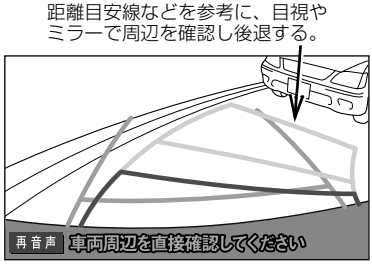


画面④



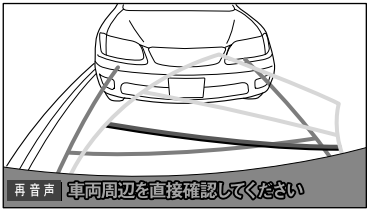
音声案内	「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」

画面⑤



音声案内	「ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

画面⑥



音声案内	「縦列ガイドを終了します。」

⚠ 警告

- カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路では正しく表示されないため、使わないでください。
- ハンドル操作は、必ず車を止めた状態で行ってください。

(知 識)

- ガイドを中止したいときは、**ガイド中止** にタッチすると、最初（シフトレバーを Ⓡ にしたとき）の画面に戻ります。
- 音声案内をもう一度聞きたいときは、**再音声** にタッチします。
- 音声案内は運転席側スピーカーより出力されます。

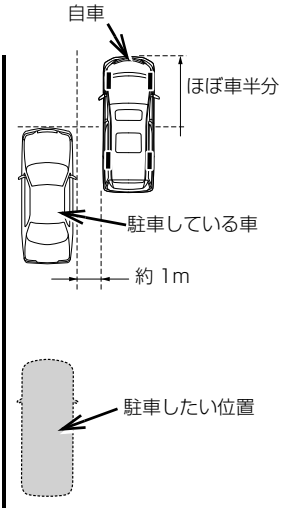
操作のしかた

以下の手順は、左側の駐車スペースに駐車するときの例を示しています。
右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作などがすべて左右逆になります。

- マルチビューバックガイドモニターを接続しているとき
  ➡ カメラの視点をノーマルモードに切り替えます。（→ P.395）

1 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約 1m の位置に止まり、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。

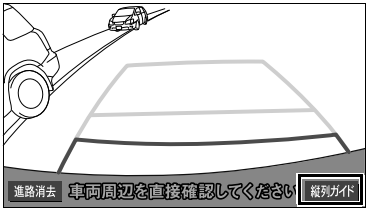
- 前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。



2 シフトレバーを Ⓡ にする。

3 車の位置を確認し、**縦列ガイド** にタッチ。

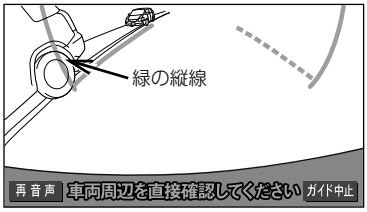
- 画面で、駐車している車のリヤタイヤより後ろの部分が映っていることを確認してください。
  映っていないときは、車を正しい位置まで前進させ、操作をやりなおします。



4 表示された画面と同じ位置に車が止まっていることを確認し、次へにタッチ。

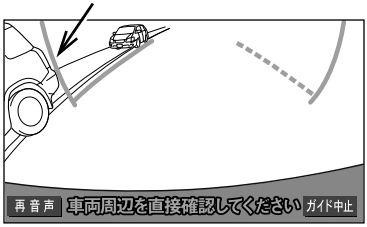
- 前の画面に戻るとき
  ➡ ガイド中止 にタッチ。
- この画面を表示させないようにするとき
  ➡ 次回からこの表示を省略 にタッチ。
- この画面を再度表示させるとき
  ➡「バックガイドモニター機能の設定」（→ P.386）

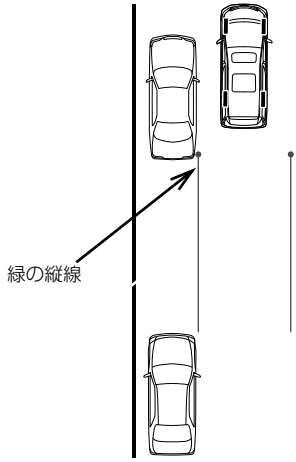
5 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしたまま、緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まる。



音声案内	「緑の縦線が隣の車の後ろに合うまでバックして止まります。」

車をここまで後退させる

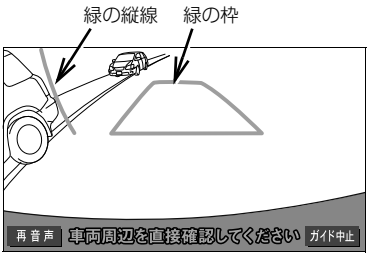




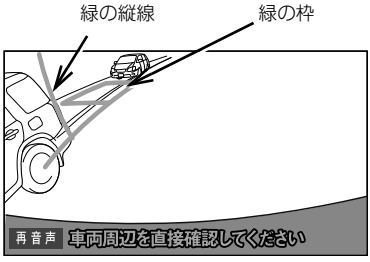
知識

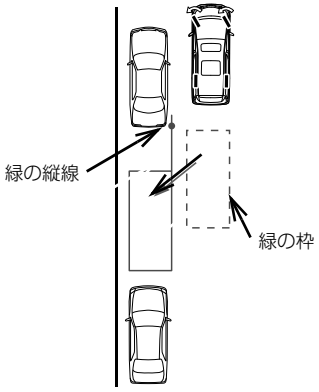
- ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。
  その場合は、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やりなおしてください。
- シフトレバーを Ⓡ 以外にしても、約 10 秒以内に Ⓡ に戻せば、この画面に戻ります。

6 音声で案内され、緑の枠が表示される。止まったままハンドルを左にまわして、緑の枠を駐車したい位置に合わせる。



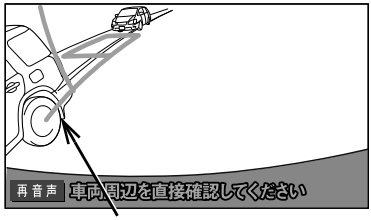
音声案内	「止まったままハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」



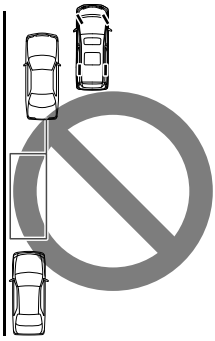


⚠ 警告

- 緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードを使用することはできません。
- 緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に延びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。

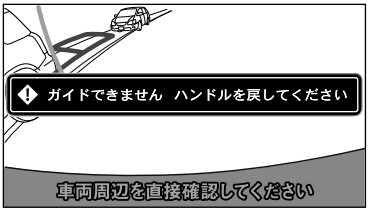


延長線がタイヤにかかっている



(知識)

- 枠が赤くなって、下のようなメッセージが表示されたら、ガイドすることができませんので、ハンドルを戻してください。



- 枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、下のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩から離れすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔（約 1m）を確認してください。

7 緑の枠を合わせ、音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。

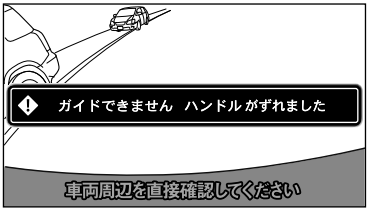
音声案内	「枠を合わせたらハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

⚠ 警告

- 車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。

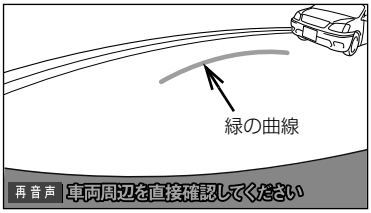
知識

- 後退中にハンドルを操作してしまうと、ガイドされなくなります。
  その場合は、シフトレバーを R 以外にしてから、再度 R にして最初からやりなおしてください。

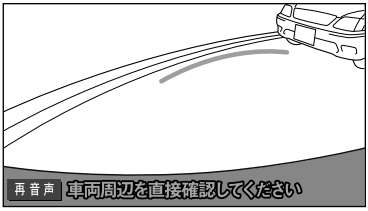


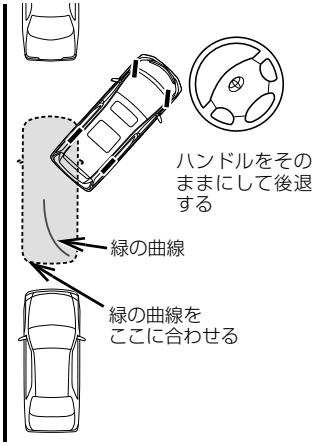
- ごく低速で後退すると、次の案内が行われないことがあります。
- 後退を開始すると、ガイド線が表示されなくなります。
  必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

8 音声で案内され緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。
緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まる。



音声案内	「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」





知識

- 後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

9 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいまでまわす。

- 必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。

10 画面が切り替わり音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。

音声案内	「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

⚠ 警告

- 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

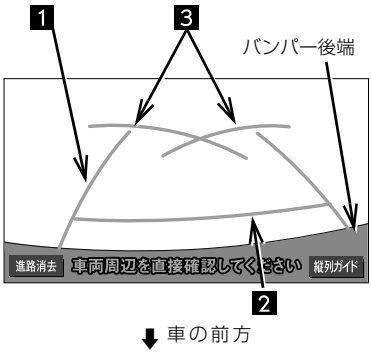
11 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）に戻す。
距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認して、ゆっくり後退し止まる。

- 車がほぼまっすぐになったら、音声で案内され、縦列ガイドモードが終了します。

音声案内	「縦列ガイドを終了します。」

7. 縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見かた



1 車幅延長線（緑色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。
- 実際の車幅より広く表示しています。

2 距離目安線 約 0.5m 先（緑色 ）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。
- 約 0.5m 先を示します。

3 駐車ガイド線（緑色）

ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示す。
- 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

⚠ 警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

知識

- 進路消去 にタッチすると、車幅延長線を消すことができます。元に戻すときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

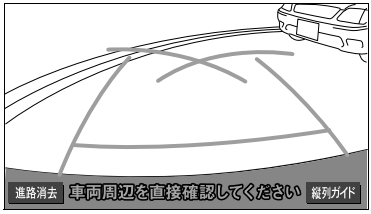
操作のしかた

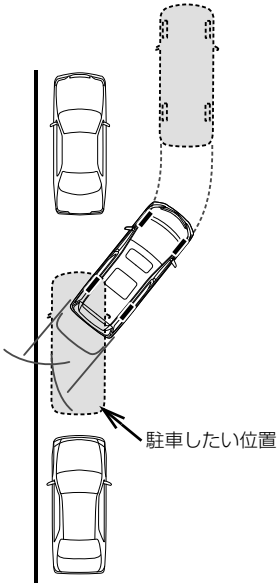
以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 駐車ガイド線表示モードにする。(→P.369)

2 シフトレバーを Ⓡ にする。

3 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まる。



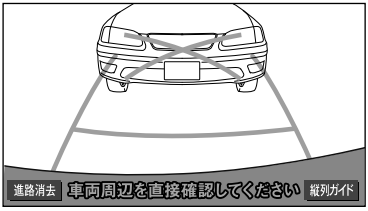


4 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

⚠ 警告

- 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

5 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。
画面を参考に必ず目視やミラーで車の前後を確認し、最適な位置まで後退して、駐車を終える。



8. バックガイドモニター機能の設定

バックガイドモニター設定画面の表示

1 MENU ▶ 設定・編集 → 運転支援

2 カメラ設定 にタッチ。

3 バックガイドモニター設定 にタッチ。

4 設定する項目を選択する。

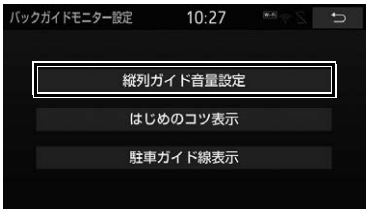
● 次の項目を設定できます。

項目	ページ
縦列ガイド音量設定	386
はじめのコツ表示	386
駐車ガイド線表示	369、370

縦列ガイドの音量設定

1 MENU ▶ 設定・編集 → 運転支援 → カメラ設定 → バックガイドモニター設定

2 縦列ガイド音量設定 にタッチ。



3 設定したい音量にタッチ。

● 音声を OFF にするとき

➡ 消音 にタッチ。

はじめのコツの表示設定

縦列ガイドモード（→ P.376）に「はじめのコツ」を表示することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 運転支援 → カメラ設定 → バックガイドモニター設定

2 はじめのコツ表示 にタッチ。

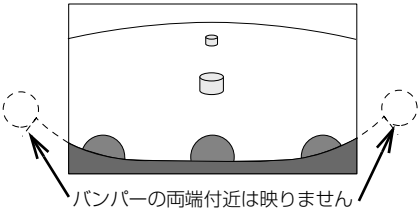
3 する または しない にタッチ。

9. バックガイドモニターについての注意点

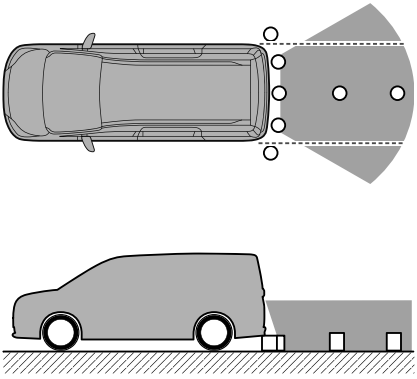
画面に映る範囲

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

■画面



■映る範囲



● バックガイドモニターの画質は、ショートカット＋コントロール画面（→ P.28）で 画質調整 にタッチすると、調整できます。（→ P.54）

知 識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- バンパー後端の見え方は車種により異なります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- カメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映りこむことがあります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - ・ 暗いところ（夜間など）
  - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  - ・ カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
  - ・ バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき

カメラについて

車両の後方に取り付けられています。

注意

- バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
  - カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
  - カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  - カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  - カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
  - 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落するおそれがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

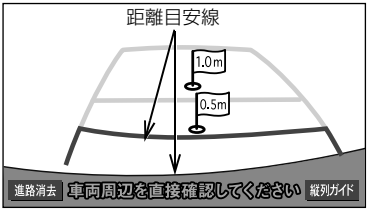
知識

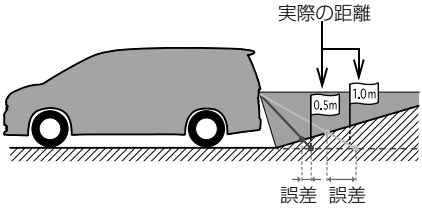
- カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像を見ることができません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤で洗い流してください。

画面と実際の路面との誤差について

- 距離目安線や車幅延長線と駐車スペースの区画線が画面では平行に見えても、実際は平行ではないことがあります。必ず直接確かめてください。
- 車幅延長線と駐車スペース左右の区画線の間隔が画面では左右均等に見えても、実際は左右均等ではないことがあります。必ず直接確かめてください。
- 距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

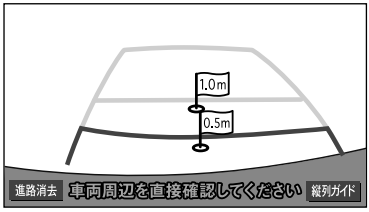
急な上り坂が後方にあるとき

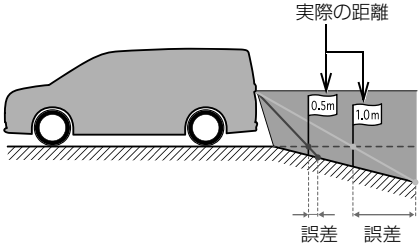




●実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

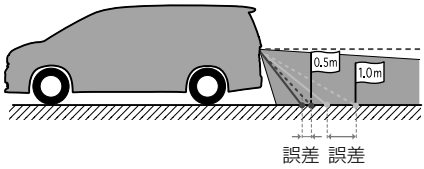
急な下り坂が後方にあるとき





●実際の距離より遠くに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

車が傾いているとき

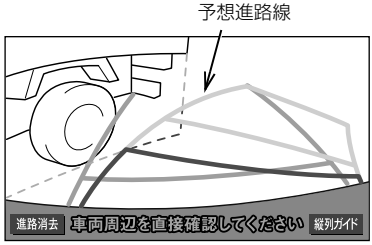


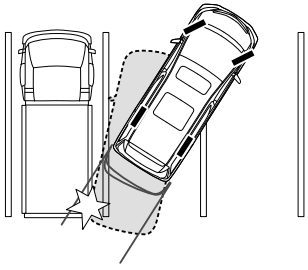
●乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

立体物が近くにあるとき

予想進路線・距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことにご注意ください。

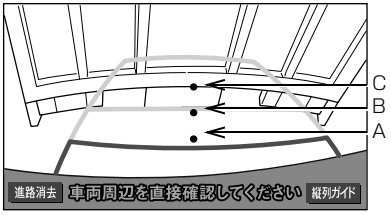
予想進路線について



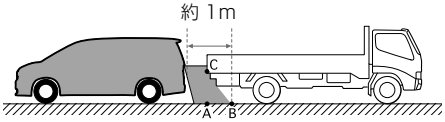


●後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。

距離目安線について



A、B、C の位置

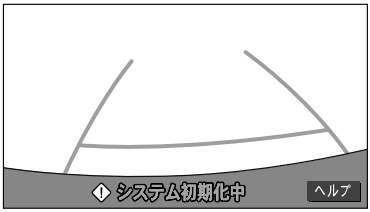


●後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、距離目安線により B の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置にトラックの後端があります。画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A と C より遠い距離にあります。

システム初期化中画面が表示されたときは

シフトレバーを Ⓡ にして、システム初期化中画面が表示されたときは初期化作業を行ってください。（バッテリー＜補機バッテリー＞能力の低下など）

▶システム初期化中画面



■初期化作業

次のいずれかの操作をします。

- 車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいにまわしたあと、右いっぱいにまわします。（左右どちらが先でも可）
- できるだけ曲り角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約 5 分間以上走行します。

通常の画面にもどれば、設定終了です。

注意

- 上記操作を行っても、画面が切り替わらないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

知識

- システム初期化中画面で、ヘルプ にタッチすると、操作方法を表示させることができます。

画面に表示された操作をして、通常の画面に戻れば設定終了です。

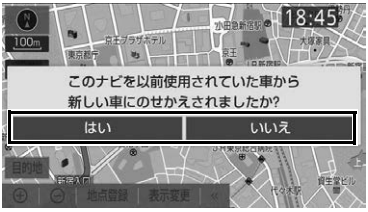
システム初期化中画面、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

OK にタッチすると、元の画面に戻ります。

バッテリー<補機バッテリー>の脱着後や本機の載せ替えをしたときは

バッテリー<補機バッテリー>の脱着や本機を載せ替えた場合、起動時に確認画面が表示されます。本機を載せ替えた場合、必ずお買い上げの販売店でバックガイドモニターの設定を行ってください。

1 はい または いいえ にタッチ。



- 本機を載せ替えたとき
  ➡ はい にタッチ。
- 本機を載せ替えていないとき
  ➡ いいえ にタッチ。
- はい にタッチしたとき
  ➡ 次に表示される画面で OK にタッチ。

10. 知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

下記のような症状で気になったりお困りになったときは、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
予想進路線が表示されない。	「駐車ガイド線表示モード」になっていませんか。	進路表示モードに切り替えてください。（→ P.369）

1. マルチビューバックガイドモニターについて

マルチビューバックガイドモニターはバックガイドモニター機能を使用できる他、カメラの映像を 3 つの視点で表示することができます。

基本的な操作方法や注意点については「バックガイドモニター」（→ P.366 ～ P.392）をご覧ください。

※ 車種により、マルチビューバックガイドモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

バックガイドモニター機能

車両後方の映像をモニター画面に映し出し、駐車時などの後退操作について補助します。

縦列駐車時は音声でも案内します。

- 並列駐車（車庫入れ等）
- 縦列駐車（路側駐車等）

視点切替機能

- ノーマルモード … バックガイドモニター機能と同じ視点です。ハンドル操作に連動したガイド線が表示されます。縦列駐車への切り替えや、ガイド線を消すことができます。
- ワイドモード … ノーマルモードと比べ、左右に広い範囲の映像を表示することができます。ハンドル操作に連動したガイド線が表示されます。ガイド線を消すことができます。車両後退時の左右安全確認をサポートする視点です。
- 2 画面モード … ノーマルモードと比べ、左右に広い範囲の映像と、上方から見下ろした映像を同時に表示することができます。車両後退時の安全運転をよりいっそうサポートする視点です。

（知 識）

- 2 画面モードで表示している場合、車幅延長線などのガイド線を消すことができません。また、ハンドル操作に連動した予想進路線などのガイド線は表示されません。（→ P.396）
- ワイドモードで表示している場合、縦列ガイドモードへの切り替えはできません。（→ P.376）
- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。
- 装着するカメラの種類により、カメラレンズの雨滴を除去する機能があります。雨滴除去機能の操作方法や注意点については「雨滴除去機能」（→ P.400）をご覧ください。

☆印は販売店装着オプションです。

運転時の注意について

⚠ 警告

- マルチビューバックガイドモニターは、後退操作を補助する装置です。過信しないで注意して運転してください。後退するときは、必ず目視やミラーなどで車の後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。
  お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
  画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。特に周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 後退するときは、ブレーキペダルを踏んで速度調整しながら、ゆっくり後退してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。(→ P.398)
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れたりすることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- 各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。十分理解した上で、マルチビューバックガイドモニターをご使用ください。
- 駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから後退してください。

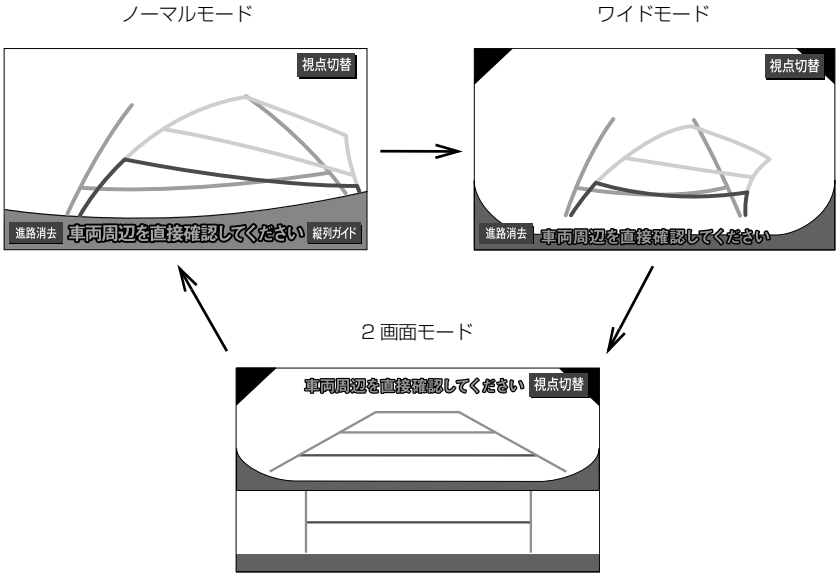
⚠ 警告

- 道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 以下のような状況では、マルチビューバックガイドモニターを使用しないでください。
  - ・ 雪道、凍結した道などのすべりやすい路面
  - ・ タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - ・ トランクまたはバックドアが完全に閉まっていないとき
  - ・ カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路
- タイヤを交換するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。タイヤ交換やタイヤサイズを変更すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。
- 本機能は、各車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け替えるときは必ずお買い上げの販売店でマルチビューバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください。（そのままでは本機能をご使用になれない車種があります）

2. カメラの視点切替方法

視点の切り替えかた

カメラ映像表示時に 視点切替 にタッチするごとに視点を切り替えることができます。



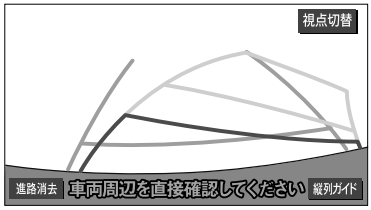
- ノーマルモード … バックガイドモニター機能と同じ視点です。ハンドル操作に連動したガイド線が表示されます。縦列駐車への切り替えや、ガイド線を消すことができます。
- ワイドモード … ノーマルモードと比べ、左右に広い範囲の映像を表示することができます。ハンドル操作に連動したガイド線が表示されます。ガイド線を消すことができます。車両後退時の左右安全確認をサポートする視点です。
- 2 画面モード … ノーマルモードと比べ、左右に広い範囲の映像と、上方から見下ろした映像を同時に表示することができます。車両後退時の安全運転をよりいっそうサポートする視点です。

知 識

- 縦列ガイドモード中は視点を切り替えることができません。

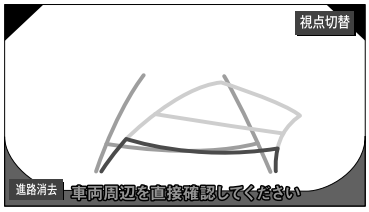
画面の見かた

▶ノーマルモード



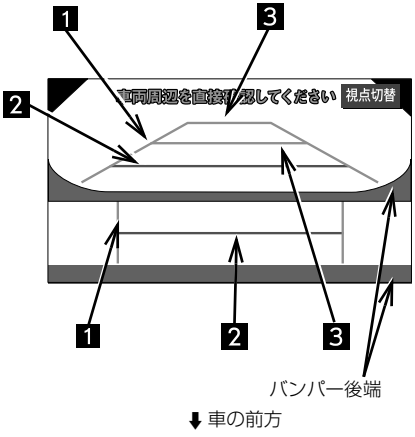
バックガイドモニターの「画面の見方」（→ P.371、P.374）をご覧ください。

▶ワイドモード



バックガイドモニターの「画面の見方」（→ P.371、P.374）をご覧ください。

▶2 画面モード



1 車幅延長線（緑色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。

- 実際の車幅より広く表示しています。

2 距離目安線 約 0.5m 先（赤色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。

- 約 0.5m 先を示します。

3 駐車ガイド線 （緑色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。

- 約 1m 先（1 本目）·約 2.7m 先（2 本目）を示します。

⚠ 警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

3. マルチビューバックガイドモニターについての注意点

画面に映る範囲

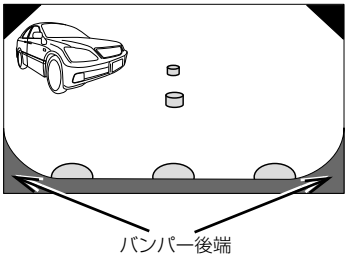
▶ノーマルモード

バックガイドモニターの「画面に映る範囲」（→ P.387）をご覧ください。

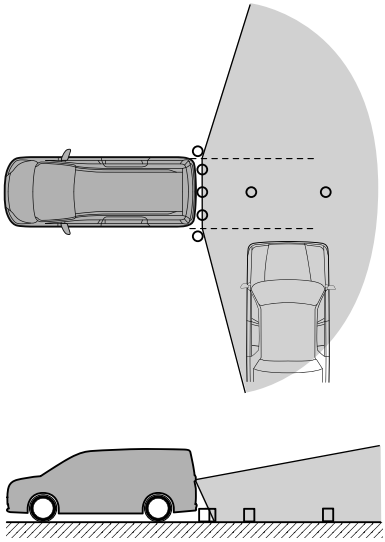
▶ワイドモード

ノーマルモードより左右に広い範囲の映像が映ります。

■画面



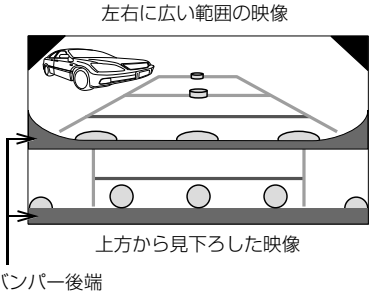
■映る範囲



▶2 画面モード

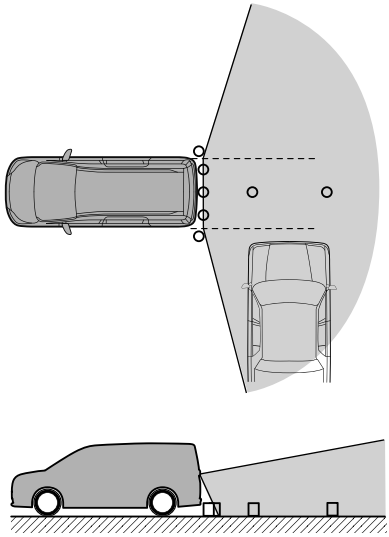
ノーマルモードより左右に広い範囲の映像と上から見下ろした映像が映ります。

■画面

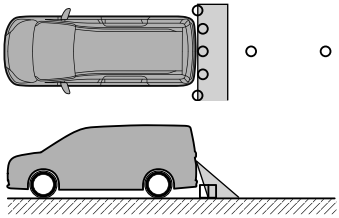


■映る範囲

● 左右に広い範囲の映像



● 上から見下ろした映像



● マルチビューバックガイドモニターの画質は、ショートカット + コントロール画面（→ P.28）で 画質調整 にタッチすると、調整できます。（→ P.54）

知 識

● 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
● バンパー後端の見え方は車種により異なります。
● カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
● マルチビューバックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
● カメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。
● 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映り込むことがあります。
● 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  ・ 暗いところ（夜間など）
  ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  ・ カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
  ・ バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき

カメラについて

車両の後方に取り付けられています。

注意

● マルチビューバックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
  ・ カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
  ・ カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  ・ カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  ・ カメラのカバーは樹脂、レンズはガラスですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  ・ 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
  ・ 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落するおそれがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
● カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
● スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

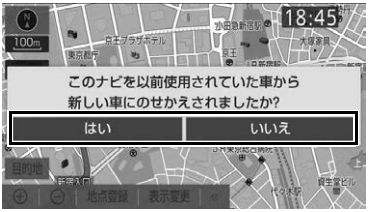
知 識

● カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像を見ることができません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤で洗い流してください。

バッテリー<補機バッテリー>の脱着後や本機の載せ替えをしたときは

バッテリー<補機バッテリー>の脱着や本機を載せ替えた場合、起動時に確認画面が表示されます。本機を載せ替えた場合、必ずお買い上げの販売店でマルチビューバックガイドモニターの設定を行ってください。

1 **はい** または **いいえ** にタッチ。



● 本機を載せ替えたとき

➡ **はい** にタッチ。

● 本機を載せ替えていないとき

➡ **いいえ** にタッチ。

● **はい** にタッチしたとき

➡ 次に表示される画面で **OK** にタッチ。

1. 雨滴除去機能について

バックカメラレンズに付着した雨滴を、エアー（空気）を噴射して除去する機能です。
エアーを噴射するタイミングは次の3種類があります。

- カメラ映像画面をフリック操作したとき
- カメラ映像画面の 雨滴除去 にタッチしたとき（→P.401）
- シフトレバーを Ⓡ にしたとき（→P.401）

⚠ 警告

- 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。
- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- カメラを下から覗かないでください。エアーが目に噴射されてゴミが入るおそれがあります。ゴミが入った場合は、すみやかに医師にご相談ください。
- 本機の取り付け場所変更時は、安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 本機を車載用以外で使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。

注意

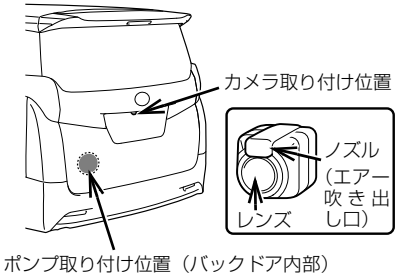
- 雨滴除去機能が正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
  - 洗車時に高圧洗浄機でカメラやノズルに直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落するおそれがあります。また、内部に水が入り、故障やノズルの損傷などの原因となります。
  - カメラに有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。機能が低下するおそれがあります。付着したときは、すぐに拭き取ってください。ノズルが詰まるなど故障の原因となります。
  - カメラが汚れている場合は、柔らかい布で拭き取ってください。強くこすると傷の原因や、機能低下の原因になります。
  - カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
- ノズルが詰まったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- エアーが噴射されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

知識

- エアーを噴射して雨滴を除去する機能のため、すべての付着物（雪や着氷、泥や汚れなど）を除去することはできません。また、動作後もレンズに雨滴が残る場合もあります。

☆印は販売店装着オプションです。

カメラ、ポンプの取り付け位置について



知識

- 取り付け位置は、車種によって異なります。
- エアーが噴射するたびに、ポンプ取り付け位置よりエアーを噴射する音がしますが異常ではありません。

エアーの噴射について

■自動噴射

次の場合、エアーが自動で噴射されます。

動作条件	噴射回数
シフトレバーを Ⓡ にしたとき	2回

- 自動噴射は、する / しないを設定できます。初期設定では「しない」になっています。（→ P.401）
- カメラに雨滴が残っている場合は、手動操作によりエアーを噴射してください。

■手動噴射

次の操作を行うことでエアーを手動で噴射することができます。

動作条件	噴射回数
カメラ映像画面をフリック操作したとき（→ P.21）	1回
カメラ映像画面の 雨滴除去 にタッチしたとき	1回

- カメラ映像画面の 雨滴除去 表示は、する / しないを設定できます。（→ P.401）
- カメラ映像画面によって、雨滴除去 が表示される位置が異なります。
- 自動噴射後の6秒間、手動噴射後の3秒間は、噴射操作ができません。

知識

- 雨が降っていないときや雨滴が付着していないときでも、動作条件でエアーが噴射されます。
- 各操作のタイミングにより、エアーが噴射されなかったり、規定回数とならない場合があります。

雨滴除去機能を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 運転支援 → カメラ設定 → バックカメラ雨滴除去設定

2 各項目を設定する。

項目	内容
リバース時の自動エアー噴射	シフトレバーを Ⓡ にしたときに自動でエアーを噴射する / しないを設定できます。
カメラ映像画面での雨滴除去スイッチ表示	カメラ映像画面に 雨滴除去 を表示する / しないを設定できます。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
シフトレバーを Ⓡ にしたときにエアーが噴射されない。	映像がナビゲーション画面に表示される前にエアーが噴射されている。	雨滴が残っている場合は手動操作によりエアーを噴射してください。(→ P.401)
	リバース時の自動エアー噴射が「しない」に設定されている。	リバース時の自動エアー噴射を「する」に設定してください。(→ P.401)
シフトレバーを "P" から "D" へ移動するときにエアーを噴射する。	一定時間シフトレバーを Ⓡ にした状態のため。	リバース時の自動エアー噴射を「しない」に設定することで、シフトレバーを Ⓡ にしたときの噴射を停止できます。(→ P.401) この場合は、手動操作によりエアーを噴射してください。(→ P.401)
エアー噴射後の雨滴が残っている。	レンズが汚れている。	柔らかい布で拭き取ってください。
	すべての雨滴を一度で除去できない。	雨滴が残っている場合は、手動操作によりエアーを噴射してください。(→ P.401)
	ノズルが詰まっている。	お買い上げの販売店へご相談ください。
雪や氷、泥などの汚れが除去できない。	雨滴を除去する装置のため。	柔らかい布で拭き取ってください。
ポンッと音がする。	ユニットが作動している音。	故障ではありません。そのままご使用ください。

1. バックモニターについて

車両後方の映像をモニター画面に映し出し、ガイド線で駐車時の後退操作を補助する装置です。

※ 車種により、ガイド線が表示できないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

知識

● 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

運転時の注意について

⚠ 警告

● バックモニターは、後退操作を補助する装置です。過信しないで注意して運転してください。後退するときは、必ず目視やミラーなどで車の後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。

● 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。特に周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。

● 後退するときは、ブレーキペダルを踏んで速度調整しながら、ゆっくり後退してください。

⚠ 警告

● カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。(→ P.406)

● 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れたりすることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

● 駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから後退してください。

● 以下のような状況では、バックモニターを使用しないでください。
- 雪道、凍結した道などのすべりやすい路面
- タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
- トランクまたはバックドアが完全に閉まっていないとき
- カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路

● タイヤを交換するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。タイヤ交換やタイヤサイズを変更すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

☆印は販売店装着オプションです。

2. ガイド画面の出しかた

ガイド画面の出しかた

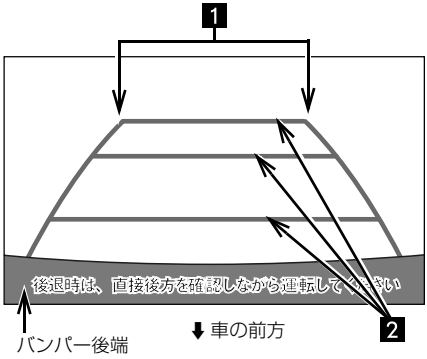
1 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ > がイグニッション ON モード< ON モード>のとき、シフトレバーを Ⓡ にする。

● 解除するとき
➡ シフトレバーを Ⓡ 以外にする。

知 識

● シフトレバーを Ⓡ にしていても、MAP ・ AUDIO など各モードのスイッチを押すと、押したスイッチのモード画面に切り替わります。

画面の見かた



1 車幅延長線（黄色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。
- 実際の車幅より広く表示しています。

2 距離目安線

車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。
- ハンドル操作と連動しません。
- 約 0.5m 先（1 本目）・約 1m 先（2 本目）・約 2.7m 先（3 本目）を示します。

⚠ 警告

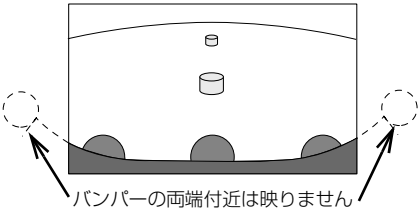
● 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
● 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

3. バックモニターについての注意点

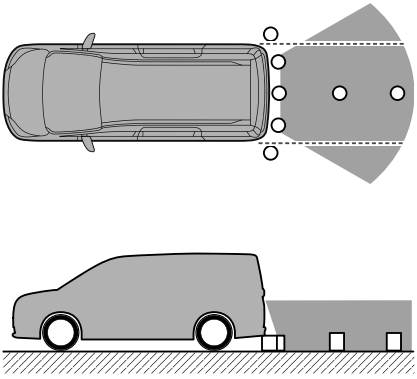
画面に映る範囲

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

■画面



■映る範囲



● バックモニターの画質は、ショートカット＋コントロール画面（→ P.28）で 画質調整 にタッチすると、調整できます。（→ P.54）

知 識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- バンパー後端の見え方は車種により異なります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- バックモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- カメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映りこむことがあります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
  - バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき

カメラ

車両の後方に取り付けられています。

注意

- バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
  - カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
  - カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  - カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  - カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
  - 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落するおそれがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

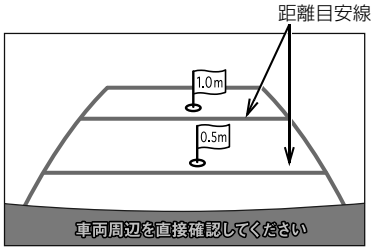
知識

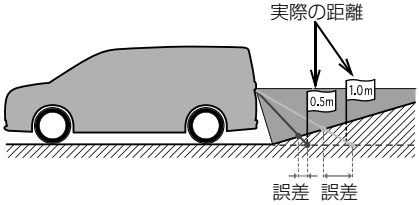
- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像を見ることができません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

画面と実際の路面との誤差について

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

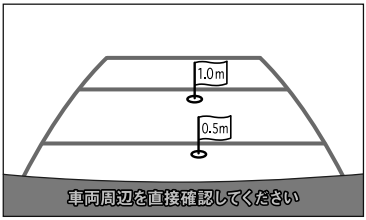
急な上り坂が後方にあるとき

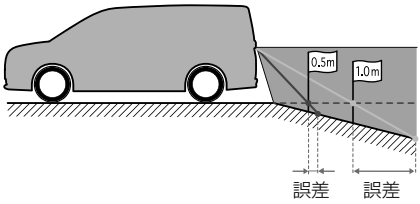




- 実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

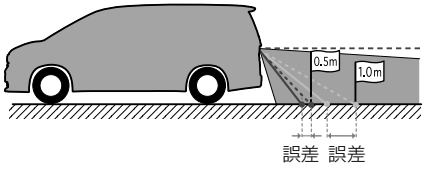
急な下り坂が後方にあるとき





●実際の距離より遠くに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

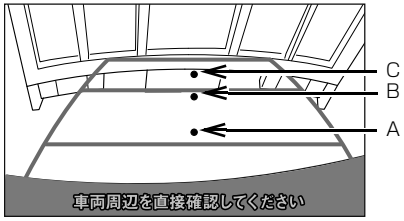
車が傾いているとき



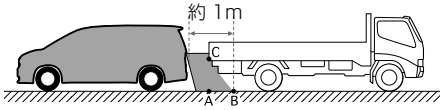
●乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

立体物が近くにあるとき

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことにご注意ください。



A、B、C の位置



●後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、距離目安線により B の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置にトラックの後端があります。画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A と C より遠い距離にあります。

バッテリー<補機バッテリー>の脱着後や本機の載せ替えをしたときは

バッテリー<補機バッテリー>の脱着や本機を載せ替えた場合、起動時に確認画面が表示されます。本機を載せ替えた場合、必ずお買い上げの販売店でバックモニターの設定を行ってください。

1 **はい** または **いいえ** にタッチ。

- 本機を載せ替えたとき
  ➡ **はい** にタッチ。
- 本機を載せ替えていないとき
  ➡ **いいえ** にタッチ。
- **はい** にタッチしたとき
  ➡ 次に表示される画面で **OK** にタッチ。

1. ブラインドコーナーモニター/ コーナービューモニターについて

車両周辺の映像をモニター画面に映し出すことができます。

- ブラインドコーナーモニター … 車両前方直下、または見通しの悪い交差点やT字路などで、車両の左右前方を確認することができます。
- コーナービューモニター … 左側前方のフロントバンパーに装着したカメラで縦列駐車や車庫入れをする際に車両の左前方を確認することができます。

※ 車種により、ブラインドコーナーモニター機能やコーナービューモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

(知 識)

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

運転時の注意について

⚠ 警告

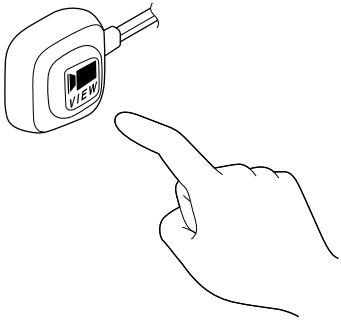
- ブラインドコーナーモニター／コーナービューモニターを過信しないで注意して運転してください。走行するときは、必ず目視やミラーなどで車の前方や左右、周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。
- 画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。
  画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て走行すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。(→ P.415)
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れたりすることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

☆印は販売店装着オプションです。

2. 画面の出しかた

画面の出しかた

1 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>がイグニッション ON モード< ON モード>で車速が約 12km/h 未満のとき、カメラ映像呼び出しボタンを押す。



画面の解除

次の場合は、映像が解除されます。

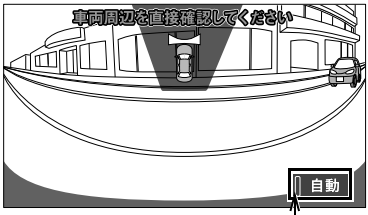
- 走行を開始し、車速が約 12km/h 以上になったとき
- シフトレバーを Ⓡ にしたとき
- MAP など各モードのスイッチを押したとき

自動表示設定

車速や車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>の位置によって自動的にカメラ映像の画面に切り替わるように設定することができます。

周辺の映像表示中（→ P.410）

1 自動 にタッチ。



作動表示灯

- タッチするごとに、自動で表示する条件が切り替わり、条件によって作動表示灯の色が変わります。

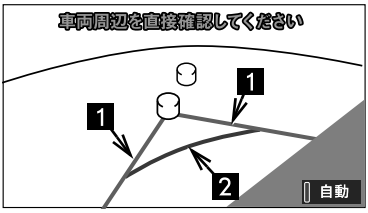
作動表示灯	自動表示設定	表示条件
青色	自動 (速度による)	減速して約 10 km/h 以下になったとき
橙色	自動 (起動時のみ)	車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にしたとき
消灯	手動	カメラ映像呼び出しボタンを押したとき（自動表示しない）

知 識

- シフトレバーが Ⓡ のとき、ブラインドコーナーモニターの映像を表示することができません。
- 自動表示の切り替え車速は、メーターに表示されている車速と異なる場合があります。

画面の見かた

▶コーナービューモニター



1 距離目安線 約 0.2m 先（青色）

平らな路面における車両左側面および車両前面から約 0.2m の距離を表しています。

2 距離目安線 約 0.3m 先（赤色）

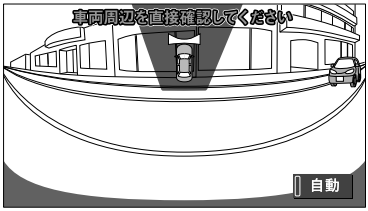
平らな路面における車両左前角から約 0.3m の距離を表しています。

3. ブラインドコーナーモニター／コーナービューモニターについての注意点

画面に映る範囲

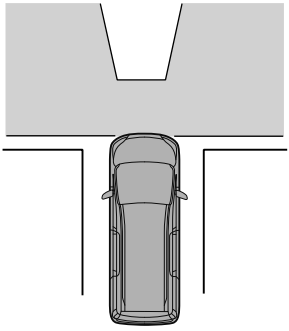
▶ブラインドコーナーモニター
車両の左右前方が映ります。

■画面

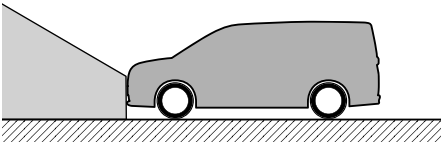


■映る範囲

左右方向

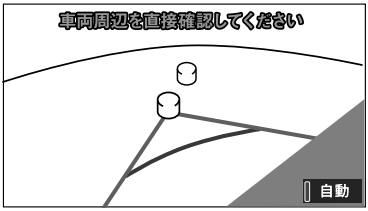


上下方向



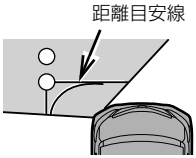
▶コーナービューモニター
車両の左前方が映ります。

■画面

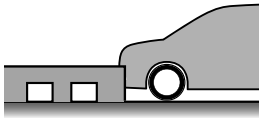


■映る範囲

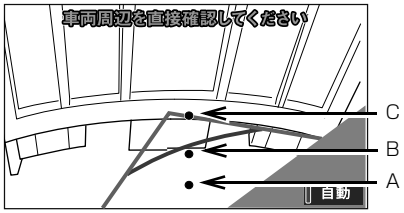
左前方向



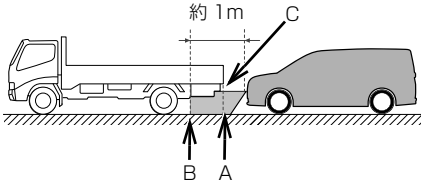
上下方向



■距離目安線



A、B、C の位置



- 距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。
  画面では、距離目安線により約 1m 先（B の位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置にトラックの後端があります。
  画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A、C より遠い距離にあります。

- ブラインドコーナーモニターやコーナービューモニターの画質は、ショートカット + コントロール画面（→ P.28）で 画質調整 にタッチすると、調整できます。（→ P.54）

知 識

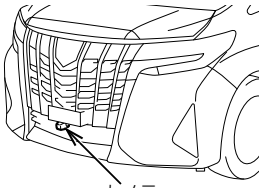
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- 画面に車両の一部（バンパーやグリル、ライセンスプレートなど）が映ることがあります。
- ブラインドコーナーモニターやコーナービューモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  - 太陽やヘッドランプの光りが直接カメラのレンズに当たったとき
- カメラは赤外線を検知するため、実際の色合いと異なることがあります。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下では、照明および照明の照らされている部分がちらついているように見えることがあります。（フリッカー現象）
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり見づらくなることがあります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

知 識

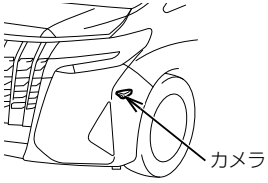
● 次のようなときは故障ではありません。
- 雨の日など湿度が高いときは、カメラが曇ることがあります。
- 夜間走行のときなどに、前方の車のランプや建物などの灯りが映像に映り込むことがあります。
- 夜間など暗い場所では、ノイズを目立たなくするために、白黒映像のように見えたり、実際とは異なった色で見えます。
- 画面の中央や四隅は映像の鮮明度が低下することがありますが、故障ではありません。

カメラについて

▶ブラインドコーナーモニター



▶コーナービューモニター



注意

● ブラインドコーナーモニターやコーナービューモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、レンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのレンズはガラスまたはプラスチックですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして、急激な温度変化を与えないでください。
- 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落するおそれがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。

● カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。

● スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

● カメラの表面に飛び石などで傷がつくことがあります。

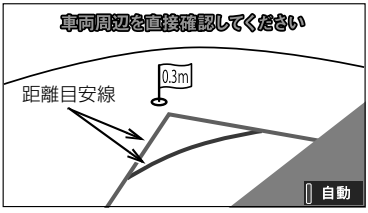
(知 識)

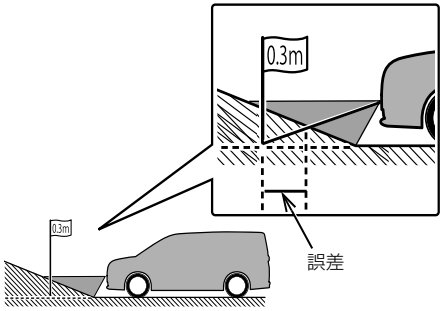
● カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像を見ることができません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

画面と実際の路面との誤差について

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

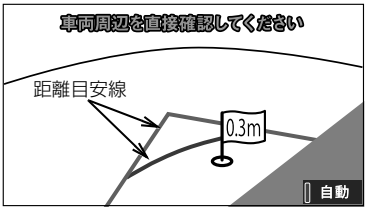
急な上り坂があるとき

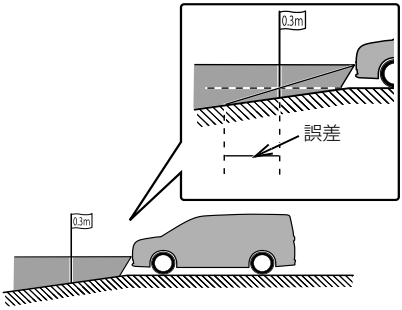




● 実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様に距離目安線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

急な下り坂があるとき





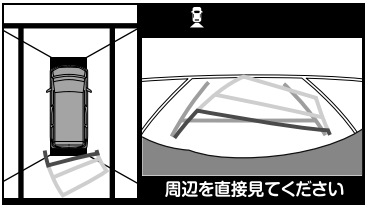
● 実際の距離より遠くに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様に距離目安線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

1. パノラミックビューシステムについて

パノラミックビューシステムは、車両に取り付けたフロント、サイド、バックカメラの映像を合成して画面上に車両上方からの映像を表示させることで、低速時の運転を補助する装置です。

シフトレバーを Ⓡ にしたとき後方の映像を表示します。また、車両に装着されている VIEW を押すと、映像切替えができます。

- 画面は一例です。車両により異なります。



詳しい操作については、お車の取扱書をご覧ください。

また、対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

⚠ 警告

- 画面だけを見ながら運転することは絶対にしないでください。画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て運転すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。運転するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 映像が表示されないなど、パノラミックビューシステムが故障したときは、道路運送車両の保安基準に適合しないおそれがありますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

⚠ 注意

- バッテリー<補機バッテリー>の脱着や本機を載せ替えた場合、起動時に確認画面が表示されます。本機を載せ替えた場合、必ずお買い上げの販売店でパノラミックビューシステムの設定を行ってください。

☆印は販売店装着オプションです。

7

ドライブレコーダー

1 ドライブレコーダー

1. ドライブレコーダーについて.....418
2. 録画ファイルを再生する.....419
3. ドライブレコーダーの設定について.....422

販売店装着オプションのカメラ別体型ドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）、またはカメラ一体型ドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）を装着した場合に操作することができます。
本書では、販売店装着オプションのカメラ一体型ドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）が装着された画面を使用しています。
ドライブレコーダー本体の取り扱いや、ナビ連動タイプ以外のドライブレコーダーについては、各ドライブレコーダーに同梱の取扱書をご覧ください。

1. ドライブレコーダーについて

ドライブレコーダーは、走行中や駐車時の映像・音声などを microSD カードに記録します。

さまざまな方法で録画した映像・音声などは、本機で再生することができます。
また、本機を操作して手動で録画することもできます。

手動録画について

常時録画中に本機を操作することで、録画された映像・音声を保存します。

1 地図画面で手動録画アイコンにタッチ。

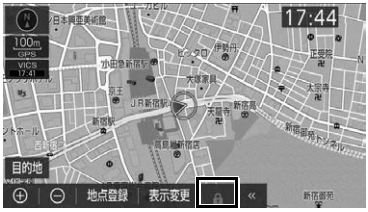
- 録画時間については、各ドライブレコーダーに同梱の取扱書をご覧ください。

知 識

- HOME 画面（→ P.23）からも同様の操作ができます。
- 録画映像の画質を変更することができます。（→ P.422）
- カメラ別体型ドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）を接続している場合は、周辺録画カメラによる録画をする／しないを設定することができます。（→ P.422）

録画中のアイコン表示について

アイコンは録画の状態によって変わります。



アイコン	録画の状態
イベント	常時録画中
	イベント録画中
	ドライブレコーダーに microSD カードが挿入されていないなど録画できない状態

☆印は販売店装着オプションです。

2. 録画ファイルを再生する

録画ファイルの再生方法について

録画ファイルの再生方法には、次の2通りの方法があります。

- リストから録画ファイルを選択して再生する
- 地図画面の録画アイコンを選択して再生する

(知 識)

- 録画ファイルを再生中は録画を停止します。

リストから選択して再生する

すべての録画ファイルを対象として、リストから選択して再生します。

リスト画面の詳細は、「録画ファイルの再生画面の見方」(→ P.420) を参照してください。

1 MENU ▶ 情報 → ドライブレコーダー → 全ての録画映像をリストから選択

- HOME 画面 (→ P.23) からも同様の操作ができます。

2 再生したい録画ファイルにタッチ。

- 選択した録画ファイルが再生されます。

地図画面の録画アイコンを選択して再生する

イベント録画で記録された地点に録画アイコンが表示されます。

1 MENU ▶ 情報 → ドライブレコーダー → イベント録画映像を地図から選択

- HOME 画面 (→ P.23) からも同様の操作ができます。

2 再生したい録画アイコンにタッチ。

3 選択 にタッチ。

- 選択した録画アイコンのファイルリスト (→ P.420) が表示されます。

4 再生したい録画ファイルにタッチ。

- 選択した録画ファイルが再生されます。

録画ファイルの再生画面の見かた

▶録画ファイルリスト画面

▶イベント録画映像リスト画面

番号	スイッチ / 表示	機能
1	ファイルリスト	録画されたファイルのリストを表示します。
2	録画アイコン	録画モードのアイコン ：衝撃検知録画 ：手動録画 ：駐車時イベント録画 ：フロント録画（カメラ別体型ドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）のみ） ：周辺録画（カメラ別体型ドライブレコーダー (ナビ連動タイプ）のみ）
3	再生画面	画面にタッチ、または 全画面 にタッチすると、全画面表示になります。 全画面表示の画面にタッチすると、リスト画面に戻ります。
4	再生時間表示	再生時間の経過をバーで表示します。
5	画質調整	画質調整画面を表示します。（→ P.54）
6	早送りスイッチ	タッチし続けると早送りします。指を離すと、その位置から再生します。
7	一時停止／再生スイッチ	再生を一時停止します。再度タッチすると、再生します。
8	早戻しスイッチ	タッチし続けると早戻しします。指を離すと、その位置から再生します。
9	録画日時 / ファイル日時	録画された日時を表示します。
10	イベント発生日時	イベントが発生した日時を表示します。

3. ドライブレコーダーの設定について

ドライブレコーダーの設定を変更する

ドライブレコーダーの各種設定を変更することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ドライブレコーダー → ドライブレコーダー設定

2 各項目を設定する。

- 設定画面から次の項目を設定できます。

3 完了 にタッチ。

G センサー感度

衝撃を検知するセンサーの感度を「高感度」、「標準」、「PC 設定値」の中から設定できます。

- 「PC 設定値」は、パソコンを使って専用のビューアーソフトで設定した数値です。
- 専用のビューアーソフトで一度も設定を変更していない場合は、「PC 設定値」に設定すると、「標準」と同じ設定になります。

駐車時の常時録画

駐車後も常時録画する / しない、および時間を「60 分」、「30 分」、「しない」の中から設定できます。

駐車時のイベント録画

駐車時イベント録画のする / しない、および衝撃検知感度を「高感度」、「標準」、「PC 設定値」の中から設定できます。

- 「PC 設定値」は、パソコンを使って専用のビューアーソフトで設定した数値です。
- 専用のビューアーソフトで一度も設定を変更していない場合は、「PC 設定値」に設定すると、「標準」と同じ設定になります。

駐車時録画の通知

車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にした後に駐車時イベント録画が発生した場合、本機の電源を入れたときに録画の発生を通知する / しないを設定できます。

録画画質

録画画質を「高画質」、または「標準」のいずれかで設定できます。

周辺録画カメラの録画 ※

周辺録画カメラを使って録画する / しないを設定できます。

- 「する」に設定すると、録画画質は「標準」になります。

※ カメラ別体型ドライブレコーダー (ナビ連動タイプ) を接続している場合のみ。

8

ETC システム /ETC2.0 サービス /TSPS

1 ETCシステム

1. ETCシステムについて.....424

2. ETC 画面の操作.....428

3. エラーコードについて.....431

4. 知っておいて
いただきたいこと.....434

2 ETC2.0サービス

1. ETC2.0ユニット
（光アンテナ付）について.....435

3 TSPS

1. TSPS
（Traffic Signal Prediction
Systems）を使用する.....437

販売店装着オプションのナビ連動 ETC システムまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を取り付けたときに使用することができます。
本書では、販売店装着オプションのナビ連動 ETC システムまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）が装着された車両の画面での操作のみを説明しています。ETC 車載器や ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）本体の操作については、ETC 車載器または ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）の取扱書をご覧ください。ETC2.0 ユニット（VICS 機能付）を装着の場合は、ETC2.0 ユニット(光アンテナ付)を､ETC2.0 ユニット(VICS 機能付)と読み替えて本書をご使用ください。

1. ETC システムについて

ETC システムの概要

ETC（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
路側無線装置と車両の ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）との間で通信を行い、料金はお客様が登録された ETC カードの引き落とし口座から後日引き落とされます。

ETC を利用する前に

ETC サービスを利用する際には、次の点に注意してください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は走行中に ETC カードの抜き差し、および ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）の操作を極力しないでください。
  走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。

注意

- その他、ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を用いたサービス（スマート IC 等）には、様々な制約があります。
  サービス提供者が案内する利用方法をご確認ください。

ETC カードを挿入する前

⚠ 警告

- ETC カードの有効期限切れにご注意ください。
  ETC カードの有効期限が切れていると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。お手持ちの ETC カードに記載された有効期限を、あらかじめ確認してください。
- ETC カード接点に汚れが付着していないか確認してください。
  ETC カード接点に手の脂や化粧品等の汚れが付着していると、ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）内部のカード接点に汚れが転写・堆積し、ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）で ETC カードを認証できなくなり、エラーが発生したり、開閉バーが開かなくなるおそれがあります。
  このような現象が発生した場合は、ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）内部および ETC カード接点のクリーニングを実施してください。クリーニング方法についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

注意

- ETC カードは必ずエンジン＜ハイブリッドシステム＞始動後に挿入してください。
  ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

☆印は販売店装着オプションです。

ETC カードを挿入した後

⚠ 警告

- ETC を利用する際は、あらかじめ ETC カードが確実に ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）に挿入されていることと、ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）が正常に作動していることを確認してください。開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）が ETC カードを認証するまでには数秒かかりますので、料金所手前で ETC カードを挿入すると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- ETC カード接点に手の脂や化粧品等の汚れが付着していると、ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）が ETC カードを認証できない場合があります。ETC カード接点のクリーニング方法についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

料金所を通過するときは

⚠ 警告

- ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）と路側無線装置の間の通信、あるいは ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）と ETC カードとの通信が正常に行われなかった場合は、ETC レーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 通行料金の請求を受ける料金所で、ETC 車線が閉鎖されている場合は、係員のいる車線（一般車線または混在車線）で ETC カードでの支払いが可能です。無理な車線変更は危険ですので、おやめください。

※ETC 車線の機器の点検等により、ETC 車線を閉鎖している場合がありますのでご注意ください。

- ETC レーンの進入は、十分な車間距離をとり、約 20km/h 以下の安全な速度で進入してください。
- ETC レーンを通行するときは、前車との車間距離を保持した上で、開閉バーの手前で安全に停止できるように十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認してから通行してください。
- ETC レーンで、開閉バーが開かない等の理由で停止された場合には、危険ですので絶対に車をバックさせないでください。バックすると後続車に追突される危険がありますし、バックして他のレーンに入りなおすことはエラー発生の原因となります。また、後続車のエラーを誘発することとなり危険です。料金所での案内、または係員へ知らせた後、その案内にしたがってください。

注意

- ETCカードをETCユニットまたはETC2.0ユニット（光アンテナ付）に挿入し忘れてETC 車線を通過された場合などは、速やかに、当該道路を管理する道路事業者（高速道路会社など）に通行の状況を連絡してください。
- 入口料金所の ETC 車線で通信エラー等により、通行券を受け取られた場合には、出口料金所での料金のお支払いは、係員のいる車線（一般車線または混在車線）で、一旦停車して、ETC カードと通行券を係員にお渡しください。
- 通行料金の請求を受ける料金所で異常が発生した場合は、料金所での案内、または係員へ知らせた後、その案内にしたがってください。
- 入口料金所を ETC で通行した場合、出口料金所で ETC 車線がご利用できないとき、あるいは設置されていないときは、係員のいる一般車線で一旦停止して、ETC カードを係員にお渡しください。
- 有料道路の利用開始から利用終了までは、同一の ETC カードを継続してご使用ください。
  料金所以外にも路側無線装置が設置されている箇所があり、ETC カードには走行中、通行料金の計算に必要な情報が記録されます。途中でカードを入れ替えると正しく通行料金が計算されない場合があります。
- ETC 無線通信ができなかった際に、再度無線通信を行うためのリカバリーアンテナが設置されている料金所があります。対応方法については、料金所係員の指示にしたがってください。

知 識

- 領収書はその場では発行されません。通行時、その場で証明が必要な場合は係員のいる車線（一般車線または混在車線）で一旦停止の上、ETC カードで料金清算し通常の利用明細書をもらってください。
  現在、ETC で無線走行されたときの利用証明書を、インターネットによりお客様のプリンターから印刷できます。詳細は道路事業者にお問い合わせください。
- 均一料金制の有料道路では、出口部に設置された路側無線装置（フリーフローシステム）との通信により料金が払い戻される場合があるため、出口通過まで ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）に ETC カードを挿入しておく必要があります。

スマート IC について

⚠ 警告

- スマート ＩC は、ETC 専用インターチェンジです。
  所定の方法で車両に取り付け・セットアップされた ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）に、有効な ETC カードを確実に挿入し、ETC システムをご利用可能な場合に通行することができます。
- 運営時間、出入方向および対象車種等に制約がありますのでご注意ください。
- スマート ＩC では、車が停止した状態で通信のやりとりが行われ、開閉バーが開くシステムとなっておりますので、必ず開閉バーの手前で一旦停止してください。なお、一旦停止してもバーが開かない場合には、車線に設置された通信開始ボタンを押してください。
- 開閉バーが開かない場合は、開閉バーの手前で停車してインターホン等で係員を呼び、案内にしたがってください。

注意

● 通行止めなどが実施された場合や道路を管理する上で必要な場合、やむを得ず、予告なく出入口が閉鎖されることがあります。この場合、最寄りの ＩＣ をご利用ください。

ETC カードの有効期限案内について

ETC カードの有効期限が当月、または切れている場合、音声と画面表示で案内されます。

● ETC カードを挿入する、または挿入した状態で車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ ON モード＞にすると、「ETC カードの有効期限が切れています」などと案内されます。

⚠ 警告

● 本機能は、ETC カードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。ETC を使用する前は、必ず ETC カードに記載されている有効期限を確認してください。

注意

● 有効期限切れ ETC カードでは、開閉バーは開きません。有効期限内の ETC カードをご利用ください。
● バッテリー＜補機バッテリー＞を脱着したあとに起動した場合、GPS 情報受信後、数分間は有効期限切れ案内されないことがあります。(→ P.172)

知 識

● 通知設定画面の ETC 音声案内 (→ P.430) を「しない」に設定していても、ETC カードの有効期限は案内されます。

2. ETC 画面の操作

ETC 画面を表示する

1 MENU ▶ 情報 → ETC

2 ETC 画面が表示される。

ETC カードメッセージについて

現在の ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）の状態が表示されます。

メッセージ	状態
ETC カード確認中	ETC カードを読み込んでいます。
ETC カード挿入済み	ETC カードが挿入されていることを確認しました。
システム異常	ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）に何らかの異常が発生しています。
ETC カード異常	ETC カードを読み込むことができませんでした。
ETC カード未挿入	ETC カードが挿入されていません。
未セットアップ	ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）がセットアップされていません。
セットアップ完了	ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）がセットアップされました。
カード挿入済み ETC レーン通行不可	ETC カード以外のカードが挿入されています。

ETC 割込表示について

有料道路にある ETC ゲートを通ったときや、エラーが発生したときに表示されます。

知 識

- 表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の割込表示・音声による案内は行われない場合があります。

ETC マーク表示について

ETC カードを挿入すると、画面上部に ETC マークが表示されます。

ETC マーク表示

- ETC マーク表示はカード挿入状態を表しており、必ずしも ETC ゲートを通過できることを表してはいません。
- ETC カードの有効期限が切れている場合は、ETC マークは表示されません。

履歴を表示する

1 MENU ▶ 情報 → ETC

2 履歴情報表示 にタッチ。

3 履歴表示を切り替える。

最新 ：最新の履歴に戻る

詳細 ：利用区間を表示する

⚠ 警告

- ETC ゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができなくなるなど、ETC レーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

(知 識)

- 表示させることができる履歴は、ETC カードに記録されるため、記録件数は使用する ETC カードにより異なります。(最大 100 件)
- 道路事業者の設定する料金所情報に追加・変更があった場合、利用区間が正しく表示されないことがあります。

統一エラーコードを表示する

最後に発生した統一エラーコードが確認できます。

1 MENU ▶ 情報 → ETC

2 エラー発生時、登録情報表示 にタッチ。

ETC/ETC2.0 登録情報を表示する

お客様の車の ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）に登録された情報が表示されます。

1 MENU ▶ 情報 → ETC

2 登録情報表示 にタッチ。

- エラー発生時は、最後に発生した統一エラーコードも表示されます。

ETC の通知設定をする

1 MENU ▶ 設定・編集 → ETC → 通知設定

2 設定したい項目にタッチし、「する」/「しない」を切り替える。

次の設定を変更することができます。

項目	内容
ETC 割込表示	「ETC 割込表示」（→ P.428）
ETC 音声案内	ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を利用するときに、音声を出力します。
ACC オン時警告表示	車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを画面に表示して警告します。
ACC オン時警告音声案内	車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを音声で警告します。
カード抜き忘れ警告	ETC カードが挿入されている状態で、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>から OFF にしたとき、カードの抜き忘れを ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）からの音声で警告します。

知 識

● 通知設定画面で ETC 割込表示を「しない」に設定すると、エラー発生時に統一エラーコードが画面表示されません。
ETC 画面の 登録情報表示 で確認してください。（→ P.429）

3. エラーコードについて

統一エラーコード一覧について

エラーが発生すると、統一エラーコードが画面に表示されます。
この場合は、次の表にもとづき、処置をしてください。

（例）エラー 01 が発生したときは、次のように音声で案内されると同時に、統一エラーコードが画面に表示されます。
音声案内：「ポーン ETC カードが挿入されていません」
画面表示：「ETC カードが挿入されていませんコード〔01〕」

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処置
01	ETC カード挿入異常	• ETC カードが通信時に挿入されていない • ETC カードの挿入状態が悪い	ETC カードの挿入状態をご確認の上、再度挿入してください。
02	カード読込異常	• ETCカードからの読込エラー • ETC カードと ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）の接点不良（ETC カードアクセス中の瞬断） • 読出し中に、ETC カードが排出された	**[ETC カード挿入時]** 挿入された ETC カードのデータが読み出せませんでした。再度挿入してください。それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。 **[ETC ゲート通過前]** 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。 車両停止後、料金所係員の指示にしたがってください。 **[ETC ゲート通過後]** 次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。料金所係員のいる一般レーン（ETC ／一般 共用レーンを含む）へ進入してください。
03	ETC カード異常	• ETC カードが故障している • ETC カードと ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）の接点不良 • ETCカード以外のカードが挿入され、通信しない • ETC カードの誤挿入（裏面、挿入方向違い）	挿入されたカードが ETC カードであることを認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などをご確認の上、再度挿入してください。 それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処置
04	ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）故障	自己診断結果により、ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）が故障している	再度エンジン＜ハイブリッドシステム＞を始動してみてください。それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
05	ETC カード情報の異常	• ETCカードとの認証エラー • ETC カードと ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）の接点不良 • ETCカード以外の IC カードが挿入 • 認証中 ETC カードが排出された • 未セットアップ状態での ETC カードの挿入	挿入されたカードが ETC カードであることを認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などをご確認の上、再度挿入してください。 それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
06	ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）情報の異常	路側無線装置との認証エラー	ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。料金所係員の指示にしたがってください。
07	通信異常	路側無線装置との通信が途中で終了	
	ETC アンテナ接続異常	ETC アンテナの結線がはずれている場合	カードを抜くと異常警告が止まります。ETC の利用を中止して、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
11	ETC カード書込異常	• ETC カードへの書込エラー • ETC カードと ETC2.0 ユニットまたは ETC2.0 ユニット (光アンテナ付) の接点不良（ETC カードアクセス中の瞬断） • 書込中に ETC カードが排出された	**[ETC ゲート通過前]** 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。 車両停止後、料金所係員の指示にしたがってください。 **[ETC ゲート通過後]** 次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。料金所係員のいる一般車線（ETC ／一般共用車線を含む）へ進入してください。

知 識

- 以下の設定にした場合は、エラーが発生しても音声案内は出力されません。ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）からブザー音のみが出力されます。
  - ・ 通知設定画面で、ETC 音声案内（→ P.429）を「しない」に設定したとき
  - ・ ナビゲーションの音量設定画面（→ P.46）で、「消音」に設定したとき
- ETC カード未挿入お知らせアンテナなどと通信した際に、統一エラーコード〔01〕と通知されることがありますが、ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）の故障ではありません。
- ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）の無線通信を利用して、駐車場管理システムが運用されています。有料道路の料金支払いと異なる通信を行った場合、画面表示・登録情報表示 で確認できる統一エラーコードが〔01〕もしくは〔07〕と表示されることがありますが、ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）の故障ではありません。
- ETC ゲート通過後にエラーが発生した場合、ETC カードを抜くとエラー音が停止します。この場合、再度 ETC カードを挿入すると、「ポーン ETC カードが挿入されました」の音声と同時に緑ランプが点灯しますが、次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。

4. 知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

ETC の操作でお困りの際は、まず以下の表にもとづき確認してください。
処置をしてもなおらないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
ETC の料金を音声案内しない。	ETC の通知設定で ETC 割込表示 を「しない」、ETC 音声案内 を「しない」の設定にしていませんか。	ETCの通知設定で ETC 割込表示 を「する」、ETC 音声案内 を「する」にしてください。
ETC 履歴情報を表示できない。	ETC カードは挿入されていますか。	ETC カードを挿入してください。

1. ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）について

ご利用の前に

各サービスをご利用される前に、ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）のセットアップ手続きが必要です。セットアップ手続きについては、お買い上げの販売店にご相談ください。（セットアップ手続きには別途費用が発生します。）

ETC2.0 サービスで提供されるサービス内容について

道路沿いに設置された路側無線装置と車に搭載された「ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）」との間で双方向の高速・大容量通信を行うことにより、広域な道路交通情報や安全運転を支援する情報を、音声や画面への表示でリアルタイムに提供するサービスです。

DSRC（Dedicated Short Range Communication：スポット通信）
これまで ETC に用いられてきた通信方式で、高速で大容量の情報を送受信することが可能です。

提供サービス		主なサービス内容	ページ
ダイナミックルートガイダンス	県境を越える広域な道路交通情報を利用して、ナビがリアルタイムに最適な走行ルートを提供します。	リアルタイムに最適な走行ルートを提供	–
道路交通情報	進行方向先の交通状況や、SA・PA の混雑状況、施設情報などを画面や音声で案内します。	前方状況情報提供（音声、図形表示、画像表示）	189
		施設情報提供	189
		ハイウェイラジオ情報読上げ	189
		ETC2.0 走行情報のアップリンク	191
安全運転支援情報	見通しの悪いカーブ先の渋滞などを、路側無線装置から受信して、音声と画面で案内します。	前方障害物情報提供（音声、図形表示）	188
ETC	有料道路に設置された路側無線装置とETC2.0 ユニット（光アンテナ付）が通信を行うことによって、自動で料金を精算するシステムです。	自動料金支払い機能	424

- VICS サービス（FM 多重放送、光ビーコン）については、「VICS・交通情報を活用する」（→ P.185）を参照してください。

☆印は販売店装着オプションです。

⚠ 注意

- ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）は、今後のシステム変更や上記以外のサービスに対応できない場合があります。また、路側無線装置から提供される通信データが予告なく停止しサービスが受けられない場合があります。あらかじめご了承ください。詳しくは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

ETC2.0 画面の操作

- 表示される画面の使い方などについては、「ETC 画面の操作」（→ P.428）をご覧ください。

1. TSPS(Traffic Signal Prediction Systems)を使用する

TSPS（Traffic Signal Prediction Systems：信号情報活用運転支援システム）は、ドライバーの認知・判断の遅れや誤りを低減するための運転支援機能です。
信号の交通管制情報を、道路上に設置された TSPS 用路側装置から受信し、車の走行状態や受信情報から、必要に応じてドライバーに判断・操作を行うための客観的な情報を提供します。
販売店装着オプションのナビ連動 ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）を装着したときのみ受信することができます。ただし、ETC2.0 ユニット（VICS 機能付）を装着している場合、本機能は使用できません。

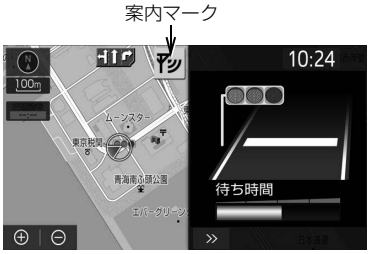
- TSPS は警察庁が推進しているプロジェクトです。2014 年から 21 都府県でサービスが始まり、順次全国展開される予定です。
- 本サービスの対象交差点などの TSPS プロジェクトに関するお問い合わせについては、「ETC2.0・TSPS の問い合わせ先について」（→ P.438）をご覧ください。
- TSPS に関する規格は、一般社団法人 UTMS 協会によって策定されています。また、本製品はそれらに基づいて作られています。

⚠ 警告

- TSPS 運転支援機能はあくまでも補助機能です。
  案内を過信せず、常に道路標識・信号表示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知 識

- 案内マークについて
  - 案内マークは運転支援の対象区間内で、かつ運転支援が可能な場合に表示されます。
  - 表示中の画面によっては、案内マークが表示されない場合があります。



知 識

- 以下のようなときは、TSPS 機能が作動しない、または案内の内容が実際の道路状況と異なる場合があります。
  - ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）の上に物を置いたり、窓が汚れたりして、TSPS 用路側装置との通信が遮られたとき
  - TSPS 用路側装置に木の葉や雪などが付着して、通信が遮られたとき
  - 雨天時等、ワイパーが作動して TSPS 用路側装置の通信が遮られたとき
  - TSPS 用路側装置や ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）に太陽光などが差し込んだとき
  - TSPS 用路側装置の通信エリアに駐停車車両があり、通信できないとき
  - TSPS 用路側装置の通信エリアに他の車両と並走して進入したとき
  - TSPS 用路側装置や感知器、信号機など路側装置の機器メンテナンス作業や故障等によって、通信ができないとき、または誤った情報が本機に提供されたとき

☆印は販売店装着オプションです。

(知 識)

- TSPS 用路側装置通過時の速度が著しく速いとき
- TSPS 用路側装置の近くに他の TSPS 用路側装置が設置されているとき
- TSPS 用路側装置の向きが変わってしまっているとき（台風等）
- 車両始動直後に TSPS 用路側装置を通過したとき
- 本機に故障等があり、受信した情報を正しく処理できないとき
- 本機または車両に改造をしたとき
- システムの誤差などでナビゲーションが現在地を特定できないとき
- 遅い速度で走行しているとき
- 安全に停車できない速度で走行しているとき
- サービス対象地点の地図データがないとき
- 自車位置が特定できないとき
- データの有効時間を過ぎてしまったとき

ETC2.0・TSPS の問い合わせ先について

トヨタ販売店への問い合わせについて

■以下の内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ETC2.0 ユニット（光アンテナ付）の調子・機能・使用方法・その他に関するもの
- TSPS 運転支援機能に関するもの
- その他上記に類するもの

VICS センターへの問い合わせについて

■以下の内容は VICS センターにご相談ください。

- TSPS の概念・事業計画に関するもの

お問い合せ窓口：お客様相談窓口
電話番号：0570-00-8831
平日 9:30 ～ 17:45（土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHS、IP 電話等からはご利用できません。
※お電話のお問い合わせにつきましては、内容の正確な確認のため、録音させていただいております。
FAX 番号：
03-3562-1719（24 時間受付）
ホームページ：
次のアドレスでも連絡先をご覧いただけます。
https://www.vics.or.jp/
連絡先およびアドレスは、予告なしに変更・休止することがあります。
ご了承ください。

9

ITS Connect

1 ITS Connect

1. ITS Connectについて.....440

2. ITS Connect
案内マークの見方.....442

3. 割り込み表示による
通知・案内・注意喚起.....443

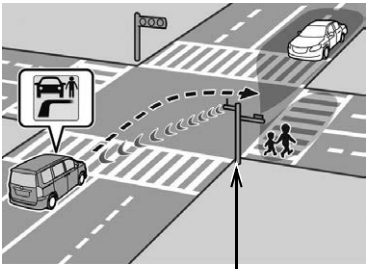
1. ITS Connect について

ITS Connect の概要

ITS Connect は、交通情報や周辺車両の情報を受信することにより、安全運転や快適な運転を支援するシステムです。

安全運転を支援する通知・案内・注意喚起

ITS Connect は、道路に設置された DSSS※ 用路側装置や通信機を搭載した車両と無線通信することで、見通しが悪い交差点の交通状況などの情報を受信します。



DSSS 用路側装置

- 受信した情報は、状況に応じて通知・案内や注意喚起として表示され、運転者に注意を促すことにより安全運転を支援します。

※ DSSS（Driving Safety Support Systems）とは、運転者の認知・判断の遅れや誤りによる交通事故を未然に防止することを目的とするシステムで、警察庁が推進しているプロジェクトです。

（知 識）

- 本システムは、TRON Forum（旧:T-Engine フォーラム）（www.tron.org）の T-License2.0 に基づき T-Kernel ソースコードを利用しています。

（知 識）

- 本システムは、ITS Connect 推進協議会が規定する相互接続性確認試験に適合しています。
  機種名 :DTU-1010
  型式認定番号 :10005
- 本システムは、周波数 760MHz の電波を発信するため、お車を海外へ持ち込んだ場合はその国の関連法規に違反する場合があります。
- ITS Connect に関するお問い合わせ（機器の調子・機能・使用方法や DSSS 用路側装置の整備計画など）はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 道路に設置されている DSSS 用路側装置の種類により発信している情報が異なるため、交差点によって作動する通知・案内・注意喚起は異なります。
- 以下のような状況などでは、車両の位置や向きを正しく特定できず、本システムが正常に作動しないおそれがあります。
  - 高いビルや高い街路樹に囲まれているとき
  - トンネルや高架下を通過しているとき
  - エンジン<ハイブリッドシステム>を始動してから、しばらく走行するまでのあいだ
- 以下のような状況などでは、正しく通信ができず、本システムが正常に作動しないおそれがあります。
  - 周囲に大型車が走行しているときなど、通信がさえぎられたとき
  - 通信を妨害する電波が発せられているとき
  - DSSS 用路側装置の向きがかわってしまっているとき
  - DSSS 用路側装置がメンテナンス中や故障しているとき
  - 他車両の通信機が故障しているとき

☆印は販売店装着オプションです。

⚠ 警告

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。
  常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
  ITS Connect はあらゆる状況で安全運転の支援をするものではありません。システムに頼ったり、安全を委ねる運転をしたりすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ITS Connect は安全運転の支援を目的として設計していますが、その効果はさまざまな条件によりかわり、常に同じ性能を発揮できるものではありません。
  「DSSS （Driving Safety Support Systems）安全運転支援機能を使用する／安全・快適走行の設定をする」（→ P.87、P.158）をお読みいただき、システムを過信せず安全運転に努めてください。
- 次のような状況では、ITS Connect は作動しません。
  - 交差点に DSSS 用路側装置が設置されていないとき
  - 接近してくる緊急車両に通信機が搭載されていないとき
- 交差点に進入する方向によっては、作動する通知・案内・注意喚起が異なる場合があります。
- 右折時注意喚起は、DSSS 用路側装置が設置された交差点であっても、DSSS 用路側装置の種類や交差点に進入する方向によっては、対向車のみを検知し、歩行者に対する注意喚起をしない場合があります。
  そのため、注意喚起の表示内容が実際の交通状況と異なる場合があります。「割り込み表示による通知・案内・注意喚起」（→ P.443）をお読みいただき、必ず自らの目視による安全確認を行ってください。

注意

- ITS Connect 機器取り扱いの注意
  - ITS Connect 機器は電波法の基準に適合しています。
    ITS Connect 機器に貼り付けられているラベルはその証明ですのではがさないでください。
  - ITS Connect 機器を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

2. ITS Connect 案内マークの見方

ITS Connect の機能が利用可能なとき、次の案内マークを表示して通信の接続状態をお知らせします。表示中の画面によっては、案内マークが表示されない場合があります。

案内マーク	接続状態
	道路に設置された DSSS 用路側装置から必要な情報を取得できている
	通信機を搭載した車両から必要な情報を取得できている
	道路に設置された DSSS 用路側装置、および通信機を搭載した車両、両方から必要な情報を取得できている

3. 割り込み表示による通知・案内・注意喚起

状況に応じて、次の通知・案内・注意喚起を表示します。ただし、表示中の画面によっては、表示されない場合があります。

右折時注意喚起

交差点で右側方向指示灯を点滅させて右折待ちをしているときに、対向車や歩行者がいるにもかかわらず発進しようとしているなど、対向車や右折先の歩行者を見落している可能性があるとシステムが判断したときに、音声と表示で注意喚起を行います。

交差点に設置されている DSSS 用路側装置（感知器）の種類によって、注意喚起の表示は次のように異なります。

▶対向車および歩行者を感知する交差点

▶対向車のみを感知する交差点

・注意喚起の表示内容は、実際の交通状況と異なる場合があります。
・一定時間経過後に注意喚起が消えますが、周囲に車や人がいないことを示すものではありません。

● 右折時注意喚起をする/しないを設定できます。（→ P.158）

赤信号注意喚起

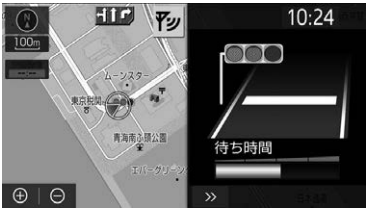
赤信号の交差点手前にさしかかってもアクセルペダルを踏み続けているなど、赤信号を見落している可能性があるとシステムが判断したときに、音声と表示で注意喚起を行います。

● 赤信号注意喚起をする/しないを設定できます。（→ P.158）

信号待ち発進準備案内

赤信号で停車したとき、青信号にかわるまでの待ち時間の目安をバー表示で表します。

待ち時間が残り少なくなるとバー表示が消え、まもなく信号がかわることを表します。



● 信号待ち発進準備案内を表示する/しないを設定できます。（→ P.158）

緊急車両存在通知

緊急車両（救急車）がサイレンを鳴らして近辺を走行しているときに、自車に対する緊急車両のおおよその方向・距離・進行方向を音声と表示で通知します。

緊急車両の距離と進行方向が表示されていないときは、自車のすぐ近くに緊急車両がいることを表します。

● 緊急車両存在通知を案内する/しないを設定できます。（→ P.159）

（知 識）

● 信号待ち発進準備案内と緊急車両存在通知については、現在地画面でのみ通知・案内されます。

10

ハンズフリー

1 はじめに

1. ハンズフリーについて 446
2. Bluetooth機器使用上の注意事項について.....450

2 ハンズフリーで通話する

1. ハンズフリーの準備をする.....451
2. ステアリングスイッチで操作する 454
3. 電話をかける／受ける 456

3 ハンズフリーの便利な使い方

1. 色々な方法で電話をかける.....459
2. 着信中画面の操作 464
3. 通話中の操作.....466
4. 簡易画面について 470

4 ハンズフリーの設定を変更する

1. 設定・編集画面を表示する.....471
2. 音量の設定をする 472
3. 電話帳を編集する 473
4. ハンズフリーの詳細設定を変更する.....480
5. Bluetooth設定をする 481

5 こんなときは

1. 故障とお考えになる前に.....485

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をお買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1. ハンズフリーについて

動作確認済の Bluetooth 携帯電話※（以下「携帯電話」）を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

※ 本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）でご確認ください。

本システムに接続する携帯電話が対応していなければならない仕様については、「Bluetooth 対応プロファイルについて」（→ P.614）をご覧ください。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。
- 安全な場所に停車して電話をかけてください。運転中に電話がかかってきたときは、安全運転に留意し、通話は手短にしてください。

注意

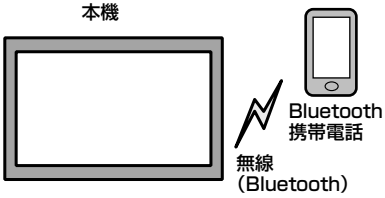
- 携帯電話は車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

Bluetooth 携帯電話について

Bluetooth 携帯電話は、本機と携帯電話との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

以前の携帯電話では、ハンズフリーを利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth 携帯電話では、ケーブル接続することなく、ハンズフリーを利用することができます。

例えば、ポケットなどに携帯電話をいれたままでも、そのままの状態でハンズフリーがご利用いただけます。



※ 本システムでは、有線（ケーブル）接続の携帯電話はご利用になれません。

注意

- Bluetooth 携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

知 識

- Bluetooth 携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 携帯電話は、Bluetooth 接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

ハンズフリーが使用できないとき

● 次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。
- 通話エリア外のとき
- 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- 緊急通報中のとき
- 携帯電話から電話帳データを転送中のとき
- 携帯電話がダイヤルロックされているとき
- データ通信中など、携帯電話が使用中のとき
- 携帯電話が故障しているとき
- 携帯電話が本機に接続されていないとき
- 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- 携帯電話の電源が OFF のとき
- 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
- 本機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき（切り替え中は本機の Bluetooth 接続状態表示が表示されません。）
- その他、携帯電話自体が使えないとき

知 識

● ヘルプネットをご利用の場合は、次のような制限があります。
- ヘルプネット動作中はハンズフリーを使用できません。
  また、ヘルプネット動作中は電話を切る操作による回線切断ができません。ただし、呼び返し待機中は、ハンズフリーで発信できます。
- 着信中、応答保留中または通話中画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリーは強制終了されて、ハンズフリー画面が解除されます。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（→ P.57）

なお、個人情報の初期化を行うと、二度と元の状態に戻すことはできません。

間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

● ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。
- 電話帳データ
- 画像データ
- 発信または着信の履歴データ
- ワンタッチダイヤル
- Bluetooth 電話機の登録情報
- ハンズフリー関連の設定・編集項目

音声について

● 発信後および着信後は、音声認識用マイクおよびスピーカーを通して通話できます。

● 着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。

● ハンズフリーで音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声などはミュート（消音）されます。ただし、ハンズフリーより優先される音声（ナビ案内など）は、ミュート（消音）されません。

知 識

● 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。（故障ではありません。）

知 識

- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。音量が大きい場合、次のようになることがあります。
  - ・ 通話相手の音声が車外にもれる。
  - ・ 通話相手側にエコーが聞こえる。
- 音声は大きくはっきりとお話しください。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  - ・ 悪路走行時
  - ・ 高速走行時
  - ・ 窓を開けているとき
  - ・ エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
  - ・ エアコン送風の音が大きいとき
  - ・ 携帯電話をマイクに近づけたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 通話相手の音声が聞こえにくいときは、携帯電話側のノイズを抑制する設定（ノイズキャンセラーなど）を OFF にすると、機種によっては改善される場合もあります。
- 他の Bluetooth 対応機器（ポータブル機、スマートフォン）が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

受信レベル表示について

電波の受信レベルの目安を表示します。

受信レベル表示

表示	
レベル	圏外　弱 ←→ 強

知 識

- の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できません。 の表示が消えるところまで移動してください。
- 受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。
- 機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
- の表示が出ているときは、携帯電話が本機に接続されていません。ハンズフリーを利用する場合は、Bluetooth 接続してからご利用ください。

電池残量表示について

携帯電話の電池残量の目安を表示します。

電池残量表示

表示	
残量	無　少 ←→ 多

知 識

- 電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 本システムには携帯電話の充電機能はありません。

Bluetooth 接続状態表示について

携帯電話の Bluetooth 接続状態を表示します。

表示	接続状態
(青色)	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。
(灰色 / 白色) ※	この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になるまで、携帯電話を移動してご使用ください。
	携帯電話が Bluetooth 接続されていない状態を示しています。この状態では携帯電話でのハンズフリーは使用できませんので、再度、携帯電話の選択をご確認ください。(→ P.481) 携帯電話の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。(→ P.52)

※ テーマ切替 (→ P.57) の設定により表示の色が異なります。

知 識

- Bluetooth 通信用のアンテナは本機内に内蔵されています。
  次のような場所や状態で Bluetooth 携帯電話を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が灰色 / 白色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。
  - 携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき
    (携帯電話がシートの後ろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど)
  - 携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき

  Bluetooth 携帯電話を使用するときは、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth 接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

2. Bluetooth 機器使用上の注意事項について

● この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

● この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
想定与干渉距離は 10m 以下です。
この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

（知 識）

● 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。

● 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

● Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。
植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器およびそれ以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

Bluetooth オーディオと同時に使用するとき

● Bluetooth オーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 対応機器（携帯電話）を同時に使用するときは、次のようになります。
・ 携帯電話の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
・ ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
・ ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。

● Bluetooth オーディオを再生中にハンズフリーで使用する通信機器の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。

● 電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがあります。
この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

● ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。

● 本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店、またはトヨタのパソコンサイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）でご確認ください。

1. ハンズフリーの準備をする

ハンズフリーの設定をする

ここでは、ハンズフリーを使用するための基本的な操作について説明しています。

初めてハンズフリーを使われる方やすぐにハンズフリーを使いたいという方は、まずこの章をご覧の上、操作してみてください。

ハンズフリーを使用する前に、まず使用する通信機器の設定をします。

携帯電話を登録する

Bluetooth 携帯電話を使用するためには、携帯電話を本機に初期登録する必要があります。（→ P.52）

携帯電話を接続する

Bluetooth 携帯電話の本機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

知 識

- 携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth オーディオの再生中に接続動作を行った場合、オーディオ再生しているポータブル機、または携帯電話の接続を切断します。
- Bluetooth オーディオの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中に Bluetooth オーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。

携帯電話を自動で接続する

Bluetooth 詳細設定の ACC ON 時の自動接続（→ P.484）を「する」に設定すると、自動で Bluetooth 接続できます。

車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にするたびに、本機は過去の接続履歴順に Bluetooth 接続します。

■Bluetooth 接続確認表示

Bluetooth 詳細設定の電話機の接続確認案内（→ P.484）で「する」を選択しているときは、電話機が Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。

ハンズフリーを使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認表示

- Bluetooth 接続状態表示でも確認できます。（→ P.449）

知 識

- 接続完了の案内は、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にした後、携帯電話と Bluetooth 接続完了したときに表示されます。（ヘルプネット動作後に再接続した場合は表示されません。）

知 識

- 携帯電話の機種によっては車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>がアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF に設定してください。
  (設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。)
- 電話帳／履歴自動転送（→ P.480）を「する」に設定しているときに PBAP に対応している携帯電話を接続すると、電話帳、発着信履歴は自動で同期を取ります。

■自動接続できなかった場合

接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。

携帯電話を手動で接続する

携帯電話の自動接続が失敗したときや自動接続 OFF 状態にしているときに Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

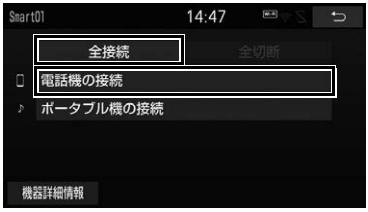
1 電話画面表示中（→ P.459）→ 接続
または
MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 携帯電話を Bluetooth 接続可能な状態にする。

3 使用する携帯電話にタッチ。

- または にタッチすると携帯電話の接続を開始します。

4 全接続 または 電話機の接続 にタッチ。



5 Bluetooth 接続画面が表示される。

- 他の機器を Bluetooth 接続しているときは、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

6 Bluetooth 接続状態表示を確認する。

知 識

- 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

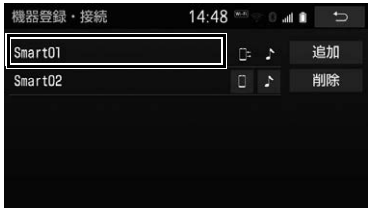
携帯電話の接続を切る

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

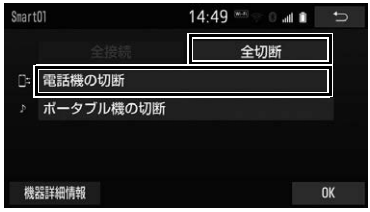
または

MENU ▶ 電話 → 接続

2 接続を切る携帯電話にタッチ。



3 全切断 または 電話機の切断 にタッチ。



Bluetooth 接続の再接続について

車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>がアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>のときに一度接続が成立した Bluetooth 接続が、Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、再接続処理を自動的に行います。

(知 識)

- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ P.452)

Bluetooth 接続が切断された場合

携帯電話側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

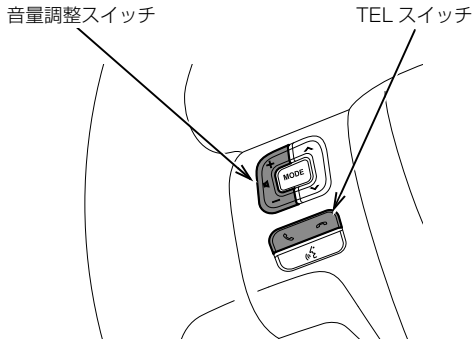
- 次のいずれかの方法で再接続してください。

項目	ページ
手動で接続する	452
改めて携帯電話を選択する	481

2. ステアリングスイッチで操作する

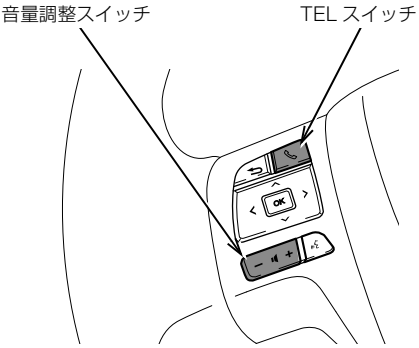
ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリングスイッチで電話の主な操作をすることができます。

▶TEL スイッチ 2 ボタンタイプ



スイッチ	使用状況	機能
音量調整スイッチ ⊖·⊕	着信時 ハンズフリー会話時	− ：受話音量・着信音量が小さくなります。 ＋ ：受話音量・着信音量が大きくなります。 • 押し続けても連続して調整できません。
	着信時 応答保留時	電話をとることができます。
	が画面に表示されているとき	電話をかけることができます。
	ハンズフリー以外の画面が表示されているとき	ハンズフリー画面に切り替わります。
	着信時	応答保留することができます。
		約 2 秒間長押しすると、着信拒否することができます。
	応答保留時	着信拒否することができます。
	発信中 通話中	電話を切ることができます。 • 音声操作で電話をかけている場合、操作が中止されます。
	通話中、応答保留中の着信時	着信拒否することができます。約 2 秒間長押しすると、通話中、応答保留中の通信を含め切断することができます。

▶TEL スイッチ 1 ボタンタイプ



スイッチ	使用状況	機能
音量調整スイッチ ㊀·㊉	着信時 ハンズフリー会話時	− ：受話音量・着信音量が小さくなります。 ＋ ：受話音量・着信音量が大きくなります。 • 押し続けても連続して調整できません。
	着信時 応答保留時	電話をとることができます。
	が画面に表示されているとき	電話をかけることができます。
	発信中 通話中	電話を切ることができます。 • 約 2 秒間長押しすると、通話中、応答保留中の通信を含め切断することができます。 • 音声操作で電話をかけている場合、操作が中止されます。
	ハンズフリー以外の画面が表示されているとき	ハンズフリー画面に切り替わります。

(知 識)

● お車によっては、スイッチのデザインが異なる場合があります。
● 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。

3. 電話をかける／受ける

ダイヤル発信する

電話番号を入力して電話をかけることができます。

1 停車中に MENU を押す。

2 電話 にタッチ。

- 携帯電話が登録されていないときはメッセージが表示されます。
  はい にタッチすると、携帯電話の登録（→ P.52）を開始します。

3 電話番号を入力する。

4 にタッチ。

- 発信できたとき
  ➡ 発信画面が表示される。
  ・ 発信音が出力された後、呼び出し音が出力されます。
- 相手が電話に出たとき
  ➡ 通話中画面が表示され、通話を開始する。

- その他の電話のかけ方について
  ➡「色々な方法で電話をかける」（→ P.459）

知 識

- 電話画面を表示しているときに走行を開始すると、メッセージが表示され 10 キーが操作できなくなります。
- Bluetooth 携帯電話は、本機に携帯電話を登録して Bluetooth 接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。（→ P.52）
- 携帯電話は Bluetooth 機能を使用できる状態にしてご使用ください。
  携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth 接続状態表示が切断表示の場合は、携帯電話でのハンズフリーはご使用になれません。
- 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
  ・ 発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
  ・ 通信事業者のサービスにより発信中画面で 10 キー入力する必要がある場合、10 キー入力をしてもトーン信号を送れないことがあります。10 キー入力については、「10 キー入力する」（→ P.469）をご覧ください。
- Bluetooth オーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。
- 携帯電話の機種により、発信操作後に携帯電話の操作が必要になる場合があります。

電話を切る

1 次のいずれかの操作をする。

▶TEL スイッチ 2 ボタンタイプ

・発信中または通話中画面で にタッチ。
・携帯電話本体で電話を切る。
（携帯電話接続時）

▶TEL スイッチ 1 ボタンタイプ

・発信中または通話中画面で にタッチ。
・携帯電話本体で電話を切る。
（携帯電話接続時）

知 識

● 電話が切れると 1 つ前の画面に戻ります。

電話を受ける

着信があると、表示中の画面に関わらず着信画面と着信音で着信を知らせます。着信画面は、着信割込み表示の設定（→ P.480）により表示画面が異なります。ここでは、「全画面」に設定したときの画面で説明します。

簡易画面については、「簡易画面について」（→ P.470）をご覧ください。

着信音については、「着信音設定」（→ P.472）をご覧ください。

▶着信中の全画面表示
（TEL スイッチ 2 ボタンタイプ）

▶着信中の全画面表示
（TEL スイッチ 1 ボタンタイプ）

1 にタッチ。

知 識

- 周辺監視画面表示中は、着信中画面を表示しません。着信音のみで着信を通知します。
- 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声（ナビ案内など）は、ミュートされません。
- ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。
  携帯電話の操作については、携帯電話の取扱説明書でご確認ください。
  - ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
  - 着信音設定で「電話機の着信音」以外に設定している場合、携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定していても、本機に登録されている着信音が出力されます。
  - 着信音については、
    ①車両のスピーカーから聞こえる
    ②車両のスピーカーおよび携帯電話から聞こえる
    など、機種によって異なります。着信音設定で「電話機の着信音」以外に設定している場合、着信音は本機に登録されている音が出力されます。
  - 機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
  - 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
  - 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、本機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
  - Bluetooth オーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。

知 識

- PBAP に対応している携帯電話で、電話帳の画像データが転送された場合、着信時の画像表示（→P.480）が「する」に設定されていると、電話番号と共に画像が表示されます。

1. 色々な方法で電話をかける

ここでは、ダイヤル発信以外の電話のかけ方について説明します。

電話画面を表示する

1 停車中に MENU を押す。

2 電話 にタッチ。

3 電話をかける。

- この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

発信方法	内容	ページ
ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかける	456
電話帳発信	本機の電話帳から電話をかける	459
履歴発信	発信または着信の履歴から電話をかける	460
ワンタッチ発信	ワンタッチダイヤルから電話をかける	461

- その他、次の方法で電話をかけることもできます。

発信方法	内容	ページ
音声認識発信	音声認識で電話をかける	343、461
ナビからの発信	ナビに登録しているデータ、または T-Connect で検索したデータから電話をかける	462
HOME 画面からの発信	HOME 画面から電話をかける	462

電話帳から発信する

電話番号を本機に登録（→ P.473）しておくと、電話帳から電話をかけることができます。

電話画面（→ P.459）

1 電話帳 にタッチ。

- 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。
  - PBAP に対応していない携帯電話の場合、編集 にタッチすると、電話帳名称変更画面（→ P.476）が表示されます。転送 にタッチすると、電話帳更新画面（→ P.473）が表示されます。
  - PBAP に対応している携帯電話を接続すると、電話帳、発着信履歴は自動で同期を取ります。
  - PBAP に対応している携帯電話で電話帳／履歴自動転送（→ P.480）が「しない」に設定されている場合、メッセージが表示されます。はい 、または 以降は確認せずに転送 にタッチすると転送を行います。
    また、電話帳／履歴自動転送（→ P.480）が「する」に変わります。

2 希望の通話相手にタッチ。

ショートカットスイッチ

- 接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示されます。
- 次のいずれかにタッチすると、ショートカットスイッチが切り替わります。
  その他：英数字ショートカット
  50 音：50 音ショートカット
- 英数字ショートカットを表示しているときは、アルファベットのショートカットスイッチのみ任意のアルファベットが選択できます。
  （例）**ABC** に 2 回タッチすると、B で始まるデータのリストが先頭に表示されます。

3 希望の電話番号にタッチ。

- PBAP に対応している携帯電話で画像表示設定（→ P.480）を「する」に設定している場合、携帯電話から画像情報が表示されると、電話番号と共に画像が表示されます。（携帯電話によっては、PBAP に対応していても画像表示ができない場合があります。）
- PBAPに対応していない携帯電話を選択しているとき、または電話帳 / 履歴自動転送（→ P.480）を「しない」にしているときは、電話帳内容画面に **電話帳編集** **電話帳削除** が表示されます。

履歴から発信する

発信または着信の履歴として登録されている電話番号から電話をかけることができます。
最新の履歴 30 件を表示できます。

1 電話画面（→ P.459）→ 履歴

2 希望の通話相手にタッチ。

発信／着信／不在着信アイコン

- にタッチすると、発信します。

3 希望の電話番号にタッチ。

- 本機の電話帳に登録されていない相手先を選択した場合、Unknown 画面が表示されます。にタッチすると、発信します。

(知 識)

- 履歴が 30 件を超えると、古い履歴から自動で削除されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - ・ 本機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も登録されます。
  - ・ 同一電話番号に発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - ・ 本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も登録されます。
  - ・ 同一電話番号から着信した場合は、すべて登録されます。
  - ・ 不在着信および着信拒否も登録されます。
  - ・ 相手先電話番号の情報がない場合は、「通知不可」と登録されます。

ワンタッチ発信する

よくかける電話番号をワンタッチダイヤルとして登録（→ P.478）しておくと簡単な操作で電話をかけることができます。

ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。

電話画面（→ P.459）

1 ワンタッチダイヤル にタッチ。

2 発信したい電話番号にタッチ。

- ページを切り替えるとき

  ➡ ワンタッチ 1 ・ ワンタッチ2 ・ ワンタッチ3 のいずれかにタッチ。

音声認識で発信する

- 音声認識発信のしかたについて
  ➡「電話をかける」（→ P.343）

音声認識発信を中止する

「音声認識モードを中止する」（→ P.335）の方法で、音声認識発信を中止できます。

(知 識)

- 音声認識中に着信した場合やハンズフリー以外の画面に切り替えた場合は、認識動作を中止します。
- 音声認識発信は走行中でも使用できます。
- 音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。この場合、切り替え中は現在地画面が表示されますので、電話画面に切り替わるまではナビの操作をしないでお待ちください。
- データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

ナビ画面から発信する

ナビ画面で または 電話をかける が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。

1 または 電話をかける にタッチ。

電話画面の 交通ナビ の操作

- 電話画面で 交通ナビ にタッチすると、交通ナビ関連画面が表示され、ここからも電話をかけることができます。(→P.358)

HOME 画面から発信する

1 HOME 画面を表示する。(→P.23)

2 希望の通話相手にタッチ。

HOME 画面に電話帳データを登録する

1 画面スイッチを長押しする。

2 登録したいデータにタッチ。

3 登録したい電話番号にタッチ。

知 識

- 本機の電話帳に電話帳データが登録されていない場合、HOME 画面に電話帳データを登録することはできません。
- 走行中は電話帳データの登録操作はできません。

携帯電話本体から発信する

本機に Bluetooth 接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

ハンズフリー画面を表示する

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth 接続中であれば、ハンズフリー画面を表示することができます。

1 MENU ▶ 電話

● 画面スイッチを使用したいとき
➡ 通話を転送する。（→ P.467）

⚠ 警告

● 安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

（知 識）

● 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話の取扱説明書でご確認ください。

2. 着信中画面の操作

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

電話を保留する（応答保留）

▶TEL スイッチ 2 ボタンタイプ

1 着信中 にタッチ。

- 応答保留を解除して通話するとき
  ➡ にタッチ。
- 応答保留中に電話を切るとき
  ➡ にタッチ。

(知 識)

- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- 携帯電話の機種によっては、本機側の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。
- 通話中や応答保留中の着信時の場合、 にタッチすると、着信拒否になります。

▶TEL スイッチ 1 ボタンタイプ

1 着信中 保留 / 拒否 にタッチ。

- 応答保留を解除して通話するとき
  ➡ にタッチ。
- 応答保留中に電話を切るとき
  ➡ 保留 / 拒否 にタッチ。

(知 識)

- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- 携帯電話の機種によっては、本機側の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。
- 通話中や応答保留中の着信時の場合、 保留 / 拒否 にタッチすると、着信拒否になります。

着信を拒否する

携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。

▶TEL スイッチ 2 ボタンタイプ

1 にタッチし続ける。

- 着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

(知 識)

- 通話中や応答保留中の着信時の場合、 にタッチし続けると、通話中や応答保留中の通信を含め切断されます。

▶TEL スイッチ 1 ボタンタイプ

1 保留 / 拒否 にタッチし続ける。

- 着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

知 識

- 通話中や応答保留中の着信時の場合、保留 / 拒否 にタッチし続けると、通話中や応答保留中の通信を含め切断されます。

3. 通話中の操作

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

(1)受話音量の調整
(2)送話音量の調整
(3)送話音のミュート (消音)
(4)通話の転送
(5)通話を保留
(6)割込通話
(7)10 キーの入力

▶通話中画面
(TEL スイッチ 2 ボタンタイプ)

▶通話中画面
(TEL スイッチ 1 ボタンタイプ)

(知 識)

● ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。
携帯電話の操作については、携帯電話の取扱説明書でご確認ください。
・ 単独で通話中の携帯電話が本機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのままで通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
・ ハンズフリーで通話中に車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を操作すると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。
なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>がアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>であれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。(→ P.467)

受話音量を調整する

1 [−] または [+] にタッチ。

送話音量を調整する

1 [送話音量] にタッチ。

2 調整する音量にタッチ。

● 初期設定の状態に戻すとき
➡ [初期状態] にタッチ。

(知 識)

● 送話音量の設定を変更すると、音質が悪くなることがあります。

送話音をミュート（消音）する

通話中の発話を相手に聞こえないようにすることができます。このとき相手の発話は聞くことはできます。

1 ミュート にタッチ。

- ミュート状態のときは、作動表示灯が点灯します。
- ミュートを解除するとき
  ➡ 再度 ミュート にタッチ。

通話を転送する

Bluetooth 携帯電話では、本機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。

ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

携帯電話に通話転送する

1 通話中画面で、ハンズフリー通話 にタッチ。

- 携帯電話での通話中は、
  ハンズフリー通話 以外のスイッチは操作できません。
- 携帯電話での通話のときは、作動表示灯は消灯します。

知 識

- 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

本機に通話転送する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

- 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、画面のスイッチでの操作ができます。

1 通話中画面で、ハンズフリー通話 にタッチ。

- ハンズフリー通話のときは、作動表示灯が点灯します。

知 識

- 携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。また、転送できない機種もあります。携帯電話の操作については、携帯電話の取扱説明書でご確認ください。
- 応答保留中の携帯電話本体の通話をハンズフリー通話に切り替えると、携帯電話は応答保留中のままで本機には通話中画面が表示されます。

通話を保留する

通話相手を保留にすることができます。

▶TEL スイッチ 2 ボタンタイプ

1 通話中画面で、 にタッチ。

知 識

- 再度 にタッチすると、保留中の相手を通話状態に戻すことができます。
- 携帯電話の設定によっては、保留できないことがあります。

▶TEL スイッチ 1 ボタンタイプ

1 通話中画面で、保留 / 切替 にタッチ。

知 識

- 再度 保留 / 切替 にタッチすると、保留中の相手を通話状態に戻すことができます。
- 携帯電話の設定によっては、保留できないことがあります。

割込通話の操作

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話で両者と通話することができます。

知 識

- 電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。

割込通話に応答するとき

通話中に第三者から着信が入ったとき、画面表示で割込み着信中であることを知らせます。

- 着信相手と通話でき、通話していた相手は保留中になります。

▶TEL スイッチ 2 ボタンタイプ

1 にタッチ。

- 着信相手と通話でき、通話していた相手は保留中になります。

▶TEL スイッチ 1 ボタンタイプ

1 にタッチ。

- 着信相手と通話でき、通話していた相手は保留中になります。

割込通話を拒否する

▶TEL スイッチ 2 ボタンタイプ

1 にタッチ。

▶TEL スイッチ 1 ボタンタイプ

1 保留 / 拒否 にタッチ。

知 識

- 携帯電話の機種により、両者とも通話が切れる場合があります。携帯電話の取扱説明書でご確認ください。

通話と割込通話を切断する

▶TEL スイッチ 2 ボタンタイプ

1 にタッチし続ける。

▶TEL スイッチ 1 ボタンタイプ

1 にタッチし続ける。

10 キー入力する

通話中に 10 キー入力が必要な場合は、10 キーを表示させます。

ハンズフリー通話中

1 0-9 にタッチ。

2 スイッチにタッチして入力する。

▶TEL スイッチ 2 ボタンタイプ

● にタッチすると、電話が切れます。

▶TEL スイッチ 1 ボタンタイプ

● にタッチすると、電話が切れます。

知 識

● 走行中は安全上の配慮から10キーは操作できません。

4. 簡易画面について

状況に応じて次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。

(知 識)

● 電話が切れる、または電話を切ると、オンスクリーン表示や TEL 音声画面は解除されます。

簡易表示画面について

電話詳細設定の着信割込み表示（→P.480）で「簡易」を選択しているときに表示されます。

▶電話着信時

● MENU を押し、電話 → の順にタッチすると、着信中の電話と通話することができます。

● また、ステアリングスイッチの ボタンを押しても、着信中の電話と通話することができます。（ステアリングスイッチ装着車のみ）

TEL 音声画面について

電話がつながっているときにオーディオ画面に切り替えた場合に表示されます。

1. 設定・編集画面を表示する

電話の設定・編集をする

設定・編集画面から、電話の各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話

2 各設定をする。

- 設定・編集画面から、次の項目を設定できます。

項目／内容	ページ
音設定 ハンズフリー各音の音量調整・着信音設定	472
電話帳設定 電話帳の転送・登録・編集・削除 ワンタッチダイヤルの登録・削除 履歴データの削除	473
電話詳細設定 ハンズフリー画面の設定 電話帳／履歴自動転送の設定 名称表示順の設定	480

Bluetooth の設定・編集をする

設定・編集画面から、Bluetooth の各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth

2 各設定をする。

- 設定・編集画面から、次の項目を設定できます。

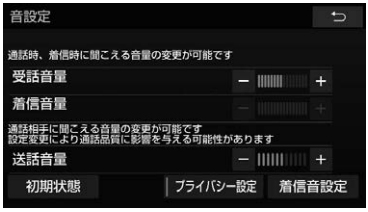
項目／内容	ページ
機器登録・接続 携帯電話／ポータブル機の登録・削除、使用する携帯電話／ポータブル機の選択、詳細設定	52 481
Bluetooth 詳細設定 Bluetooth 自動接続の設定 Bluetooth の詳細設定	483

2. 音量の設定をする

音設定画面を表示する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 音設定

2 各設定をする。



- 初期設定の状態に戻すとき
  ➡ 初期状態 → はい の順にタッチ。
- 音設定画面から、次の項目を設定できます。

受話音量

－ 、＋ にタッチすると、受話音量を調整できます。

着信音量

－ 、＋ にタッチすると、ハンズフリーの着信音量を調整できます。

送話音量

－ 、＋ にタッチすると、送話音量を調整できます。

プライバシー設定（プレミアムダブルツィーターシステム装着車、ダブルツィーターシステム装着車）

プライバシー設定 を ON にすると、ツィーターのみからハンズフリー音声を出力します。ドアスピーカーを消音することで、車外への音漏れを低減します。

着信音設定

着信音 1 ・着信音 2 ・着信音 3 ・着信音 4 ・電話機の着信音※ のいずれかにタッチすると、ハンズフリーの着信音が切り替わります。

※ 携帯電話の機種により、表示されない場合があります。

3. 電話帳を編集する

電話帳について

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

(1)携帯電話に登録してある電話帳を本機の電話帳に転送する。（→ P.473）

(2)本機の電話帳に新規登録する。（→ P.476）

(3)履歴データから登録する。（→ P.476）

また、登録したデータは、本機で編集することができます。

知 識

- 電話帳は接続された携帯電話 1 台につき、2500 名分のデータを登録することができます。接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示することができます。
- 電話帳登録者 1 名につき、最大 4 件の電話番号が登録できます。
- 低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。
- 接続された電話機ごとに電話帳は管理されます。

電話帳設定画面を表示する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳設定

2 電話帳の設定をする。

- 電話帳設定画面から、次の項目を設定できます。

機能	ページ
携帯電話の電話帳データを転送する	473
電話帳に新規データを追加する	476
電話帳のデータを修正する	477
電話帳のデータを削除する	477
ワンタッチダイヤルを登録する	478
ワンタッチダイヤルを削除する	478
履歴データを削除する	479

携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。

- **この機能は、OPP か PBAP のどちらかに対応している携帯電話で使用できます。**また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をあわせてご覧ください。

▶PBAP に対応している携帯電話で、「電話帳／履歴自動転送」を「する」に設定しているとき（→ P.480）

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳編集

または

電話画面（→ P.459）→ 電話帳 → 機能

2 転送 にタッチ。

3 電話帳更新画面が表示されます。

● 携帯電話の機種によっては、携帯電話の操作が必要な場合があります。

● 携帯電話側の転送操作は、必ず上の画面を表示させた状態で行ってください。

4 転送が終了したとき、メッセージが表示され転送が完了します。

(知 識)

● 携帯電話の初回登録後（→ P.52）に電話画面（→ P.459）で 電話帳 にタッチしたとき、電話帳更新画面が表示されることがあります。電話帳データの転送が終わるまで、お待ちください。

● 電話帳転送中は、SmartDeviceLink ™を使用できません。

▶OPP に対応している携帯電話、または PBAP に対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」を「しない」に設定しているとき（→ P.480）

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳編集

または

電話画面（→ P.459）→ 電話帳 → 機能

2 転送 にタッチ。

● OPP に対応している携帯電話の場合、携帯電話を操作して電話帳データを転送します。

・ 電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法を選択します。

上書き ：現在のデータに上書きする

追加 ：現在のデータに追加する

・ 携帯電話側の転送操作は、必ず上の画面を表示させた状態で行ってください。

● OPPとPBAPに対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」（→ P.480）を「しない」に設定している場合、転送 にタッチし、上書き または 追加 にタッチすると、電話帳転送が行われます。

・ 上書き ：現在のデータに上書きする

追加 ：現在のデータに追加する

▶OPP に対応している携帯電話のみ

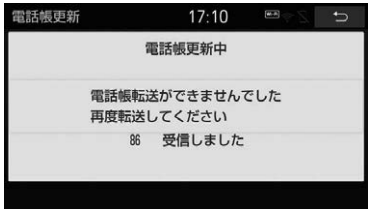
3 完了 にタッチ。

(知 識)

- 転送するときは、エンジン<ハイブリッドシステム>を始動した状態で行ってください。
- 電話帳データ転送時、携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。
- 電話帳転送中は、SmartDeviceLink ™を使用できません。

転送失敗画面が表示されたとき

転送操作を最初からやりなおしてください。



(知 識)

- 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
  - ・ 携帯電話の電話帳で 1 つの名称に 5 件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
  - ・ 電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
  - ・ 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。(携帯電話の仕様により可能な場合もあります。)
  - ・ 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
  - ・ 本機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。

(知 識)

  - ・ 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234” を入力してください。
- 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
  - ・ 転送には 10 分程度かかる場合があります。
  - ・ 電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。
- 電話帳データ転送中は、次のように対応します。
  - ・ 電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。
    着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやりなおしてください。
  - ・ 電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
  - ・ 電話帳データ転送中に車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジン<ハイブリッドシステム>を始動して、再度転送操作をやりなおしてください。
- 次の場合、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。
  - ・ 本機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき。
  - ・ 何らかの原因で転送が中断されたとき。
- 本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。
- 電話帳データ転送中は、Bluetooth オーディオの接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。(機種によっては、再接続できないことがあります。)

電話帳に新規データを追加する

本機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。

電話帳には、1 名のデータにつき、次の項目が登録できます。

名称、名称読み、電話番号（最大 4 件）、アイコン（各電話番号にそれぞれ 1 つ）

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳編集 → 新規追加

または

電話画面（→ P.459）→ 電話帳 → 機能 → 新規追加

2 各項目を登録する。（→ P.476）

● 履歴画面（→ P.460）で

（履歴の電話番号）→ 新規登録 の順にタッチしても、電話帳編集画面を呼び出して新規データを追加することができます。

知 識

● PBAP のみに対応している携帯電話では、追加・修正をすることができません。追加・修正する場合は、「電話帳／履歴自動転送」（→ P.480）を「しない」にしてから操作を行ってください。

名称、名称読み、電話番号、アイコンの編集をする

電話帳は 1 名につき最大 4 件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 文字入力画面で名称を入力し、完了 にタッチ。

2 名称読みを入力し、完了 にタッチ。

3 電話番号を入力し、完了 にタッチ。

4 登録したいアイコンにタッチ。

▶電話番号を追加する場合

5 はい にタッチ。

➡ 手順 **3** へ。

● 履歴画面（→ P.460）で

（履歴の電話番号）→ 追加登録 の順にタッチしても電話番号を追加することができます。

▶編集を終了する場合

5 いいえ にタッチ。

電話帳のデータを修正する

登録済みの電話帳データを修正することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳編集 → 編集

または

電話画面（→ P.459）→ 電話帳 → 機能 → 編集

2 修正したいデータにタッチ。

3 各項目の ✎ にタッチして編集する。

4 完了 にタッチ。

● 電話帳画面（→ P.459）で、（電話帳の名称）→ 電話帳編集 の順にタッチしても電話帳編集画面を呼び出して修正することができます。

知 識

● PBAP に対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」（→ P.480）が「する」に設定されている場合、電話帳データを修正することはできません。修正する場合は、「電話帳／履歴自動転送」を「しない」にしてから操作を行ってください。

名称、名称読みの編集をする

1 編集する項目の ✎ にタッチ。

2 文字入力画面で入力し、完了 にタッチ。

電話番号を編集する

1 名につき最大 4 件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 電話番号の ✎ にタッチ。

2 電話番号を入力し、完了 にタッチ。

3 登録したいアイコンにタッチ。

電話帳のデータを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳設定 → 電話帳編集 → 削除

または

電話画面（→ P.459）→ 電話帳 → 機能 → 削除

2 削除したいデータにタッチ。

3 削除 にタッチ。

4 はい にタッチ。

● 電話帳画面（→ P.459）で、（電話帳の名称） → 電話帳削除 の順にタッチしても削除することができます。

（知 識）

● PBAP に対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」（→ P.480）が「する」に設定されている場合、電話帳データを削除することはできません。削除する場合は、「電話帳／履歴自動転送」を「しない」にしてから操作を行ってください。

ワンタッチダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルは走行中でも使用できるため、よく利用する電話番号を登録しておくと便利です。

ワンタッチダイヤルは、電話帳に登録してある電話番号から選んで登録します。登録は 15 件までです。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「電話」 → 電話帳設定 → ワンタッチダイヤル

または

電話画面（→ P.459）→ ワンタッチダイヤル → 機能

2 登録 にタッチ。

3 登録したいデータにタッチ。

4 登録したい電話番号にタッチ。

5 登録したいスイッチにタッチ。

● ページを切り替えるとき

➡ 「ワンタッチ 1」・「ワンタッチ2」・「ワンタッチ3」のいずれかにタッチ。

● 登録済みのスイッチにタッチしたとき

➡ 置き換えてもよいときは はい にタッチ。

● ワンタッチダイヤル画面（→ P.461）で 未登録 にタッチしても登録することができます。

● 電話帳画面（→ P.459）で、（電話帳名称） → ワンタッチダイヤル → （電話番号） → 未登録 にタッチしても登録することができます。

ワンタッチダイヤルを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「電話」 → 電話帳設定 → ワンタッチダイヤル → 削除

または

電話画面（→ P.459）→ ワンタッチダイヤル → 機能 → 削除

2 削除したいワンタッチダイヤルにタッチ。

3 削除 にタッチ。

4 はい にタッチ。

履歴データを削除する

設定・編集画面から削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「電話」 → 電話帳設定 → 履歴削除

2 全履歴削除 ・ 着信履歴削除 ・ 不在着信履歴削除 ・ 発信履歴削除 のいずれかにタッチ。

3 削除したいデータにタッチ。

4 削除 にタッチ。

5 はい にタッチ。

知 識

● PBAPに対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」（→ P.480）が「する」に設定されている場合、履歴データを削除することはできません。削除する場合は、「電話帳／履歴自動転送」を「しない」にしてから行ってください。

電話画面から削除する

1 電話画面（→ P.459）→ 履歴

2 「全履歴」・「不在着信」・「着信履歴」・「発信履歴」のいずれかにタッチ。

3 削除 にタッチ。

4 削除したいデータにタッチ。

5 削除 にタッチ。

6 はい にタッチ。

知 識

● PBAPに対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」（→ P.480）が「する」に設定されている場合、履歴データを削除することはできません。削除する場合は、「電話帳／履歴自動転送」を「しない」にしてから操作を行ってください。

4. ハンズフリーの詳細設定を変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「電話」 → 電話詳細設定

2 各設定をする。

- 詳しくは、次の表をご覧ください。
- 初期設定の状態に戻すとき
  ➡ 初期状態 → はい の順にタッチ。

着信割込み表示

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を 全画面 または 簡易 から選択できます。

- 全画面 :着信中、通話中および応答保留中に各画面が表示され、画面のスイッチで操作ができます。
- 簡易 : 着信中にオンスクリーンで表示されます。ステアリングスイッチで操作ができます。(ステアリングスイッチ装着車のみ)(→ P.470)

電話帳／履歴転送確認表示

PBAP に対応している携帯電話と Bluetooth 接続後、電話帳データや履歴データの自動転送が完了したときに、完了表示を画面に表示する／しないを選択できます。

電話帳／履歴自動転送

PBAP に対応している携帯電話と Bluetooth 接続時に携帯電話の電話帳データや履歴データの自動転送をする／しないを選択できます。

- 携帯電話の電話帳や履歴が更新されている場合、本機の電話帳や履歴も更新されます。
- 自動転送は、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にし、初めて携帯電話が Bluetooth 接続されたときや、使用する携帯電話を切り替えて、Bluetooth 接続されたときに行われます。

名称表示順

電話帳に登録してある名称の表示を「姓→名」の順／「名→姓」の順に変更できます。

着信時の画像表示

PBAP に対応している携帯電話で電話帳データに画像が転送された場合に、着信時に画像を表示する／しないを選択できます。

5. Bluetooth 設定をする

ここでは、携帯電話と Bluetooth に関する次の設定の説明をしています。

項目	ページ
携帯電話の登録・削除	52、481
通信機器の選択	481
ポータブル機の選択	306
電話機詳細情報の確認／変更	482
本機の Bluetooth 設定の確認／変更	483

Bluetooth 電話機の登録を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → 削除

2 削除したい携帯電話にタッチ。

3 はい にタッチ。

知 識

- 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

使用する通信機器を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。
複数の携帯電話を使用するときは、必要に応じて通信機器を選択します。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 携帯電話を Bluetooth 接続可能状態にする。

3 使用する携帯電話にタッチ。

- または にタッチすると携帯電話の接続を開始します。

4 全接続 または 電話機の接続 にタッチ。

- 他の携帯電話が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、はい にタッチします。
- 接続完了のメッセージが表示されたら、ハンズフリーが使用できます。

- 携帯電話の登録について
  ➡「Bluetooth 機器を初期登録する」（→ P.52）

知 識

- 携帯電話はポータブル機も含めて本機に最大５台まで登録することができますが、本機と接続できるのは電話機選択で選択した携帯電話のみです。
- Bluetooth オーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声が途切れることがあります。
- 携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。
- 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、通信機器を選択することはできません。

電話機詳細情報を確認／変更する

本機に登録されている携帯電話の情報を確認することができます。

- 次の項目を確認することができます。

項目	内容
機器名称	本機に表示される携帯電話の名称です。任意の名称に変更することができます。
機器アドレス	機器固有のアドレスで、変更することはできません。
自局電話番号	携帯電話の電話番号です。
対応プロファイル	携帯電話で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 詳細情報を表示したい携帯電話にタッチ。

3 機器詳細情報 にタッチ。

4 各項目の設定・確認をする。

- 機器名称の変更（携帯電話、Bluetooth オーディオ使用時）
- Bluetooth オーディオとの接続方法（Bluetooth オーディオ使用時）

- 初期設定の状態に戻すとき

➡ 初期状態 → はい の順にタッチ。

知 識

- 自局電話番号は携帯電話の機種によっては、表示されない場合があります。

携帯電話の名称を変更する

本機に表示される携帯電話の名称を変更することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → （名称変更したい電話機） → 機器詳細情報 → 機器名称

2 文字入力画面で名称を入力し、完了 にタッチ。

知 識

- 本機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

Bluetooth オーディオとの接続方法を設定する

Bluetooth オーディオと本機の接続を、どちら側からするか選ぶことができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → (接続したい Bluetooth オーディオ) → 機器詳細情報

2 接続方法 にタッチし、車載機から または ポータブル機から にタッチ。

- 本機側から接続するとき
  ➡ 車載機から にタッチ。
- Bluetooth オーディオから接続するとき
  ➡ ポータブル機から にタッチ。

本機の Bluetooth 情報を確認／変更する

Bluetooth 設定は、本機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

- Bluetooth 設定画面で、次の情報を確認できます。

項目	内容
機器名称	Bluetooth ネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。
PIN コード	携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。
機器アドレス	本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称や PIN コードを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。
対応プロファイル	本機で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → Bluetooth 詳細設定

2 各項目の設定・確認をする。

- この画面で、次の操作を行うことができます。
- 初期設定の状態に戻すとき
  ➡ 初期状態 → はい の順にタッチ。

項目	ページ
ACC ON 時の自動接続の設定	484
機器名称の変更	484
PIN コードの変更	484
電話機の接続確認案内の設定	484
ポータブル機の接続確認表示の設定	308

自動で電話機を接続する

車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にするたびに、選択した携帯電話と自動的に Bluetooth 接続します。

1 ACC ON 時の自動接続 にタッチし、「する」に切り替える。

- 通常はこの状態で使用してください。
- 携帯電話は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。
- 解除するとき

  ➡ 再度 ACC ON 時の自動接続 にタッチし、「しない」に切り替える。

(知 識)

- 携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。
- 自動接続できなかった場合は、「携帯電話が接続されませんでした 携帯電話を忘れていませんか？」のメッセージが表示されます。メッセージにタッチすると、メッセージは解除され音声を停止できます。

本機の名称を変更する

Bluetooth ネットワーク内での本機の名称を変更することができます。

1 機器名称 にタッチ。

2 文字入力画面で名称を入力し、完了 にタッチ。

(知 識)

- 機器名称を変更した場合、Bluetooth オーディオ設定の機器名称（→ P.308）も同時に変更されます。

PIN コードを変更する

PIN コードは 4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。

1 PIN コード にタッチ。

2 4～8桁の範囲で任意の数字を入力し、完了 にタッチ。

- 修正するとき

  ➡ 修正 にタッチ。

電話機の接続確認案内を設定する

車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にして、携帯電話と自動的に Bluetooth 接続したときに、接続確認の表示を画面上部に表示するかしないかを選択できます。

Bluetooth 接続確認表示

1 電話機の接続確認案内 にタッチし、「する」／「しない」を切り替える。

1. 故障とお考えになる前に

ハンズフリー／ Bluetooth でお困りの際は、まず以下の表を確認してください。

▶ハンズフリー／ Bluetooth を使う

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
ハンズフリー／ Bluetooth を使うことができない	携帯電話が Bluetooth 非対応機種である。	本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）でご確認ください。	※	−
	携帯電話の Bluetooth バージョンが本機に適合していない。	Bluetooth Specification Ver2.0 以上（Ver.3.0+EDR 以上を推奨）の携帯電話を使用してください。	※	614

▶携帯電話の登録と接続

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
携帯電話が登録できない	携帯電話に入力した PIN コードが間違っている。	携帯電話に正しい PIN コードを入力してください。	※	−
	携帯電話の登録操作が完了していない。	携帯電話に承認ボタンが表示されているときは承認ボタンを選択して、登録操作を継続してください。	※	−
	本機、携帯電話どちらか一方の登録情報が残っている。	本機の登録処理を中止し、再度登録操作を行ってください。	※	52
		本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行ってください。	※	52、481

※ 詳細は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
Bluetooth 接続ができない	お使いになる携帯電話以外がすでに Bluetooth 接続状態にある。	お使いになる携帯電話を本機から手動で Bluetooth 接続してください。	–	452
	携帯電話の Bluetooth 機能が有効状態でない。	携帯電話の Bluetooth 機能を有効にしてください。	※	–
	本機の Bluetooth 自動接続が「しない」になっている。	本機の Bluetooth 自動接続を「する」にしてください。	–	484
「電話機をご確認ください」とメッセージが表示される	携帯電話の Bluetooth 機能が有効状態でない。	携帯電話の Bluetooth 機能を有効にしてください。	※	–
	本機、または携帯電話の登録情報が削除されている。	いったん、本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行ってください。	※	52、481

※ 詳細は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

▶着信と発信

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
電話をかける、受けるができない	圏外である。	表示が消えるところまで移動してください。	–	–
	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）が ON になっている。	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）を OFF にしてください。	※	–

※ 詳細は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

▶電話帳

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
電話帳データの転送／自動転送ができない	携帯電話のBluetooth 対応プロファイルが電話帳データ転送に対応していない。	本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）でご確認ください。	※	−
	本機の自動転送設定が「しない」になっている。	本機の電話帳自動転送の設定を「する」にしてください。	−	480
	携帯電話の PIN コードを入力していない。	携帯電話で PIN コードを求められているとき、PIN コードを入力してください。PIN コードは“1234” です。	※	−
	携帯電話が電話帳転送の承認待ちになっている。	携帯電話で電話帳転送承認ボタンを選択してください。	※	−
携帯電話に「承認」の確認画面が表示される	承認時に「常に許可」が選択されていない。	携帯電話で「常に許可」を選択し承認してください。	※	−
電話帳データが「その他」のフォルダに登録される	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながない。	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながあるか確認してください。	※	−
電話帳データの編集ができない	電話帳自動転送の設定が「する」になっている。	自動転送の設定を「しない」にしてください。	−	480

※ 詳細は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

▶その他の状況

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>がアクセサリーモードまたはイグニッションONモード<ONモード>にする度、画面上部にBluetooth接続状態が表示される	本機の接続確認案内の設定が「する」になっている。	接続状態を表示させたくないときは、本機の接続確認案内の設定を「しない」にしてください。	–	484
考えられる処置をしても、症状が改善されないとき	携帯電話と本機の距離が離れすぎている。	携帯電話と本機の距離を近づけてください。	–	–
	電波干渉が発生している。	Wi-Fi® 機器など電波を発生する機器の電源をOFFにしてください。	–	–
	携帯電話に要因がある。	携帯電話の電源をOFFにして、電池パックを取り出してください。	※	–
		携帯電話のBluetooth接続をOFFからONにしてください。	※	–
		携帯電話のWi-Fi® 接続をOFFにしてください。	※	–
		携帯電話のセキュリティソフト、または常駐アプリを停止してください。	※	–
		携帯電話にインストールしたアプリケーションは、提供元および動作状況について十分ご確認の上ご利用ください。	※	–

※ 詳細は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

11

T-Connect

※T-Connect を利用するには、別途利用申し込み、利用開始手続きをしていただく必要があります。

1 はじめに

1. ご利用の前に知っておいていただきたいこと.....492
2. T-Connectについて.....496

2 各種手続きをする

1. 利用開始手続きをする 499

3 T-Connectトップ画面

1. T-Connectトップ画面について.....506

4 地点情報を登録する（Gメモリ）

1. Gメモリ 507

5 情報画面の使い方

1. T-Connect Viewer 508
2. TC情報マーク 511

6 T-Connectをスマートフォンやパソコンで利用する

1. T-Connectをスマートフォンやパソコンで利用する 512

7 サービスの使い方

1. ヘルプネット（ワンタッチタイプ）.....513
2. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）.....527
3. マイカー Security（T-Connect DCMパッケージ）.....530
4. リモートメンテナンスサービス 536
5. マップオンデマンド（地図差分更新）.....537
6. ハイブリッドナビについて.....546
7. Tルート探索（プローブ情報付）.....548
8. オペレーターサービス.....550
9. 渋滞予測.....552
10.WEB検索 555
11.エージェント 556
12.T-Connect Apps.....562
13.CDタイトル情報取得 566
14.お天気お知らせ 567

8 各種登録・設定

1. オンライン詳細設定 569
2. プライバシー設定 571
3. 通信設定.....575
4. Wi-Fi® 設定.....577
5. 契約内容・契約者情報の
確認・変更 582

9 知っておいていただきたいこと

1. こんなメッセージが
表示されたときは.....583
2. 故障とお考えになる前に.....585

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書で使用している画面はサンプル表示であり、実際の画面と異なる場合があります。

1. ご利用の前に知っておいていただきたいこと

安全にご利用するため注意すること

T-Connect をご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。
  走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
  車を停車させてから操作をしてください。
  なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

走行中の操作、表示規制について

- 走行中に T-Connect をご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによっては T-Connect Viewer のコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。
  このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

掲載画面について

本書で使用している画面の表示内容は、サンプル表示となっております。

通信機器について

T-Connect は、Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）または通信モジュール（DCM）を利用して、データ通信を行います。

※本機で動作確認済みの機種については、トヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）でご確認ください。

データ通信時の留意事項

T-Connect は、データ取得時に通信を行います。

サービスにより通信機器が異なります。

次の点をご理解の上、正しくお使いください。

販売店装着の通信モジュール (DCM) を利用するときの留意事項

- 通信方式は、株式会社 NTT ドコモの W-CDMA 方式の携帯電話と同一です。
  FOMA サービスエリアでは、最大 7.2Mbps データ通信サービスがご利用いただけます。同社サービスエリア図をご参照ください。
  なお、通信状況は様々な要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。
- 次のような通信環境では、データ通信できません。
  - ・トンネルの中にいるとき
  - ・地下駐車場にいるとき
  - ・山奥などの通信圏外にいるとき
  - ・回線が混雑しているなど、発信規制中のとき

- T-Connect はデータ取得に通信を利用するため、通信環境の整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。

- この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、T-Connect が使用できなくなります。
  （その場合には事前にご連絡します。）

(知 識)

- データ通信に関する通信料金はT-Connect DCM パッケージ利用料金に含まれています。
- データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。
- 標準装備 DCM が搭載されている車両の場合、販売店装着 DCM はご利用できません。

通信モジュール（DCM）は通信アンテナを使用します。
通信アンテナの位置は、販売店でご確認ください。

(知 識)

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

標準装備の通信モジュール（DCM）を利用するときの留意事項

通信方式や注意事項については、車両の取扱書をご覧ください。

- T-Connect はデータ取得に通信を利用するため、通信環境の整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。

(知 識)

- データ通信に関する通信料金は、T-Connect DCM パッケージ利用料金に含まれています。
- データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。

ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

データ通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

- 植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器をお使いの方は、T-Connect をお使いになる前に、医師や医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。

Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）を利用するときの留意事項

■Wi-Fi® テザリング対応機器使用上の注意事項について

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記３種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

● この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
変調方式として DS-SS 変調方式、OFDM 変調方式を採用しています。
想定与干渉距離は 40m 以下です。
この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

■ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Wi-Fi® 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

● Wi-Fi® 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。
植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

(知 識)

● 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
● 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

■Wi-Fi® と Bluetooth を同時に使用するとき

● ハンズフリーと Wi-Fi®、Bluetooth Audio と Wi-Fi® など、Bluetooth 機能と Wi-Fi® を同時に利用すると動作が遅くなる、または Wi-Fi® 通信の状態が不安定になることがあります。
● Wi-Fi® テザリング対応機器の電池量低下により、Wi-Fi® 通信の状態が不安定になることがあります。

通信機器共通留意事項

● ヘルプネットでの緊急通報中は、トヨタスマートセンターに接続できません。
● 画面上部（タイトル）に、ネットワーク接続中は**「接続中」**、コンテンツ読み込み中は**「しばらくお待ちください」**が表示されます。
また、コンテンツ読み込み中は、タイトルの下に読み込み状況がバーで表示されます。バーの表示が消えて、コンテンツのタイトルが表示されたら、画面の操作を行ってください。
・ 走行中のためにコンテンツの表示が制限されている場合は、コンテンツの読み込みが終了すると、“ピッ”という音でもお知らせします。

● 通信中は、ネットワーク接続中であることをお知らせするため、通信中マークが表示されます。

知識

- データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。
- GPS 信号を長い間（数ヵ月間）受信していないとき、またはバッテリー＜補機バッテリー＞との接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所（→ P.172）に車を移動し、MAP を押して地図画面上に GPS マークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。

GPS マーク

受信レベルについて

画面右上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。

受信レベル

- 表示される受信レベルは、携帯電話本体の受信レベル表示と一致しないことがあります。

▶通信モジュール（DCM）使用時

表示	DCM DCM DCM DCM DCM DCM DCM
レベル	圏外　弱 ←――→ 強

▶Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）使用時

表示	
レベル	圏外／未接続　弱 ←――→ 強

知識

- 受信レベル表示が圏外の場合でも、本機はデータ取得動作を行いますが、一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間は本機の通信状態によって異なります。
- Wi-Fi® の受信レベルが弱い場合、使用できないことがあります。

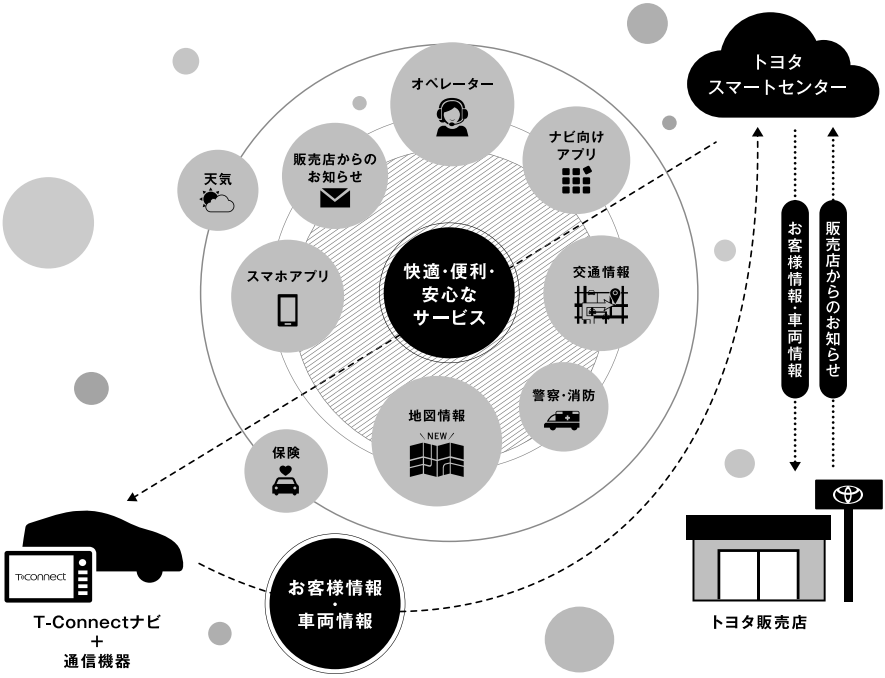
2. T-Connect について

T-Connect について

「安心・快適・便利」な車向け情報サービスを提供します。
本機では、以下の通信機器を接続することにより、ご利用いただけます。

（1）お客様がお持ちの Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）で利用
：T-Connect

（2）通信モジュール (DCM) で利用
：T-Connect DCM パッケージ



T-Connect の通信方法について

T-Connect は、以下の方法で通信することができます。

通信方法	内　容
お客様がお持ちの Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）	ご利用には T-Connect 利用申し込み、利用開始手続きが必要です。 ●「動作確認済み携帯電話」を T-Connect のパソコンサイト（https://g-book.com/pc/etc/faq/mobile/n/top.html）でご確認ください。 ● 通信費はお客様負担です。 **▶Wi-Fi® 通信を利用して接続する場合** ● お客様のスマートフォンが Wi-Fi® テザリングに対応しているかをご確認ください。 詳しくは、ご契約されている通信事業者にご確認ください。
通信モジュール（DCM）	通信モジュール（DCM）で通信を行います。 ご利用には T-Connect 利用申し込み、利用開始手続きが必要です。 ● 通信費は T-Connect DCM パッケージ 利用料金に含まれます。 利用料金は、トヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）でご確認ください。

サービス内容について

主なサービス / ご利用形態	通信機器			ページ
	Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／Wi-Fi® ルーター等）※1	通信モジュール（DCM）		
		販売店装着	標準装備 ※2	
緊急通報サービス **ヘルプネット（ワンタッチタイプ）**	○ ※3	○	×	513
緊急通報サービス **ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）**	×	×	○	527
カーセキュリティサービス **マイカー Security（T-Connect DCM パッケージ）** ※4	×	○	○	530
地図更新サービス **マップオンデマンド**	○	○	○	537
最適ルートの探索 **ハイブリッドナビ**	○	○	○	546
最適ルートの探索 **T ルート探索（プローブ情報付）**	○	○	○	548
ナビ操作をサポート **オペレーターサービス**	○	○	○	550
トヨタスマートセンターの音声対話サービス **エージェント**	○	○	○	556
T-Connect のアプリケーションサービス **T-Connect Apps**	○	○	○	562
エコドライブをサポート **ESPO** ※5	○	○	○	170
利用料金	基本無料 ※1	初年度無料 ※6 2 年目以降有料 ※7	3 年無料 ※8 4 年目以降有料 ※7	—
必要な手続き	T-Connect 利用申し込み、利用開始手続き			—

※1 通信にかかる費用はお客様のご負担となります。
※2 標準装備 DCM の対象車種については、お買い上げの販売店にお問合せください。
※3 ヘルプネットサービス開始操作後ご利用いただけます。なお、ご利用には 2 年ごとに登録情報の更新が必要です。
※4 装着している DCM のサービス内容については、お買い上げの販売店にお問合せください。
※5 ESPO 画面表示の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
※6 無料期間： T-Connect 利用開始日から 12ヵ月後の末日までとなります。
無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。
利用料金は、トヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）でご確認ください。
- 掲載の情報は、2018 年 9 月現在のサービスです。サービス内容は変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

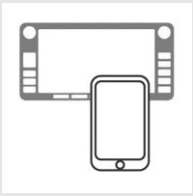
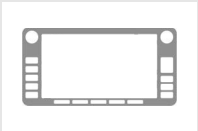
※7 利用料金は、トヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）でご確認ください。
※8 無料期間： 初度登録日から 36ヵ月後の末日までとなります。
無料期間内に一旦解約した場合でも、初度登録日から 36ヵ月後の末日までは無料となります。
利用料金は、トヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）でご確認ください。

- 最新のサービスは、T-Connect のパソコンサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）でご確認ください。

1. 利用開始手続きをする

利用開始手続きの手順

利用開始手続きや各種設定は、ご利用になるサービスにより異なります。

	▶T-Connect をご利用の場合（スマホ接続）	▶T-Connect DCM パッケージ※1（販売店装着）をご利用の場合	▶T-Connect DCM パッケージ※2（標準装備）をご利用の場合
	トヨタ販売店にて申し込み	トヨタ販売店にて申し込み	トヨタ販売店にて申し込み
Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／Wi-Fi® ルーター等）とナビで 	Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／Wi-Fi® ルーター等）を登録する（→ P.577）	使用する通信機器を DCM に設定する（→ P.575）	T-Connect ユーザーサイトで車両情報を確認する。 ● トヨタ販売店にて実施済の場合があります。
	使用する Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／Wi-Fi® ルーター等）の通信設定をする（→ P.575）		DCM 利用開始操作をする（→車両取扱書参照）
ナビで 	T-Connect 利用開始操作、ヘルプネットサービス開始操作※3をする（→ P.500）	T-Connect 利用開始操作、ヘルプネットサービス開始操作※3をする（→ P.500）	T-Connect 利用開始操作をする（→ P.500）

※1無料期間： T-Connect 利用開始日から 12ヵ月後の末日までとなります。
無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。
利用料金は、トヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）でご確認ください。

※2無料期間： 初度登録日から 36ヵ月後の末日までとなります。
無料期間内に一旦解約した場合でも、初度登録日から 36ヵ月後の末日までは無料となります。
利用料金は、トヨタ販売店または T-Connect のパソコンサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）でご確認ください。

※3ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

販売店店頭にお越しになれないお客様は、T-Connect のホームページからもお申込みいただけます。

- URL：https://toyota.jp/tconnectservice/

＜用意するもの＞
- 車検証
- メールアドレス（パソコン、スマートフォン、携帯電話のもの）
- ナビの端末 ID

(知 識)

● 通信接続機器の初期設定は「Wi-Fi」となっています。また、Wi-Fi Power(Wi-Fi通信設定)の初期設定は「ON」となっています。

T-Connect 利用開始操作、ヘルプネットサービス開始操作をする

● 利用開始操作は、可能な限り見晴らしの良い場所で行ってください。

1 MENU ▶ T-Connect →(┌オンライン┘)

2 利用開始 にタッチし、画面の指示にしたがって操作する。

● 契約 ID 照会画面が表示されたら、ID とパスワードを入力する。

● ご利用内容確認画面でご契約内容を確認する。

3 ヘルプネットのサービス開始案内が表示されたら、はい にタッチし、ヘルプネット開始操作※ を行う。

● ヘルプネットセンターの音声案内にしたがい、現在地とマイク音声を確認する。

● サービス開始操作が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

● 標準装備DCMの対象車種でヘルプネットサービスを既にご利用できる状態の場合、ヘルプネットのサービス開始案内はありません。
標準装備 DCM の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

4 ヘルプネットサービス開始操作※完了後、T-Connect 画面に HELPNET が表示される。

● T-Connect画面に HELPNET が表示されない場合は、再度、手動保守点検（→P.521）を実施してください。

● ヘルプネットのサービス開始操作または手動保守点検が正常に終了しなくても HELPNET が表示される場合があります。この場合、緊急通報できないことがあるため、トヨタ販売店にご相談ください。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠ 警告

- 通話が正常に終了したか否かの確認画面で いいえ にタッチする、または MAP などを押して他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作※を行い、本機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- 次のように、本機が正常に動作しない場合、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
  - ・発呼しない。
  - ・通報位置とヘルプネットセンターでの位置表示が間違っている。
  - ・通話できない。
- サービス開始操作※は途中で中断せず、最後まで完了してください。
  途中で中断した場合は、基本的に HELPNET は表示されませんが、HELPNET が表示された場合はトヨタ販売店にご相談ください。
- サービス開始操作※時の手動保守点検が正常に動作しなかった場合は、緊急通報できないことがあり危険です。手動保守点検時に本機が正常に動作しない場合や、HELPNET は表示されたが通話できない場合には、トヨタ販売店にご相談ください。
- 手動保守点検後、HELPNET が表示されない場合、緊急通報は動作しません。HELPNET の表示が正常に行われない場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠ 警告

- ヘルプネットで使用する携帯電話は、次の点に注意してください。
  - ・本システムで動作確認済みの携帯電話を使用してください。動作確認済みでない携帯電話をご使用になられると、緊急通報が動作しないおそれがあり危険です。また、携帯電話本体の破損など故障の原因となる場合があります。
  - ・ヘルプネットを使用する前に、携帯電話の登録（→ P.52）および使用する携帯電話の設定（→ P.524）を行ってください。
  - ・本機に携帯電話を Bluetooth や Wi-Fi® 接続する際は、必ず携帯電話の電池残量を確認してください。携帯電話の電池が空になると携帯電話が動作しないため、緊急通報も動作しません。なお、本機には携帯電話の充電機能はありません。
  - ・電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。「携帯電話の設定について」をご覧ください。（→ P.524）
  - ・携帯電話と本機が Bluetooth 接続されていることを確認してください。接続されていないと、緊急通報は動作しません。

知 識

- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー通話などが利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。
- 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>がアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話の照明を OFF に設定してください。
  （設定については携帯電話の取扱説明書をご参照ください。）

知識

- 「T-Connect 暗証番号」は、お客様情報の確認・変更やマイカー Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく 4 桁の番号です。

■利用開始操作のお問い合わせ先

T-Connect サポートセンター
全国共通・フリーダイヤル
0800ー500ー6200
受付時間　9:00 ～ 18:00
（年中無休）

利用契約の継続方法を変更する

▶T-Connect DCM パッケージ利用時（販売店装着）

T-Connect DCM パッケージは、年単位で契約更新となります。
契約の更新日が近づくと、トヨタコネクティッド（株）より案内を送付します。
次の手順で、本機から契約の継続／停止の手続きができます。

1 MENU ▶ T-Connect →（「オンライン」）→ ユーザー設定

2 会員情報／利用契約変更・解約 にタッチ。

3 利用契約の確認・変更 にタッチ。

4 利用契約内容の変更 にタッチ。

5 T-Connect 暗証番号入力画面が表示される。
T-Connect 暗証番号を入力し、決定 にタッチ。

- T-Connect 暗証番号が未設定の場合、契約 ID とパスワードを入力して T-Connect 暗証番号を設定してください。

6 利用契約の変更画面が表示される。

- 自動継続に変更したい場合
  ➡ 利用継続の手続き（T-Connect オンライン）にタッチ。
- 自動継続を停止したい場合
  ➡ T-Connect 自動継続停止 にタッチ。

7 T-Connect 利用契約の確認画面が表示される。
内容を確認し、決定 にタッチ。

知識

- 「T-Connect 暗証番号」は、お客様情報の確認・変更やマイカー Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく 4 桁の番号です。
- 自動継続に設定すると、次年度の契約を自動で更新できます。
  契約の更新をし忘れて、ヘルプネットなどが解除されてしまうのを防ぐことができます。
- 利用契約の停止は T-Connect のパソコンサイト（https://tconnect.jp/tcmypage/Login.aspx?padid=ag504_from_tc_user）からも手続きができます。

▶T-Connect DCM パッケージ利用時（標準装備）

T-Connect DCM パッケージは、年単位で契約更新となります。

契約の更新日が近づくと、トヨタコネクティッド（株）より案内を送付します。

案内に基づいて継続手続きを行ってください。

解約手続きについて

お車を手放すときなど、T-Connect を解約するときは、状況に応じて、次の手続きを行ってください。

＜本機で解約する場合＞
解約手続きをする→ P.505

↓

＜お車を手放す場合＞
個人情報の初期化をする→ P.59

解約しないで車を手放したときなど

↓

T-Connect サポートセンターに連絡して解約する
T-Connect サポートセンター
全国共通・フリーダイヤル
0800ー 500ー 6200
受付時間 9:00 ～ 18:00
（年中無休）

⚠ 注意

- 本機に保存した情報は、本機で解約したときのみ消去できます。
- お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、本機で解約手続きおよび初期化を必ず行ってください。

解約手続きをする

T-Connect の利用登録を解除するときは、次の手順で実施してください。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オンライン」

2 オンライン詳細設定 にタッチ。

3 T-Connect オンライン契約解除 にタッチ。

4 画面の指示にしたがって操作する。

- ユーザー設定画面からでも解約手続きができます。

(知 識)

- 解約手続きには、T-Connect 暗証番号が必要です。

お車を手放す際にすること

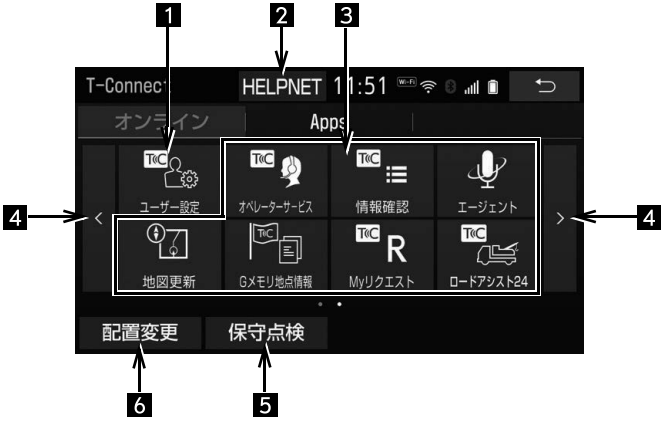
- 解約手続きをしただけでは、本機に保存したお客様の情報は消去されません。お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず、解約手続きおよび個人情報の初期化（→ P.59）を必ず実施してください。

1. T-Connect トップ画面について

T-Connect 画面の使い方

T-Connect 画面から、T-Connect の各コンテンツを起動することができます。

1 MENU ▶ T-Connect



● この画面から、次の操作をすることができます。

番号	スイッチ	機　能
1	ユーザー設定	トヨタスマートセンターに接続し、ユーザー設定画面を表示する。
2	HELPNET※	ヘルプネットの緊急通報（→ P.517）を行う。 • ヘルプネットサービス開始操作後に表示されます。（→ P.500）
3	各種コンテンツ	選択すると該当のコンテンツを起動する。 • ご利用のサービス・車種により、表示コンテンツは異なります。
4	ページ切り替え	ページを切り替える。
5	保守点検※	ヘルプネットの手動保守点検を実施する。（→ P.521）
6	配置変更	スイッチの表示位置の入れ替えや、削除をする。 • スイッチを入れ替えたいときは、入れ替えたいスイッチにタッチし、<< 、>> にタッチまたはドラッグ操作（→ P.22）をして、入れ替えます。 • スイッチを削除したいときは、削除したいスイッチにタッチ後、削除 → はい の順にタッチします。 • 一部のスイッチは、削除することができません。

※ ヘルプネット（ワンタッチタイプ）の利用時のみ表示されます。

1. G メモリ

G メモリについて

T-Connect のパソコンサイトで登録した G メモリを、本機のメモリ地点に登録できます。

一度 G メモリに登録すると、トヨタスマートセンターに接続しなくても、G メモリを呼び出すことができます。

G メモリを登録する

1 目的地画面（→ P.92）→ TC で設定

2 G メモリー括ダウンロード にタッチ。

- 本機の G メモリに地点情報が登録されます。

G メモリ地点情報を表示する

G メモリとして登録した地点情報は、T-Connect 画面から呼び出すことができます。

1 MENU ▶ T-Connect →（オンライン）

2 G メモリ地点情報 にタッチ。

3 G メモリ地点名称にタッチ。

4 T-Connect Viewer 画面に切り替わる。

- T-Connect コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

- G メモリ地点情報は、ナビゲーションのメモリ地点と同様に、メモリ地点が呼び出せるナビゲーションの画面からも呼び出すことができます。また、名称読みが登録してあれば、音声認識を使用することもできます。
- G メモリ地点情報は、同じ内容がナビゲーションのメモリ地点にも保存されます。
  修正や消去をしたいときは、ナビゲーションのメモリ地点画面で行ってください。
  詳しくは、「地点の登録について」をご覧ください。（→ P.133）

知識

- 同一の G メモリ地点情報は、上書き登録されます。ただし、音声認識で使用する名称読みが登録してある場合、その情報は保持されます。

1. T-Connect Viewer

T-Connect Viewer 画面で操作する

T-Connect Viewer は、T-Connect の各種コンテンツの表示や操作を行います。

T-Connect Viewer 画面には、コンテンツ閲覧中に表示される画面と、コンテンツ読み上げ中に表示される画面があります。

閲覧中に操作する

コンテンツの閲覧中は、次の操作ができます。

番号	機　能
1	終了 : T-Connect Viewer 画面を終了して T-Connect Viewer 表示前の画面に戻る。
2	閲覧履歴画面を表示する。
3	ブックマーク画面を表示する。
4	表示中のページをブックマークに登録する。
5	読み上げを開始する。 • 読み上げ情報がないときは、スイッチは灰色になっています。 • 読み上げ情報があるコンテンツを表示したときに、自動で読み上げをするかしないかを設定できます。（→ P.509）
6	更新 : コンテンツの再読み込みをして画面を更新する （コンテンツの読み込みが完了または中断しているときに表示） 中止 : コンテンツの読み込みを中止する（コンテンツの読み込み中に表示）

※ コンテンツの読み込み中に 中止 にタッチしたり通信が切断された場合、コンテンツが表示されずに背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。
この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。

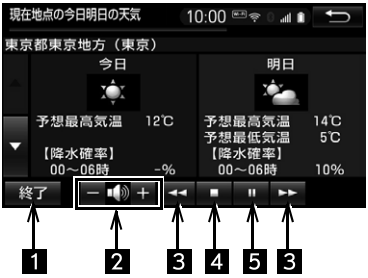
- 更新 にタッチして、コンテンツを再取得する。
- ⮌ を選択していったん前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。

知 識

- 各スイッチは T-Connect Viewer 表示前の画面により、スイッチの表示・非表示およびスイッチ名称に違いがあることがあります。

読み上げ中に操作する

読み上げ情報があるコンテンツは、読み上げ中に次の操作ができます。



番号	機　能
1	T-Connect Viewer 画面を終了して T-Connect Viewer 表示前の画面に戻る。
2	コンテンツを読み上げるときの音量を調整する。 － : 小さくする ＋ : 大きくする
3	読み上げの開始位置を変更する。 ◀◀ : 読み上げ中の項目の先頭からはじめる ▶▶ : 次の項目の先頭からはじめる • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ◀◀ にタッチしてから約 1 秒以内に再度タッチ。
4	コンテンツの読み上げを停止する。
5	❚❚ : コンテンツの読み上げを一時停止する（読み上げ中に表示） ▶ : 読み上げていた項目の頭から読み上げを再開する（読み上げ一時停止中に表示）

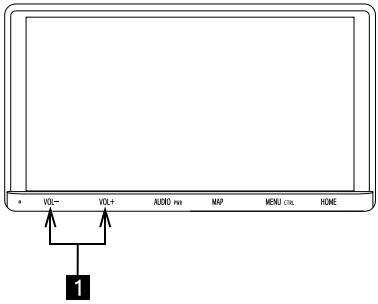
T-Connect Viewer の自動読み上げを設定する

T-Connect Viewer で読み上げ情報があるコンテンツを表示したとき、自動で読み上げをすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 →「オンライン」→ オンライン詳細設定

2 Viewer 自動読上げ にタッチし、「する」／「しない」を設定する。

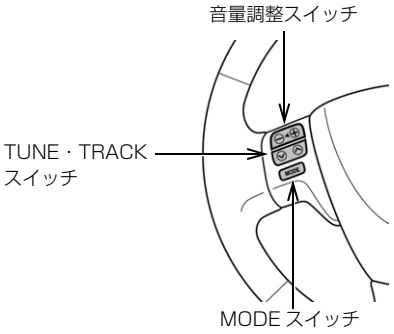
本機のスイッチで操作する



番号	機能
1	コンテンツを読み上げるときの音量を調整する。 VOL− : 小さくする VOL+ : 大きくする • 押すごとに、1 ステップずつ音量が変わります。

ステアリングスイッチで操作する

ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリングスイッチで、T-Connect Viewer の操作をすることができます。



スイッチ	機能
音量調整スイッチ ㊀・㊉	コンテンツを読み上げるときの音量を調整する。 － : 小さくする ＋ : 大きくする
TUNE・TRACK スイッチ ㊇・㊈	コンテンツの読み上げの開始位置を変更する。 ∨ : 読み上げ中の項目の先頭からはじめる ∧ : 次の項目の先頭からはじめる • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∨ を押してから約 1 秒以内に再度押す。
MODE（モード切り替え）スイッチ MODE	• コンテンツの読み上げを解除するとき ➡ 読み上げ中にスイッチを押す。

知 識

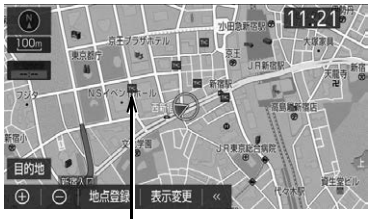
- お車によっては、スイッチのデザインが異なります。

2. TC 情報マーク

TC 情報マークを表示する

TC 情報マークは、T-Connect コンテンツが提供する地点情報です。

情報を取得すると自動で TC 情報マークが地図に表示されます。



施設の情報を表示する

地図上に TC 情報マークが表示されているときは、その施設の情報を見ることができます。

1 TC 情報マークにタッチ。

2 情報 にタッチ。

3 T-Connect Viewer 画面に切り替わります。

- T-Connect コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

(知 識)

- TC 情報マークは、情報を取得した地点情報により異なります。

TC 情報マークを非表示にする

TC 情報マークを消したいときは、次の手順で非表示にすることができます。

地図表示中

1 表示変更 にタッチ。

2 周辺施設 にタッチ。

3 TC 情報マーク表示 にタッチ。

- 地図上のTC情報マークが非表示になります。
- TC 情報マーク表示が設定されているときはスイッチの作動表示灯が点灯します。
  - TC 情報マーク表示を解除するとき
    ➡ 再度 TC 情報マーク表示 にタッチ。

1. T-Connect をスマートフォンやパソコンで利用する

T-Connect はパソコンやスマートフォンからも情報確認や各種設定ができます。

■パソコンサイト

URL : https://toyota.jp/tconnectservice/

■スマートフォンアプリ

MyTOYOTA for T-Connect（無料）を下記 QR コードからダウンロードします。

● QR コード :

● App Store または Google Play™ で「T-Connect」と検索すると表示されます。

⚠ 警告

● 安全のため、運転者は走行中に携帯電話やスマートフォンの操作をしないでください。

● アプリの機能概要は、次のサイトをご覧ください。
URL : https://toyota.jp/tconnectservice/service/sp_app.html

1. ヘルプネット（ワンタッチタイプ）

ヘルプネット（ワンタッチタイプ）について

ヘルプネット（ワンタッチタイプ）は、Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン /Wi-Fi® ルーター等）または販売店装着オプションの DCM を利用して、ヘルプネットセンターに接続します。

ヘルプネット（ワンタッチタイプ）は、急病などの緊急事態発生時に、ヘルプネットスイッチを選択するだけでヘルプネットセンターに接続し、車内からの通報を補助するシステムです。

ヘルプネットセンターに電話が接続されるとオペレーターが応答し、ドライバーあるいは他の乗員から状況を確認して、通報位置に適した警察または消防にオペレーターがお客様の状況を通報します。

- T-Connect を Wi-Fi® テザリング対応機器で利用する場合、ヘルプネットセンターと通話するため、Bluetooth 携帯電話の登録・接続（ハンズフリー設定）が必要です。

ヘルプネットは警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行いません。

- 本システムは、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>がアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>のときに作動します。

サービスのご利用について

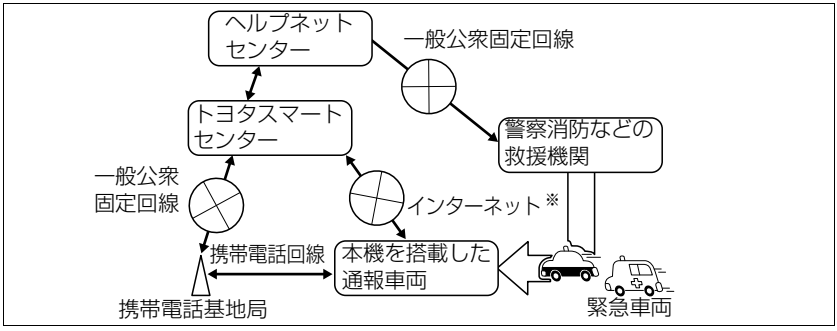
- ヘルプネットは、本機で T-Connect を利用開始の上、サービス開始操作※が完了すると利用することができます。（→ P.500）

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

- サービス開始操作後は、2 年ごとに本機での登録情報の更新が必要です。（DCM パッケージ以外）

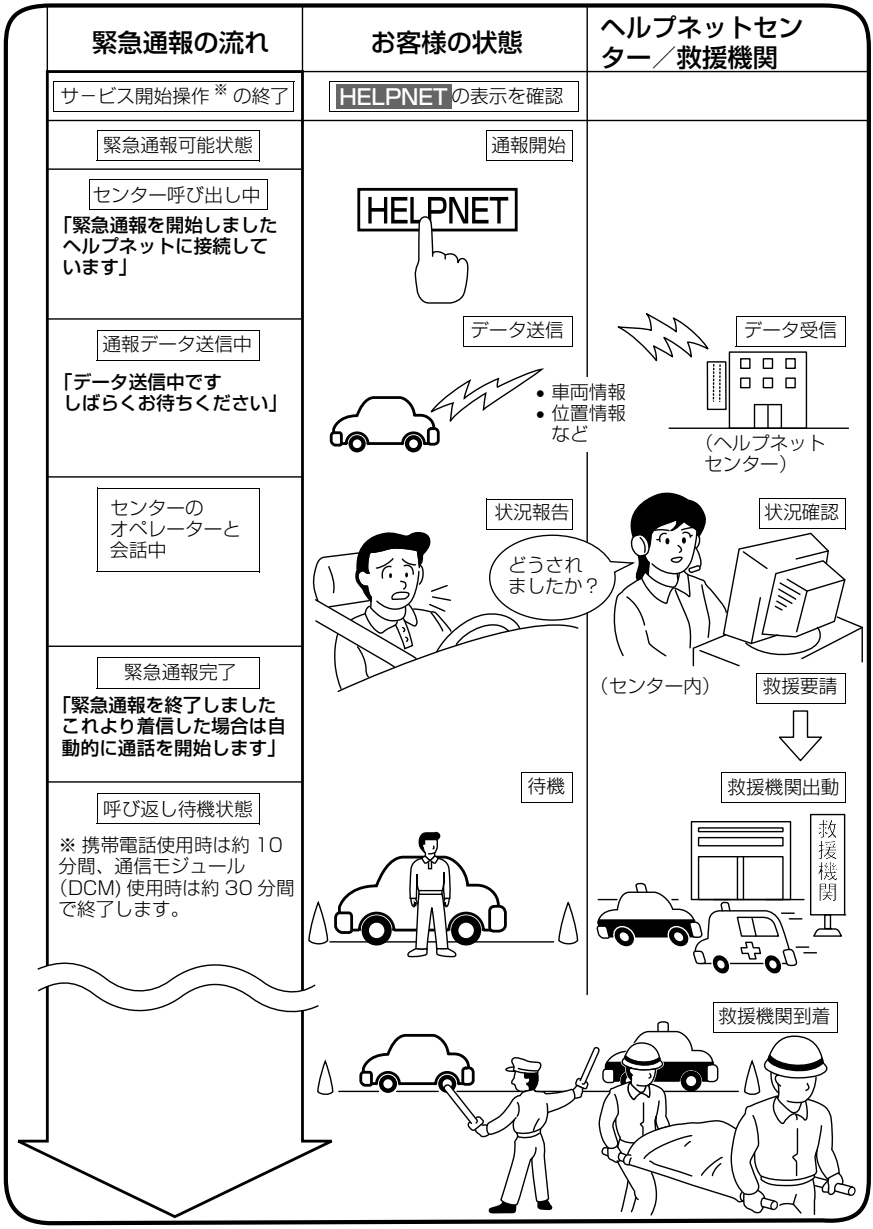
緊急通報のしくみ

- 本機の T-Connect 画面に表示される HELPNET を選択すると、ヘルプネットセンターに通報し、専門のオペレーターが応答します。



※ Wi-Fi® 接続（インターネット回線）のみではご利用いただけません。あわせて、ハンズフリーの設定が必要です。設定方法は「ハンズフリーの準備をする」（→ P.451）をご覧ください。

緊急通報の主な流れ

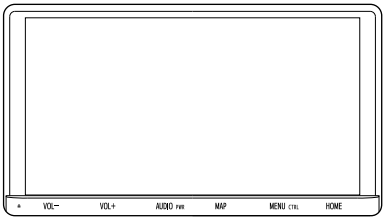


※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

各部の名称と働き

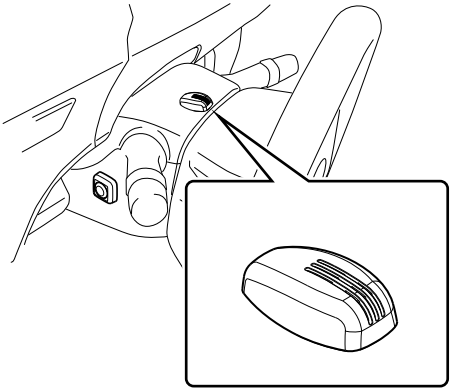
本機

緊急通報時や手動保守点検時に使用します。



マイク

緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に使用します。



● マイクの取り付け位置は一例です。

⚠ 注意

● 本機が故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。本機に液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本機が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。

安全のために

⚠ 警告

● 安全運転を心がけてください。本機は、交通事故や急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
● 緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
● 緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
● サービス開始操作※を行い、T-Connect 画面に HELPNET が表示されていることを必ず確認してください。
● 本機は衝撃などによって、作動しなくなることがあります。このようなときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
● バッテリー<補機バッテリー>の電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できないことがあります。
● 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠ 警告

- 次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア外でご使用の場合
  - Wi-Fi® 接続時にインターネットへ接続できない場合
  - 機器（本機、携帯電話回線に接続する機器、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線）に異常または損傷があり、故障している場合
  - T-Connect の利用契約がされてない、または解除されている場合
  - ヘルプネットの利用登録がされていない、または利用登録が更新されていない場合
  - サービス開始操作※ を実施していないため、本機が緊急通報可能状態になっていない場合
- ヘルプネットを Wi-Fi® テザリング対応機器で使用するとき、次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話と本機が Bluetooth・Wi-Fi® 接続されていない場合
  - 携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している場合
  - 携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない場合
  - 携帯電話が故障している場合
  - 携帯電話の料金を滞納している場合
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。
  通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠ 警告

- ヘルプネットを Wi-Fi® テザリング対応機器で使用する場合、携帯電話の電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。
  「携帯電話の設定について」をご覧ください。（→ P.524）
- 緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。
  基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
  なお、ヘルプネットを Wi-Fi® テザリング対応機器で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機の Bluetooth・Wi-Fi® 接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源が OFF になってしまった場合は、携帯電話の電源を ON にし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。
  また、通話中の場合は、Bluetooth 接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- 安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。
- ヘルプネット（ワンタッチタイプ）はエアバッグと連動していないため、エアバッグが作動しても通報されません。
  HELPNET にタッチして緊急通報をしてください。
- T-Connect を解約しても、T-Connect 画面に、HELPNET が表示されているときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- 煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してトヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- 本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがあるときには、すぐにトヨタ販売店にご相談ください。
- 関連機器などの取り外しを行うと、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなる可能性があります。取り外しが必要な場合には、トヨタ販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話ができません。これらの機器が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- 本機の動作温度範囲（→ P.621）以外では、緊急通報や携帯電話が正常に動作しない場合があります。
  そのときは、最寄りの公衆電話を使用してください。
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物は、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合および車外に避難するときは、パーキングブレーキを確実に作動させ、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしてください。
  この場合、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にした時点で、緊急通報は終了します。
  なお、ヘルプネットを Wi-Fi® テザリング対応機器で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機の Bluetooth 接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源が OFF になってしまった場合は、携帯電話の電源を ON にし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth 接続の切断により、通話も切断されることがあります。

⚠ 注意

- ヘルプネットを Wi-Fi® テザリング対応機器で使用する場合、電話料金を滞納していると、緊急通報できません。電話料金の滞納にはくれぐれもご注意ください。

知 識

- ヘルプネットを Wi-Fi® テザリング対応機器で使用する場合、ヘルプネットによる緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信の通信料金や通話時の通話料は、お客様のご負担となります。
- いたずらなどが原因で救急車両などの出動が起きた場合、該当費用に関しての請求や関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないようにしてください。

緊急通報をする

急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターへ通報するときにスイッチ操作をすることで緊急通報ができます。ここでは、緊急通報の流れを一通り説明します。実際に使用するときにあわてないために、流れを覚えておいてください。

車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>がアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>のとき、T-Connect 画面で HELPNET にタッチすると緊急通報を開始します。あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがってください。

⚠ 警告

- 次の場合は緊急通報できません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - ・ 携帯電話サービスエリア外では緊急通報動作が開始しても、緊急通報できません。
  - ・ 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。
  通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ヘルプネットセンターへ接続中に、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をOFFにしないでください。緊急通報が中止されます。車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をOFFにしてしまった場合、緊急通報はできていないので、再度車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッションONモード<ONモード>にして通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ヘルプネットをWi-Fi® テザリング対応機器で使用する場合は、携帯電話と本機をBluetooth接続した状態にしてください。また、緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。
  「携帯電話の設定について」をご覧ください。(→ P.524)

1 MENU ▶ T-Connect

2 HELPNET にタッチ。

3 ヘルプネットセンターへ接続を開始し、緊急通報が開始される。

- メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- 緊急通報を中止するとき
  ➡ 中止 にタッチ。

4 ヘルプネットセンターにデータ通信を行い、車両の位置などが送信される。

5 データ通信完了後、通話モードになる。

- マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話することができます。

6 オペレーターと通話する。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの症状、警察または消防への通報の要・不要を伝える。

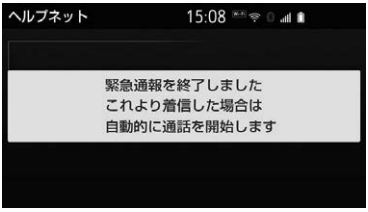
- 通話音量を調整するとき
  ➡ 次のいずれかの操作をする。
  ·ステアリングスイッチの音量調整スイッチで調整する。
  （ステアリングスイッチ装着車のみ）
  · − または ＋ にタッチ。

知識

- 緊急通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の応答が取れたときに関係機関に通報します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。
- ヘルプネットをWi-Fi® テザリング対応機器で使用する場合、通話中に車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をOFFにすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。

7 警察または消防への通報が必要なときはヘルプネットセンターが警察または消防に接続する。

8 通話が終了すると、ヘルプネットセンターが電話回線の切断をする。



- 通話中にステアリングスイッチを操作して電話を切ることができます。
（ステアリングスイッチ装着車のみ）

9 通話終了後、しばらくの間（携帯電話使用時は約10分間、通信モジュール（DCM）使用時は約30分間）は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になる。この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながる。

⚠ 警告

- 呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。
  基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
  なお、ヘルプネットを Wi-Fi® テザリング対応機器で使用する場合、状況によっては携帯電話と本機の Bluetooth 接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源が OFF になってしまった場合は、携帯電話の電源を ON にし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth 接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

知 識

- ヘルプネットを Wi-Fi® テザリング対応機器で使用する場合は、呼び返し待機中に携帯電話本体で電話を受けると、その時点で自動通話になります。
- 呼び返し待機中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー / ヘルプネットを除く T-Connect サービスなどは利用できません。

10 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除される。

知 識

- 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く T-Connect サービスなどは利用できません。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。

保守点検について

保守点検は、自動または手動で車内からヘルプネットセンターに接続し、動作確認や契約状態の確認などを行うときに使用します。

- 保守点検は、次の 2 種類があります。
  - 自動保守点検：（→ P.520）
  - 手動保守点検：（→ P.521）

自動保守点検について

自動保守点検は、本機が定期的に自動で実施する保守点検です。お客様が利用登録されているかの確認を、ヘルプネットセンターがするために実施されます。

- ヘルプネットを Wi-Fi® テザリング対応機器で使用する場合は、携帯電話と本機を Bluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

⚠ 注意

- 自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまったときは、次に車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

(知 識)

- 自動保守点検を行うための特別な操作は、必要ありません。
  - ・ 点検時期：(株) 日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。
  - ・ 点検時間：開始後 1 ～ 2 分で終了します。
- 自動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー / ヘルプネットを除く T-Connect サービスなどは利用できません。
  この場合、自動保守点検が終了してからご利用ください。

手動保守点検について

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

- 使用する携帯電話を追加・変更したときは、必ず手動保守点検と動作確認を行ってください。
- 手動保守点検は、以下の保守点検を実施します。
  - ・ 本機の保守点検（本機修理点検や車両修理後の保守点検）
  - ・ ヘルプネットセンターに利用登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）
- ヘルプネットを Wi-Fi® テザリング対応機器で使用する場合は、携帯電話と本機を Bluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

⚠ 警告

- 手動保守点検の途中で、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしてしまったときは、再度手動保守点検をやりなおしてください。

- 手動保守点検を実施する前に、現在地画面で GPS の受信（GPS マークが表示されること）を確認してください。

GPS マーク

1 MENU ▶ T-Connect →（オンライン）

2 保守点検 を約 10 秒以上タッチし続ける。

3 ヘルプネットセンターに接続を開始します。

- メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- 中止するとき

  ➡ 中止 にタッチ。

4 ヘルプネットセンターに接続すると、最初にデータ通信を行い、以下の確認をする。

- 車両の現在地
- 手動保守点検をしていること
- ヘルプネットセンターに利用登録されていること

5 データ通信完了後、通話モードに切り替わる。

6 マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話する。

- ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。「ピー」と鳴ったら、お客様の名前を話してください。自動音声で名前を繰り返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。
- 通話音量を調整するとき

  ➡ 次のいずれかの操作をする。

  ・ステアリングスイッチの音量調整スイッチで調整する。（ステアリングスイッチ装着車のみ）

  ・ − または ＋ にタッチ。

7 サービス開始操作※時は、通話が正常に終了したら はい にタッチ。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠ 警告

- ここで表示された画面で いいえ にタッチする、または MAP などを押して他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作※を行い、本機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

8 メッセージが表示され、保守点検を終了する。

9 T-Connect 画面に HELPNET が表示されていることを確認する。

⚠ 警告

- 手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。
  途中で中断したときは、手動保守点検が失敗となるため HELPNET は表示されません。それでも HELPNET が表示されたときは緊急通報ができない可能性があるため、トヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- 手動保守点検は見晴らしの良い場所で行ってください。
  - 手動保守点検は、正確に位置情報を送ることができることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPS を受信できる見晴らしの良い場所で行ってください。
  - 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を一度 OFF にし、手動保守点検をやりなおしてください。携帯電話サービスエリア内でやりなおしても接続されない場合には、トヨタ販売店にご相談ください。

知 識

- 手動保守点検開始から通話終了までの間は、本機などの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー / ヘルプネットを除く T-Connect サービスなどは利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。

利用登録の更新

ヘルプネットサービス利用開始日から 2 年ごとに利用登録の更新手続きが必要です。（通信モジュール（DCM）を契約中は不要です。）
更新期限が近づくと、ナビ画面にて期限と更新方法をお知らせします。
ナビ画面にて更新または変更してください。

利用登録の更新操作について

▶T-Connect DCM パッケージ以外をご利用の場合

1 MENU ▶ T-Connect →（「オンライン」）→ ユーザー設定

2 ヘルプネット にタッチ。

3 利用登録の更新手続き にタッチ。

4 T-Connect 暗証番号を入力する。

5 決定 にタッチ。

6 ヘルプネット登録情報画面の内容を確認する。

7 更新 にタッチ。

- 登録情報に変更がある場合、変更 にタッチし、画面に沿って情報を変更してください。

8 ヘルプネット登録情報の更新完了メッセージが表示される。

知識

- 「T-Connect 暗証番号」は、お客様の情報の確認・変更など暗証番号が必要なときに入力していただく４桁です。
- 更新期限の約１ヵ月前に、ナビゲーション画面にお知らせを表示します。
  このお知らせ画面から更新することもできます。

携帯電話の設定について

⚠ 警告

- 緊急通報の妨げになる電話機能は利用しないでください。（機能を解除する方法については、携帯電話の取扱説明書をご参照ください。）
  （1）ダイヤルロック
  （2）発信を制限もしくは禁止する機能
  （3）ドライブモード
  （4）着信拒否、着信制限
  （5）着信転送
  （6）留守番電話
  （7）発信者電話番号非通知
  （8）着信を制限もしくは禁止する機能
  ※（1）（2）の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターに電話をかけることができないため、緊急通報が動作せず、危険です。
  （3）～（8）の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターからの呼び返しができず、救援困難となる可能性があり危険です。
  また、各通信事業者が独自に設定している付加サービス（割込通話、三者通話、セレクトフォン、マルチナンバーなど）によっては、緊急通報が正常に動作しない場合があり危険です。

知識

- ヘルプネットをWi-Fi® テザリング対応機器で使用する場合、携帯電話の通信機能はヘルプネットに優先的に使用されます。このため、次のような場合は携帯電話は使用できません。
  ・ 携帯電話を使用中の場合でも、緊急通報が開始されると携帯電話の使用を中止します。
  ・ 緊急通報中は、携帯電話は使用できません。
  ・ 自動保守点検、手動保守点検のいずれかが先行して通信機能を使用している場合、携帯電話は使用できません。

緊急通報できない場合について

以下のようなときには、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出ることがあります。

T-Connect 利用契約の不成立または消滅

- 未登録の場合
- 利用契約を解除した場合

ヘルプネット利用登録の不成立

- サービス開始操作※を完了していない場合
- 登録情報が更新されていない場合

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

本機または車両関連機器の異常による通信不能

- 本機（車載ユニット、通信モジュール（DCM）、マイク、スピーカー、接続電気回路など）の故障
- バッテリー<補機バッテリー>の電圧低下など、車両関連機器の故障・消耗など
- 車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、本機または車両関連機器の損傷

緊急通報センターシステムの位置評定エラー

- GPS のシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などで GPS での位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きいとき

知 識

- ヘルプネットは、ナビゲーションシステムの GPS から位置情報を取得しています。（→ P.172）

ヘルプネットセンター／トヨタスマートセンターシステムの異常による通信不能

- センターシステムの故障など
- センターの火災などによる、センターシステムの損傷

緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止

- センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要があるとき
- 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中したとき

ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両”が位置するとき
- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑しているなど、通話利用もしくは通話時間が制限され、結果としてヘルプネットによる通信ができないとき
- 本サービスに使用する通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止されたとき

その他

- ヘルプネットを Wi-Fi® テザリング対応機器で使用するとき、次のような理由で携帯電話が使用できない場合
  - ・携帯電話と本機が Bluetooth や Wi-Fi® 接続されていない
  - ・携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している
  - ・携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない
  - ・携帯電話が故障している
  - ・携帯電話の料金を滞納しているなど
- 緊急通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができないとき（手動通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

2. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）について

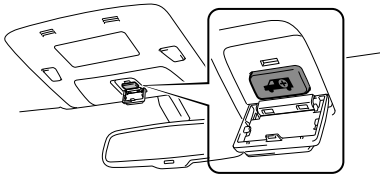
ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）は、標準装備の DCM を利用して、交通事故発生時や急病などの緊急事態発生時に、自動またはボタン操作でヘルプネットセンターに電話し、車内からの通報を補助するシステムです。

標準装備 DCM を利用したヘルプネットの詳細については、車両の取扱書をご覧ください。

各部の名称と働き

ヘルプネットスイッチ

緊急通報時や手動保守点検時に使用します。



サービスのご利用について

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）は、車両取扱書のサービス開始操作に沿って操作してください。

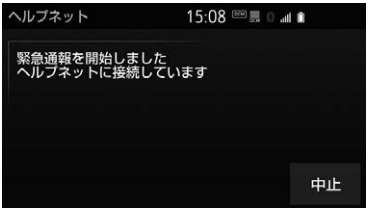
ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）を解約したいときは、T-Connect を解約すると、同時に解約されます。

⚠ 注意

- 標準装備 DCM と接続した場合、本機は、緊急事態発生時や保守点検時に、メッセージなどを表示します。
  また、ナビゲーションシステムの GPS から取得した位置情報を使用します。
  （→ P.172）

緊急通報時の画面について

- 緊急通報が開始されるときに表示される画面

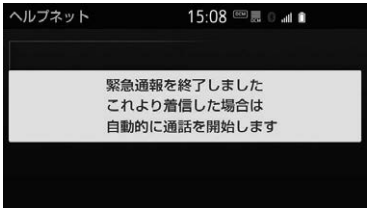


- ヘルプネットに車両の位置などが送信されるときに表示される画面

- データ通信完了後、通話モードになるときに表示される画面

- ヘルプネットセンターのオペレーターと通話中に表示される画面

- ヘルプネットセンターのオペレーターと通話が終了したときに表示される画面



- ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問合せのため、呼び返し待機状態となったときに表示される画面

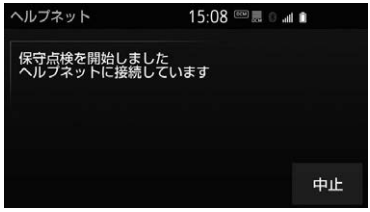
- 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除される。

知識

- 緊急通報開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー / ヘルプネットを除く T-Connect サービスなどは利用できません。

手動保守点検時の画面について

- ヘルプネットセンターに接続が開始されるときに表示される画面



- ヘルプネットセンターに車両の位置などが送信されるときに表示される画面

- データ通信完了後、通話モードになるときに表示される画面

- ヘルプネットセンターと通話中に表示される画面

(知 識)

- 手動保守点検開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー / ヘルプネットを除く T-Connect サービスなどは利用できません。手動保守点検が終了してからご利用ください。

3. マイカー Security（T-Connect DCM パッケージ）

マイカー Security について

マイカー Security は、ドアのこじ開けなどオートアラームの作動を検知した場合、異常をメールや電話でお知らせします。また、車両盗難時はお客様の要請により、車両の位置を追跡し、警備員を現場に派遣します。

マイカー Security のご利用に際して

マイカー Security を利用するには、次の機器の装着が必要です。

- 本機
- T-Connect DCM パッケージ
- T-Connect 対応オートアラーム：アラーム通知サービス利用時に必要です。

上記の必要機器を車両に装着された上で、T-Connect DCM パッケージに申し込みいただくと、次のようなサービスをご利用いただけます。

■アラーム通知（→ P.533）

お車のオートアラーム作動を検知した場合、お客様へメールと電話でお知らせします。対象車種については、T-Connect のパソコンサイト (下記 URL) をご覧ください。

- URL：
  https://tconnect.jp/faq/safetyservice/alarm/1127.html?padid=ag515_faq_from_1130
- QR コード：

■エンジン始動通知（→ P.533）

エンジン<ハイブリッドシステム>の始動を検知し、メールでお知らせします。

■うっかり通知（標準装備 DCM 装着車のみ）（→ P.534）

ドアロック忘れやウインドウ（ドアガラス）の閉め忘れ、ハザードランプ（非常点滅灯）の消し忘れなどを、メールでお知らせします。詳しくは、T-Connect のパソコンサイト (https://toyota.jp/tconnectservice/) をご覧ください。

■車両の位置追跡（→ P.534）

お客様の要請により、盗難車の位置を追跡します。

■警備員の派遣（→ P.534）

車両盗難や車上荒らしの際、お客様の要請により、警備員を派遣します。

■カーファインダー（→ P.535）

リモート操作で、お車の位置を確認することができます。

詳しくは、T-Connect のパソコンサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）をご覧ください。

知 識

- マイカー Security では、車両の異常を検知した場合、サポートアドレスに登録されている電話番号やメールアドレスに通知します。サポートアドレスに登録されていない場合、通知できませんので、必ずご登録ください。また、連絡先に変更があった場合は変更手続きを行ってください。(→ P.570)
- 携帯電話で迷惑メールの拒否設定などをされている場合は、以下の発信元メールを受信できるようにご登録ください。
  [登録する発信元メールアドレス]
  t-connect.info@mail.tconnect.jp
- メールによる通知には遅延が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。
- アラーム通知される番号は発信専用番号となっています。ご連絡の際はオペレーターサービスへご連絡ください。(→ P.551)
  また、指定着信許可・拒否などの設定をされている場合は、以下の番号を着信できるようご登録ください。
  [通知番号] 0561-57-2012
- マイカー Security では車両の位置情報を使用します。本機が起動していない状態で車両が移動された場合、または電波の届かない場所に車両が移動された場合は、位置情報の変化を確認できません。
- T-Connect 利用契約を解除した場合、メールや電話による通知は送信されません。

初期設定の確認・変更

アラーム通知※、エンジン始動通知、うっかり通知の設定の確認・変更について説明します。

■通知設定の一覧

＊ 初期設定

サービス名	通知方法	設定		
アラーム通知※	電話	設定中＊	解除中	―
	E メール	設定中＊	解除中	―
エンジン始動通知	E メール	設定中	解除中＊	―
うっかり通知	E メール	設定中＊	解除中	一時停止中

設定中.....通知します。
解除中.....通知されません。

- サポートアドレスにメールアドレスの登録がない場合は、通知されません。
  サポートアドレスの登録はナビ画面で行えます。(→ P.570)

※ T-Connect 対応オートアラーム装着車のみご利用できます。
対象車種については、T-Connect のパソコンサイト (https://toyota.jp/tconnectservice/) をご覧ください。

解除中→設定中へ切り替える

1 MENU ▶ T-Connect →（┌オンライン┘）

2 マイカー Security にタッチ。

3 設定したい項目にタッチ。

- 設定の説明画面が表示されているとき
  ➡ 内容を確認し、確認 にタッチ。
- スイッチが「設定中」に変わり、通知設定が切り替わります。

設定中→解除中へ切り替える

1 MENU ▶ T-Connect →（┌オンライン┘）

2 マイカー Security にタッチ。

3 解除したい項目にタッチ。

4 エンジン始動通知を解除するとき
➡ 解除 にタッチ。

- アラーム通知を解除するとき
  ➡ 手順 **5** へ

5 T-Connect 暗証番号またはパスワードを入力する。

- T-Connect 暗証番号を登録していないとき
  ➡ パスワード表示窓スイッチにタッチ。

6 解除 にタッチ。

7 確認 にタッチ。

- 設定が「解除中」に変わり、通知設定が切り替わります。

知識

- 「T-Connect 暗証番号」は、お客様情報の確認・変更やマイカー Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく 4 桁の番号です。
- マイカー Security の設定・変更は T-Connect のパソコンサイトや携帯サイトから行うこともできます。

アラーム作動を通知する

▶T-Connect 対応オートアラーム装着車

ドアのこじ開け、車内侵入などのオートアラーム作動を検知した場合、サポートアドレスに登録してあるメールアドレスや電話番号に通知します。

アラーム通知の設定・解除を行うことができます。(→ P.531)

- 車外に出たあと、ドア・トランク・ボンネットを閉め、すべてのドアをロックしたあと、30 秒以上経過すると自動的にオートアラームが設定されます。
- アラーム通知はサポートアドレスに連絡されます。
- アラーム通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置追跡／警備員の派遣サービスをご利用ください。(→ P.534)
- バッテリー<補機バッテリー>があがった場合、アラーム通知は行われません。
- 車両の室内温度が非常に高いとき、アラーム通知の送信が行われないことがあります。
- 通信環境が整わない状況等によりアラーム通知の送信が行われない場合、送信が完了するまで継続されます。
- アラーム通知が未送信状態で、アラームが複数回作動した場合は、最新のアラームを通知します。
- ヘルプネット通報中は、通報が終わるまで、アラーム通知は行われません。
- T-Connect 利用契約を解除した場合、アラーム通知は送信されません。

エンジン<ハイブリッドシステム>の始動を通知する

エンジン<ハイブリッドシステム>の始動を検知し、サポートアドレスに登録してあるメールアドレスに通知します。

お車から離れるとき、携帯電話などから設定しておくと、第三者によるエンジン<ハイブリッドシステム>の始動がわかります。

エンジン始動通知の設定・解除を行うことができます。(→ P.531)

- エンジン始動通知はサポートアドレスに連絡されます。
- エンジン始動通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置追跡／警備員の派遣サービスをご利用ください。(→ P.534)
- オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けたあと、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>が OFF になったことを検知し、通知させることができます。
- オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けたあと、10 分間隔で通知させることができます。(24 時間経過後、自動解除されます。)

うっかり通知

ドアロック忘れやハザードランプ（非常点滅灯）の消し忘れ、ウインドウ（ドアガラス）の閉め忘れなどを、サポートアドレスに登録してあるメールアドレスに通知します。

うっかり通知の設定・解除を行うことができます。（→ P.531）

- エンジンスイッチ <パワースイッチ>をOFF にして数分後、以下の条件をすべて満たすとうっかり通知メールが配信されます。
  - ・ドア・トランク・ボンネットがすべて閉まっている
  - ・電子キーが車内未検知
  - ・ドアロック忘れやウインドウ（ドアガラス）の閉め忘れ、ハザードランプ（非常点滅灯）が点滅しているなど
- お車を駐車した場所やお客様の携帯電話が電波状態の悪い所にあるときは、配信されなかったり、配信が遅れたりすることがあります。
- うっかり通知メールはサポートアドレスに配信されます。
- バッテリー<補機バッテリー>脱着後はエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッションONモード< ONモード>にしないと、うっかり通知メールが配信されません。
- 電子キーが車外にあっても、以下のような場合では車内と判断されることがあります。その際には、うっかり通知メールが配信されない場合があります。
  - ・ドアガラスに近い位置、またはルーフ上に電子キーがある場合。
  - ・ウインドウ（ドアガラス）から車内にある電子キーを車外に出した場合。
  - ・スマートエントリー&スタートシステムをキャンセルしている場合。
- 電子キーが車内にあっても、以下のような場合では車外と判断されることがあります。その際には、うっかり通知メールが配信される場合があります。
  - ・窓から電子キーを車内に入れた場合。
  - ・電子キーの置き場所（インストルメントパネル上など）、状況（電池切れ、金属製ケースなどの中）、また周囲の電波環境によってスマートエントリー&スタートシステムが正常に働かないおそれがある場合。（ 詳しくは、お車の取扱書をご覧ください。）

車両の位置を追跡する

お客様の要請により、オペレーターが盗難車両の位置を追跡します。

ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。（→ P.551）

オペレーターサービス専用電話番号
0561-57-2012
（365 日 24 時間対応）

警備員を派遣する

お車が盗難にあったり、オートアラーム作動を検知した場合にお客様の要請により、警備員を現場に派遣します。

ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。（→ P.551）

オペレーターサービス専用電話番号
0561-57-2012
（365 日 24 時間対応）

- 警備員が出動してから 1 時間以内は無料です。1 時間を超える場合は、オペレーターから延長するかどうかの確認を行います。延長した場合の利用料金は、オペレーターにご確認ください。

- 警備員は盗難車両の確保はいたしません。追跡調査のみ行います。
- 警備員の派遣を依頼するときには、警察への被害届けが必要となります。

カーファインダー

リモート操作で、お車の位置を確認することができます。また、お車の駐車位置を専用のスマホアプリ※1の地図上で確認できます。※2

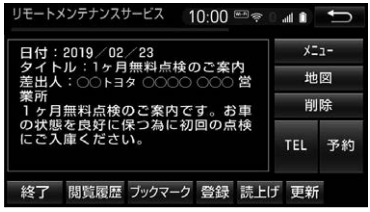
※1 専用のスマホアプリのインストールが必要です。
※2 事前に本機から設定が必要です。2ヵ月経過すると自動的に設定が解除されます。

4. リモートメンテナンスサービス

リモートメンテナンスメール

走行距離や使用期間に応じて、定期点検やオイル交換・タイヤ交換などのメンテナンス内容を、お車にメールでご連絡します。

また、電話やネット予約により、その場でトヨタ販売店への入庫予約を行うことができます。



5. マップオンデマンド（地図差分更新）

マップオンデマンドとは

トヨタスマートセンターでは、新しい道路情報が準備でき次第、順次地図データを更新しています。

マップオンデマンドは、通信モジュール（DCM）・Wi-Fi® の通信・パソコン（インターネット）を経由して新しい道路情報をダウンロードし、地図を更新するサービスです。

マップオンデマンド（地図差分更新）と全更新

地図更新は、新しい道路データ（差分）を Wi-Fi®、通信モジュール（DCM）、パソコンで更新していく「マップオンデマンド（地図差分更新）」と、販売店で、すべての地図データを更新する「全更新」があります。全更新については、「地図データの更新について」（→ P.180）をご覧ください。

更新にかかる費用

更新方法により、更新時に次の費用がかかります。

[通信で更新]

▶Wi-Fi® 利用時
- Wi-Fi® テザリング契約料
- Wi-Fi® 通信費

▶通信モジュール（DCM）利用時
- T-Connect DCM パッケージ基本利用料に含む

[パソコン経由（CD-R/DVD-R）で更新]※
- パソコンのインターネット通信費
- CD-R/DVD-R 代

[地図更新 DVD を注文して更新]
- 地図更新 DVD は有料です。料金については、マップオンデマンド・ダウンロードサイト（http://mapondemand.force.com/）をご確認ください。

※ T-Connect サービスを契約していないお客様もご利用いただけます。

サービス期間

マップオンデマンドは、ナビ購入日をサービス利用開始日とし、利用開始日より３年間ご利用いただけます。

また、「全更新」することで、「全更新」を実施した日から２年間ご利用いただけます。

- 利用開始日より３年未満に「全更新」された場合でも、ご利用期間は「全更新」の実施日から２年間となるため、ご注意ください。
  ただし、登録初年度に「全更新」された場合のみ、利用開始日より３年間ご利用いただけます。

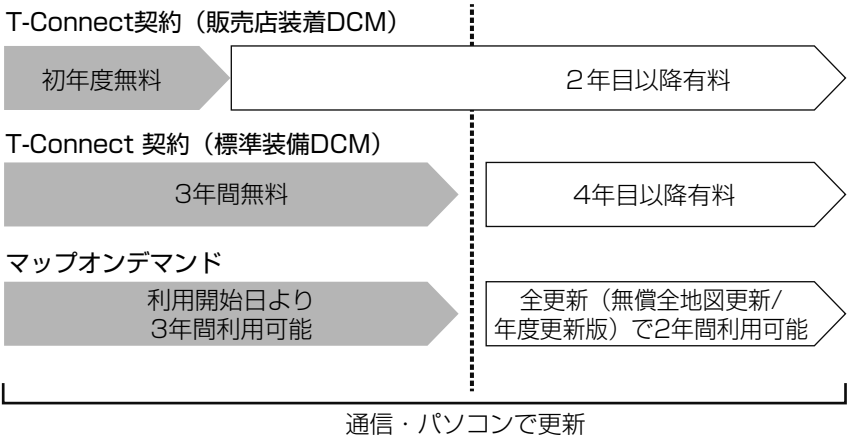
- ナビ購入日より３年間で１回無償で「全更新」をご利用いただけます。
  詳しくは販売店にお問い合せください。

(知 識)

- 全更新は、お買い上げの販売店で行います。また、販売店での更新作業には、作業時間に応じた費用が別途、発生する場合があります。
  詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 無償地図更新の実施状況は、地図更新画面（→P.543）で **使用データ** にタッチすると、確認できます。

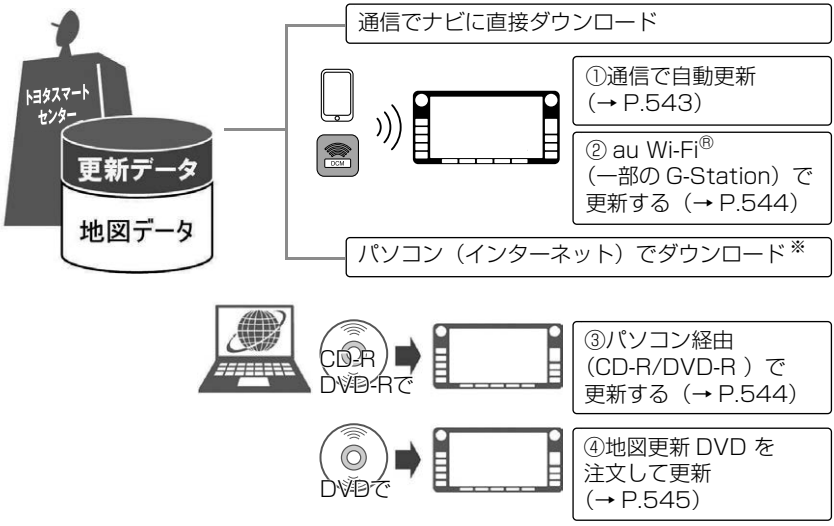
T-Connect とマップオンデマンドの無料期間は異なります。

マップオンデマンド無料期間終了後の「全更新」は T-Connect の契約に含まれないため、T-Connect を継続していても自動更新できなくなりますので、ご注意ください。



更新方法

更新方法は 4 種類あります。



※ T-Connect サービスを契約していないお客様もご利用いただけます。

■通信で更新

- 自動更新
  下記のタイミングで、自動的に更新データをダウンロードします。
  ・車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞がアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ON モード＞時、ナビゲーションで登録した自宅周辺 80 ㎞（細街路は 10 ㎞）四方ならびに全国配信道路に更新情報がある場合
  ・目的地設定時、目的地周辺 10 ㎞四方ならびに全国配信道路に更新情報がある場合
- au Wi-Fi®（G-Station※）で更新する場合
  更新したい都道府県を選択後、地図更新画面の **開始** にタッチ。

※G-Station は、電気自動車の充電スタンドです。更新に対応していない G-Station もあります。（http://www.toyota-ms.co.jp/G-Station/index2.html）

■パソコン経由（CD-R/DVD-R）で更新

- 更新したい都道府県を選択すると、全国配信道路の更新データもあわせてダウンロードします。
- T-Connect を利用していないお客様もご利用いただけます。

■地図更新 DVD を注文して更新

地図更新 DVD は、Web で注文して購入することも可能です。

- URL:http://mapondemand.force.com
- QR コード:

その際、以下の情報が必要になりますので、確認しておいてください。

- 車種名
- ナビ型番
- サービス終了日※
- 地図のタイプ※
- ナビバージョン※

※地図更新画面で確認できます。(→ P.543)

■更新データ配信の目安

- 高速道路は供用開始後、最短即日（平均 14 日程度）で更新します。ただし、年末年始などの長期休暇、開通道路状況、天候不良、システム保守などにより、配信までの期間に遅延が生じる場合があります。地図更新データの収集・整備状況によっては、配信までに 3 カ月ほどかかる場合もあります。
- 一般道路は、開通後（変更後）、地図データとして収集・整備を行った後、順次配信します。

更新対象

	全国配信	指定エリア※ 配信
道路データ	高速道路・有料道路、主要国道	一部国道、主要道、都道府県道、その他道路、道幅 5.5m 未満の道路
施設情報	高速道路・有料道路施設	立体ランドマーク相当の著名な施設
市街図	更新対象外	更新対象外
音声案内	更新対象外	更新対象外

※ 指定エリア
［通信で更新時］：自宅周辺 80 ㎞（細街路は 10 ㎞）四方、目的地周辺 10 ㎞四方
- 指定エリア配信を通信で更新する場合、事前に自宅登録もしくは目的地設定が必要です。（au Wi-Fi®（一部の G-Station）で更新する場合を除く）

［パソコン経由（CD-R/DVD-R）で更新］：選択した都道府県（1 回の更新で 3 都道府県まで選択できます。）

知識

- 施設の情報は、マップオンデマンドで更新されません。ただし、一部の施設マーク（コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファーストフード店、駐車場）の表示は更新されます。
- マップオンデマンドでは、音声案内データは更新されませんので、交差点、路線、方面名称、施設名称、目印などが更新された場合、固有の音声案内は出力されません。

地図更新のステップ

更新データの本機へのダウンロード（またはコピー）後、地図の更新が完了するまで 2 つのステップがあります。

（1） 地図の更新準備

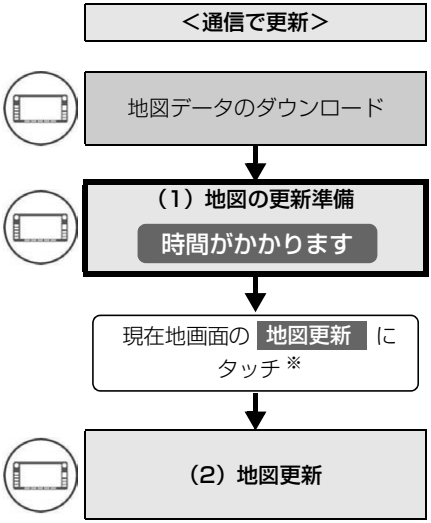
地図データを書き換えるための準備を行います。

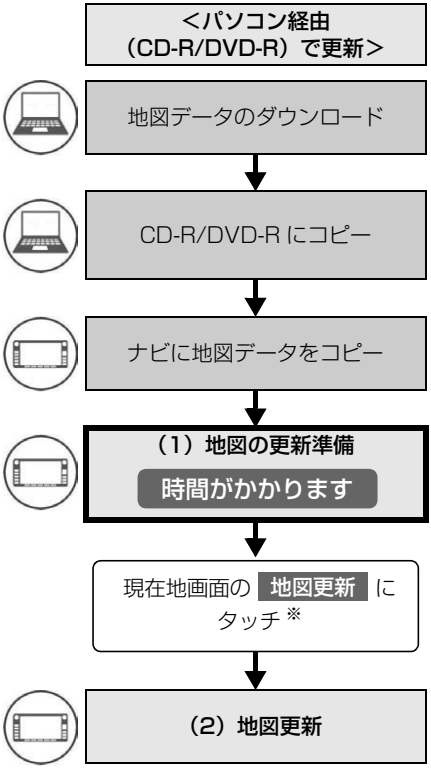
ご利用の地図データや更新頻度により異なりますが、更新データが多い場合、数時間かかることがあります。自動更新以外でご利用の場合、定期的に更新することをおすすめします。

（2） 地図更新

本機の地図データを書き換える処理です。

更新準備が完了後、現在地画面の 地図更新 にタッチした後、20 ～ 30 秒程度で完了します。ただし、更新データが多い場合は数分程度かかることがあります。





※ 地図更新 にタッチしなかった場合、次回車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞がアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ ON モード＞にしたときに地図更新を行います。

知 識

- 「地図の更新準備」および「地図更新」中にオーディオなどの操作を行った場合は、さらに時間がかかることがあります。

地図更新画面の使い方

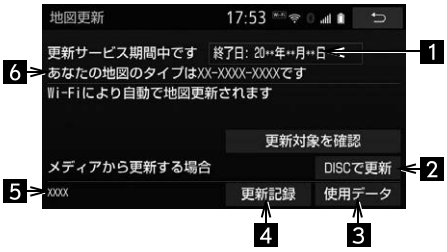
地図更新に関する情報の確認や操作は、地図更新画面から行います。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 地図更新

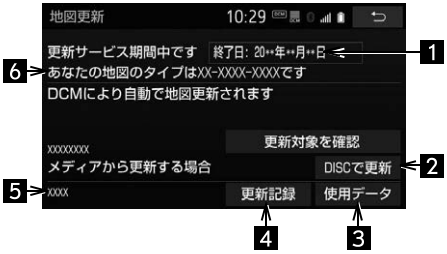
または

MENU ▶ T-Connect →（┌オンライン┘）→ 地図更新

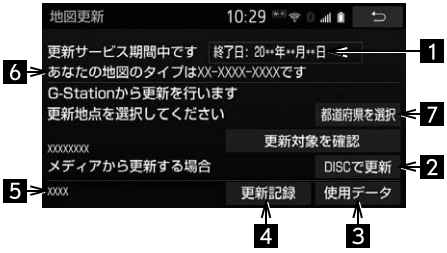
▶T-Connect（Wi-Fi® 接続）利用時



▶T-Connect DCM パッケージ利用時



▶au Wi-Fi® （一部の G-Station）利用時



番号	機能
1	更新サービス終了日を表示する。
2	CD-R/DVD-R で更新する。
3	使用データ画面を表示する。 • 地図 SD カードに収録されているデータベースなどの情報や無償地図更新で使用する地図更新 ID、無償地図更新の実施状況を確認できます。
4	最新の更新日を確認する。 定期更新のお知らせ通知を設定する。 • 最終更新日から 2ヵ月以上経過しているときに定期更新をお知らせする画面を表示させることができます。
5	ナビバージョンを表示する。
6	地図のタイプを表示する。
7	更新する都道府県を選択する。

地図を更新する

通信で自動更新する（利用機器：通信モジュール (DCM)、Wi-Fi®）

差分データがあると、自動で更新データをダウンロードします。

※ **T-Connect DCM パッケージ**：初回の更新には、時間がかかる場合があります。
T-Connect：初回については情報量が多くなりますので、au Wi-Fi®（一部の G-Station）または CD-R/DVD-R での更新をおすすめいたします。

1 トヨタスマートセンターに接続し、差分データがあると、データがダウンロードされる。

● 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

2 現在地画面の 地図更新 にタッチ。

3 地図が更新される。

● 地図更新中画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。

au Wi-Fi®（一部の G-Station）で更新する

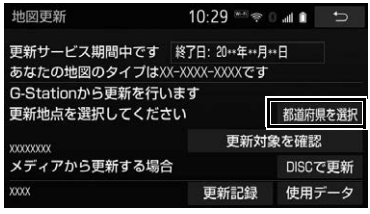
au Wi-Fi®（一部の G-Station）で更新する場合、事前に Wi-Fi® の設定（→ P.577）が必要です。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 地図更新

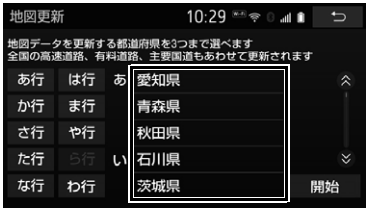
または

MENU ▶ T-Connect →（「オンライン」）→ 地図更新

2 都道府県を選択 にタッチ。



3 都道府県にタッチ。



➡ 更新する都道府県を 3 つまで選択し、開始 にタッチ。（選択できる都道府県は最大 3 つです。）

4 データがダウンロードされ、地図更新の準備をする。

● ダウンロードが完了すると、au Wi-Fi®（一部の G-Station）エリアから離れることができます。

● 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

5 現在地画面の 地図更新 にタッチ。

6 地図が更新される。

● 地図更新中画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。

● 地図のダウンロードに20分以上かかる場合があります。

パソコン経由（CD-R/DVD-R）で更新する

■地図データを用意する

1 マップオンデマンドのダウンロードサイト（https://g-book.com/mapondemand/Top.aspx）からデータをダウンロードする。

2 地図データを CD-R/DVD-R にコピーする。

⚠ 注意

- CD-R/DVD-R には地図データ以外の情報を入れないでください。
- ダウンロードした地図データのファイル名および拡張子を変更しないでください。変更すると地図更新できません。

■地図を更新する

1 回の更新で 3 都道府県まで更新できます。

1 CD-R/DVD-R を本機に挿入する。

2 CD-R/DVD-R に差分データがある場合は、開始 にタッチ。

➡ 更新する都道府県を 3 つまで選択し、開始 にタッチ。

- 地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。

3 データがコピーされ、地図更新の準備をする。

- コピーが完了したら、CD-R/DVD-R を取り出すことができます。
- 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

4 現在地画面の 地図更新 にタッチ。

5 地図が更新される。

- 地図更新中画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。

(知 識)

- 詳しい操作方法は、マップオンデマンドのダウンロードサイト（https://g-book.com/mapondemand/Top.aspx）の「使い方ガイド」にてご確認ください。

マップオンデマンド・サポートデスク
0561ー57ー6814
受付時間　9:00 ～ 18:00
（年中無休）

地図更新 DVD を注文する（有料）

地図更新 DVD は、Web で注文して購入することも可能です。

- URL:http://mapondemand.force.com
- QR コード:

その際、以下の情報が必要になりますので、確認しておいてください。

- 車種名
- ナビ型番
- サービス終了日 ※
- 地図のタイプ ※
- ナビバージョン ※

※ 地図更新画面で確認できます。（→ P.543）

6. ハイブリッドナビについて

ハイブリッドナビは、車載ナビによるルート探索と、トヨタスマートセンターから配信される最適なルート探索を合わせた、ルート案内サービスです。

- トヨタスマートセンターで、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を考慮した最適なルートを探索し、車載ナビに配信します。
- ルート案内の際、トヨタスマートセンターの最新地図を取得して表示します。
- ルート案内中もトヨタスマートセンターで約 5 分毎に最適ルート探索を行い、より短時間で目的地に到着できるルートがあれば、新しいルートを提案します。
- 通信環境が悪く、トヨタスマートセンターと通信できないエリアでは車載ナビでルート探索を行い、通信環境の良いエリアに入ると、自動的にトヨタスマートセンターと通信を開始してルート探索を行います。

(知 識)

- 目的地をセットすると、自動的にトヨタスマートセンターでルート探索を行います。トヨタスマートセンターから配信されるルートには が表示されます。
- ハイブリッドナビをご利用中の場合は、ルート学習機能を活用いただけません。そのため、ハイブリッドナビをご利用中は、ルート学習を設定する必要がありません。
- ハイブリッドナビをご利用中の場合は、T ルート探索（→ P.548）をご利用になれません。

拡張ルート探索

ハイブリッドナビの機能の一つとして、5 つのパターン（推奨、有料優先、一般優先、距離優先、別ルート）から希望のルートを選ぶ 5 ルート探索（→ P.114）の他に、トヨタスマートセンターから配信される、お客様のニーズに応じたルート探索パターンを選択することができます。

1 ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で 拡張ルート にタッチ。

2 希望のルートにタッチ。

- 新しいルート探索パターンは順次配信されます。

ハイブリッドナビの利用について

■利用条件

- T-Connect 利用契約の有効期間であること
- マップオンデマンドのサービス利用期間（→ P.537）であること

▶T-Connect 利用契約中であり、マップオンデマンドのサービス利用期間外の場合

- T ルート探索（プローブ情報付）がご利用いただけます。（→ P.548）

知 識

- ハイブリッドナビ利用期間中にハイブリッドナビの利用する／しないを選択できます。（→ P.153）

7. T ルート探索（プローブ情報付）

T ルート探索をする（プローブ情報付）

トヨタスマートセンターから、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を、広域の渋滞予測情報として提供します。この情報をもとに、目的地までの最適なルートを探索し、ご案内します。

T-Connect 利用契約中であり、マップオンデマンドのサービス利用期間外の場合にご利用いただけます。

知識

- オペレーターにナビの目的地設定を依頼すると、T ルート探索による最適なルート案内を行います。
- 渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
- T ルート探索をしても、ルートが変わらないことがあります。
- ハイブリッドナビ（→ P.546）をご利用中の場合は、T ルート探索をご利用になれません。

T ルート探索（プローブ情報付）を利用する

■目的地設定時に取得する

目的地設定後に表示される全ルート図表示画面から、T ルート探索することができます。

1 ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で Tルート にタッチ。

- トヨタスマートセンターに接続し、T ルート探索を行います。
- 通常のルート探索をしたルートに戻すとき
  ➡ 元ルート にタッチ。

知識

- T ルート探索後に IC 指定や探索条件変更などを行うと、広域の渋滞予測情報は破棄されます。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。
- T ルート探索で取得した情報が本機に保存されていれば、元ルート にタッチしたあとに Tルート にタッチしても、トヨタスマートセンターに接続されません。

■ルート案内中に手動で取得する

ルート案内中に手動で、T ルート探索することができます。

現在地画面（→ P.75）

1 再探索 にタッチ。

2 Tルート探索 にタッチ。

- トヨタスマートセンターに接続し、T ルート探索を行います。
- T ルート探索情報の取得を中止するとき
  ➡ 取得中止 にタッチ。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。

■T ルート探索を自動で取得する

プローブ交通情報を自動取得に設定すると、次のタイミングで自動的に T ルート探索情報を取得できます。

- ルート案内開始時と、案内開始以降約 20 分ごと
- JCT 手前や高速道路に乗る手前

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → ルート系設定

2 プローブ交通情報自動取得 にタッチし、「する」／「しない」を設定する。

知 識

- ハイブリッドナビ（→ P.546）利用期間中は、ハイブリッドナビでのルート情報の取得が優先されます。

8. オペレーターサービス

オペレーターサービスについて

オペレーターサービスは、電話で依頼するだけで、オペレーターがお客様に代わって、ナビゲーションの目的地設定やレストラン／駐車場の検索などを行うサービスです。

- T-Connect を Wi-Fi® テザリング対応機器で利用する場合は、オペレーターと通話するため、Bluetooth 携帯電話の登録・接続（ハンズフリー設定）が必要です。

オペレーターサービスメニュー

▶ドライブサポート
- ・ナビの目的地設定
- ・駐車場の案内
- ・電話番号の案内・発信設定
- ・夜間・休日診療機関の案内
- ・施設情報案内
- ・道路交通情報案内

▶セキュリティサービス
(T-Connect DCM パッケージ 契約が必要)
- ・オートアラームの作動連絡
- ・盗難車両の位置追跡
- ・警備員の派遣手配

▶トラブルサポート
- ・ロードアシスト 24 への取次ぎ

項目	T-Connect	T-Connect DCM パッケージ
ハンズフリー	必要	不要
通話料	お客様負担	無料

- スマートフォンで Wi-Fi® 接続するには、通信事業者とのテザリング契約が必要になる場合があります。
- お車での利用は、ハンズフリーが利用可能な条件を満たしているときに可能です。(→ P.451)
- 利用料金や詳しいサービス内容については、T-Connect のパソコンサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）でご確認ください。

知 識

- T-Connect DCM パッケージ をご利用の場合は、オペレーターへの発信のみ可能です。オペレーターからの着信には対応していません。
- 本機の時刻データが更新されていないと、オペレーターサービスを利用できません。この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動し、画面外の MAP を押して地図画面上に GPS マークが表示されることを確認したあと、再度試してみてください。
- ヘルプネットの緊急通報中または保守点検中は、オペレーターサービスを利用できません。
- オペレーターサービス中は、ヘルプネット以外のデータ通信を必要とするサービスは使用できません。これらのサービスを使用するときは、オペレーターサービスを終了してからご使用ください。
- マルチナンバーなど、ひとつの携帯電話に複数の番号が付与されるサービスをご利用の場合、オペレーターサービスが正常に動作しないことがあります。
- T-Connect を通信モジュール（DCM）で使用する場合、電話機接続で携帯電話が選択されていても、オペレーターサービス中は一時的に Bluetooth 接続が切断されます。

オペレーターサービスを開始する

オペレーターサービスの開始操作は、以下の 3 通りの方法があります。
- ボイスサポートを使用する（→ P.350）
- 本機で操作する（→ P.551）
- ステアリングスイッチのトークスイッチで操作する（→ P.557）

オペレーターサービスを使う

本機で操作する

車内よりハンズフリーを利用する場合の使用例を紹介します。

1 MENU ▶ T-Connect →（┌オンライン┘）

2 オペレーターサービス にタッチ。

3 オペレーターに接続する。

- 中止するとき
  ➡ 中止 にタッチ。

4 オペレーターと通話する。

- 「ナビの目的地設定」、「レストランや駐車場などの周辺情報の検索」や「ニュースの配信」など、利用したい内容をオペレーターにお伝えください。

5 オペレーターとの通話が終了する。

- 自動的に回線が切断されます。

6 画面の指示にしたがって操作する。

- 「周辺情報の検索」や「ニュースの配信」などを利用した場合、トヨタスマートセンターから情報を取得すると、メッセージが表示されます。

手動で情報を取得する

- 自動で情報が取得されない場合は、次の手順で取得してください。

1 MENU ▶ T-Connect →（┌オンライン┘）

2 情報確認 にタッチ。

3 メッセージが表示されたら、はい にタッチ。

- メッセージが表示されないとき
  ➡ 受信一覧 にタッチ。

- 過去に依頼した情報が表示されます。

9. 渋滞予測

渋滞予測情報を表示する

トヨタスマートセンターから渋滞予測情報を取得し、その情報を表示するサービスです。

高速路線マップで表示された道路の現在地周辺とルート上に、渋滞の増減を示すアイコン（渋滞増減予測のアイコン）を表示します。また、ルートが設定されているときは、ルート上の渋滞予測情報を読み上げることもできます。

- 渋滞予測情報は現在地周辺を基準として提供され、「渋滞」および「混雑」について、旅行時間データが提供されている路線のみ表示します。

表示	名称	内容
▶赤色	渋滞	渋滞の区間を示しています。
▶橙色	混雑	混雑の区間を示しています。
▶黒色	通行止め区間	通行止めの区間を示しています。
▶灰色	不明区間	交通情報が配信されていない区間を示しています。

※ 渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
なお、「通行止め」は現在の状況が継続するとして扱っております。

渋滞予測情報を提供する路線について

- 都市間高速道路
- 都市高速道路
- 主な有料道路
- 一部の一般道路
  - 松永道路、名阪国道、姫路西バイパス、姫路バイパス、保土ヶ谷バイパス、加古川バイパス、米子バイパスなど

* 情報提供路線は随時更新されます。

渋滞予測情報を表示する

1 MENU ▶ 情報

2 高速渋滞予測 にタッチ。

3 トヨタスマートセンターに接続し、渋滞予測情報を取得する。

- 情報の表示および読み上げを行います。
- 情報の取得を中止するとき
  ➡ 中止 にタッチ。

知識

- 渋滞予測情報の読み上げは、Viewerの自動読上げ設定（→P.509）に関係なく、常に読み上げられます。
- 以前に取得した渋滞予測情報が本機に保存されているときは、トヨタスマートセンターに接続しないことがあります。
- 極端に遠い距離の渋滞予測情報（到着予想時刻を含む）は、表示されないことがあります。

渋滞予測時間を変更する

渋滞予測情報は、現在の渋滞状況以外に、一定の時間単位で時間を進めて、今後の渋滞予測を表示させることができます。

1 次のいずれかにタッチ。

＋：渋滞予測時間を進める

－：渋滞予測時間を戻す

現在：現在の渋滞状況を表示する

知識

- トヨタスマートセンターから提供される渋滞予測情報は、現在については現在の交通状況が提供され、未来については予測した情報が提供されます。
- その時間の渋滞予測情報を取得していない場合のみ、トヨタスマートセンターに接続して渋滞予測情報を取得します。

渋滞増減予測を表示する

渋滞予測画面の地図上に、渋滞増減予測のアイコンを表示させることができます。

また、ルート上の読み上げ情報があるアイコンの場合は、渋滞情報を音声で読み上げることができます。

渋滞増減予測アイコンのON（表示する）／OFF（表示しない）を選択できます。

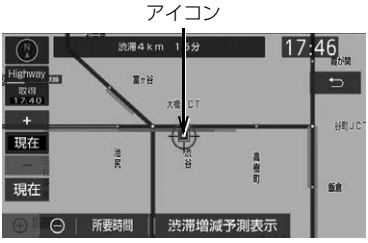
1 MENU ▶ 情報 → 高速渋滞予測

2 渋滞増減予測表示 にタッチ。

作動表示灯

- 渋滞増減予測表示が設定されているときは、作動表示灯が点灯します。
- アイコンを表示しないとき
  ➡ 再度 渋滞増減予測表示 にタッチ。

3 読み上げ情報があるアイコンの場合は、地図上に表示されたアイコンにタッチ。



● 渋滞情報を読み上げます。

アイコン	内 容
+	表示している時間後に、渋滞が増加傾向であることを表します。
−	表示している時間後に、渋滞が減少傾向であることを表します。
■	表示している時間後に、渋滞が変化しないことを表します。

知 識

- 渋滞増減予測のアイコンは、地図の縮尺によって、表示されないことがあります。
- 渋滞増減予測のアイコンは、ルートが設定されている場合は、ルート沿いの情報を提供します。また、ルートが設定されていない場合は、現在地周辺の情報を提供します。

区間所要時間予測を表示する

高速道路を通るルートが設定されているとき、休憩した場合の所要時間予測を行います。
ルート上の渋滞変化を予測し、高精度の到着予測時間をサービスします。

▶区間所要時間予測表示

1 MENU ▶ 情報 → 高速渋滞予測

2 所要時間 にタッチ。

● トヨタスマートセンターに接続し、区間所要時間予測情報を取得すると、ブラウザ画面で区間所要時間予測が表示されると同時に読み上げが行われます。

3 区間所要時間予測表示を解除するときは、終了 または ⮌ にタッチ。

知 識

- 出口 IC までの距離が遠い場合は、出口 IC まで表示されないことがあります。
- 渋滞予測画面で表示される到着予想時刻と区間所要時間予測表示で表示される内容は、それぞれ独自で処理するため異なる表示をすることがあります。

10. WEB 検索

WEB 検索で目的地を設定する

本機からインターネットの検索エンジンを使用して施設を検索し、目的地に設定することができます。

1 MENU ▶ 目的地 → WEB

2 キーワードを入力し（→ P.39）、検索 にタッチ。

- 施設名や住所、郵便番号、電話番号などのフリーワードで検索することができます。
- 検索文字の一部を入力すると、候補となる施設や場所が表示されます。
- スペースを空けて複数のワードを入力すると、候補となる施設や場所を絞り込んで検索することができます。

3 検索結果リストから希望の目的地にタッチ。

- ⓘ にタッチすると、施設情報を表示します。
- 絞り込み にタッチすると、次の方法で目的地を絞り込むことができます。
  - 現在地周辺で絞り込む：現在地周辺の施設名称または地名を絞り込むことができます。
  - 目的地周辺で絞り込む：目的地が設定されている場合、目的地周辺の施設名称または地名を絞り込むことができます。
  - ルート沿いで絞り込む：目的地が設定されている場合、ルート沿いの施設名称または地名を絞り込むことができます。
  - エリアで絞り込む：エリアを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。（→ P.99）
  - ジャンルで絞り込む：ジャンルを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。（→ P.100）
  - 検索ワードを追加する：キーワードを追加で入力することにより、候補となる施設名称や地名を絞り込むことができます。

4 目的地セット にタッチ。

- 地点登録 にタッチすると、メモリ地点に登録できます。
- 情報 にタッチすると、施設情報を表示します。

知識

- 800m 図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 検索された施設の情報は、検索エンジンに依存し、パソコンでの検索結果とは異なります。詳細は利用案内をご確認ください。
- 検索エンジンは、予告なしにサポートを終了する場合があります。
- 検索条件によっては、検索結果が取得できない場合があります。
- 検索エンジン側のメンテナンス作業などにより、サービスが利用できない場合があります。
- 検索エンジンからの取得結果によっては、実際の位置と異なる場所が表示される場合があります。
- メモリ地点の登録数には制限があります。登録できない場合は、不要なメモリ地点を削除してから、登録してください。

11. エージェント

エージェントのサービス内容について

音声認識用マイクに向かって話かけることにより、目的地設定の操作や、天気予報などの情報を音声とテキスト表示でご案内します。

主なサービス	機能概要
日常会話	エージェントとの日常会話を行う。 発話例：「おはよう」
ニュース	提携コンテンツから取得したニュースのテキスト表示・読み上げをする。 発話例：「スポーツニュースは？」
天気予報	提携コンテンツから取得した天気予報のテキスト表示・読み上げをする。 発話例：「横浜の天気は？」
目的地検索	提携コンテンツで検索した施設を目的地に設定したり、施設情報の確認、施設への電話発信やGメモリ地点への登録をする。 発話例：「名古屋駅周辺のイタリアン」
ヘルプ	エージェントで実行可能な機能や発話例をガイドする。 発話例：「ヘルプ」
閲覧履歴	閲覧履歴を表示し、履歴から目的地を選択したり履歴の編集（削除）ができる。 発話例：「閲覧履歴」
オペレーターサービス	オペレーターサービスに接続し、オペレーターによる情報検索やナビ設定ができる。 発話例：「オペレーターサービス」
交通情報	提携コンテンツから取得した交通情報（渋滞情報）のテキスト表示・読み上げする。 発話例：「この辺の渋滞情報を教えて」
自宅に帰る	自宅が登録されている場合、自宅に目的地を設定する。 発話例：「自宅に帰りたい」

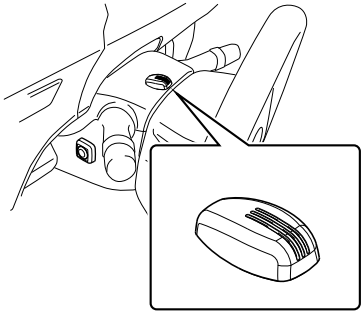
※サービス内容は順次変更されます。

知 識

- 話かける際は、大きめな声でゆっくり、はっきりとお話ください。
- エアコンの風量が強いと認識しづらい場合があります。
- 認識しづらい場合は条件を2回に分けるなど、短い文章でお話ください。
  例）「駐車場付きの名古屋のレストラン」
  - 発話1回目：「名古屋のレストラン」 → 名古屋のレストランを検索
  - 発話2回目：「駐車場付き」 → 駐車場付きの名古屋のレストランを検索

音声認識用マイク

発声したコマンドを認識します。



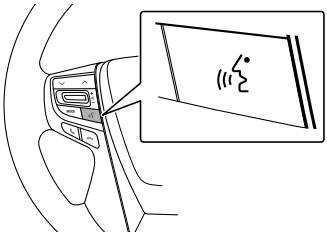
- 音声認識用マイクの取り付け位置は一例です。

トークスイッチまたは音声認識スイッチ

スイッチを操作することにより、エージェントの開始ができます。

▶ステアリングスイッチ装着車でトークスイッチがある場合

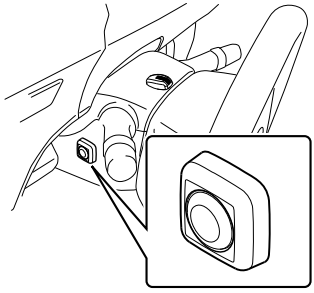
＜トークスイッチ＞



- お車によってはトークスイッチのない場合があります。

▶ステアリングスイッチ非装着車または、ステアリングスイッチ装着車でトークスイッチがない場合

＜音声認識スイッチ＞



- 音声認識スイッチの取り付け位置は一例です。

エージェントを開始する

エージェントの開始操作は、以下の3 通りの方法があります。

- ボイスサポートを使用する（→ P.350）
- トークスイッチまたは音声認識スイッチで操作する（→ P.557）
- 本機で操作する（→ P.558）

トークスイッチまたは音声認識スイッチで操作する

基本的な操作の流れを見ながら、エージェントを開始する方法と、音声対話中の基本操作を覚えましょう。以下は、目的地設定の例です。

1 トークスイッチまたは音声認識スイッチをエージェント画面に切り替わるまで押し続ける。

2 マイクスイッチが緑色になったら、発声する。

マイクスイッチ

- ＜ピッ＞と音がしてから約 5 秒以内に発声してください。
- 発声後、1 つ前のエージェント画面に戻りたいときは、「戻る」と発声します。

3 画面の案内にしたがって、発声する。

4 リストが表示された場合は、目的の番号（「○番目」）を発声する。

- 音声が認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。
- リストを選択して操作することもできます。

5 地図が表示された後、「目的地セット」と発声する、または **目的地セット** にタッチ。

- ルート案内が開始されます。
- **情報** にタッチすると、検索地点の情報を確認することができます。（停車中）
- 情報画面表示後、「地図」と発声する、または **地図** にタッチすると、地図画面が表示されます。

知識

- エージェント開始から終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 手順 **4** でリストが表示されたとき、「○番目を目的地セット」と続けて発声すると、目的地の設定まで完了させることができます。

本機で操作する

基本的な操作の流れを見ながら、エージェントを開始する方法と、音声対話中の基本操作を覚えましょう。以下は、目的地設定の例です。

1 MENU ▶ T-Connect

2 **エージェント** にタッチ。

3 マイクスイッチが緑色になったら、発声する。

マイクスイッチ

- <ピッ>と音がしてから約５秒以内に発声してください。
- 発声後、１つ前のエージェント画面に戻りたいときは、「戻る」と発声します。

4 画面の案内にしたがって、発声する。

5 リストが表示された場合は、目的の番号（「○番目」）を発声する。

- 音声が認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。
- リストを選択して操作することもできます。

6 地図が表示された後、「目的地セット」と発声する、または 目的地セット にタッチ。

- ルート案内が開始されます。
- 情報 にタッチすると、検索地点の情報を確認することができます。（停車中）
- 情報画面表示後、「地図」と発声する、または 地図 にタッチすると、地図画面が表示されます。

知 識

- エージェント開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 手順 **5** でリストが表示されたとき、「○番目を目的地セット」と続けて発声すると、目的地の設定まで完了させることができます。

エージェント画面の使い方

番号	機　能
1	エージェントを終了する。
2	閲覧履歴を表示する。
3	エージェントの使い方を表示する。
4	マイクスイッチ。ユーザーの発話受付を開始する。 • 音声受付中はスイッチが緑色に変化します。 • 音声ガイド出力時にタッチすると、音声ガイドがスキップされ、音声受付中の状態になります。

エージェント（地図）画面の使い方

番号	機　能
1	エージェントを終了する。
2	エージェント操作開始画面に戻る。

番号	機　能
3	検索した地点（施設）に電話をかける。
4	検索した地点情報を G メモリに登録する。
5	検索した地点を目的地に設定する。
6	マイクスイッチ。ユーザーの発話受付を開始する。 • 音声受付中はスイッチが緑色に変化します。 • 音声ガイド出力時にタッチすると、音声ガイドがスキップされ、音声受付中の状態になります。
7	検索した地点の施設情報を表示する。 • 呼び出した地図の地点により、表示される画面が異なります。 • 施設によっては、内容が表示されない場合や情報スイッチが表示されない場合があります。

音声対話を中断する

次のような場合は、音声操作を中断します。

- 通信中、または認識中に キャンセル にタッチ。
- 音声を 3 回連続で認識できなかったとき。

音声対話を再開する

次のいずれかの操作をします。

- トークスイッチまたは音声認識スイッチを押す。
- にタッチ。

最初に戻る

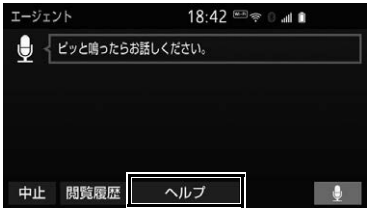
次のいずれかの操作をします。

- 最初に戻る にタッチ。
- 「最初に戻る」と発声する。

ヘルプ機能を使用する

詳しい操作方法を確認することができます。

1 「ヘルプ」と発声する、または ヘルプ にタッチ。



- ヘルプ機能を終了するとき
  ➡ ヘルプを閉じる にタッチ。

音声ガイドを省略する

音声ガイド出力時に、次のいずれかの操作をすると、音声ガイドが途中でも次の操作に移ることができます。

- トークスイッチまたは音声認識スイッチを押す。
- にタッチ。

エージェントを終了する

トークスイッチまたは音声認識スイッチで操作する

1 トークスイッチまたは音声認識スイッチをエージェントが終了するまで押し続ける。

本機で操作する

次のいずれかの操作をする。

- 中止 にタッチ。
- 「中止」と発声する。

(知 識)

- 次の条件でもエージェントは終了します。
  - ・本機のスイッチを押したとき
  - ・エージェントの検索結果を実行したとき（目的地設定画面に移行したときなど）
  - ・ハンズフリーの着信が入ったとき

12. T-Connect Apps

T-Connect Apps について

T-Connect Apps は多彩なアプリを本機にダウンロードし、ご利用いただけるサービスです。

T-Connect Apps を利用するには、T-Connect の契約が必要です。販売店へお問い合わせください。

■アプリについて

有料アプリのご利用にはユーザーサイトでクレジットカード情報の登録手続きが必要です。

アプリの詳細については、パソコン / スマートフォンのサイトをご覧ください。

- URL：https://tconnect.jp/appcatalog/
- QR コード：

アプリをインストールする

走行中はアプリのインストールができません。

安全な場所に車を停車させて実施ください。

1 MENU ▶ T-Connect → Apps

2 インストール にタッチ。

3 T-Connect アプリストア にタッチ。

- メディアからインストール は表示されますが、使用できません。（現在サービス開始時期は未定です）

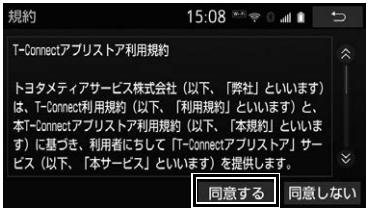
4 アプリを選択し、サービス内容を確認して、購入 にタッチ。

5 T-Connect のユーザ ID、パスワードを入力する。

- 次回入力しない にタッチすると、次回からユーザ ID とパスワードが入力された状態の画面が表示されます。

6 完了 にタッチ。

7 規約を確認後、同意する にタッチ。

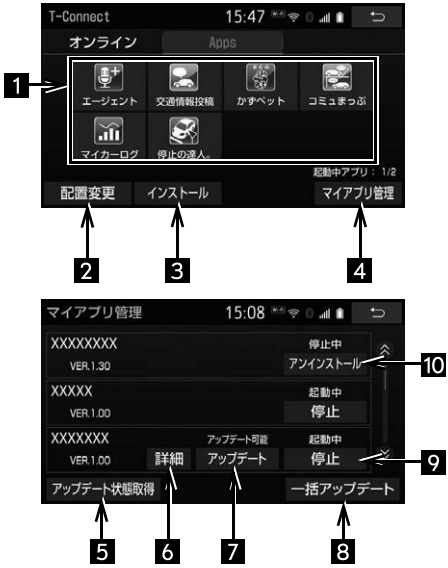


8 はい にタッチ。

知 識

- アプリのインストール履歴は、T-Connect のパソコンサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）より確認ができます。

Apps 画面の使い方



番号	機　能
1	インストール済みアプリ（アイコン）。選択すると該当のアプリを起動する。
2	1 のアプリアイコンの表示位置を入れ替える。 • 次のいずれかの方法で入れ替えます。 ・ 入れ替えたいスイッチにタッチし、<< 、>> にタッチして移動。 ・ 入れ替えたいスイッチをドラッグ操作（→ P.22）で移動。
3	インストール画面を表示する。
4	インストールした各アプリの動作やアップデート等の詳細を確認する。
5	最新のアップデート状態を取得する。
6	インストール、アップデートの詳細を確認する。
7	アプリをアップデートする。
8	アップデートができるアプリを一括でアップデートする。
9	起動中のアプリを停止する。
10	アプリをアンインストールする。

知 識

- アプリは同時に 2 つまで起動可能です。
- 音楽系のアプリを同時に2つ起動することはできません。
- AUDIO SD カード録音中（→ P.247）は利用できません。

アプリの割込み表示について

次のような場合、地図画面上にアプリ画面が表示されます。

(1) 地図画面上の Apps にタッチしたとき

(2) アプリが自動で割込み表示をしたとき

現在地画面（→ P.75）

1 Apps にタッチ。

2 アプリ画面が表示される。

- アプリ画面を非表示にするとき
  ➡ ＞＞ にタッチ。
- 割込み表示されたアプリを切り替えるとき
  ➡ ＜ または ＞ にタッチ。
- Apps にタッチしなくても、アプリ画面が自動で表示されることがあります。

マイアプリ管理について

アプリをアップデートする

1 MENU ▶ T-Connect → Apps

2 マイアプリ管理 にタッチ。

3 アップデート にタッチ。

- 複数のアプリをまとめてアップデートしたいとき
  ➡ 一括アップデート にタッチ。

4 アップデート確認画面が表示される。

- ユーザー認証画面が表示されたとき
  ➡ T-Connect のユーザ ID、パスワードを入力し、完了 にタッチ。

5 はい にタッチ。

アプリをアンインストールする

1 MENU ▶ T-Connect → Apps

2 マイアプリ管理 にタッチ。

3 アンインストール にタッチ。

4 アンインストール確認画面が表示される。

知 識

- 起動中のアプリをアンインストールする場合は、停止 （→P.563）にタッチ後、アンインストールできます。

各種設定をする

■アップデート確認の設定をする

1 MENU ▶ 設定・編集 → Apps

2 Apps 設定 にタッチ。

3 自動アップデート確認 にタッチし、「する」／「しない」を設定する。

●「しない」に設定したときは、マイアプリ管理画面の アップデート状態取得 にタッチすることで確認できます。(→ P.563)

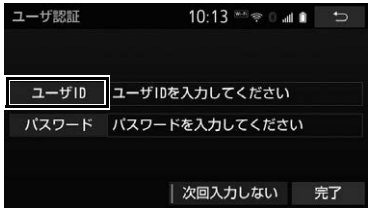
■パスワードを変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → Apps

2 Apps 設定 にタッチ。

3 パスワード変更 にタッチ。

4 ユーザ ID にタッチ。



● 次回入力しない にタッチすると、次回からユーザ ID とパスワードが入力された状態の画面が表示されます。

5 ユーザ ID を入力し（→ P.39）、完了 にタッチ。

6 パスワード にタッチ。

7 パスワードを入力し（→ P.39）、完了 にタッチ。

8 完了 にタッチ。

13. CD タイトル情報取得

タイトル情報を取得する

音楽 CD から Audio SD カードへ録音した楽曲のタイトル情報（アルバム名、アーティスト名、ジャンル名など）を、地図 SD カードに収録されているデータベースから取得することができます。

ただし、新しい曲などはデータベースにタイトル情報がないものもあります。

T-Connect を利用すると、最新の CD タイトル情報をトヨタスマートセンター経由で Gracenote® メディアデータベースから取得することができます。

- データベースの検索について

➡「タイトル情報を再取得する」（→ P.264）

アルバム修正画面（→ P.262）

1 TC で検索 にタッチ。

2 表示された画面の指示にしたがって、希望のタイトルを選択・登録する。

知 識

- 該当するCDタイトル情報が見つからなかった場合は、メッセージが表示されたあとにアルバム修正画面に戻ります。
- ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったときは、CD タイトル情報の取得を中止します。

14. お天気お知らせ

トヨタスマートセンターからお天気情報を取得し、音声案内することができます。

次の場合に案内されます。

- 本機を起動したとき、現在地の今日 1 日のお天気が案内されます。
- 目的地案内を開始したとき、目的地の 1 日のお天気と到着予想時刻のお天気が案内されます。
- 登録した自宅に到着したとき、明日のお天気が案内されます。

知 識

- 「今日のお天気案内」と「明日のお天気案内」の音声案内は 1 日に 1 回のみ案内されます。
- 状況などにより異なった音声が出力されたり、他のナビ音声案内などと重なったときは、出力されないことがあります。
- 目的地の到着が翌日以降の時は、翌日の 1 日のお天気のみ案内します。

お天気お知らせ設定を変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン

2 お天気お知らせ設定 にタッチ。

3 各項目を設定する。

項目	ページ
今日のお天気案内	567
目的地のお天気案内	567
明日のお天気案内	568

今日のお天気案内を設定する

本機を起動し、6 時から 15 時の間にお天気情報を取得できたとき、現在地の今日 1 日のお天気や、天候に関するコメントが案内されます。

1 今日のお天気案内 にタッチ。

2 取得したい情報にタッチ。

目的地のお天気案内を設定する

目的地案内を開始したとき、到着予想時刻のお天気案内のする／しないを選択できます。

目的地が複数設定されている場合は、最終目的地のお天気が案内されます。

1 目的地のお天気案内 にタッチし、「する」／「しない」を設定する。

知 識

- 目的地のお天気案内 を「する」に設定していても、目的地が変更されていない時はお天気が案内されないことがあります。

明日のお天気案内を設定する

登録した自宅に到着したとき、明日のお天気や天候に関するコメントが案内されます。

自宅への到着が 18 時から 23 時 59 分の時間帯のみ明日のお天気が案内されます。

1 明日のお天気案内 にタッチ。

2 取得したい情報にタッチ。

1. オンライン詳細設定

オンライン詳細設定を変更する

T-Connect に関する各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オンライン」

2 オンライン詳細設定 にタッチ。

3 各項目を設定する。

項目	ページ
T-Connect オンライン契約解除	504
Viewer 自動読上げ	509
単語編集	41
定型文修正	42
入力履歴削除	42
予測変換候補表示	42

サポートアドレスについて

サポートアドレスは、ロードアシスト 24 などのコンテンツ利用にあたって、お客様に連絡が必要になった場合の連絡先です。

T-Connect 利用申込書または Web 登録で入力いただいた連絡先が、サポートアドレスとして登録されています。

連絡先に変更があった場合は次の操作で変更してください。

サポートアドレスを確認・変更する

1 MENU ▶ T-Connect → (⌊オンライン⌋) → ユーザー設定

2 サポートアドレスの登録・変更 にタッチ。

3 T-Connect 暗証番号の入力を要求されたときは、T-Connect 暗証番号を入力する。

- T-Connect 暗証番号が未設定の場合、契約 ID とパスワードを入力して T-Connect 暗証番号を設定してください。

4 表示される電話番号を確認したあと、 メール にタッチ。

- 電話番号を変更するとき
  ➡ 変更する電話番号を選択し、入力する。

5 メールアドレスを確認する。

- メールアドレスを変更するとき
  ➡ 変更する E メールアドレスを選択し、入力する。

知識

- サポートアドレスの確認・変更は、T-Connect のパソコンサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）でも行うことができます。
- 携帯電話で迷惑メールの拒否設定などをされている場合は、以下の発信元メールを受信できるようにご登録ください。
  ［登録する発信元メールアドレス］
  t-connect.info@mail.tconnect.jp

2. プライバシー設定

設定・編集画面を表示する

T-Connect を利用するときの各種設定は、設定・編集画面から行います。

1 MENU ▶ 設定・編集

2 「オンライン」にタッチ。

- 設定・編集画面で、次の項目を設定することができます。

項目	ページ
Wi-Fi 設定	577
通信設定	575
プライバシー設定	571
お天気お知らせ設定	567
オンライン詳細設定	569

プライバシー設定を変更する

プライバシーに関する各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 「オンライン」

2 プライバシー設定 にタッチ。

3 各項目を設定する。

項目	ページ
通信ロック	572
暗証番号変更	573
暗証番号を忘れた場合	574
閲覧履歴削除	—
ブックマーク削除	—

通信ロックを使う

通信ロックを使用すると、各機能の動作を下表のように制限することができます。
他人に車を貸す場合など、T-Connect をさわらせたくないときや、プライベートな情報を見せたくないときに使用してください。

⚠ 注意

● 完了 にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
・車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にする。
・エンジン<ハイブリッドシステム>を始動しなおす。

○：利用できます
×：利用できません

機　能		動　作
ヘルプネット		○
マップオンデマンド（地図更新）		×（Wi-Fi® テザリング対応機器または通信モジュール（DCM）で更新するとき）
利用開始 / ユーザー設定		×
閲覧履歴		×
ブックマーク		×
オペレーターサービス		×
T-Connect Apps		○（通信を使用するアプリを除く）
T-Connect アプリストア		×
CD タイトル情報取得		×
T-Connect とナビの連携機能	WEB 検索	×
	T ルート探索	×（プローブコミュニケーション交通情報を含む）
	G メモリ	○（保存済みデータのみ）
	TC で設定	×
	施設情報表示	×
	TC 情報マーク連動サービス	○（情報の読み上げのみ）
	お天気お知らせ	×

ロックする

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊オンライン⌋ → プライバシー設定

2 通信ロック にタッチ。

3 はい にタッチ。

解除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊オンライン⌋ → プライバシー設定

2 通信ロック解除 にタッチ。

3 暗証番号を入力し、完了 にタッチ。

- 間違えたとき
  ➡ 修正 にタッチ。

(知 識)

- 通信ロックを解除するときは、暗証番号が必要になります。
  暗証番号については、「暗証番号を変更する」をご覧ください。(→ P.573)

暗証番号を変更する

暗証番号は、通信ロック（→ P.573）したときに、ロックを解除するために入力が必要になります。通信ロックを使用するときは、まず暗証番号および暗証番号を忘れたときの質問とその回答を設定してください。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊オンライン⌋ → プライバシー設定

2 暗証番号変更 にタッチ。

3 現在の暗証番号を入力し、完了 にタッチ。

- はじめて設定するとき
  ➡「0000」を入力する。
- 変更するとき
  ➡ 設定してある暗証番号を入力する。
- 間違えたとき
  ➡ 修正 にタッチ。
- 暗証番号を忘れたとき
  ➡「暗証番号を忘れた場合」(→ P.574)

4 新しく設定したい暗証番号を入力し、完了 にタッチ。

5 再度新しく設定したい暗証番号を入力し、完了 にタッチ。

6 質問、回答 にタッチして、それぞれ入力する。

7 完了 にタッチ。

知識

- 暗証番号は 4 桁の数字です。初期設定は「0000」になっています。
  暗証番号は、他人にわかりにくい番号にしておいてください。
- 質問とその回答は、暗証番号を忘れた場合に暗証番号を表示するために設定します。(→ P.574)
  質問とその回答は、お客様以外にわかりにくい内容にしておいてください。

暗証番号を忘れた場合

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊オンライン⌋ → プライバシー設定

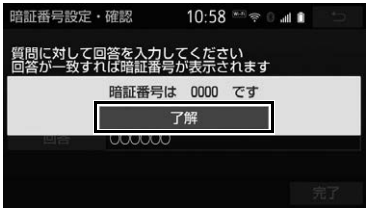
2 暗証番号を忘れた場合 にタッチ。

3 回答 にタッチ。

4 回答を入力する。

5 完了 にタッチ。

6 暗証番号を確認したら、了解 にタッチ。



3. 通信設定

通信設定を登録・変更する

通信に関する各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊オンライン⌋

2 通信設定 にタッチ。

3 各項目を設定する。

項目	ページ
通信接続機器の選択	575
通信接続時の確認	575

通信接続機器を選択する

通信に使用する機器を選択することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊オンライン⌋ → 通信設定

2 通信接続機器 にタッチ。

3 通信に使用する機器にタッチ。

(知 識)

- 通信接続機器の初期設定は「Wi-Fi」となっています。また、Wi-Fi Power(Wi-Fi 通信設定)の初期設定は「ON」となっています。

通信接続時の確認メッセージを表示する

Wi-Fi® テザリング対応機器でトヨタスマートセンターへ接続するときに、確認のメッセージを表示することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ⌊オンライン⌋ → 通信設定

2 通信接続時の確認 にタッチし、「する」／「しない」を設定する。

知 識

- 接続確認画面で **以降は確認せずに接続** にタッチすると、次回接続時以降は、接続確認画面が表示されません。このとき、通信接続時の確認は「しない」に設定されます。再度表示したいときは、通信接続時の確認を「する」に設定してください。
- 通信接続時の確認を「しない」に設定すると、画面に「自動で通信する場合があります」と表示されます。
  これは、自動で通信するサービスを利用したとき、お客様が気付かないところで通信料金が発生する場合があることをご確認いただくためのものです。
- 通信接続機器を「Wi-Fi®」に設定すると、自動で「する」に設定されます。「DCM」に設定すると「しない」に設定されます。

4. Wi-Fi® 設定

Wi-Fi® について

Wi-Fi® を使用するサービスを利用するには、Wi-Fi® 通信設定が必要です。

知識

- 本機能はベストエフォート型の機能です。
- 本機能はWi-Fi® テザリング対応機器との接続にてご利用ください。Wi-Fi® テザリング対応機器以外の接続を行っている場合、環境によって切断される可能性があります。
- Wi-Fi® や無線 LAN 圏内から出た場合は、通信は切断されます。
- お客様のご利用環境 （車両内および車両周辺の環境）により、通信速度が低下したり、通信ができないことがあります。

受信レベルについて

画面右上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。

表示				
レベル	圏外／未接続	弱	←→	強

■対応 Wi-Fi® 通信方式

- 802.11b/g/n

■対応セキュリティ方式

- WEP
- WPA™
- WPA2™
- Wi-Fi Protected Setup™

Wi-Fi® 通信設定をする

Wi-Fi® 通信に関する各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オンライン

2 Wi-Fi 設定 にタッチ。

3 各項目を設定する。

項目	ページ
Wi-Fi® を ON/OFF する	578
利用できるネットワークから Wi-Fi® 接続する	578
簡単設定から Wi-Fi® 接続する	578
Wi-Fi® 詳細設定を変更する	580

Wi-Fi® を ON ／ OFF する

1 Wi-Fi Power にタッチ。

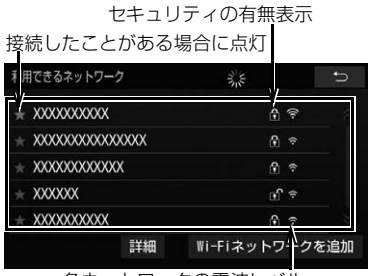
作動表示灯

- Wi-Fi PowerがONのときは作動表示灯が点灯します。
- タッチするたびに、ON ／ OFF が切り替わります。

利用できるネットワークから Wi-Fi® 接続する

1 利用できるネットワーク にタッチ。

2 利用するネットワークにタッチ。



各ネットワークの電波レベル

- ネットワークの詳細を確認したいとき
  ➡ 詳細 →詳細を確認したいネットワークの順にタッチ。
- リストにないネットワークに接続したいとき
  ➡ Wi-Fi ネットワークを追加 にタッチし、ネットワーク SSID(アクセスポイントの識別子）を入力。
- 接続にセキュリティを設定するときは、セキュリティ方法（WPA、WEP など）を選択するとパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力し 完了 にタッチすると、ネットワークへの接続を開始します。
- EV/PHV 用充電器（G-Station）および au Wi-Fi®SPOT で接続する場合は、利用するネットワーク SSID を au Wi-Fi® に設定してください。その場合はパスワードなしで接続できます。

※au Wi-Fi®SPOT 機能のない G-Station もあります。

簡単設定から Wi-Fi® 接続する

簡単設定に対応している Wi-Fi® テザリング対応機器では、より簡単に Wi-Fi® 接続することができます。

1 簡単設定 にタッチ。

2 PIN コード または プッシュボタン にタッチ。

- PIN コード にタッチしたとき
  ➡ 画面に表示されている PIN コードを Wi-Fi® テザリング対応機器に入力する。（時間内に設定できない場合、簡単設定画面に戻ります。）
- プッシュボタン にタッチしたとき
  ➡ Wi-Fi® テザリング対応機器のプッシュボタンを押す。（時間内に設定できない場合、簡単設定画面に戻ります。）

3 Wi-Fi® テザリング対応機器を操作し、ネットワークへ接続する。

知識

- Wi-Fi® テザリング対応機器側の操作については、Wi-Fi® テザリング対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Wi-Fi® テザリング対応スマートフォンで Wi-Fi® 接続を行う場合

Wi-Fi® テザリング対応スマートフォンで Wi-Fi® 接続を行う場合、下記の操作例を参考に接続してください。

※ テザリング設定の詳細はスマートフォンの取扱説明書などをご覧ください。

利用できるネットワークから接続する

1 スマートフォンを「Wi-Fi® テザリング設定」に切り替える。

2 スマートフォンの Wi-Fi® テザリングを「ON」にする。

3 スマートフォンを「Wi-Fi® アクセスポイント設定」に切り替える。

4 スマートフォンに表示されているネットワーク名、パスワードを確認する。

5 本機の 利用できるネットワーク にタッチ。

6 利用できるネットワーク画面（→ P.578）でスマートフォンに表示されている （ネットワーク名） にタッチ。

7 スマートフォンに表示されているパスワードを本機に入力する。

簡単設定（PIN コード）で接続する

1 スマートフォンを「Wi-Fi® テザリング設定」に切り替える。

2 スマートフォンの Wi-Fi® テザリングを「ON」にする。

3 スマートフォンを「Wi-Fi® 簡単登録」の「PIN 入力」を選択する。

4 本機の 簡単設定 → PIN コード の順にタッチ。

5 簡単設定画面に表示されている PIN コードをスマートフォンに入力する。

簡単設定（プッシュボタン）で接続する

1 スマートフォンを「Wi-Fi® テザリング設定」に切り替える。

2 スマートフォンの Wi-Fi® テザリングを「ON」にする。

3 スマートフォンを「Wi-Fi® 簡単登録」の「プッシュボタン」を選択する。

4 本機の 簡単設定 → プッシュボタン の順にタッチ。

5 簡単設定画面が表示された後、スマートフォンのプッシュボタンにタッチ。

(知 識)

- 本書に記載されている接続方法は一例であり、簡単設定（PIN コード、プッシュボタン）に対応しているスマートフォンなどの機器に関する内容は、各通信事業者にお問い合わせください。
- スマートフォンによっては、乗車時にテザリング設定を毎回実施しなければならない場合があります。

Wi-Fi® 詳細設定を変更する

1 Wi-Fi 詳細設定 にタッチ。

2 各項目を設定する。

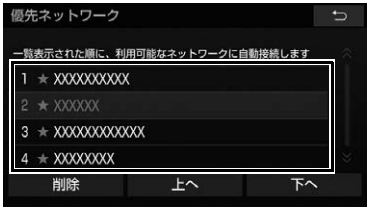
- 初期設定の状態に戻すとき
  ➡ 初期状態 にタッチ。

項目	ページ
優先ネットワークの変更／削除	580
優先ネットワークへの自動接続	581
Wi-Fi® の接続確認を表示する	581

優先ネットワークを変更／削除する

1 優先ネットワークの変更・削除 にタッチ。

2 優先順位を変更、または削除したいネットワークにタッチ。



- 優先順位を変更するとき
  ➡ 上へ または 下へ にタッチし、順位を変更。
- ネットワークを削除するとき
  ➡ 削除 → はい の順にタッチ。

(知 識)

- 優先ネットワークへの登録はWi-Fi® 接続すると自動的に登録されます。最大 20 個まで登録可能です。21 個以上登録する場合は古いものより上書きされます。（既に登録済みの au Wi-Fi® を除く）
- セキュリティ保護されていないネットワークは、優先ネットワークには登録されません。

自動で優先ネットワークへ接続する

1 優先ネットワークへの自動接続 にタッチし、「する」／「しない」を設定する。

Wi-Fi® の接続確認を表示する

1 他画面での接続表示 にタッチし、「する」／「しない」を設定する。

5. 契約内容・契約者情報の確認・変更

登録内容や契約者情報の確認・変更、T-Connect 暗証番号の変更などを行えます。

1 MENU ▶ T-Connect → オンライン → ユーザー設定

● この画面から、次の操作をすることができます。

番号	スイッチ	機　能
1	会員情報／利用契約変更・解約	登録しているユーザーの情報や利用契約内容を確認・変更できます。
2	サポートアドレスの登録・変更	サポートアドレス（電話番号やメールアドレス）の登録を追加・変更できます。
3	お車を手放す際に	利用契約を解約することができます。
4	お車の情報	車両登録番号の変更ができます。

1. こんなメッセージが表示されたときは

次のようなメッセージが表示されたときは、処置内容や画面の指示にしたがって操作してください。

■T-Connect 全般

メッセージ	原　因	処　置
サービス開始操作を実施していないためヘルプネット機能が使用できません	ヘルプネットのサービス開始操作※が実施されていない。	サービス開始操作※の方法を選択してください。 • すぐに操作をする。 ➡ 開始する にタッチ。 • あとで操作をする。 ➡ あとで にタッチ。
T-Connect の利用手続きを行ってください。	T-Connect DCM パッケージに申し込んだが、本機で利用開始操作が実施されていない。	利用開始操作の方法を選択してください。 • すぐに操作をする。 ➡ 開始する にタッチ。 • あとで操作をする。 ➡ あとで にタッチ。
	T-Connect の利用開始手続きがされていない。	利用開始手続きを行ってください。 （→ P.499）
緊急通報中です このサービスはご利用できません	ヘルプネットの緊急通報中のため。	緊急通報が終了してから、ご利用ください。 • 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。
オペレーターと通話中です 終了してからご利用ください	オペレーターサービスを利用中のため。	オペレーターサービスが終了してからご利用ください。
電話機が使用中です 通話を終了してからご利用ください	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
通話中は操作できません		
これ以上登録できません 設定・編集のオンラインのプライバシー設定で削除してください	ブックマークの最大登録数を超過したため。	不要なブックマークを削除してください。（→ P.571）

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

メッセージ	原　因	処　置
Bluetooth 設定が必要です 設定・編集の Bluetooth から設定してください	携帯電話が接続されていないため。	携帯電話を接続してください。（→ P.451）
これ以上 G メモリ地点を登録できません 設定・編集のナビから不要な G メモリ地点情報を削除してください	G メモリ地点の最大保存数を超過したため。	不要な G メモリ地点を削除してください。（→ P.136）
通信ロック中です ロックを解除してからご利用ください	通信ロックされている。	通信ロックを解除してください。 通信ロック解除のための暗証番号を忘れた場合は、プライバシー設定画面で暗証番号の 暗証番号を忘れた場合 にタッチして確認してください。
回線が混み合っている等により表示できません しばらく待ってから操作してください	サービスエリア圏外にいる。 • 認証に失敗した。 • 通信環境が悪い。 • 通信機器の接続状態に異常がある。	①携帯電話について、次の点を確認してください。 • 携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 • 携帯電話単体で正常動作するか。 • 携帯電話の異常でないか。（携帯電話の電源 OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障） ②携帯電話と Bluetooth 接続ができているか確認してください。 ③他の携帯電話にかえて、試してみてください。
時刻データが古いため通信できません 移動して GPS を受信してください	GPS が受信できていない。	GPS が受信できる場所に移動してください。
回線が混雑しています しばらく待ってご利用ください	発信規制中である。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
通話エリア外です 通話エリアに移動してご利用ください	サービスエリア圏外にいる。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
回線が混み合っている等により情報を取得できませんでした しばらく待ってから再度操作してください	• サービスエリア圏外にいる。 • 認証に失敗した。 • 通信環境が悪い。 • 通信機器の接続状態に異常がある。 • 通信設定に誤りがある。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。

2. 故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなったときは、以下の表にしたがって確認してください。表にしたがって対処しても作動しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。また、万一異常が起きたら、必ずトヨタ販売店に修理をご依頼ください。

⚠ 警告

- 緊急事態発生時に緊急通報できないときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

■ヘルプネット（ワンタッチタイプ）

症　状	考えられること	処　置
保守点検 が表示されない	利用開始操作が完了していない。	利用開始操作を実施してください。（→ P.500）
HELPNET が表示されない	サービス開始操作 ※ が完了していない。	サービス開始操作 ※ を実施してください。（→ P.500）
緊急通報できない	動作確認済みの携帯電話を使用していますか。	トヨタ販売店にご確認ください。
	携帯電話で、緊急通報の妨げになる電話機能を利用していませんか。	携帯電話およびネットワークサービスの発信や着信を制限もしくは禁止する機能を解除してください。
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。（→ P.521）
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状況の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。（→ P.521）

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

■ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）の症状については、車両の取扱書をご覧ください。

■マップオンデマンド

症　状	考えられること	処　置
地図更新画面の終了日が「*」になっている。	サービス有効期間の設定前であるためです。	サービス有効期間は自動で設定されます。 サービス有効期間設定前でも地図の更新は可能です。
いつまでたっても地図データが更新される気配がない。	通信で更新する場合、通信状態によってはダウンロードが中断することがあります。	しばらくしてから、通信状態が良好な場所で再度確認してください。
	▶通信モジュール（DCM）利用時 お客様がお住まいの地域で実際に道路更新がなかった。	地図データの更新はありません。
	ダウンロード中、コピー中、または更新準備中である。	MENU ▶ 設定・編集 → 地図更新 の順にタッチし、表示された画面で状態を確認してください。

■接続

症　状	考えられること	処　置
スマートフォンでT-Connect に接続できない	スマートフォンが T-Connect 対応機種ではありません。	T-Connect のパソコンサイトの対応機種検索（https://toyota.jp/tconnectservice/）にてご確認ください。
	▶テザリング接続利用時 スマートフォンがテザリング機能に対応していない。	スマートフォンの取扱説明書などをご確認ください。

12

SmartDeviceLink ™

1 はじめに

1. SmartDeviceLink™について...588

2 SmartDeviceLink™を使う

1. SmartDeviceLink™ Apps 画面について.....589

3 各種設定

1. SmartDeviceLink Apps 設定画面について.....592

4 知っておいていただきたいこと

1. 故障とお考えになる前に.....593

1. SmartDeviceLink ™について

SmartDeviceLink ™は、スマートフォンにインストールされているアプリケーションを、本機の画面上で操作できるサービスです。本機能を利用するには、専用アプリケーション（TOYOTA SmartDeviceLink）がインストールされたスマートフォンが必要となります。スマートフォンの設定や利用方法については「App Store」または「Googole Play ™」のヘルプをご覧ください。

知 識

- 画面上で操作できるアプリケーションは、本機能に対応しているアプリケーションのみです。
- アプリケーションについては、予告なく変更、終了する場合があります。
- SmartDeviceLink ™はお客様のスマートフォン経由で通信します。通信には料金が発生する場合があります。

スマートフォンの初期設定

1 専用アプリケーション（TOYOTA SmartDeviceLink) をダウンロードサイトからインストールする。

2 SmartDeviceLink ™対応アプリケーションをダウンロードサイトからインストールする。

スマートフォンの接続について

本機に Bluetooth 接続（→ P.202）することにより、SmartDeviceLink ™を利用できます。

本システムに接続するスマートフォンが対応していなければならない仕様については、「Bluetooth 対応プロファイルについて」（→ P.614）をご覧ください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中にスマートフォンの操作をしないでください。

注意

- スマートフォンは車室内に放置しないでください。（炎天下など、車室内が高温となる場合があります）
- スマートフォンを本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、接続状態が悪化することがあります。

知 識

- SmartDeviceLink ™を使用するためには、スマートフォンを本機に登録する必要があります。（→ P.52）
- SmartDeviceLink ™の音声案内の音量は、ナビゲーションの音量設定で調整することができます。（→ P.46）
- スマートフォンによっては本機とUSB接続したときや、取り外したときは、SmartDeviceLink ™が一時的に利用できなくなる場合があります。
- 電話帳転送中は、SmartDeviceLink ™を使用できません。

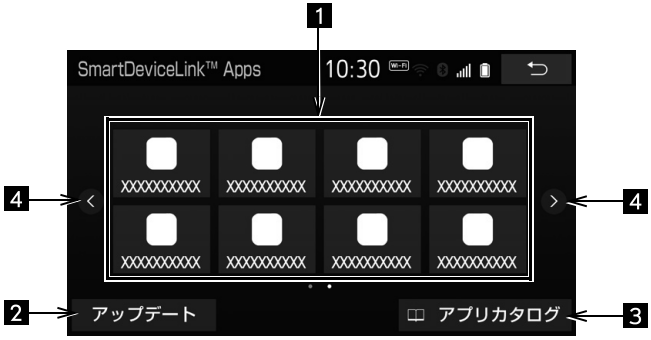
1. SmartDeviceLink ™ Apps 画面について

SmartDeviceLink ™ Apps 画面の使い方

1 MENU → SmartDeviceLink

または

ショートカット画面（→ P.28）→ SmartDeviceLink



番号	スイッチ	機能
1	アプリケーション（アイコン）	該当のアプリケーションを起動する。
2	アップデート	アプリケーションを利用するために必要なデータをダウンロードする。（→ P.590）
	ダウンロード中	ダウンロード中画面を表示する。
	インストール	ダウンロードしたデータのアップデートをインストールする。（→ P.590）
	インストール中	インストール中画面を表示する。
3	アプリカタログ	アプリケーションの追加や削除、SmartDeviceLink ™ Apps 画面のアプリケーション表示位置の入れ替えができます。
4	ページ切り替え	ページを切り替える。 • フリック操作（→ P.21）でもページを切り替えることができます。

知 識

- 本機に対応をしているアプリケーションのみ表示されます。
- ハンズフリー通話中やアップデート / インストール中などはアプリケーションが選択できない場合があります。
- アプリケーションを利用するために必要なデータがインストールされていない場合、アプリカタログ は表示されません。

アプリケーションを利用するために必要なデータをアップデートする

メッセージからアップデートする

アップデートする必要がある場合、メッセージが表示されます。

1 ダウンロード にタッチ。

- アップデートの内容を見るとき
  - ➡ 詳細 にタッチ。
  - ・詳細画面で ダウンロード にタッチ。
  - ・詳細画面で後でダウンロードするとき
    - ➡ 後で にタッチ。
- 後でダウンロードするとき
  - ➡ 後で にタッチ。
  - ・ダウンロードする場合は、SmartDeviceLink ™ Apps 画面（→P.589）で アップデート にタッチします。

2 ダウンロード中画面が表示される。

- ダウンロードをしながら、他の画面に切り替えるとき
  - ➡ バックグラウンドでダウンロードする にタッチ。
  - ・ダウンロード完了後、メッセージが表示されインストールできます。
- ダウンロードを中止するとき
  - ➡ 中止 にタッチ。

3 インストール にタッチ。

- アップデートの内容を見るとき
  - ➡ 詳細 にタッチ。
  - ・詳細画面で インストール にタッチ。
- 後でインストールするとき
  - ➡ 後で にタッチ。
  - ・インストールする場合は、SmartDeviceLink ™ Apps 画面（→P.589）で インストール にタッチします。

4 インストール中画面が表示される。

- インストールをしながら、他の画面に切り替えるとき
  - ➡ バックグラウンドでインストールする にタッチ。
  - ・インストール完了後、インストール完了画面が表示されます。

5 了解 にタッチ。

知 識

- アップデートの内容によっては、複数回ダウンロード・インストールが必要な場合があります。
- ダウンロードに失敗した場合、携帯電話との接続や携帯電話の状態を確認し、再度お試しください。

SmartDeviceLink ™ Apps 画面からアップデートする

アップデートが必要なアプリケーションがある場合、SmartDeviceLink ™ Apps 画面に アップデート が表示されます。

SmartDeviceLink ™ Apps 画面 (→ P.589)

1 アップデート にタッチ。

2 ダウンロード中画面が表示される。

- ダウンロードをしながら、他の画面に切り替えるとき
  ➡ バックグラウンドでダウンロードする にタッチ。
  ・ダウンロード完了後、メッセージが表示されインストールできます。
- ダウンロードを中止するとき
  ➡ 中止 にタッチ。

3 インストール にタッチ。

- アップデートの内容を見るとき
  ➡ 詳細 にタッチ。
- 後でインストールするとき
  ➡ 後で にタッチ。

4 インストール中画面が表示される。

- インストールをしながら、他の画面に切り替えるとき
  ➡ バックグラウンドでインストールする にタッチ。
  ・インストール完了後、インストール完了画面が表示されます。

5 了解 にタッチ。

(知 識)

- アップデートの内容によっては、複数回ダウンロード・インストールが必要な場合があります。
- ダウンロードに失敗した場合、携帯電話との接続や携帯電話の状態を確認し、再度お試しください。

1. SmartDeviceLink Apps 設定画面について

SmartDeviceLink ™に関する設定を変更できます。

SmartDeviceLink Apps 設定画面を表示する

1 MENU ▶ 設定・編集 → SmartDeviceLink → 詳細設定

2 各項目を設定する

● 設定を初期の状態に戻すとき
➡ 初期状態 → はい の順にタッチ。

通信料に関する注意表示

通信料に関する注意表示を、ACC ON 毎 または 表示しない から選択できます。

- ACC ON 毎 : 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にした後で初めてアプリケーションを起動するとメッセージを表示します。
- 表示しない : メッセージは表示されません。

iPhone アプリの自動検知

iPhone が接続されたとき、iPhone 側の専用アプリケーションを自動で起動する／しないを設定できます。

- タッチするたびに、ON ／ OFF が切り替わります。
- ON ／ OFF を切り替えた後、了解 にタッチします。

アプリカタログ ※

インストールしたアプリケーションのカタログを表示します。

※ アプリケーションを利用するために必要なデータがインストールされているときのみ

(知 識)

● 本機の電源を入れたあと、初めて SmartDeviceLink ™ Apps 画面 (→ P.589) を表示させたとき 次回表示しない にタッチすると、「通信料に関する注意表示」は「表示しない」に設定されます。

1. 故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
アプリケーションが表示されない、またはアプリケーションが選択できない	Bluetooth 接続がされていない。	Bluetooth の接続を確認してください。（→ P.202）
	SmartDeviceLink™ 専用アプリケーションや SmartDeviceLink™ 対応アプリケーションがスマートフォンにインストールされていない。	SmartDeviceLink ™専用アプリケーションや SmartDeviceLink ™対応アプリケーションをスマートフォンにインストールしてください。
	アプリケーションを利用するために必要なデータが最新になっていない。	アプリケーションを利用するために必要なデータをアップデートしてください。（→ P.590）
「[アプリ名称] が見つかりませんでした ご利用のスマートフォンにインストールされたかご確認ください」というメッセージが表示される。	選択している SmartDeviceLink™ 対応アプリケーションとの通信が切れた。	選択している SmartDeviceLink ™対応アプリケーションをインストールしていない場合、そのアプリケーションをインストールしてください。
「エラーが発生しました。ご利用のスマートフォンの ToyotaSmartDeviceLink が動作しているかご確認ください」というメッセージが表示される。	SmartDeviceLink™ 対応アプリケーション動作中に Bluetooth 接続が切れた。	次の手順で再接続してください。 機器登録・接続画面（→ P.452）→接続中のスマートフォン→ 全切断 → 全接続
「スマートフォンが接続されていません」というメッセージが表示される。	SmartDeviceLink™ 専用アプリケーションとの通信が切れた。	スマートフォン側で SmartDeviceLink ™専用アプリケーションが強制終了された場合、SmartDeviceLink ™専用アプリケーションを再起動してください。
		スマートフォン側で SmartDeviceLink ™専用アプリケーションが消された場合、SmartDeviceLink ™専用アプリケーションをインストールしてください。

知 識

● メッセージは、変更されることがあります。

ご参考に

1 参考情報

1. アフターサービスについて.....596

2. バッテリー<補機バッテリー>
の交換について.....597

3. お手入れについて 599

4. ディスクの取り扱い 600

5. オーディオ&ビジュアルで
使用できるメディア／
データについて.....602

6. VICS 情報有料放送サービス
契約約款 615

7. Gracenote®メディア
データベースについて 617

8. 商標、著作権などについて.....618

9. 仕様について 621

2 さくいん

1. 50音さくいん 626

2. アルファベットさくいん.....634

1. アフターサービスについて

保証について

故障したときの保証や、アフターサービスなどについて、お分かりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2. バッテリー<補機バッテリー>の交換について

バッテリー<補機バッテリー>交換をする前に

お車から本機やバッテリー<補機バッテリー>を取りはずした場合、一部（下記表）を除き、本機に保存されている情報（設定）が初期化（消去）されます。お車の点検やバッテリー<補機バッテリー>の交換、地図データの全更新を行う際は、ご注意ください。

■初期化されない情報

項目	内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点（自宅を含む）
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
販売店の設定	設定した販売店の情報
地上デジタル TV 放送	EPG 番組表データやプリセットスイッチに記憶されたチャンネル
電話帳	登録した電話帳データ
ワンタッチダイヤル	設定したワンタッチダイヤル
電話設定	ハンズフリープライバシー設定（プレミアムダブルツィーターシステム装着車、ダブルツィーターシステム装着車）
エコ機能 ※1	燃費の設定やこれまでの履歴
バックガイドモニター / バックモニター / マルチビューバックガイドモニター（装着車のみ）※2	バックガイドモニター / バックモニター / マルチビューバックガイドモニターの設定
音質設定	重低音カット設定
標準・かんたんモード画面切替	標準モードとかんたんモードの画面選択
操作音設定	タッチスイッチにタッチしたときなどの応答音の選択
バックカメラ雨滴除去設定	シフトレバーを Ⓡ にしたときの自動エアー噴射設定・雨滴除去 の表示設定
安全・快適走行設定	右折時注意喚起・赤信号注意喚起・信号待ち発進準備案内・緊急車両存在通知・一時停止案内・逆走注意案内・SAPA 逆走防止案内・学校存在案内・ゾーン 30 案内
ドライブレコーダー設定	G センサー感度設定・駐車時常時録画設定・駐車時イベント録画設定・駐車時録画通知設定・録画画質設定・周辺録画カメラの録画設定

※1 対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
※2「このナビを以前使用されていた車から新しい車へのせかえされましたか？」のメッセージに「いいえ」を選択してください。（地図データの全更新を行う際は表示されません。）

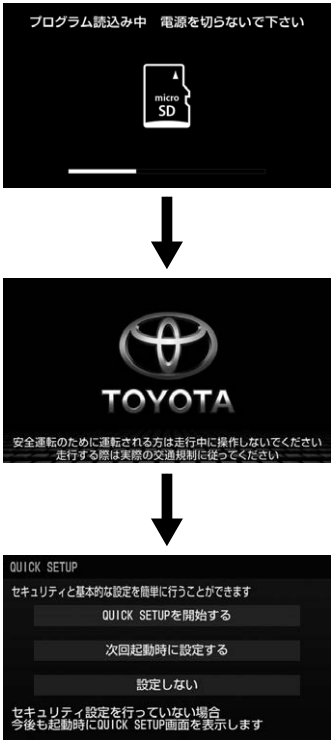
知 識

- 一度初期化（消去）された内容（データ）は元に戻せません。ご注意ください。
- 本機を別のお車に付け替える場合、必ず販売店で設定等を確認してください。

バッテリー<補機バッテリー>を交換した後に

バッテリーを交換したとき（バッテリー<補機バッテリー>の ⊕ ターミナルを接続）は、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッションONモード< ONモード>にするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中は絶対にバッテリー<補機バッテリー>ターミナルをはずさないでください。

次のように画面が変わります。



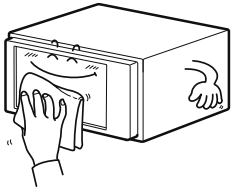
知 識

- プログラム読み込み中の画面が表示されない場合があります。
- セキュリティを設定している場合（→P.37）や地図SDカードが差し込まれていない場合（→P.18）は、表示される画面は異なります。
- バッテリー<補機バッテリー>の交換後に初めてオートマチックチェンジレバーまたはシフトレバーを Ⓡ にすると、一瞬黒画が表示される場合があります。

3. お手入れについて

本機のお手入れ

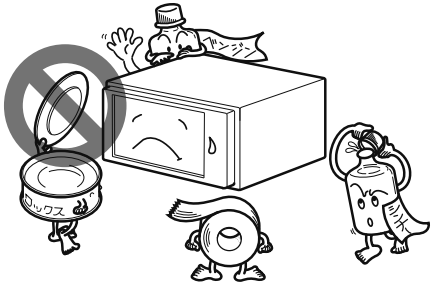
- 汚れをおとす場合、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布をお使いください。
  汚れがひどい場合、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、柔らかく乾いた布でしあげます。



タッチパネルおよび操作スイッチ（画面外）は傷がつきやすいのでご注意ください

化学ぞうきんをご使用の場合、その注意書にしたがってください。

- アルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。



変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れ

- フィルムアンテナおよびケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの揮発性のある薬品でふかないでください。表面処理を傷める原因となります。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下することがあります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

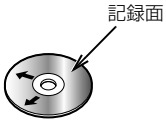
4. ディスクの取り扱い

持ちかた

記録面に触れないように持つ。

ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布でふいたあと、乾いた布でふく。



内側から外側へふく

- 回転する方向にふかないでください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

注意

- 長時間使用しないときは
  - 必ず本機から取り出してください。
  - ゴミなどの汚れや傷・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 次のような場所に置かないでください。
  - 長時間直射日光の当たるところ（車のシート、ダッシュボードの上など）
  - 暖房器具の熱が直接当たるところ
  - 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
  - 腐食性のある外気に触れるところ
  - 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところ

注意

- 下記のようなディスクは使用しないでください。
  本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク

シールやテープ、のりが付着している

プリンターで作成したラベル

プロテクトフィルム、保護シート

ディスクアクセサリー（スタビライザーなど）

破損・変形したディスク

そっている

ひびや傷がある・欠けている

透明なディスク

全体が透明

一部が透明

円形以外の特殊な形状のディスク

ハート形

カード型

三角形

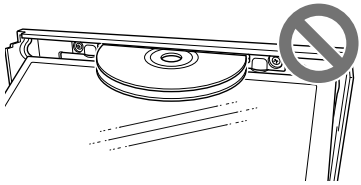
バリ※がある

※ バリ：材料を生成したときに、角などにできる出っ張り。

- 直径 12cm の円形以外のディスクは再生できません。8cm ディスクや特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

注意

- ディスクを挿入するときは、2 枚以上重ねて挿入しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。



- 挿入口にディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスクに傷がついていたり、内部が結露しているときは、画面の一部が表示されなくなることがあります。

5. オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア／データについて

メディアについて

使用できるディスク、SD カードなどの仕様は、下記の通りです。

ディスクについて

次のマークが表示されているディスクが使用できます。

	市販ディスク	記録されたディスク
CD	音楽 CD	CD-R/RW
DVD	DVD ビデオ	DVD-R/RW
		DVD+R/RW

- ビデオモード（ビデオフォーマット）および VR モード（ビデオレコーディングフォーマット）で記憶された DVD±R/RW の再生に対応しています。また、CPRM 対応の DVD-R/RW の再生にも対応しています。
- コピーコントロール CD などの正式な CD 規格に準拠していない特殊ディスクには対応していません。
- CD-R/RW、DVD ± R/RW は、記録状態、記録方法やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。
- CD-R、CD-RW は通常の音楽 CD に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部の CD-R、CD-RW は再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷をつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。
- 一部の CD-R、CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。
- 8cm ディスクには対応していません。

■DVD ビデオについて

- NTSC カラーテレビ方式に対応しています。NTSC 方式以外のカラーテレビ方式（PAL・SECAM）対応のディスクは再生することができません。
- この DVD プレーヤーでは、ディスク再生時の音声は、リニア PCM・ドルビーデジタル・MPEG オーディオに対応しており、ほかのデコード方式には対応していません。

SD カードについて

次の SD カードが使用できます。

使用できる SD カード	容量	SD スピードクラス
SD	8MB ～ 2GB※	Class 4 以上を推奨
SDHC	4GB ～ 32GB※	

※ 録音データ管理用として、SD カード容量のうち最大約 200MB を使用します。

- FAT ファイルシステム（SD:FAT16/SDHC:FAT32）のみ対応しています。NTFS ファイルシステムには対応していません。
- 本機で音楽を録音する場合、上記容量の SD カードをご使用ください。上記以外の SD カードには録音できません。
- 転送速度が遅いなど SD スピードクラスによっては、画像の表示時間が異なったり、録音した音楽が音飛びすることがあります。
- miniSD カード、miniSDHC カード、microSD カード、microSDHC カードを使用する場合は、市販の SD カード変換アダプターを装着して使用し、必ずアダプターごと挿入／取り出しを行ってください。

■SD カードのフォーマットについて

SD カードをフォーマット（初期化）する場合は、本機の Audio SD カード挿入口に SD カードを挿入し、SD カードの初期化を実施してください。（→ P.266）

知 識

- SD カードを初期化した場合、SD カード内のデータがすべて削除されます。

iPod について

本機で動作確認済みの機種については、トヨタのパソコンサイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）でご確認ください。

（知 識）

- 使用できるモデルに該当していても、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- iPod のソフトウェアバージョンは、iPod 本体で確認することができます。詳しくは iPod の取扱説明書をご覧ください。
- iPod のソフトウェアは、Apple 社の Web サイトからバージョンアップすることができます。

USB メモリーについて

使用できる USB メモリーのフォーマット、規格ならびに制限事項は次の通りです。

ファイルフォーマット	FAT 16/32
通信クラス	Mass storage class

（知 識）

- 上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- 本機は市販の USB ハブやマルチカードリーダー、外付けのハードディスク、USB 端子付ポータブルオーディオプレーヤーには対応していません。
- USB メモリー以外（USB 扇風機や USB クリーナーなど）は接続しないでください。接続して使用すると、ノイズなどが発生する場合があります。

HDMI 機器について

使用できる HDMI 機器の映像および音声信号の規格は次の通りです。

映像信号	480p　59.94/60Hz 720p　59.94/60Hz 1080i　59.94/60Hz
音声信号	種類：リニア PCM サンプリング周波数（kHz）：32、44.1、48

（知 識）

- 上記規格以外の HDMI 機器を接続すると、映像が表示されない場合やメッセージが表示される場合があります。
- HDMI CEC（Consumer Electronics Control）には、対応していません。

音楽データについて

使用できる音楽データの仕様は、次の通りです。
- MP3
- WMA
- AAC
- WAV(LPCM)
- FLAC
- ALAC

本機で使用できるメディアと音楽データについて

メディア	規格					
	MP3	WMA	AAC	WAV (LPCM)	FLAC	ALAC
CD-R/RW	○	○	○	×	×	×
DVD-R/RW DVD+R/RW	○	○	○	×	×	×
SD カード	○	○	○	○	○	○
USB メモリー	○	○	○	○	○	○

MP3/WMA/AAC について

MP3（MPEG Audio Layer3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA（Windows Media Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

AAC（Advanced Audio Coding）は MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機では、MPEG4 で作成された AAC ファイルを再生できます。

使用できる MP3/WMA/AAC ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA/AAC ファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

■MP3 ファイルの規格

対応規格	MP3（MPEG1 Layer3、MPEG2 LSF Layer3）
対応サンプリング周波数（kHz）	MPEG1 Layer3：32、44.1、48 MPEG2 LSF Layer3：16、22.05 、24
対応ビットレート（kbps）	MPEG1 Layer3：32 ～ 320 MPEG2 LSF Layer3：8 ～ 160 ※VBR（可変ビットレート：Variable Bit Rate）に対応しています。
対応チャンネルモード	ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル
拡張子	.mp3
ID3 タグ	ID3 Ver.1.0、1.1、2.2、2.3（文字数は各 Ver, に準拠）

■WMA ファイルの規格

対応規格	WMA Ver.7、8、9 （9.1、9.2） ※DRM ファイルには対応していません。
対応サンプリング周波数（kHz）	32、44.1、48
対応ビットレート（kbps）	Ver.7、8：CBR（Constant Bit Rate）48 ～ 192 Ver.9（9.1、9.2）：CBR（Constant Bit Rate）48 ～ 320 ※VBR（可変ビットレート：Variable Bit Rate）に対応しています。 ※2ch 再生のみに対応しています。
拡張子	.wma

■AAC ファイルの規格

対応規格	MPEG4/AAC-LC、MPEG2/AAC-LC（CD、DVD 非対応） ※DRM ファイルには対応していません。
対応サンプリング周波数（kHz）	11.025、16、22.05、24、32、44.1、48
対応ビットレート（kbps）	16 ～ 320 ※VBR（可変ビットレート：Variable Bit Rate）に対応しています。
対応チャンネルモード	1ch、2ch ※デュアルチャンネルには対応していません。
拡張子	.m4a

(知 識)

- 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1kHz のサンプリング周波数を推奨します。
- MP3/WMA/AAC を作成・編集できる多くの機器・ソフトが存在するため、使用する機器・ソフトによっては、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、または再生できない場合もあります。

■ディスク に記録する場合のフォーマット

ファイルフォーマット	ISO9660: LEVEL1、LEVEL2	拡張フォーマット：ROMEO 形式、JOLIET 形式	UDF2.01
最大フォルダ名（最大文字数）	LEVEL1: 半角 8 文字 LEVEL2: 半角 31 文字	半角 32 文字	半角 32 文字
最大ファイル名（最大文字数）	LEVEL1: 半角 8+3 文字 LEVEL2: 半角 31 文字	半角 32 文字	半角 32 文字
文字コード	英数字（ASCII コード）	ROMEO 形式：英数字（ASCII コード）日本語（S-JIS コード） JOLIET 形式：英数字（ASCII コード）日本語（Unicode）	英数字（ASCII コード） 日本語（Unicode）
ディスクフォーマット	CD-ROM Mode1、CD-ROM XA Mode2 Form1		
最大ディレクトリ階層	8 階層		
最大書き込みフォルダ数	255		
最大書き込みファイル数	999		

■Audio SD カード /USB メモリーに記録する場合のフォーマット

最大フォルダ名（最大文字数）	半角 256 文字
最大ファイル名（最大文字数）	半角 256 文字（+ 拡張子含む）
最大ディレクトリ階層	8 階層（ルート含む）
最大フォルダ数	3000（ルート含む）
最大ファイル数	9999 （1 フォルダにつき、最大 255 ファイル）

■ファイル名について

MP3/WMA/AAC と認識し再生するファイルは MP3/WMA/AAC の拡張子 “.mp3” / “.wma” / “.m4a” がついたものだけです。MP3/WMA/AAC ファイルには、 “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけて保存してください。

■ID3 タグ /WMA タグ /AAC タグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。
WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。
AAC ファイルには、AAC タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト、アルバム名を保存することができます。

■マルチセッションについて

ファーストセッションに記録した MP3/WMA/AAC ファイルのみ再生することが可能です。

■再生について

MP3/WMA/AAC ファイルが収録されているディスク /USB メモリーを挿入すると、最初にディスク /USB メモリー内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA/AAC ファイルを再生します。
ディスク /USB メモリー内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
音楽データと MP3、WMA または AAC 形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみを再生します。
Audio SD カードに MP3/WMA/AAC 以外のファイルを保存した場合、再生するまでに時間がかかったり、MP3/WMA/AAC ファイルを表示できないことがあります。

注意

- MP3/WMA/AAC 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけると、MP3/WMA/AAC ファイルと誤認識して再生してしまう場合があり、大きな雑音が出てスピーカーを破損する可能性があります。MP3/WMA/AAC 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけないでください。

(知 識)

- CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、シースルーディスクはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- ディスクに MP3/WMA/AAC 以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- CD-RW を消去して使用する場合、完全に消去したことを確認してから使用してください。(消去方法はライティングソフトで異なります。また、クイックおよび高速消去は使用できません。)
- パケットライト記録ディスクには対応していません。(例えば、DirectCD などで作成したディスクには対応していません。)
- MP3/WMA/AAC ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。(可変ビットレート VBR の早戻し／早送り動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。

WAV(LPCM)、FLAC、ALAC について

本機はハイレゾ音源に対応しています。ハイレゾの定義は、一般社団法人電子技術産業協議会（JEITA）の定義に準拠しています。

■再生可能メディア

SD カード、USB メモリー

■WAV(LPCM）ファイルの規格

対応サンプリング周波数（kHz）	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 ※ 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンサンプリングします。
対応量子化ビット数（bit）	16、24
拡張子	.wav

■FLAC ファイルの規格

対応サンプリング周波数（kHz）	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 ※ 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンサンプリングします。
対応量子化ビット数（bit）	16、24
拡張子	.flac、.fla
対応タグ	TITLE、ALBUM、ARTIST

■ALAC ファイルの規格

対応サンプリング周波数（kHz）	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 ※ 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンサンプリングします。
対応量子化ビット数（bit）	16、24
拡張子	.m4a
対応タグ	@nam、@alb、@ART

■WAV/FLAC/ALAC タグについて

WAV ファイルには、INFO チャンクと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

FLAC ファイルには、VorbisComment と呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ALAC ファイルには、MPEG4 形式の付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

※ WAV ファイルに付与された ID3 タグの表示には未対応です。

■再生について

WAV(LPCM)/FLAC/ALAC ファイルが収録されている USB メモリーを挿入すると、最初に USB メモリー内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の WAV(LPCM)/FLAC/ALAC ファイルを再生します。

USB メモリー内のチェックを早く終わらせるために、WAV(LPCM)/FLAC/ALAC ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

Audio SD カードに WAV(LPCM)/FLAC/ALAC 以外のファイルを保存した場合、再生するまでに時間がかかったり、WAV(LPCM)/FLAC/ALAC ファイルを表示できないことがあります。

注意

- WAV(LPCM)/FLAC/ALAC 以外のファイルに “.wav” / “.flac”, “.fla” / “.m4a” の拡張子をつけると、WAV(LPCM)/FLAC/ALAC ファイルと誤認識して再生してしまう場合があり、大きな雑音が出てスピーカーを破損する可能性があります。WAV(LPCM)/FLAC/ALAC 以外のファイルに “.wav” / “.flac”, “.fla” / “.m4a” の拡張子をつけないでください。

(知 識)

- WAV(LPCM)/FLAC/ALAC ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
- ハイレゾ品質で音楽を聴くにはプレーヤーからスピーカーまで全てハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

動画データ / 画像データについて

使用できる動画データ / 画像データの仕様は、次の通りです。

Audio SD カード /USB メモリーから再生できる動画データについて

本機は、家庭用のレコーダーなどで Audio SD カードに録画した動画ファイルについては、SD-Video 規格（ ISDB-T Mobile Video Profile/H.264 Mobile Video Profile）に準拠した動画ファイルに対応しています。

ビデオカメラやパソコンなどで記録した動画ファイルについては、次のフォーマットに対応しています。

フォーマット		AVCHD	MPEG4	AVI コンテナ	Windows Media Video	MPEG2
ファイル拡張子		-	.mp4、.m4v	.avi	.wmv	.mpg
動画コーデック		H.264/ MPEG-4 AVC	MPEG-4 Visual、H.264/MPEG-4 AVC	MPEG-4 Visual、H.264/MPEG-4 AVC、WMV9	WMV9、WMV9 Advanced Profile	MPEG-2 Video
オーディオ コーデック		ドルビーデジタル方式	AAC	AAC	WMA9.2 (7、8、9.1、9.2)	MPEG-1 レイヤ 2、ドルビーデジタル
対応メディア	Audio SD カード	○	○	○	○	○
	USB メモリー	×	○	○	○	○
最大解像度		1920 × 1080 ピクセル				
最大ファイル サイズ		2GB				
最大フレーム レート		60i/30p				
最大ビット レート		40Mbps				

■AVCHD、H.264、MPEG-2、MPEG-4、VC-1 の規格について

AVCHD、H.264、MPEG-2、MPEG-4、VC-1 の対応プロファイルは次のとおりです。

AVCHD	H.264	MPEG-2	MPEG-4	VC-1
• Profile A	• Baseline Profile（Level 4.2） • Main Profile（Level 4.2） • H.264 High Profile（Level 4.2）	• Main Profile（High Level）	• Advanced Simple Profile（Level 5） • Simple Profile（Level 6）	• Simple Profile（Medium Level） • Main Profile（High Level）

- AVCHD の対応 Version は 2.0 になります。
- AVCHD は下記に対応していません。
  - ・1080/60p Video、1080/50p Video
  - ・Stereoscopic Video
- Baseline Profile は下記ツールに対応していません。
  - ・ASO (Arbitrary Slice Order)
  - ・FMO (Flexible Macroblock Ordering)
  - ・RS (Redundant Slice)
- H.264 High Profile は下記ツールに対応していません。
  - ・Quantization scaling matrices
- 録画機器の種類や記録条件、使用する SD カードや USB メモリーによっては、再生できない場合があります。
- 動画ファイルの作成方法やビットレート、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れることがあります。
- 本機の使用状況によっては、正常に再生できない場合があります。
- デジタル方式で接続されている後席ディスプレイのみ映像を表示できます。詳しくは、お買い上げの販売店でご確認ください。

画像データについて

スタートアップ画像や SD Photo に使用できる画像データは次の通りです。

ファイル拡張子	.jpg、.jpeg
画像容量	10MB 以下
画像サイズ	最大横 5120 X 縦 3840
フォルダ名／ファイル名文字数（全角・半角）	最大 32 文字／ 32 文字
取り込み対象となる画像データ	最大 8 階層
最大読み込みフォルダ数	3000
最大読み込みファイル数	9999

Bluetooth 対応プロファイルについて

使用できる Bluetooth の仕様およびプロファイルは次の通りです。

■Bluetooth オーディオ、SmartDeviceLink ™

Bluetooth Specification	Ver.2.0（Ver.3.0+EDR 以上を推奨）
A2DP	Ver.1.0（Ver1.2 以上を推奨）
AVRCP	Ver.1.0（Ver1.4 以上を推奨）
オーディオコーデック	AAC、SBC

■ハンズフリー、スマートフォンナビ連携、SmartDeviceLink ™

Bluetooth Specification	Ver.2.0（Ver.3.0+EDR 以上を推奨）
HFP	Ver.1.5（Ver1.6 以上を推奨）
OPP	Ver.1.1（Ver1.2 以上を推奨）
PBAP	Ver.1.0（Ver1.1 以上を推奨）
SPP	Ver.1.1

■プロファイルの説明

- A2DP：Advanced Audio Distribution Profile の略式名称。ミュージックプレーヤーの音声をステレオ再生するために利用されます。
- AVRCP：Audio/Video Remote Control Profile の略式名称。オーディオコントロール（ミュージックプレーヤーの音量や曲送り、選曲の操作）に利用されます。
- HFP：Hands-Free Profile の略式名称。ハンズフリー通話に利用されます。
- OPP：Object Push Profile の略式名称。電話帳などのデータを送受信するために利用されます。
- PBAP：Phone Book Access Profile の略式名称。電話帳データを直接参照する際に利用されます。
- SPP：Serial Port Profile の略式名称。スマートフォン連携などに利用されます。

6. VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）

第 1 条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

（3）加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者

（4）VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）

第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第 8 条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）

第 9 条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

（1）加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第 12 条　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サー ビス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料金
（料金の支払い義務）
第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守
（当センターの保守管理責任）
第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第 15 条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑則
（利用に係る加入者の義務 ）
第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第 17 条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]
視聴料金 330 円（税込み）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

※ この契約約款は、令和 2 年 12 月 1 日改訂時のものを掲載しています。

7. Gracenote® メディアデータベースについて

● Gracenote、Gracenote ロゴとロゴタイプ、"Powered by Gracenote" ロゴは米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

知 識

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote® メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

8. 商標、著作権などについて

- DOLBY AUDIO™

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- Microsoft、Windows 、および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国および／またはその他の国における登録商標または商標です。本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・画像情報を MPEG-4 Visual、AVC、VC-1 規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオ）を記録すること。
  - ・個人的活動に従事する消費者によって記録された MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手した MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオを再生すること。

  詳細については MPEG LA，L.L.C.（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- 本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。
  著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

- Made for iPhone | iPod

  Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

  Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

  Apple, iPhone, and iPod are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

  The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

  iPod は、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

  App Store は、Apple Inc. の商標です。

- Google Play は Google LLC の商標です。

- AVCHD™

  “AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

- DVD is a trademark of DVD Format/Logo Licensing Corporation registered in the U.S., Japan and other countries.
- SD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  miniSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  microSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  SDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  miniSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  microSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.

- HDMI® HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

  HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

- Bluetooth®

  Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。
  株式会社デンソーテンは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- VICS リンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会・公益財団法人日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。
- VICS は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- VICS は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- ETC は、一般財団法人 ITS サービス高度化機構（ITS-TEA）の登録商標です。
- ETC 2.0 は、一般財団法人 ITS サービス高度化機構（ITS-TEA）の登録商標です。
- DSRC は、一般財団法人 ITS サービス高度化機構（ITS-TEA）の登録商標です。
- ITS スポット は、国土交通省道路局の登録商標です。
- Wi-Fi®、WPA ™、WPA2 ™、Wi-Fi Protected Setup ™は Wi-Fi Alliance® の商標または登録商標です。
- 「マップコード」は、株式会社 デンソーの登録商標です。
- 「QR コード」は、株式会社 デンソーウェーブの登録商標です。
- ヘルプネットは株式会社日本緊急通報サービスの登録商標です。
- 「au」は、KDDI 株式会社の商標または登録商標です。
- 本機は NaviCon® および smart nAVVi Link のスマートフォンナビ連携（→ P.201）に対応しています。
  - 「NaviCon®」は株式会社デンソーの商標または登録商標です。
  - 「smart nAVVi Link」はアイシン・エィ・ダブリュ株式会社の商標または登録商標です。
- E-VOLUTION は、株式会社デンソーテンの商標です。
- 「SmartDeviceLink ™」は SmartDeviceLinkConsortium の商標または登録商標です。
- その他記載されている会社名・商品名等は、各社の商標および登録商標です。

9. 仕様について

本機の仕様について

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しないことがありますのでご了承ください。

■GPS アンテナ

供給電源電圧	4.7 ± 0.5（V）
消費電流	9 ～ 30（mA）
動作温度範囲	-30 ～ +65（℃）
保存温度範囲	-40 ～ +85（℃）

■テレビ･ディスプレイ

受信チャンネル	UHF13 ～ 52 チャンネル
液晶パネル	9 型ワイド低反射パネル
画面寸法	200.44（W）× 106.05（H）mm
画素数	2,764,800 個（1280（H）× 720（V）× 3）
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリックス方式
動作温度範囲	-20 ～ +65（℃）
保存温度範囲	-40 ～ +85（℃）
バックライト	LED

■ラジオ･チューナー部

受信周波数	AM…522 ～ 1,629kHz FM…76 ～ 90/95MHz※ ※ 車両アンテナにより異なります。
実用感度	AM…34dBμV (S/N20dB) FM…13dBμV (S/N30dB)
周波数特性	30 ～ 15,000Hz (FM)
ステレオセパレーション	26dB (1kHz)

■CD 部

全高調波歪み率	0.03%（1kHz、0dB、0.5W）
周波数特性	20 ～ 20,000Hz
S ／ N 比	70dB（1kHz）
ダイナミックレンジ	90dB（1kHz）

■SD カード部

全高調波歪み率	0.03%（1kHz、0dB、0.5W）
周波数特性	20 ～ 40,000Hz※
S ／ N 比	70dB（1kHz）

※ ハイレゾ音源再生時

■DVD 部

全高調波歪み率	0.03%（1kHz、0dB、0.5W）
周波数特性	20 ～ 20,000Hz
S ／ N 比	70dB（1kHz）

■共通部

定格出力	11W × 4（1kHz、THD 1%、4Ω）
最大出力	40W × 4
適合負荷インピーダンス	4Ω（各チャンネル）
電源電圧	DC13.2V（11-16V）アース専用
消費電流	0.5W × 4 出力時 … 約 3.5A 最大 … 約 15A
外形寸法	横幅 227mm・高さ 127mm・奥行 161mm
質量（重量）	約 3.0kg
動作温度範囲	-20 ～ +65（℃）
保存温度範囲	-40 ～ +85（℃）

■周辺モニター（販売店装着オプション）

【共通仕様】

ホワイトバランス方式	自動
自動感度調整範囲	1：1600 以上
使用温度範囲	− 30 ℃ ～ + 70 ℃
保存温度範囲	− 40 ℃ ～ + 85 ℃

【その他の仕様】

		バックガイドモニター	マルチビューバックガイドモニター 雨滴除去機能付き
カメラ	焦点距離	f = 1.287mm	f = 0.876mm
	F 値	1 : 2.0	1 : 2.0
	画角 （水平、垂直）	144°、108°	198°、151°
最低被写体照度		0.7lux （25IRE）	0.7lux （25IRE）
電源電圧		DC5.5V ～ 8.4V	DC5.5V ～ 8.4V
消費電流 (最大)		100mA	250mA
外形寸法カメラユニット (W×H×D)		約 23mm×23mm ×28mm	約 23mm×23mm ×30mm
質量 (重量)		約 18ｇ （ケーブル、ブラケット除く）	約 26ｇ （ケーブル、ブラケット除く）
撮像素子		1/4 インチ カラー CMOS	1/4 インチ カラー CMOS
有効画素数		約 31 万画素	約 123 万画素
水平解像度		300TV 本（中心）以上	430TV 本（中心）以上 （標準画面時）
TV 方式		NTSC	HD-TVI2.0
標準映像出力レベル		1Vp-p（75Ω）	1Vp-p（75Ω）
ポンプ	電源電圧	-	9.0V ～ 16.0V
	消費電流 （最大）	-	1.5A
	仕様温度範囲	-	− 30 ℃～+ 70 ℃
	外形寸法カメラユニット （W×H×D）	-	約 108.5mm×70.5mm ×43.8mm
	質量（重量）	-	約 126ｇ

		マルチビュー バックガイドモニター	バックモニター
カメラ	焦点距離	f = 0.876mm	f = 1.287mm
	F 値	1 : 2.0	1 : 2.0
	画角 (水平、垂直)	198°、151°	144°、108°
最低被写体照度		0.7lux (25IRE)	0.7lux (25IRE)
電源電圧		DC5.5V ～ 8.4V	DC5.5V ～ 8.4V
消費電流 (最大)		250mA	100mA
外形寸法カメラユニット (W×H×D)		約 23mm×23mm ×28mm	約 23mm×23mm ×28mm
質量 (重量)		約 26g (ケーブル、ブラケット除く)	約 18g (ケーブル、ブラケット除く)
撮像素子		1/4 インチ カラー CMOS	1/4 インチ カラー CMOS
有効画素数		約 123 万画素	約 31 万画素
水平解像度		430TV 本 (中心) 以上 (標準画面時)	300TV 本 (中心) 以上
TV 方式		HD-TVI2.0	NTSC
標準映像出力レベル		1Vp-p (75Ω)	1Vp-p (75Ω)

		ブラインドコーナーモニター	コーナービューモニター
カメラ	焦点距離	f = 0.876mm	f = 1.53mm
	F 値	1 : 2.0	1 : 2.8
	画角 （水平、垂直）	198°、151°	114°、95°
最低被写体照度		0.7lux （25IRE）	0 lux (IR LED 常時照射)
電源電圧		DC5.5V ～ 8.4V	DC 5.5V ～ 7.05V
消費電流 (最大)		250mA	200mA
外形寸法カメラユニット (W×H×D)		約 23mm×23mm ×28mm	約 32.4mm×31mm ×32.3mm
質量 (重量)		約 26 g （ケーブル、ブラケット除く）	約 5.7g （ケーブル除く）
撮像素子		1/4 インチ カラー CMOS	1/3.7 インチ カラー CMOS
有効画素数		約 123 万画素	約 31 万画素
水平解像度		480TV 本（中心）以上	300TV 本 (中心) 以上
TV 方式		HD-TVI2.0	NTSC
標準映像出力レベル		1Vp-p（75Ω）	1Vp-p (75Ω)

1. 50 音さくいん

あ

アラーム通知 533
暗証番号 .....240、573
安全・快適走行の設定をする 158

い

イコライザの設定.....219

う

迂回.....132、137
雨滴除去機能 400

え

エコ機能 165
　エコ情報の表示.....167
　エネルギーモニターの表示 169
　燃費の計算 165
　ルート案内時の燃費設定 166
　ESPO 画面の表示.....170
エージェント 556
　エージェント画面の使い方 559
　エージェントを開始する 557
　エージェントを終了する 561
　音声ガイドを省略する 560
　音声対話を再開する 560
　音声対話を中断する 560
　最初に戻る 560
　ヘルプ機能を使用する 560

お

オーディオスイッチ 211
オーディオソース選択画面.....213
　スイッチの配置を変更する 214
オーディオ & ビジュアル.....208
お車を手放すとき 447
音の設定をする 214
オペレーターサービス.....550
　オペレーターサービスを開始する 550
　オペレーターサービスを使う 551
　手動で情報を取得する.....551
音声操作システム 329
音声操作の使用例 336
　色々な方法で目的地を設定する 337
　サウンドライブラリの楽曲を検索する 341
　自宅を目的地に設定する.....336
　使用例の見かた 336
　その他の方法で検索する.....338
　電話をかける 343
　メモリ地点を使う 342
　My リクエストを使う.....341
音声について 447
音声認識コマンド一覧.....346
音声認識用マイク 331
音量調整.....211
オンライン詳細設定 569
　単語編集.....41
　定型文修正 42
　入力履歴削除 42
　予測変換候補表示設定.....42
　T-Connect 契約解除 504
　T-Connect Viewer 自動読上げ設定 509

か

各部の名称とおもな働き 12
画面の調整・設定を変更する 54
　画質調整画面を表示する 54
　画面を消す 56
　昼画表示・夜画表示の切り替え 55
　ライト点灯時に昼画表示にする 56
画面モード 221
簡易画面について 470

き

緊急警報放送（EWS） 273
緊急通報 517

け

現在地の修正 145
検索した地図を操作する 105
　施設の内容を表示する 105
　住所で絞り込む 106
　地図の位置を変更する 105
　提携駐車場を検索する 105
　ピンポイント検索 105

こ

後席ディスプレイ 312
　リモコンでの操作 312
高速道路・
　都市高速道路の表示 89
　高速分岐案内の表示 91
　ハイウェイモード 89
交通情報 224
交通ナビ関連情報 358
個人情報初期化 59

し

自車位置マークがずれているとき 145
　距離を補正する 145
　現在地を修正する 145
自宅を目的地に設定する 108
車両警告灯 50
使用できるメディアについて 210
情報画面 356
　情報画面を表示する 356
　スイッチの配置を変更する 357
ショートカット＋コントロール画面 28
　ショートカット＋
　コントロール画面の表示 28
　ショートカットスイッチの登録 28
初期設定をする 45
　音声案内の音量を設定する 46
　自宅を登録する 45
　車両情報の設定をする 46

す

スタートアップ画像の設定 63
ステアリングスイッチで操作する
（オーディオ） 310
ステアリングスイッチで操作する
（ハンズフリー） 454
スマートフォンナビ連携 201
　スマートフォンの接続を切る 204
　スマートフォンを接続する 202
　スマートフォンを登録する 202
　スマートフォン機器の登録を
　削除する 206
　スマートフォン機器詳細情報を
　表示する 205
　使用するスマートフォンを
　選択する 205
　Bluetooth 接続の再接続について ... 204
スライドタッチ操作 21
　スライド操作 21
　ドラッグ操作 22
　ピンチ操作 22
　フリック操作 21

せ

セキュリティ 37
作動インジケータを点滅させる..... 38
セキュリティのロックを解除する..... 37
セキュリティを作動させる 37
セキュリティを解除する 38
設定・編集（運転支援）...61、158、386
設定・編集（オーディオ）.....249、259、297
設定・編集（オンライン）.....569
設定・編集（共通設定）..... 57
設定・編集（電話）.....471
設定・編集（ナビ）.....146
設定・編集（メンテナンス）..... 47
設定・編集（Bluetooth）.....304、481
設定・編集（ETC）.....429

そ

走行軌跡 88
ソフトウェア更新.....359
ソフトウェア更新設定を変更する.....363
CD-R または Audio SD カードを使って更新する 359
Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／Wi-Fi® ルーター等）または通信モジュール（DCM）を利用して更新する.....361

ち

地上デジタルテレビ 267
緊急警報放送（EWS）.....273
初回起動時の設定 267
全画面表示 270
電子番組表（EPG）.....271
プリセットスイッチ.....270
TV 局リスト切り替え 270
地上デジタルテレビ（視聴設定）.....280
映像切り替え 280
音声切り替え 280
画質調整.....281
字幕切り替え 280
主／副切り替え 280
文字スーパー切り替え.....280
画面モード切り替え.....280
地上デジタルテレビ（TV メニュー）....274
地デジ・ワンセグ受信設定.....274
データ放送操作 275
デバイス ID 表示 275
プリセットモード設定.....275
放送局サーチ 274
ホームプリセット設定.....277
地図画面を操作する 71
地図に現在の車の位置を表示する 71
地図を動かす 71
地図を拡大／縮小する.....71
地図更新.....180
地図について 179
地図記号・表示 79
地図データ 179
地図データの更新 180
地図データベースについて 180
地図のスケール表示.....78
データベースの情報を見る 179

地図の表示 75
画面を左右 2 分割して表示する 83
現在地を表示する 75
市街図を表示する 81
施設の情報を表示する 82
スイッチの表示／非表示 76
地図縮尺を切り替える 77
地図の向きを切り替える 80
地図をカスタマイズする 82
地図を動かす 76
地図表示画面を設定する 84
施設マークを表示する 84
走行した経路を表示する（走行軌跡） 88
近くの施設を検索する 85
立体ランドマークの施設情報を表示する 86
DSSS（Driving Safety Support Systems）運転支援機能を使用する 87
ETC2.0 サービスで受けられる割込情報について 188
地図を呼び出す 92
施設で地図を検索する 100
ジャンルで地図を検索する 102
住所で地図を検索する 100
地図を検索する 92
電話番号で地図を検索する 101
マップコードで地図を検索する 103
名称で地図を検索する 97
読みで検索する 97
履歴で地図を検索する 103
着信中画面の操作 464
着信を拒否する 464
電話を保留する（応答保留） 464

つ

通信モジュール（DCM） 492
通話中の操作 466
受話音量を調整する 466
送話音をミュート（消音）する 467
通話を転送する 467
割込通話を操作する 468
10 キー入力する 469

て

ディスクの出し入れ 226
ディスク（DVD・CD・MP3/WMA/AAC）を再生する（映像） 231
一時停止／再生 232
視聴設定画面表示 232
全画面表示 232
チャプター切り替え 232
早戻し／早送り 232
停止／再生 232
トップメニュー／メニュー表示 233
プレイリスト／プログラム切り替え 232
ディスク（DVD・CD・MP3/WMA/AAC）を再生する（音楽） 228
一時停止／再生 230
早戻し／早送り 230
ファイル／トラック切り替え 228
ファイル／トラックリスト表示 228
フォルダ切り替え 229
フォルダリスト表示 229
録音開始スイッチ 229
MP3/WMA/AAC の再生について 606
RAND（ランダム）再生 229
RPT（リピート）再生 229

ディスク（DVD・CD・MP3/WMA/AAC）を再生する（DVD 視聴設定）.....233
アングル切り替え.....235
音声切り替え.....234
画質調整.....236
画面モード切り替え.....235
再生モード切り替え.....235
字幕切り替え.....235
主／副切り替え.....236
ページ送り.....234
リターン.....234
DVD タイトルサーチ.....234
ディスク（DVD・CD・MP3/WMA/AAC）を再生する（DVD 初期設定）.....237
映像出力切り替え.....238
オートスタート設定.....238
音声ダイナミックレンジ設定.....238
言語コード一覧.....239
視聴制限レベル設定.....238
マルチアングルマーク表示設定.....238
優先音声言語設定.....237
優先字幕言語設定.....237
優先ソフトメニュー言語設定.....237
電子番組表（EPG）.....271
電話帳を編集する.....473
携帯電話の電話帳データを転送する.....473
電話帳に新規データを追加する.....476
電話帳について.....473
電話帳のデータを削除する.....477
電話帳のデータを修正する.....477
電話帳を編集する.....473
履歴のデータを削除する.....479
ワンタッチダイヤルを削除する.....478
ワンタッチダイヤルを登録する.....478
電話を受ける.....457
電話をかける.....456
音声認識で発信する.....461
携帯電話本体から発信する.....463
電話帳から発信する.....459
ナビ画面から発信する.....462
履歴から発信する.....460
ワンタッチで発信する.....461
電話を切る.....457

と

到着予想時刻.....122
トイレ検索.....104
トークスイッチまたは音声認識スイッチ.....331
ドライブレコーダー.....418

な

ナビゲーション画面の見かたについて....69
ナビの詳細を設定する.....146
案内表示設定をする.....150
音声設定をする.....155
自動表示切替設定をする.....154
その他の設定をする.....156
地図表示設定をする.....147
ルート系設定をする.....151
ナビの精度.....179

に

2 画面表示.....83

は

バックガイドモニター....366
ガイド画面の出しかた....368
ガイド方法の選びかた....369
知っておいていただきたいこと....392
縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）....376
縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）....384
バックガイドモニター機能の設定....386
バックガイドモニターについての注意点....387
並列駐車のしかた（進路表示モード）....371
並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）....374
バックモニター....403
ガイド画面の出しかた....404
バックモニターについての注意点....405
パノラミックビューシステム....416
ハンズフリーについて....446
ハンズフリーが使用できないとき....447
Bluetooth 携帯電話について....446
ハンズフリーの準備をする....451
携帯電話を接続する....451
携帯電話を登録する....451
ハンズフリーの設定をする....451
Bluetooth 接続の再接続について....453
ハンズフリーの詳細設定を変更する....480

ふ

プライバシー設定....571
設定・編集画面を表示する....571
プライバシー設定を変更する....571
ブラインドコーナーモニター／コーナービューモニター....409
画面の出し方....410
ブラインドコーナーモニター／コーナービューモニターについての注意点....412

へ

ヘルプネット....513
緊急通報....517
緊急通報できない場合....525
サービス開始操作....500
保守点検....520
利用登録の更新....523

ほ

ボイスサポート....350
音声認識でエージェントを開始する....351
音声認識でオペレーターサービスを開始する....351
ボイスサポートの設定....352
ポータブル機....301
本機の設定を変更する....57
共通設定....57
車両連携設定....61

ま

マップオンデマンド（地図差分更新）.....537
地図を更新する.....543
au Wi-Fi® (G-Station) で更新する.....544
マップコード.....103
マルチビューバックガイドモニター.....393
カメラの視点切替方法.....395
マルチビューバックガイドモニターについての注意点.....397

め

メニュー画面の操作.....25
メモリ地点を登録する.....133
迂回メモリを登録する.....137
グループで絞り込む.....141
自宅を登録する.....133
地図画面から登録する.....135
地点の登録について.....133
特別メモリを修正する.....134
特別メモリを消去する.....135
特別メモリを登録する.....134
メモリ地点の情報を修正する.....138
メモリ地点を修正する.....135
メモリ地点を消去する.....136
メモリ地点を登録する.....135
メモリ地点を取り込み・取り出しする.....142
パスワードの設定.....142
メモリ地点の取り込み.....144
メモリ地点の取り出し.....143
メンテナンス時期を案内する.....47
自動通知（メンテナンス案内）の設定.....48
販売店の設定をする.....49
メンテナンスの項目を設定する.....47

も

目的地案内中の現在地画面の見かたについて.....74
目的地案内の開始.....116
目的地案内を中止する.....116
目的地への案内.....117
音声案内について.....117
交差点案内.....119
到着予想時刻について.....122
目的地案内を開始する.....116
目的地までの案内.....107
目的地を設定してルートを探索する.....107
自宅を目的地に設定する.....108
目的地の設定.....107
ルート探索.....109
ルート探索後の全ルート図表示.....110
文字情報の表示.....210
文字入力の設定を変更する.....41
文字を入力する.....39

ら

ラジオを聞く 223
エリアプリセット 223
交通情報を聞く 224
周波数切り替え 223
周波数の記憶 223
プリセットスイッチ 223
AUTO.P 223

り

リスト画面 43
複数の候補から項目を選ぶ 43
文字の表示範囲を変更する 44
利用手続き 499
お車を手放す際にすること 505
解約手続き 505
利用開始操作をする 500
利用契約の継続方法を変更する 502
履歴発信 460

る

ルート案内中の操作 123
全ルート図を表示する 123
到着予想時刻・
残距離表示を切り替える 123
ルート案内をする 72
目的地を決める 72
目的地を消去する 73
ルート案内を中止する 73
ルートを再探索する 124
ルートの再探索方法を選ぶ 124
ルートを再探索する 124
ルートを変更する 126
探索条件を変更する 126
通過する道路を設定する 130
出入口 IC（インターチェンジ）を
指定する 129
目的地の順番を並び替える 127
目的地を消去する 128
目的地を追加する 127
ルート変更画面を表示する 126

ろ

録音する 247

2. アルファベットさくいん

A

AAC について 606
AM ラジオ 223
ASL の設定....215
AUDIO スイッチ....211
Audio SD カードについて 243
Audio SD カードに録音する 247
データベースについて 247
録音する 247
録音についての注意 247
録音の設定を変更する 249
録音を中止する....249
Audio SD カードの操作（音楽ファイル）....251
一時停止／再生....252
動画ファイル再生....252
早戻し／早送り....252
ファイル／トラック切り替え....251
ファイル／トラックリスト表示....251
フォルダ／アルバム切り替え....251
フォルダ／アルバムリスト表示....252
MP3/WMA/AAC の再生について....606
RAND（ランダム）再生....252
RPT（リピート）再生 252
Audio SD カードの操作（動画ファイル）....254
一時停止／再生....256
音楽ファイル再生....257
画質調整 258
画面モード切り替え 258
視聴設定画面....257
字幕切り替え....258
詳細表示／番組情報表示 257
全画面表示 256
停止....256
二重音声切り替え....258
早戻し／早送り....256
ファイル／番組／ AVCHD タイトル切り替え 255
ファイル／番組／ AVCHD タイトルリスト表示....255
Audio SD カードの操作（録音データ編集）....259
アルバム情報を修正する....262
アルバムを削除する....264
お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する 259
サウンドライブラリ編集メニュー画面について....259
トラックを削除する....265
マイベストを編集する....260
Audio SD カードの空き容量を確認する（詳細情報の表示）....265
Audio SD カードを初期化する....266

B

BALANCE FADER の調整....218
Bluetooth オーディオを再生する 301
アルバム切り替え 302
アルバムリスト表示....302
一時停止／再生 303
各種表示について 298
トラック切り替え 302
トラックリスト表示....302
早戻し／早送り 303
Bluetooth オーディオについて 298
Bluetooth 機器使用上の注意事項について....299
Bluetooth 接続 304
RAND（ランダム）再生 302
RPT（リピート）再生....302
Bluetooth オーディオを設定する 304
使用するポータブル機を選択する 306
ポータブル機の詳細情報を表示する 307
ポータブル機の接続を切る 309
ポータブル機の登録を削除する 309
ポータブル機を接続する....304

本機の Bluetooth 設定を
変更する 308
Bluetooth 機器を初期登録する 52

C

CD タイトル情報再取得 264

D

DSSS（Driving Safety
Support Systems）..... 87
DVD について 240
再生可能なディスクの地域番号
（リージョンコード）について 240
ディスクに表示されている
マークについて 240
ディスクの構成について 241
DVD プレーヤーの用語について 241

E

EPG 271
ETC 画面の操作 428
統一エラーコードの表示 429
履歴表示 429
ETC 画面の表示 428
ETC 登録情報の表示 429
ETC の通知設定 429
ETC マーク表示 428
ETC 割込表示 428
ETC システムについて 424
ETC を利用する前に 424
ETC2.0 サービス 435
ご利用の前に 424
ETC2.0 画面の操作 436
ETC2.0 サービスで提供される
サービス内容について 435

F

FM ラジオ 223

G

GPS 172
システムの特性上、
避けられないズレ 172
GPS 情報を利用できないとき 172

H

HDMI の操作 283
画質調整 284
画面モード切り替え 284
視聴設定画面 284
全画面表示 283
HOME 画面 23
HOME 画面の設定 23
HOME 画面の操作 23

I

iPod の設定 297
カバーアート表示 297
iPod を再生する（音楽）..... 295
一時停止／再生 296
カバーアート拡大表示 295
選曲リスト表示 295
トラック切り替え 296
トラックリスト表示 295
早戻し／早送り 296
RAND（ランダム）再生 296
RPT（リピート）再生 296
ITS Connect 440

M

MAP スイッチ..... 12
MP3 について.....606

Q

QUICK SETUP
（初期設定サポート）..... 32

S

SD カードの出し入れ.....244
SD カードを入れる.....244
SD カードを取り出す.....245
SD Photo を再生する.....322
回転表示.....323
詳細表示.....323
スライドショー.....322
全画面表示.....323
SDREC.....213
SmartDeviceLink ™.....588
アップデート.....590
SmartDeviceLink ™ Apps 画面....589
SmartDeviceLink Apps
設定画面.....592

T

T-Connect.....492
エージェント.....556
お天気お知らせ設定.....567
オペレーターサービス.....550
オンライン詳細設定.....569
通信設定.....575
ハイブリッドナビ.....546
プライバシー設定.....571
ヘルプネット..... 513、527
マイカー Security.....530
マップオンデマンド.....537
リモートメンテナンスサービス.....536
利用手続き.....499
CD タイトル情報取得.....566
G メモリ.....507
T ルート探索（プローブ情報付）.....548
T-Connect トップ画面.....506
T-Connect について.....496
T-Connect Apps.....562
T-Connect Viewer.....508
WEB 検索.....555
Wi-Fi® 設定.....577
TSPS（Traffic Signal Prediction
Systems）.....437

U

USB メモリーについて 285
USB メモリーを再生する（音楽）..... 287
一時停止／再生 288
動画ファイル再生 288
早戻し／早送り 288
ファイル／トラック切り替え 287
ファイル／トラックリスト表示 287
フォルダ／アルバム切り替え 287
フォルダ／アルバムリスト表示 288
MP3/WMA/AAC の再生について 606
RAND（ランダム）再生 288
RPT（リピート）再生 288
USB メモリーを再生する（動画）..... 290
一時停止／再生 292
音楽ファイル再生 292
画質調整 293
画面モード切り替え 293
視聴設定画面 293
詳細表示 292
全画面表示 291
停止 292
早戻し／早送り 292
ファイル切り替え 291
ファイルリスト表示 291

V

VICS・交通情報の表示 182
タイムスタンプ 183
VICS 記号の内容を表示する 183
VICS・交通情報について 182
VICS・交通情報の表示設定 184
VICS・交通情報を活用する 185
渋滞・規制音声案内 185
新旧ルートを比較して表示する 192
割込情報（ビーコン即時案内）を表示する 187
割込情報の表示設定を変更する 190
VICS 図形情報・文字情報を表示する 185
VICS について 194
知っておいていただきたいこと 195
道路管理者からのお知らせとお願い 197
VICS 記号・表示 199
VICS センター著作権および VICS 過去データ 196
VICS の用語 195
VICS・ETC2.0（ITS スポット）・DSSS の問い合わせ先 196
VICS 放送局を選択する 193
自動で放送局を選択する 193
手動で放送局を選択する 193
VICS/ETC2.0 設定 ..... 190、193

W

WEB 検索 555
WEB 検索で目的地を設定する 555
Wi-Fi® 設定 577
簡単設定から Wi-Fi® 接続する 578
自動で優先ネットワークへ接続する 581
優先ネットワークを変更／削除する 580
利用できるネットワークから Wi-Fi® 接続する 578
Wi-Fi® の接続確認を表示する 581
Wi-Fi® を ON ／ OFF する 578
WMA について 606

MEMO

MEMO

SDナビゲーション　取付け記録簿

取付け販売店名および取付け店名	
取付け日	
取付け時走行キロ	
備考 （修理メモ・保証継承情報等）	

保証期間を判定する記録簿です。必ず記載し大切に保管してください。

トヨタ自動車株式会社

2205(K)